

同盟通信

海外電報

(73)

〔目次〕

三票要求に非難轟々……………	
米東部炭田怠業状態……………	
炭坑夫の勝利で罷業解決か……………	
ダンチツヒ陥落……………	



【米 洲】

米ソ三票を要求……………	九五三
海兵隊沿岸警備隊新大將……………	〃
開戦以來五萬噸の對地艦砲射撃……………	〃
海軍艦艇撃破船舶發表……………	〃
獨戦艦乗組員を戦時俘虜……………	〃

【東 亞】

蔣の獨裁的地位を非難……………	九五四
ブリッグス重慶着任……………	〃

【ド イ ツ】

敵に屈するより榮光の死を選ばん……………	〃
食糧配給制に新體制……………	〃

【歐 洲】

亞抑留船舶佛に返還……………	九五五
----------------	-----

【資 料】

ヴァンデンバーグの演説に關聯して……………	九五五
溫度の測定……………	九五七



ソ聯はサン・フランシスコ會議に三票の投票權を要求したといふ、ソ聯に三票くれるのは惜しくないがそれなら俺も三票貰はうとアメリカがいふバンドーラの宮の口が開いたかたちである、諸々の矛盾と撞着を含んだ彼等の戦後平和機構案が要するに次の戦争への準備態勢案である限り崩れ去らうと如何しようと別に吾々にとつては痛痒を感じないが、蓋を明けてとび出す化け物の正體を高い見の見物するのは面白くないこともない、ソ聯は駐米大使のグロムイコを首席代表として出席せるといふが、この説にして眞ならば正にこの鍍金金ピカ會議に冷水三斗を浴せかけるもので、ルーズヴェルトやチャーチルがどんな面をしてゐるか見度い位だ、桑港會議が噂の入り宣傳に拘らず、實質はグロムイコ程度で終末をつけるに相應しいお祭り騒ぎにすぎずソ聯としてはその正味通りにしかいたらないといふ間接の意志表示である、さなきだにお化け充満のバンドーラの宮にアメリカは植民地處分案といふ新しい化けものを會議前に製造して持ち込むとつた、例へば太平洋の各國の植民地を三種類に分けて、第一種の米國が東亞支配に必要な島々は自分で頂戴し、第二種のマライ、佛印、ジャワなどはこれを門戸解放させ、第三種の餘り値打ちのないものは共同管理委員會で統治しようといふ、どこまで行つてもアメリカがひと口乗つて損をしない案などがそれだ、チャーチルもド・ゴールも自國の植民地には一指も染めさせぬといつてゐるがそれを承知でかうした案をつきつけようといふアメリカの強腰が桑港會議を爭鬭會議にする公算大なりといふわけで、見物には有難い幸せである、フランスなど早速太平洋屬領土人にフランス國籍を與へて、あれは植民地ではない、フランス本國の離れ島だと主張する準備をしてゐる、埃着て巷の喧嘩に春日永

三票要求に非難囂々

●桑港會議もめる前景氣●

(リスボン三十日發) 米國政府は三十日突然米ソ兩國が國際安全保障機構で英聯邦の六票に對抗するため、それぞれ三票宛の投票權を要求することに決定してゐると發表したが、これは桑港會議に出席することとなつてゐる反樞軸諸國に豫想以上に大きな衝撃を與へた模様だ

ワシントン來電によると下院外交委員長ブルームの如きは米ソ兩國が三票宛を獲得したところで英聯邦との關係では六、三、三の比率に過ぎず、どうせ強國がかかる要求をするならば米ソ兩國は英聯邦と同比率の投票權を獲得すべきだとの厚顔な主張をなしてゐるが、大部分はクリミヤ會談でかかる秘密協定を締結しておきながら現在までこれをひたかくしにしてゐたこと並びにかかる要求は徒らに小國の不満を助長するばかりだとの二點をあげて政府を攻撃し、例へば上院議員ボールは大國のかかる決定は小國の横面を全くいはいれなくぶん殴つたに等しい

と述べ、また共和黨代表として桑港會議に出席することとなつてゐる上院議員ヴァンデンバーグも米ソのかかる要求は當然その他諸國にも投票權の追加要求を行ふに實を與へるべく桑港會議を徒らに紛糾せしめるに役立つのみとならうと言明した、國務長官ステチニアスは米國內でさへかかる非難が囂々としてつたのに周章狼狽して、三十日の新聞記者團會見では

クリミヤ會談では今回の追加投票權取極め以外には全然秘密協定は存在してゐない
と陳辯に大童だつたといはれる

一方ロンドン來電によると英國政府當局はクリミヤ會談では英國代表がソ聯に三票を認めることに同意したことは事實だが、米國にも三票を與へるやう承認したことはないと稱して、米國政府の發表に驚愕の意を表し、米國がかかる要求を持出す以上重慶政權が三票を要求しても仕方があるまいと自分のことは棚にあげた勝手な主張をとつてゐる模様だ、最も腹に据ゑかねたのは各小國でフランスをはじめその他陣營諸國は現在までも大

國の專横に非常な不満を抱いてゐたところへ更に今度の事件の發生で愈々いきり立ち各小國は早くも、桑港會議でこの鬱憤をぶちまけるべく作戰を練りはじめたことを傳へてゐる

米東部炭田怠業狀態

(リスボン三十日發) ワシントン來電 米國炭坑夫組合と炭坑主との勞働契約満期日を明日に控へ三十日の東部炭田は早くも勞働者の怠業氣分濃厚となり、ペンシルヴァニア州の一炭坑の如きは三十日から既に閉鎖を餘儀なくされ、その他炭田でも炭坑夫の缺勤が特に目立ちはじめたといはれる一方ワシントンでは炭坑夫組合が二十九日勞働長官パーキンスの調停案を受諾したにも拘らず、炭坑主側は同日夜に至り政府の調停案があまりにも勞働者側の主張ばかり認めてゐるとの理由で斷乎これを拒否した旨發表、政府當局も遂に調停を斷念して、早くも東部炭田の政府による接收を考慮しはじめた模様だ

炭坑夫の勝利で罷業解決か

(リスボン二十九日發) ワシントン來電 米國東部炭田の炭坑總罷業は炭坑夫組合員の壓倒的多數が罷業決行支持投票を行つた結果、三月三十一日の現勞働契約満期と共に愈々總罷業不可避とみられてゐたが、勞働長官パーキンスが二十九日炭坑夫組合側が政府の調停案を受諾したと發表するに及んで僅かに曙光がみられるに至つた、但し炭坑夫側は依然としてその受諾を流してをり、これからみても政府の調停案が勞働者側の要求を略々承認してゐることは明らかだが、パーキンスは調停案の内容を發表せず、ただ調停案が米國の戰時物價安定機構を破壊するやうなものではないと釋明に努めてゐる

ダンチツヒ陥落

(ベルリン三十日發) 總統本營三十日正午發表 丹チツヒ灣地區においては西部高原並びにヴィスツラ低地に激戦が続けられたが、ゴーテンハーフェン並びにダンチツヒは戸毎の凄愴なる戦ひと完全なる港灣施設破壊の後、遂に敵手に落ちた

【米 洲】

米ソ三票を要求

(リスボン二十九日發) ワシントン來電〓ホワイ
ト・ハウスは二十九日次の通り發表した
過般のクリミア會談でソヴェト代表は新國際機
構案中の總會に白ロシア、ウクライナ兩共和國
も獨立加盟國として參加することを承認するや
う要求した、これによりソ聯は總會において合
計三票の投票權を獲得することとなるが、米國
代表は米國もまた三票の投票權を確保すること
を條件としてソ聯の要求に同意した
ワシントン外交消息筋の意見によれば米ソ兩國
が各三票宛の投票權を欲してゐるのは英國が英本
國に加へ各自治領の票數を合して合計六票の投票
權を有するのに對抗せんとする意圖に基づくことと
されてゐるが、それでなくてはへ大國の專横を憤つ
てゐる小國は、この新たな米ソ兩國の要求を鵜
呑みにする筈はなく桑港會議紛糾の一要素となる
だらうとみられる

海兵隊沿岸警備隊大將

(リスボン二十九日發) ワシントン來電〓海兵隊
及び沿岸警備隊に大將の位を新設する法案は先週
成立したが、大統領ルーズヴェルトはこの法律に
基づき海兵隊司令官アレキサンダー・ヴァンダグ
リフトおよび沿岸警備司令官ラッセル・ウェーシ
ュをそれぞれ最初の大將に指名した、ルーズヴェ
ルトは更に聯合艦隊副司令長官リチャード・エト
ワーズ、第八艦隊司令長官ヘンリー・ヘウイット
第七艦隊司令長官トーマス・キンケードの三海軍
中將をもそれぞれ大將に指名した

開戦以來五萬噸の對地艦砲射撃

(リスボン二十七日發) ワシントン來電〓キング
の米海軍年次報告は一九四四年における米海軍作
戰の自讃に終始してゐるが、艦砲の効果に關して
は次の通り述べてゐる

現在海軍用の各種大口徑砲彈藥の月産高は前大
戰全期間の引渡量を凌いでゐる、艦隊勢力が東

京に近接するに従つて發射彈數も益々多くなる
一九四一年十二月八日から一九四四年七月まで
の間に米海軍艦艇は對地射撃に四萬噸の砲彈を
發射した、この數字にはサイパン砲撃は含まれ
てゐない、しかして六月十三日より七月十二日
に至る一ヶ月間のサイパン作戰に米艦艇四十四
隻が發射した砲彈は實に一萬一千噸に上るので
ある

海軍艦艇擊破船隻發表

(リスボン二十七日發) ワシントン來電〓米太平
洋艦隊司令長官キングは二十七日海軍長官フォレ
スタルに提出した海軍年次報告中で、日本海軍に
擊破された米戰闘用艦艇を左の通り發表した(擊
沈は既發表)

一、一九四四年十月サマール島沖海戰において日
本艦隊の砲撃により損害を蒙りたるもの、護送
空母〓「サンテイー」「スワンシー」「ホワイ
ト・ブレインズ」「キツトカン・ベイ」計四隻、
なほ同戰闘においては護送空母「ガンビヤー・
ベイ」及び「セント・ロー」、驅逐艦「ホール」
(二、五〇〇噸) 及び「ジョンストン」(二、
五〇〇噸) 護送驅逐艦「ロバート」(一、三〇
〇噸) の五隻が擊沈されてゐる
一、一九四四年十月十九日レイテ島沖において觸
雷により大破、驅逐艦「ロス」(二、五〇〇噸)
一、一九四四年十月二十日レイテ島沖において日
本軍雷撃機の攻撃により大破、輕巡「ホノルル」
(九、六五〇噸)

獨逸艦乗組員を戰時俘虜

(リスボン二十九日發) ブエノスアイレス來電〓
アルゼンチン政府は日獨兩國に對する宣戰布告に
伴ひ五年前モンテヴィデオ港外で自沈したドイ
ツ戰艦「グラフ・シュベール」號の乗組員約九百
名を新たに戰時捕虜として遇することになつた旨
二十九日發表した、自沈當時乗組員の數は一千名
を越えたが、そのうち現在約九百人がアルゼンチ
ンの各地に抑留され、アルゼンチン婦人と結婚し
てゐるものも相當ゐる

【東 亞】

蔣の獨裁的地位を非難

(リスボン二十七日發) 米國の急進的傾向を代表する「ニュー・レバブリック」誌の最新號は「重慶の袋小路」と題する論説を掲載、蔣介石を獨裁的地位から引摺りおろせと次の通り要求してゐる。重慶も延安も紛争を解決する意思が毛頭ないが重慶が國際宗全保障會議の常任理事國となり得る必須の前提條件は國內の政争を完全に解決することではない、重慶の根本問題は軍事上のそれではなく政治上の問題だ、まだ對日戰を終へるまでに内亂勃發を避ける爲には、支那戰線における反樞軸軍の最高司令官を任命し米、英、重慶、延安の各軍を指揮する全權を與へねばならない、この最高司令官は蔣介石では不可能であり、どうしても米軍將官でなければならぬ、要するに重慶に對する米國の政策は蔣介石に「大元帥」の地位から降りて貰ふことだ

ブリッダス重慶着任

(リスボン二十八日發) 重慶來電「前米國務省中米課長エリス・ブリッダスは二十九日米國大使館參事官として重慶に到着した

【ドイツ】

敵に屈するより榮光の死を選ばん

(ベルリン二十九日發) 東西兩戰線において最大の危機に直面するドイツは今や全く勝敗を度外視して最後の一人まで戦ひ抜く決意に燃えてゐるがドイツ宣傳相ゲツベルス博士は「ダス・ライヒ」誌の最新號で反樞軸の前に膝を屈するよりは名譽の死を選ぶのみとつぎの通り強調してゐる

われわれは國民的個性を棄てて敵の意のままとなるか或は最後の一人まで戦ひ抜くかの歧路に立つてゐる、しかしながらドイツ國民も指導者も敵の軍門に降つてなにも得ることが出来ぬのだ、われわれは今次戦争で多くのことを學んだがわれわれよりも遙かに劣つた敵に叩頭する術を學ばなかつた、われわれはいかに苦しくとも戦ひ抜く以外に途はない、ドイツ國民は

今次戦争で多くのものを失つた、残されてゐるものは名譽と生命と自由のみだ、われわれはこの残された貴重なものを守つて仆れるまで戦ひ抜かうではないか

またドイツ軍司令部の報道班員クルト・デイトマール中將も二十九日夜のラジオ放送でただ敢闘の一途あるのみと次の通り述べた

これ以上戦ひ続けることは何の意義があるのかこれは新たな事態に直面したドイツの前線銃後にとつて日増しに切實となつて行く重大問題だ、しかしながら敵がドイツ國民を残らず殲滅する決心を固めてゐる限り、われわれはただ最後まで戦ひ抜く以外に途はないのだ

食糧配給に新體制

(ベルリン二十九日發) 戦局の急激な變化と共にドイツの食糧問題は多大の關心をもつて注目されてゐるが、二十八日ドイツ政府より公表された新食糧配給率によると相當思ひ切つた變化がみられ來るべき新事態に對する過渡期としての相様が觀取される、肉、油類、パン等の主要食糧品の配給量には大した變化はなく、若干の減量をみただけだが、配給體制に新しい構想が加へられて超非常時に適用するいろいろな措置がとられてゐる、新配給體制の重點をなすものは配給の安易化であり食糧切符には從來のやうな品種別の區別をやめて番號を打ち、食糧現物の入荷状況や貯藏状態によつてその都度配給品種及び量を發表公告して國民に配給することになつてゐる、この新體制によつて配給制度に伸縮性が與へられ、切符はあつても現物がなく配給系統が滞滯するといふやうなことがなくなるわけだ

【歐洲】

亞抑留船舶佛に反還

(リスボン二十九日發) パリ來電「ド・ゴール政權當局はアルゼンチンの對樞軸宣戰布告に伴ひブエノスアイレスに抑留されてゐたフランス商船の返還を受け、これをフランス向け食糧輸送にのみ使用することに決定した旨二十九日發表した、しかしこの措置は直ちに兩國の外交關係再開を意味するものではないと附言した

武装解除の約束

—ヴァンデンバーグの

演説に關聯して—

「エコノミスト」誌

一月二十日號

△共和黨議員としてのヴァンデンバーグ

米共和黨上院議員ヴァンデンバーグの演説では政治問題が可成重要な位置を占めてゐる、開戦當時における彼の言行はしばしば「孤立派」的だといはれたものだ、しかし「孤立派」なる言葉は誤解に導き易い、ヴァンデンバーグは一度もナイヤリンドバーグ式の狂熱的マゾヒズムの孤立主義を表明したことはなく、却つて米國が公然と戦争に血と財貨とを注入することにより得る點は喪ふ點よりも多いと確信する一派に屬してゐたのである日本軍の眞珠灣攻撃で最高調に達した諸事件に關するヴァンデンバーグの信念が眞摯なるものであつたこと、さらに彼が現在唱道してゐる國際協調主義も曾つての態度と同様穩健な用心深いものではあるとしても、とにかく同様に誠實なものであるといふことは諸種の事實に徴して明かだ

米國外交政策が兩大政黨の積極的な同意がなければ決定し得ないといふことは既に定理となつてゐる、一九一九年以後における米國外交政策失敗の一つは——究極のところまた最大の失敗の一つでもあるが——ヴェルサイユ條約が純粹に民主黨の手になる製品として米國民の前に提出されたことであり、以上が原因となつて共和黨の攻撃を浴びたといふことであつた、ルーズヴェルトは以上の失敗を避ける意向であることを既に幾度か示唆してきた、共和黨員が發表する意見はすべて徹ることとならうが、その代り彼等の言説は米國の行動の限度を示す援けにもなるのである

△武装解除後も監視

ヴァンデンバーグの所論の骨子は左の提案であ

る
米國はダンバートン・オークス國際組織機構案の運命如何に顧慮することなく現在の反樞軸諸國と「鞏固な」盟約關係に入るべきだ、その目

的はドイツまたは日本のいづれもが武装解除の破棄を斷行するのを阻止するにあり、この武装解除條項は日獨兩國が敗戦した時兩國に強制さるべきものである

ヴァンデンバーグはさらに左の通り提案してゐる右の同盟を遂行するに當つて差當り大統領に特權を附與し事前に議會の承認を求める義務を一切免除すべきである、大統領は現在戦時下にあつて陸海軍總司令官として自己の立案した戰略的諸計畫を自由に實施してゐるが、日獨兩國の武装解除といふ反樞軸諸國の一致した政策遂行に當つても同様に自由に振舞へなくてはならぬ民主黨系大統領の治下における共和黨上院議員が以上の意見を述べたのだから大讓歩であるしかしてヴァンデンバーグの提案は左の二點で重要な意味を持つてゐる

△前例なき外交政策宣言

(一) 將來の米國外交政策に關し身分ある米國政治家が行つた宣言としては彼の提案が最初のものであること、從來行はれてきた議論は積んで山を成すほどの多數に上るが、これらは殆んどすべて將來の國際的權力體の組織に關する議論であり、聯盟の誓約に替るべき新機構の文書であつた、これら議論は事實上行政問題に限られて來たが、これは機構に關係があり、機構は政策遂行のために驅使されるもので政策とは別個である、コーデル・ハルの國務長官在任中、彼の言葉から政策に關する言明を引出さうと種々試みられたが、總て苦痛を感じるまでに内容空虚な一般論の集合を得たほか何ものをも引出すことが出来なかつた、ステチニアスが國務長官就任以來貢獻したのは米國は(多分英國の國境も含めて)如何なる歐洲諸國の國境をも保障しないであらうといふ消極的な政策を表明した點に過ぎなかつた、ステチニアスは政策に關して完全に沈黙を守つてゐたため、ルーズヴェルトが最近に至り

われわれは戦争に附隨する政治的責任を迴避し得ないしまた迴避するを欲しない、
と言明したとき彼の言葉は從前の態度から一步前進したものだと歡迎された程なのである
多數の政論家や新聞の啓蒙的努力にも拘らず、

安全保障機構の組織とこの機構が遂行すべき政策とは別個であるといふことを一部民主黨領袖連は承知してゐるのかどうか疑はれる場合がある、上院議員コナリーはヴァンデンバーグの提案が恰もダンバートン・オークス案と對抗して樹立されようとしてゐると思ひ込んでゐるやうな態度を示した、そのやうな對抗關係が発生すれば大へんな悲慘事とならう、兩者は勿論全然別個であり別個の行動計畫に關する判然區別さるべき提案である、十分組織の整つた安全保障機構において參加代表が細心考慮の一票を投すべき目當となるやうな何らの政策理念を持つてゐないこともあり得よう、また遂行すべき政策に關して大國間の意見が一致してゐる場合は普通の外交的連絡機關以外に特別な機構が全然なくても政策は實施し得よう、さらにこれは最善の場合であるが安全保障機構と機構を運用すべき政策との二つが揃ふ場合もあり得る、機構と政策の以上のごとき區別が判然と把握され機構と政策とに關し確實な意見の一致を見ない限り、永續的な平和に關する見透しは曾ての國際聯盟においての見透しと同様覺束ないものとならう

△武裝解除強制の意味

(二)英國において重要なことはヴァンデンバーグが提唱する政策の性質である、彼は武裝解除強制のための同盟を提案したとき、この同盟が右以外さらに何事かを行ふ可能性がないとは明言しなかつた、しかし特にステチニアスの國境保障拒絶聲明が殆んど全米國民の賛同を得たことを併せ考へるとき、ヴァンデンバーグの提案が武裝解除強制以外の目的を持つてゐないことは明かに察知し得る

ヴァンデンバーグの演説は非常な廣範圍に亘る米國民の賞讃を得たが如何に喝采を博したといつても、一場の演説から同盟の締結を見るに至るまでには長途の困難な逕庭があり、米國政界の現狀に通じてゐる者はヴァンデンバーグの提唱が最後のな形を採ることに大金を賭ける氣にはならないであらう、米國の現狀ではさらに遠大な提案が如何なるものにせよ受け入れられることは極めて困難だと見ねばならない、結局のところヴァンデンバーグの演説とその受諾とが意味する所は、米國が日獨兩國の武裝解除を自動的に強制するやう全

國力を傾注する可能性が十分にあるといふこと、しかし右以外現在反樞軸諸國が採用しうな政策の何れに對しても米國が支援を約束する可能性は極く少いといふことである、議論は以上の點に止まらず明白に述べてゐる部分もあり、含意的な部分もあるが、更に推し進められてゐる、日獨兩國の武裝解除を強制するといふ誓約は與へても、右以外の政策に對しては明確な支援の言葉と與へたがらないのであるが、そればかりか當の誓約すら何か別の政策が發展するならば著しく弱められ撤回さへもされ兼ねない有様なのだ、ヴァンデンバーグは「余の提案が受諾されればボーランド分割とか英ソ條約、佛ソ條約とかいつた一方的または双務的行爲は不必要になると考へる」と述べてゐる、かかる議論を極端に推し進め他の諸國に對して「日獨兩國の永久的武裝解除を米國が保障することが平和保障のために必要なすべてである」と心得よ等と要求することが不可能なのは明かだ、しかし國民が外交問題に關して影響力を持つてゐる國は皆然りであるが、米國の取極めた協約にはすべて相手國が行儀よい振舞をすることといふ無言の條件がついてをり、米國の相手となる諸國が各自の打算を行ふに當つては以上の事實を勘定に入れて置く必要がある、これらの諸國が各自の政策に關して「われわれの政策は始めは甚だしく完全主義者の心證を害するであらう、しかし米國民もわれわれの政策が多年に亘る努力の結果完成すれば明かに世界平和に寄與するものであると知れば、武裝解除保障の即時實施政策とは比較にならぬまづい政策だ等とは思はないだらう」とするのは賢明な考へ方かも知れない、そして西歐諸國の善隣結合政策も望むべくんば右のやうな政策の一つであらう、しかし爾後長年に亘り囂々たる議論の標となるやうな政策、しかも一度び熱が冷めれば反樞軸國の行動の正當性に關して考へある人士に尤もな疑問を起させるやうな政策は、米國人に甚しい打撃を與へ、反樞軸諸國の誓言に對し響の聲に應ずるが如く熱意をもつて答へようとの氣持を打ち碎いてしまふだらう、これはまた獨り米國民に限らず、公平にいつてあらゆる民主主義國民についても同様である

△提案は實現するか

右の範疇に間違なく屬する政策は即ちドイツ本土の割讓、ドイツ人の強制追放、ドイツ本土の分割、及びドイツ國民の生活水準を永久的に引下げ

おくやうな經濟的不具狀態の賦課等である、ドイツ國民に對する狹範圍な且つ短期間の懲罰は以上とは別問題だ、これは一九六〇年になつて歴史的性質を帯びた論争を起すほか、議論の種とはならないであらう、またヴァンデンバーグが目下提唱してゐるやうな強制的且つ一方的武裝解除も許容されるであらう、何故なれば一九六〇年になつても右措置の必要性もしくは正當性を疑ふ聲は米英國民の間からはまづ發せられないだらうからである、しかし右以外懲罰的であると同時に永久的でもあるやうな政策は論争を捲き起し疑惑と不一致とを醸成しよう、これらの政策は強制といふ重荷の棄却を欲してゐる懶惰、不決斷且つ事待ち顔の思想家達に絶好の論争題目を提供するであらう、一部の米政界領袖特にモーゲンソーが殘酷なドイツ抑制案に加擔した事實を誤解してはならぬ、これら提案は米國が條項を強制することについては何ら確約を與へてゐないのだ、もし如何なる誓約にせよかかる種類の誓約を政府が與へるならば政

温度の測定

E・S・グルー「ザ・イラスト
レイテド・ロンドン・ニューズ」

△攝氏寒暖計の生れるまで

醫師が患者の體温を測るに用ひる體温計は臨床用華氏水銀寒暖計であるが、英語を用ひる國民は最近二百年忌を迎へたセルシウス氏の寒暖計の方が科學的目的の點で優つてゐるにも拘らず華氏寒暖計に執着してゐる、ドイツの物理學者ダニエル・ガブリエル・ファレンハイト (Daniel Gabriel Fahrenheit) (一六八六—一七三六) は初めて信用すべき目盛の寒暖計を作つた人であつた、彼は先づ氷の融解點を零の起點とし人間の體温即ち血液の温度をそれより九十六度高いものと定めたのであるが、これは殆んど正確に近いとはいへ未だ全く正確ではなかつた、しかるに彼が最後に作つた寒暖計では、氷點を三十二度と定めた、といふのは彼は鹽を氷と混合して氷點以下の温度を實現し得ることを知つたからであつた、一方最高目盛は沸點二百十二度であつた、沸點では、最早いかなる誘因を加へても目盛は不動であつた、フラン

府は必ず議會の反對に遭遇するに違ひない、正當な怒りを誘發することと將來幾年にもわたる重い賦課に確約を與へることは別問題である、現在の事態を歴史的關聯の裡に置いて眺め得る者にとつてヴァンデンバーグの演説は約束であると同時に警告でもなければならぬ、ヴァンデンバーグの演説によつて米國が従來行はれた如何なる施策をも遙かに超越して武裝解除の強制といふ仕事を引受ける可能性のあることが示唆された點で、これは約束であり提案に寛恕の條件を附してゐるといふ點でこれは警告なのである

溫和であり且つ永久的維持が可能であるやうな決定が米國以外の諸國の利益に反するのであれば日獨兩國の軍備撤廢に對する米國の保障を得るための代償として以上の決定を各國に課さうと試みることは當然各國の憤懣を買ふでさう、しかしかかる決定は明かに英國の從來一貫した政策の線に沿ふものであることは明かであり、また直ちに合致するに至るであらう

スの物理學者ロイマー (一六八三年—一七五七年) はファレンハイトの方式を踏襲したが、彼は水銀の代りにアルコールと水の混合物を使用し、ファレンハイトと同じく、氷點並びに沸點を定點と定め、兩者の間隔を八十度に分割した、列氏寒暖計も又時の試煉によく耐へ得てゐるが、瑞典ウクサラの天文學者アンダース・セルシウス (Anders Celsius) (一七〇一年—一七四四年) が一七四二年氷點を百度、沸點を零度とする目盛法を提唱するに至り、初めて、今日見るがごとき科學用寒暖計が従前のものに取つて代らんとする氣配を示したのであつた、瑞典の植物學者リンネ (一七〇七年—一七八年) がセルシウスの目盛法を逆に氷點を零度沸點を百度とした、かくて一般の認める所となり今から二世紀前攝氏寒暖計の基礎は確立した

△温度測定の歴史

寒暖計の正確な淵源は詳かでない、蓋し古來寒暖計の考案は際限なく行はれ考案者の數も無數であるからだ、温度を記録せんとする構想は遠くアレキサンドリアのヘロに遡る、彼は二千年前種々の機械を發明したが、その中に消火器と氣體膨脹寒暖計らしきものが含まれてゐた、爾來今日に至る迄に發明家としてガリレオ及びサンカトリウス

ジエステイポリタナスの名が見える、後者はガリ

レオの構想を應用して熱のある人間の體温を測つた、その他にも幾多無名の發明者があつたが、畫期的寒暖計は三世紀前タスカニー公フエルディナンド二世によつて考案された、この寒暖計は氣壓と無關係であつた、初期の寒暖計は水をもつて充され、軸は十度毎にエナメル珠數玉で目盛され、その中間の目盛は綠色、黒色の珠數玉で示されてゐた

これと原理の等しい寒暖計が英國では、ロバート・ボイルによつて作られた、彼は氣體膨脹の法則の創始者であり、且つチャールズ二世が一六六二年設立し英國における科學復興の先驅となつた王立科學協會の會員であつた、ハレー彗星で知られるハレーは水の沸騰點を定點とすることを提議したが、フアーレンハイト以前に氷の融解點と水の沸騰點とを寒暖計目盛上二個の定點ときめることを唱へたのは、またまた伊太利人カルロ・ルナルデニであつた

近代的な溫度測定器はここに初まり、それは一層高い熱、一層低い冷氣、また兩者の一層微細な度をも驗するに至り構造は單純から複雑へと進んだ、それらを説明する前置として初期の一層單純な形式のものを若干擧げてみる、金屬棒の熱による膨脹を利用した最初の金屬寒暖計がムツシエンブロックによつて作られた、十九世紀の初めクリヒトンは異なる膨脹係數の二金屬を接合して出來た金屬板の熱によつて生じた歪曲を利用した、ボイレは、かくの如き二金屬の接合點では熱が電流を生ぜしめる事實を利用して、砲身に白金線を挿入することにより攝氏千百度まで測定した、ホイーストストーンはこれに改良を加へた、レグノトルは彼の氣體寒暖計を考案した、しかして非常な高温低溫をも究めんとする際の伴侶としてケルヴィン卿は到底達し得ない最低溫度の絕對零度から始まる絕對寒暖計の目盛を提唱した、この目盛によれば氷の融解點と水の沸騰點は、それぞれ攝氏二百七十五度二分と三百七十三度二分である、この絕對目盛法は溫度測定の科學の發達上からも、將また、その必要に應じて發達した計器としても大いに意義がある、水銀寒暖計は人體及び人體が陸に

海に空において接觸する一切ではないが、大部分の環境物の溫度を測定するにはことが足りる、ところが熔鑛爐で金屬その他耐火物質と融解した氣體を液化或ひは固化する際に生ずる溫度が残つた問題である、ここに至つて寒暖計は高温計に席を譲る

△各種高温計について

高温計中理論の最も單純なものは光學高温計である、自ら光を發するほど高熱な物體にあつてはその熱せられた物體の光度を測定すれば溫度が判る、高温計の發明前にあつては、熔鑛爐或ひは熔金の溫度を職人の熟練に信賴して單に肉眼によつて測定したものだ、この方法を應用して熱せられるに従つて上昇する金屬の溫度を測定すれば、色の變化を注意することによつて大體次のやうな熱度を知り得た、即ち最初ほんのりと赤らみかけた時の溫度は華氏八百七十八度、鈍赤色は華氏千百十二度、櫻赤熱は華氏千二百九十二度、淡赤色は華氏千五百六十二度、黃色は華氏千八百三十二度、白熱は華氏二千二百二度であつた

より正確な數字は近代的光學高温計によつて得られる、此處では光度が既知の溫度に保たれてゐる對照用熱體(たとへば發光纖維)と直接比較される、若し對照物と驗溫の要ある物體とを望遠鏡を通して相並んで觀察し得るならば、一層の正確さと便利とが得られるわけである、これは熔鑛熔の溫度を測定する上には、特に望ましい、その理由は熔鑛爐内では瓦斯の妨害があるからである、鑄鑛爐に觀測穴を設け接眼鏡を通して輻射を反映せしめるに至つて一層の改良が得られた

高温計にはまた電氣高温計があり、物體が熱せられた場合に生ずる電熱の差異を基準とする、この電流値が電流計に記録され、電流を發生せしめた溫度は、電流計の目盛をば標準器と對照して推定される仕組である

次に氣體を液化する際生ずる非常な低溫の測定器を詳しく述べる暇はないが、一應目を通さう、その場合の低溫は、ケルヴィン卿の絕對目盛で、絕對零度の 0° ・ 0° 四五度にまで下る場合がある、オックスフォード大學のサイモン教授は絕對零度の千分の一以内の低溫まで測定し得る可能性さへあると言つてゐる

同盟通信

海外電報

(74)

琉球作戰に關しては日本大本營の時期を失せぬ

發表にも拘らず、米國側は慶良間列島の上陸について長い間沈黙を守り、一日沖縄本島の上陸開始と同時に始めて作戰の全貌を明かにした、一日のニミツ公報によれば、上陸軍は陸軍第二十四兵團及び海兵隊第三水陸兩用部隊から成る新編第十軍である、公報は本作戦が太平洋における最大の水陸兩用作戰なることを指摘、世界最大の機動部隊によつて掩護されたと誇示してゐるが、その編成をみれば確かに現在反樞軸軍の動員し得る全海軍勢力がこの一點に集中されたといつても過言ではなく、作戰全般の戰術指揮は第五艦隊司令官レイモンド・スプルーアンズこれに當り、水陸兩用作戰の指揮者は例のリッチモンド・ターナーである、海軍の參加するものはマーク・ミッチャーの第五十八機動部隊、中將サー・バーナード・ローリング麾下英國太平洋艦隊機動部隊、少將デュー・麾下水上戰團部隊、少將ダーズン麾下護送空母戰隊等あらゆる勢力が集つてゐるが航空兵力の優位をあくまで確保せんとする敵はこの他にも西南太平洋及び中部太平洋から陸上基地航空隊を驅り出したのみならず、本來ならば戰略爆撃専門の筈の第二十二航空隊に屬するP29までが九州の戰術目標に攻撃を加へ來つたのだ



慶良間列島の侵攻は敵發表によれば沖縄本島作戰の準備作戰であり、海軍少將カイランド指揮の水陸兩用作戰の下に陸軍少將ブルース麾下第七十七師團が上陸したが、同島に重砲陣地を設けた敵は沖縄本島上陸作戰に掩護射撃を行つてゐると報ぜられる

だがみよ！ 大本營發表に明かなごとく、物量を持つ敵はわが海空の特攻隊の好餌となり、既に艦船百隻以上の犠牲を出した、世界最大の水上兵力またよし、我はこれに世界最大の出血を要求するのみである

目次

ナチ黨ドイツ國民に布告	九六〇
米國の海外永久基地獲得計畫	九六〇
英トラック奪取の野望	九六〇
延安、董必武の任命を承認	九六一
【反樞軸陣營】	
ソ聯波假政府の參加を要求	九六一
米英、ソ聯の要求を拒絶	九六一
ソ聯の要求嵐を呼ぶ	九六一
【西 亞】	
イラク攝政近く米國訪問	九六一
【英 帝 國】	
今年度戰時歲出新記録	九六二
太平洋共同防衛を提唱	九六二
【歐 洲】	
キュストリン陥つ	九六二
ダンテツヒを波領に編入	九六二
ユーゴ政權波假政府を承認	九六二
獨占領副司令官	九六二
大統領使節ローマ出發	九六二
新駐羅士大使着任	九六二
【東 亞】	
英主力艦、琉球に出勤	九六三
【米 洲】	
炭坑罷業の危機一應回避	九六三
依然モーゲンソー案を支持	九六三
戰線に妻君を送れ	九六三
【ド イ ツ】	
伯林疎開措置	九六三
【ソ 聯】	
政府機關紙スペインを罵倒	九六四
駐勃公使を召換	九六四
【軍事情報】	
米國の航空機生産原價	九六四
「サンダーボルト」の新型ロケット砲	九六四
小火器用彈藥増産計畫縮小	九六四
【特 輯】	
アフリカ雜記帳(上)	九六五
反樞軸國際學生聯盟結成	九六六

克服か死か

ナチ黨ドイツ國民に布告

(ベルリン一日發) ナチ黨本部は一日夜次の通り全國民に布告した

「ナチ黨員並びにドイツ國民の一九一八年の崩壊以降われ等はドイツ國民生存の權利のための戦ひに悉く生命を捧げてきた、今や至上の試煉の秋は到來した、われ等國民を脅威する新たな奴隸制度の危険はわれ等が至高の奮闘を要求する、爾今ドイツ國內に侵入した敵に對する戦ひは至るところ最大の決意のもとに全く假借なく遂行されねばならぬ

といふのが軍命令である、ガウライター(地方指導者)クライスライター(地區指導者)並びに政治上その他各組織の指導者すべては各自の地方並びに地區内において戦はねばならない、各自の地區が敵軍の攻撃を受ける場合、總統の明示的指令を受けることなく當該地區を立ち去るもの並びに最後の息を吐くまで戦はぬものは悉く脱走兵として處分されるであらう、勇を鼓して一切の逡巡を克服せよ、残るはただ一つの標語のみ「克服するかしからずんば死あるのみ」ドイツ國萬歲!アドルフ・ヒトラー萬歲!」

米國の海外永久基地獲得計畫

(リスボン三十一日發) 米國が戦後太平洋に永久基地を獲得して世界制覇を完全ならしめんとする野望は桑港會議を前にして漸く表面化して來たがロイター通信社のワシントン特派員ランキンは、二十九日米國の海軍當局筋では米國政府が戦後太平洋上の諸島嶼に米軍恒久的基地を要求するものと信じてゐると報じ、その計畫について次の通り述べてゐる

米國は硫黃島を永久的に占有して、グアム島及び南鳥島と共に形成する三角形基地の尖端たらしめる、その他島嶼基地として豫定されてゐるのはトラツク島、カロリン諸島、マーシャル諸島、マリアナ諸島、パラオ諸島等で、就中トラツク島は太平洋最良の碇泊地として眞珠灣軍港にと

つて代り、米國のシンガポールとなるであらうワシントンの當局筋は桑港會議に先立つて四月中旬ワシントンに開催される植民地委任統治會議の準備を進めてゐるが、右の諸基地は國際的に使用される可能性があるにしても、委任統治以外の國際管理形式は見出し得ないと信じられてゐる、今一つこの會議において論議の對象となるべきものにまだ住民に完全な自治制の用意がないと思はれる小植民地がある、この種の地域は植民諸國の代表者から成る地方委員會によつて共同管理されることが最上で、委員會の數は太平洋地域に三、アフリカに四、カリブ海に一といふのが適當だとみられてゐる

以上の情報からみるも米國が英帝國の没落を機會に著々世界制覇の計畫を進めてゐることは今や公然たる事實となつてきてゐる

英トラツク奪取の野望

(リスボン三十一日發) ワシントン來電「アーミー・アンド・ネイヴィ・ジャーナル」紙は三十日次の通り報道してゐる

英國内には英國太平洋艦隊の基地として使用するため、トラツクを奪取すべきだとの論が行はれてゐる、英國艦隊の活動がこれまで活潑でなかつたのは一つには作戦基地がなかつたためだ英國艦隊もニミッツが太平洋艦隊を組織したと同様に組織されねばならない、即ち英艦隊もまた工作船、油槽船、彈藥補給船その他からなる艦隊列車を随伴せねばならず、且つ貨物船及び油槽船を無限に必要とするのであり、このためには是非とも必要缺くべからざる作戦基地がなければならぬ、従つて英國がトラツクの基地化を狙ふ外に蘭領東印度の戰略的諸島嶼に對する要求乃至昭南の奪回を企圖しても蓋し當然であらう、因にトラツク島は日本軍守備隊が依然確保してゐる

延安、董必武の任命を承認

(リスボン三十一日發) 重慶來電「延安政權は桑港會議に對する重慶代表としての董必武の任命を承認した旨三十日發表した

同盟通信

(第三種郵便物認可)

【反樞軸陣營】

ソ聯、波假政府の参加を要求

(ストックホルム三十一日發) モスクワ放送はソヴェト政府が米英重慶三國政府にたいし、ポーランド假政府代表を桑港會議に参加せしめるやう要求した旨三十一日次の通り發表した

ソヴェト政府は米英重慶三國政府に覺書を發しポーランドの民意を代表する新政府が桑港會議の開催前に樹立されぬ場合、ポーランド假政府は現在ポーランドの全域を統治し、ポーランド全民衆の支持を得てゐる行政機關であるから同政府を桑港會議に招待するやう提案した、ソヴェト政府は未だ外交關係を有してゐない印度、ボリヴィア、パラグワイ等の諸國の會議参加に既に同意を與へたのであるから、米英兩國政府がポーランド假政府を未だ承認してゐないことは同政府の會議参加に反對する理由となり得ない

米英、ソ聯の要求を拒絶

(リスボン三十一日發) ワシントン來電によれば米國務省はポーランド假政府を桑港會議に参加せしめよといふソ聯の要求を拒絶し、クリミヤ會議の決定に基く新ポーランド統一假政府が桑港會議開催前に樹立され代表を派遣出来るやう希望する旨三十一日夜正式に發表したといはれる、他方英國政府も米國と歩調を合せてソ聯の要求に同意し兼ねる旨ソヴェト政府に通告した旨發表した

ソ聯の要求嵐を呼ぶ

(リスボン三十一日發) ソヴェト政府がポーランド假政府の桑港會議参加を要求、米英兩國が一蹴したことは、桑港會議における投票權問題で唯さへ暗雲低迷してゐた會議前の雲圍氣に嵐を呼び入れたもので、米英ソ三國間の關係は新たな角度から激化せしめられるに至つてゐる、元來ワルシヤワのポーランド假政府も、ロンドンの亡命ポーランド政權も共に桑港會議からの除外を不満として抗議を提起してゐたものだが、ソ聯が恰もクリミヤ會議の決定に基く新ポーランド統一政府の樹立

が延々となつてゐる責を米英兩國に歸すかの如き口吻を洩したことは、米國輿論の尖い反撥をかつた様子で、ワシントン來電によれば國際平和協力關係を主張する上院共和黨議員ハロルド・バートの如きは

米國が承認してゐるロンドンの亡命ポーランド政權を桑港會議に参加させぬのに、承認してもおらぬ「クレムリン製」のワルシヤワ政權を參加させねばならぬ理由は斷じてないと敦國いたと傳へられ、他方英國の反響はソ聯に遠慮して多少微溫的だが、米國と同じ趣旨でソ聯の要求に反對してゐることは明瞭で、ロイター外交記者のランダル・ニールは三十一日英國政府の意向を反映して次の通り論じてゐる

英國はクリミヤ會議の決定に基いて樹立される新ポーランド統一政府のみが桑港會議に参加する資格があることを再三強調してきたが、この態度は今日でも些かの變化もない、ワルシヤワの假政府がソ聯、チエコスロヴァキア、ユーゴスラヴィアの三國のみによつて承認され、ロンドンの亡命政權が爾餘の反樞軸諸國によつて認められてゐるといふ嚴乎たる事實はいづれの政權もポーランドの代表として桑港會議に出席出来ることを裏書して餘りあるものだ

いづれにしてもソ聯今回の要求は桑港會議そのものの成功は勿論、その開催すら危しするもので、ロンドンからのAP電報によればロンドンを訪問したルーズヴェルト特使のバーナード・バルーチは三月十一日ロンドン駐劄英國大使ジョン・ワイナントと相携へて英國首相チャーチルの門を叩き善後策を鳩首凝議したといはれ、米英兩國政府首腦も直通長距離電話で、頻繁に意見を交してゐる様子だ

【西 亞】

イラク攝政近く米國訪問

(リスボン三十日發) バグダード來電によればイラク攝政エミール・アブドウル・イラーは米國大統領ルーズヴェルトの招請に應じ米國を訪問することとなつたといはれる、攝政は四月十九日ワシントンに到着、大統領の賓客として數日間滞在の後、米國及び南米諸國を訪問の豫定といはれる

【英 帝 國】

今年度戰時歲出新記録

(ストックホルム三十一日發) ロンドン來電 英國大藏省は三十一日をもつて終る今會計年度の英國戰時歲出が新記録に達した旨同夜發表した、右發表によれば通常歲出は六十億磅を突破したといはれるが、かかる巨額の歲出額は空前のことであり、これを加算する時は全戰爭期間を通じての英國の戰費總額は約二百八十億磅に達する

太平洋共同防衛を提唱

(リスボン三十日發) ワシントン來電 ニュージーランド首相ビクター・スレーザは英聯邦會議出席のため二十五日ウエリントンを出發したが、ロンドンへ向ふ前にワシントンに現はれ、二十九日國務長官ステチニアスを訪問した後、記者團と會見次の通り太平洋の共同防衛を主張した

太平洋戰域の共同防衛については關係諸國は完全な理解に到達してゐるから問題はない、桑港會議では戰後設置される安全保障機構の管轄下における太平洋その他世界各地の共同防衛が考慮されるべきであり、各地區において地域的な理解の確立が必要だ、濠洲、ニュージールランド米國、英國、フランス及びオランダの太平洋關係諸國は安全保障機構の組織内において、太平洋防衛協定を締結することが出来よう、しかし太平洋の平和保持を目的とする安全保障協定はかかる防衛協定とは自ら性質を異にし、單なる地域的協定といふより寧ろ國際的計畫に屬する問題である、近くロンドンで開催される英聯邦會議では英國自治領諸國は諸般の事項につき協議を重ねる豫定であるが、これによつて英國自治領が桑港會議において共同戰線を張るものと豫測することは出来ない

【歐 洲】

キュストリン陥つ

(ベルリン三十一日發) 總統本營は三十一日の公報をもつてキュストリンのドイツ軍要塞が激戰の後數的に優勢な赤軍の前に屈した旨發表した

キュストリンはベルリン東方約六十軒オーデル河東岸にあり、フランクフルトと共に首都防衛線上の最大要衝で、スターリン元帥はさる三月十二日の軍布告をもつて既に同市の占領を發表してゐたが、ドイツ軍守備兵はその後まほオーダー河東岸の橋頭堡を維持して勇戰してゐたものである

ダンチツヒを波領に編入

(ストックホルム三十一日發) モスクワ來電 ニーランド假政府は舊ダンチツヒ自由市をポーランド領に編入する旨三十一日宣言した

ユーゴ政權波假政府を承認

(リスボン三十一日發) ベルグラード來電 ニューゴスラヴィア政權首相チトーは同政權が今回ワルシャワのポーランド假政府との間に外交關係を樹立するに決定した旨三十一日發表した

獨占領副司官

(リスボン二十九日發) ワシントン來電 ニーハウスは二十九日次の通り發表した
參謀總長マーシャルは陸軍少將ルシアス・クレイをアイゼンハワーの副司令に任命した、クレイはアイゼンハワーが反樞軸軍總司令官としてドイツ占領の最高責任者となつた時その副司令官として事務をとることとならう

大統領使節ローマ出發

(リスボン三十日發) ローマ來電 ニーローマ法王に對するルーズヴェルトの個人使節エドワード・フリンはイタリアにおける諸關係當局との協議を完了し、二十九日ローマを出發した、フリンはさらにパリに赴きド・ゴールその他フランス政府要人と會談したる後、ロンドンで英國政府當局と協議する豫定である

新駐羅士大使着任

(ストックホルム三十一日發) ブカレスト來電 ニー新任ブカレスト駐劄トルコ大使イステインゲリは三十日ルーマニア國王ミハイ一世を訪問、信任狀を捧呈した

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

【東 亞】

英主力艦、琉球に出動

(リスボン二十九日發) グラム島來電 米國太平洋艦隊司令長官元帥チエスター・ニミッツは二十九日英國太平洋艦隊の作戰参加に關し次の通り發表した

一、戰艦「キング・ジョージ五世」及び空母「イラストリアス」を含む英國艦艇は、第五艦隊司令官レイモンド・スプルーアンスの作戰指揮の下に琉球作戰に参加してゐる、右英國機動部隊はサー・ブルース・フレージャー麾下英國太平洋艦隊の一部である

一、英國機動部隊の艦載機は二十六、七兩日に亘り、琉球列島先島諸島の施設に銃爆撃を加へた、右部隊は英國海軍の最優秀艦のみをもつて編成されてゐる

【米 洲】

炭坑罷業の危機一應回避

(リスボン三十一日發) ワシントン來電 米國有煙炭坑夫代表は三十一日夜半をもつて満期となる現勞働契約を五月一日まで暫定的に延長することに同意する旨三十一日戰時勞働局に傳達した、かくて四萬五千名に上る有煙炭坑夫の罷業は一應回避されることになつた、炭坑夫側は五月一日成立さるべき新勞働契約が四月一日までに遡つて賃金引上を行ふといふ條件付で從來の契約の有効期間延長に同意したので、炭坑夫代表オネイルは三十一日戰時勞働局で開催された公聴會の席上、當局が現在決裂状態にある新勞働契約を速かに成立せしめるやう要望

四月一日に遡つて賃金の引上げを行ふべき取極めが五月一日になつても決定を見ない場合、多數の石炭會社は閉鎖の止むなきに至らうと斷言してをり、米國東部炭田の罷業問題に關する全般的な形勢はなほ樂觀を許さない

依然モーゲンソー案を支持

(リスボン三十一日發) ロイター通信のワシントン電は三十一日「ウォールストリート・ジャーナル」

紙の報道を次の通り傳へてゐる

確聞するに、國務長官ステチニアス、陸軍長官スチムソン、財務長官モーゲンソー、外國經濟院長クロリー等米國政府要人は今もなほモーゲンソーのドイツ處理案を支持してゐるといはれる、モーゲンソー案の細目については多少變更されてゐるが、その骨子は依然次の四點だ

一、ドイツ本土を數地區に分割し、反樞軸國の監理下に置く
一、ドイツ領土の縮小
一、ドイツ國內の重工業の撤廢
一、ドイツにおける教育制度を今後六十年間反樞軸國の監理下に置く

これ等の四原則はルーズヴェルト大統領の支持を得てゐるといはれ、クリミヤ會議ではモーゲンソー案或ひはその類似案につき具體的な取極めが出来、米國の占領地域その他も決定を見た模様である

戦線に妻君を送れ

(リスボン二十九日發) ワシントン來電 ペンシルヴァニア州選出議員ジエームズ・フルトンは米軍將兵の妻君を戰闘中の地域を除き世界各地の戦線で從軍中の亭主と同居させることを二十九日提案した、フルトンは太平洋戦線で空母乗組の士官として勤務中下院議員に當選した男だが、右提案に關して次の通り述べてゐる

今回の提案は特に太平洋戦線の將兵に對して適用さるべく、前線將兵も喜ぶだらうが妻君連の人氣を特に博するだらう

因みに提案した當人は獨身者である

【ドイツ】

伯林疎開措置

(ベルリン三十日發) ベルリンに對する反樞軸軍の爆撃激化に鑑みナチ黨厚生機關は三十日布告を發し、防衛要員以外の老幼婦女子をベルリンから疎開せしめる措置をとつた、但し今回の疎開措置は強制的なものではない

【ソ 聯】

政府機關紙スペインを罵倒

(ストツクホルム三十日發) ソヴェト政府機關紙「イズヴェスチヤ」は三十日再びスペインのフランコ政權を攻撃、次の通り論じてゐる
スペイン、ポルトガル、アルゼンチン等のいはゆる中立國は今日僞民主主義の旗を掲げて、その背後でファシズムの維持とファシスト達の保護を意圖してゐる、たとへばフランコ總統は出来るだけ安手に反樞軸から大赦の恩典に浴さうと狙ひ、保護者たるヒトラー總統と訣別する氣構へさへみせてゐるが、これは從來よりも手易くヒトラー總統に奉仕することが出来るやうにといふ肚だ

駐勃公使を召換

(チューリッヒ三十日發) エキスチエンジ通信のモスクワ電報によればソヴェト政府はソフィア駐割ソ聯公使アレクサンドル・ラヴリシチエフ氏を召換、同氏は既にモスクワに向つて出發したといはれる、後任はまだ發表されてゐないが、ラヴリシチエフ氏は今次戰爭を通じてソフィア駐割公使の職にあり、ブルガリアの降伏後は反樞軸管理委員會のソ聯代表に任命されてゐた

【軍事情報】

米國の航空機生産原價

(ストツクホルム三十日發) 「エアクラフト・プロダクション」誌一九四五年二月號は米國各紙に發表された數字を基礎として米國航空機を生産原價を次の通り算出掲載してゐる

一、リパブリックP47、「サンダーボルト」單發單座戦闘機

第一回發註當時

一機當り平均

一萬機に達した時

(但し生産機數は一九四二年 六三五機、一九四三年 四一五六機、一九四四年度九ヶ月弱で五二〇〇機)

一、ボーイングB29「超要塞」

原型生産費 三、三九二、三九六弗
別に

尾部改良費 九五、〇〇〇弗

彈倉擴張費 七二、五〇〇弗

プロペラ試験費 一五、六〇〇弗

その他改良費 九四、八九七弗

現在生産原價

一機當り平均 六〇〇、〇〇〇弗

「サンダーボルト」の新型ロケット砲

(ストツクホルム三十一日發) ロンドン來電「米陸軍第九航空隊司令部三十一日發表

米陸軍第九航空隊のP47「サンダーボルト」戦闘機は新式五吋高速ロケット弾を發射してゐる、新ロケット弾は厚く補強したコンクリート壁は勿論、ドイツ軍最大の戦車の重装甲をも貫徹し得る從來のロケット弾より大型となりかつ破壊力も強烈で、長さ六呎、重量は約百四十封度達する照準は舊來の照準器で行ひ主翼下面の發射裝置から發射されるが、單發、齊射何れも自在で爆彈よりも精度が良好である、「サンダーボルト」戦闘機は彈藥及び爆彈を滿載し得るは勿論、ロケット弾の搭載も可能である

小火器用彈藥増産計畫縮小

(リスボン三十日發) ワシントン來電「戰時生産局は今回小型火器用彈藥の増産計畫を相當縮小するに決定、三十日次の通り發表した

今回の縮小計畫では、一二・七耗砲用彈丸を含む二種の彈丸の生産が四〇%乃至五〇%に削減されることとなつた、削減は既に實施されてゐるが、それが昨年末の増産計畫を悉く相殺するわけではない

今回の決定をみるに至つた理由は明かにされてゐないが、米國は昨秋末のジグフリード線膠着當時、アイゼンハワーから彈藥補給の増量を要求した結果、十二月小型火器用彈藥の倍額増産計畫を發表し、従業員を五萬人増加し、彈藥製造工場を再開若しくは擴張して増産にあつてゐたものでその後四ヶ月にして今回の減産をみるに至つたのである

特輯



アフリカ雜記帳(上)

鈴木富美子

△スマツツの白阿主義

先にナタール州會議が印度人の土地取得を禁止したため、同州在住の印度人は一齊に蹶起して政廳反對運動を開始、更に印度本國においても南阿彈効の火の手が揚り、物情騒然たるものがあつたが、右禁止令に關して印度人と政廳當局の間に充分な了解があつたと信じてゐた南阿他州は深刻な失望と驚愕を味はせられた、事の起りはナタール州内の諸都市、特に純歐風都市として聞えたダーバン市に多數の印度人が進出してきたにある、大東亞戰勃發後印度の反英運動が愈々熾烈化し、同時に英國の對印態度も極めて強硬となるに従ひ、南阿においても印度人は徹底的な迫害を受け、白阿主義を標榜する聯邦首相スマツツ將軍は一九四三年「印度人の都市進出は都市生活の秩序を破壊する」との理由の下に印度人の土地取得禁止法案を上程、同年四月下院は右法案を可決した、在留印度人は結束してこれに反對、あらゆる手段を盡くして右法案の棄却を要請したにも拘はらず、スマツツはその成文化を言明、同措置に關する下院の討議において次の通り言辭を弄してゐる

戰時といふのかかる措置をとるのは誠に遺憾であり、政廳としてはこれを避けるため總ゆる手段を惜しまなかつたのであるが「安樂な生活を狙ふ」少數の印度人が着々と歐風の都會地に私有地買占めを續けてゐるため、印度人の土地取得を禁止するの止むなきに至つたのである

右禁令は昨年十月ナタール州會議の初めて實施するところとなり、南阿における印度人彈壓は愈々強化されるに至つたが、南阿總人口一千萬人中支配民族たる白人は二百萬人、僅か五分の一に過ぎず、しかも白人のうちでも五五%はオランダ人の子孫たるボーア人によつて占められ、英國人は僅か三五%で、兩者間に鬭争の絶え間がないといふ現状では、スマツツの白阿主義の實現も未だ近

からずの感がある

△聯邦の戰爭努力

一九三九年獨英開戦と同時に中立を標榜した當時の首相ヘルツォーホ將軍を打倒し、飽くまで參戰を主張して立つたスマツツ將軍は直ちに對獨宣戰布告を行つた、爾來新内閣は緊急令を續發して對英協力に努力して來たが、遑つては一九四三年七月の獨伊軍アフリカ撤退、近くは歐洲戰の急速な進捗を期として聯邦の戰爭努力は愈々拍車をかけられ、藏相J・H・ホルメーヤーの言明によれば、開戦以來聯邦の費消した戰費總額は昨年未までに既に四億三百萬磅に達してをり、一日平均二十萬磅に相當するといはれる、更に「エクスチェンジ・テレグラフ」社のヨハネスブルグ電報によれば、スマツツ首相は昨年十一月二十四日南阿軍も對日戰に参加する用意ある旨次の通り言明したと傳へられる

南阿聯邦は歐洲戰終了後直ちに飛行機並びに軍隊を對日戰のために派遣する用意あり、聯邦がどの程度まで對日戰に参加するかは、聯邦の動し得る軍隊が他の反樞軸軍と比較してどの程度まで役に立つかによつて決定される、但し機甲部隊を伴はぬ陸軍兵力はさして要求されてをらず寧ろ空軍こそ一層重要な役割を演ずると見られるので、南阿空軍突撃隊の一部が東亞戰域に派遣される豫定である、更に産業部門における聯邦の對日戰寄與も増大する見込みで、特に船舶修理の面において極めて重要である、以上の通り聯邦國民に要求される戰爭負擔は相當に重いことを覺悟しなければならぬ

スマツツの言明で明かな通り、南阿空軍の對日戰參加は必須と見られてゐるが、十一月二十日のケープタウン電報は、英國艦隊所屬航空部隊がケープタウンに對日戰に使用するための飛行士の大訓練所を設置するに決定したと報じてゐる、既に第一回突撃隊員が元ケープタウンの民間飛行場であつたウイングフィールド英海軍飛行場で訓練を受けてをり、ここで訓練を終へた海軍飛行士は日本軍の占領下にある諸島嶼並びに日本本土の侵攻に際し緊密な協力を行ふ筈である、ケープタウンが訓練場として選ばれたのは戰略上からみて有利

であり、訓練施設が完備してゐるためとされてゐるが、英軍の南阿基地化は着々進捗しつつあるとみなければならぬ

△アフリカ統一案

南阿聯邦は戦争遂行の面において對英協力を續ける一方、着々政治的獨立の歩を進めてをり、英國の對南阿聯邦證券投資二億六千萬鎊を開戦以來買戻償還、金塊購入等の對本國支拂ひによつて半減せしめ、經濟的獨立を計つたのが手初めだつたが、最近に至つてはスマツツ將軍が中心となつてアフリカ全土の統一を目的とするアフリカ聯盟設立の氣運が濃厚で、ロイター電報によれば英領ケニア政府當局は一月二十日英國政府に對し、汎アフリカ會議開催の準備相談の爲、スマツツ將軍を首都ナイロビに招聘することを要請したといはれるが、これに續いて南北ローデシア兩政府も同様の要請を行つてゐる、白人選任議員A・グインセントは英領ケニアの右要請を立法參議會に提出、次の通り述べてゐる

曾て英國植民相スタンレイは自らアフリカ建設のための諸計畫はアフリカで立案されるべきであるといふ原則を承認した、今立法參議會に提出された要請に對し植民相が如何なる返答をなすか、これによつて英國政府の誠實性を窺ひ知ることが出来る、ケニアの民衆は戦後英國の輸出貨易の再建に盡力し、且つケニアを英帝國の寶庫とするため、出来るだけ努力しなければならぬことを熟知してゐるが、かかる責任を果し得るやうケニアを發達せしめるにはまづアフリカ全土の秩序を確立することが必要である、英米兩國は恐らく世界最大の大陸ともいひ得る本大陸が既に一國家としての發達を遂げてゐる事實を了解すべきである、戦後の平和機構においてわれわれに附與される地區會議なるものが果して好結果を生むか、危険の種となるかは豫斷を許さないが、われわれはかかる會議を押しつけられる前にその組織と權力につき検討する權利を持つてゐる筈だ

これに對してケニア總督ヘンリー・モアは、英國政府當局も汎アフリカ會議に参加する用意ある

旨言明したが、印度人議員並びにアフリカ人議員は提案の性質上政府當局が發言或ひは投票を行ふは望ましくないとして反對した結果、政府當局の参加は取止めとなつた模様である、しかしながらかかる組織の設置に關しては英本國でも相當の反對があり、労働黨機關紙「デーリー・ヘラルド」紙の如き、次の通り攻撃してゐる

アフリカ聯盟或ひはその他の汎アフリカ組織の立案者は大陸の社會上、産業上の開發を期待してゐるのみならず、必要とあれば武力を行使してロンドンの植民省に對抗する意圖を有してゐる、ケニア立法參議會は最近汎アフリカ聯盟の設置を提唱したが、その目的が南北ローデシア南阿聯邦、ケニア各國の植民省統合にあるは注目に價する

前南阿聯邦高等辨務官ロード・ハーレフは一月二十四日ロンドンの英聯邦協會並びにアフリカ協會主催の會議に臨み、同情的言辭のうちに統一反對の色彩をみせて次の通り述べてゐる

英國内のアフリカ論者共通の誤謬は大なり小なりアフリカ全土を同一視してゐる點にある、しかしアフリカ大陸に存在する各種民族は背景となる歴史並びに發達の段階において大きな相違を持つのみならず、如何なる目的に對しても先天的、潜在的實行力において非常な相違がある彼等がそれぞれ異なる傳統を基礎として立つ異なる團體であることを主張する權利は當然認められなければならない、われわれは全力を擧げて技術的な援助を與へ、情報を提供し、指導を行はうが、有色人種に否應なしに原住民政策を押しつけることは避けねばならぬ

反樞軸國際學生聯盟結成

(ストックホルム二十七日發) ロンドン來電「二十五日ロンドンで十三ヶ國の學生が集合し、國際學生聯盟の結成を提案した、参加國は米、英、ソの三國をはじめフランス、重慶、ベルギー、オランダ、ノルウエー、ユーゴスラヴィア、チエコスロヴァキア、カナダ、印度、ニュージーランドである

昭和二十年 四月 五日(木)
第 三 三 八 二 號

同盟通信

海外電報

(75)

桑港會議の前奏曲は豫想以上にぎやかなものとなつた、その第一は米ソ兩國の三票要求であり第二はソ聯のポーランド假政權參加の爆彈要求である

米ソ兩國の三票要求は米國政府の發表によればクリミヤ會談で決定したところだといふ、だからこれは明らかにクリミヤ會談で成立した祕密取極の一つである、ところが不思議なことには英國政府はソ聯の三票には同意したが米國の三票要求には同意した覚えがないといふのだ、これでは「最も腹藏なき意見の交換が行はれた」筈のクリミヤ會談で一體如何なる「腹藏なき意見」の交換が行はれたか疑はざるを得ない



ソ聯の三票要求にはウクライナと白ロシア兩共和國にも一票宛與へるといふ一應の根據はある、しかし米國が三票を要求する根據は一體どこにあるのであるか、否、かかる疑問を起すこと自體が間違つてゐるのであり、すべてが大國間の勢力争ひなのである、だからソ聯はさらに發言權を必要と思へばその十六共和國全部に獨立の投票權を要求するだらうし、米國も更に横車を押せば四十八州をそれぞれ獨立國と見做してその全部に一票づつを認めて貰ひたいと要求し得るわけだ

國際機構問題では最初から踏んだり蹴つたりの小國も米ソのかかる横車の要求はよほど腹に据ゑかねたらしい、小國の間ではこの問題をとりへて來るべき桑港會議で積りに積つた鬱憤をぶちまけるべく作戦を練り始めたといはれてゐるがさすがの米國もよほど氣が咎めたと見え三日に至り遂にステチニアスは米國の三票要求は「應ひつこめることになつた」と發表した、しかしソ聯の三票問題は依然として殘されてゐるのであり、またポーランド參加問題ではソ聯の會議脫退の可能性さへ傳へられてゐるほどだ、桑港會議の「前奏曲」は或ひは「フィナーレ」となるのかも知れない

【目次】

- スタツセン七ヶ條發表……………九六八
- 國際信託統治制度新設か……………〃
- ソ聯の要求に米國論沸騰……………〃
- 三票問題でソ聯聲明……………九六九
- ソ聯脫退の可能性……………〃
- 桑港會議に英國政府も不満……………〃
- 米英ソ佛豫備會談か……………九七〇
- ド・ゴール桑港會議代表決定……………〃
- イラン兩代表辭任……………〃
- 國際空輸運營會議……………〃
- 【英帝國】
- 兩相カナダ訪問……………〃
- 英國の領使は御免……………〃
- 【ソ聯】
- 「三次元映畫」の製作開始……………〃
- 【米洲】
- 各地罷業の波昂まる……………九七一
- 軍需生産が依然第一……………〃
- 戰時動員局長官更迭……………〃
- 亞國、米洲宣言參加通告……………〃
- 【東亞】
- 世界最大の變動部隊を動員……………九七二
- 更に大なる侵攻を豪語……………〃
- 笑止、東亞戰爭犯罪委員會……………〃
- 【歐洲】
- アルバ公辭職の動機……………〃
- 【特輯】
- フランスと桑港會議(上)……………九七三

スタツセン七ヶ條發表

(リスボン二日發) ニューヨーク來電ニ桑港會議の米國共和黨代表ハロルド・スタツセンは一日ニニューヨークで會議に臨む彼の方針を次の通り闡明した

一、正義と法律とを基礎とし武力で保障された明確かつ永續的な反樞軸國際機關を設立するため現在の同盟諸國と提携すること

二、反樞軸國際機關が會議に當つて期待通りの効果を收めるやうわれわれの主權の一部を國際機關に委託すべきこと

三、今次戰爭における侵略國からは一切の戰爭遂行手段を剝奪し且つ永久に剝奪しおくべきこと

四、米國は私有財産及び民間企業といふ經濟組織を持つた自由な市民の民主國家であり、またかかる民主國家として存在を續けるべきこと

五、われわれは情報活動の自由が世界の平和と進歩並びに人類たるの威嚴維持に必要な生命的因子であると信ずる

六、米國民將來の福祉、平和並びに幸福は全世界に亘る各國民のそれと離すべからざる錯綜した關係にあると思考する

七、われわれは世界人類の生活水準の漸進的向上に資するため米國に蓄積されてゐる資本及び信用、並びに工業技術を動員するは勿論米國の老大な生産能力をも活用するであらう

國際信託統治制度新設か

(リスボン二日發) 桑港會議では舊聯盟體制下における委任統治制度に代り國際信託統治制度を設立する問題も協議される模様だが、ニューヨーク來電によればAP通信ワシントン特派員フロ・ルイスは二日右に關し次の通り報道してゐる

米國政府は委任統治領問題につき大國間の意見を一致させておくため桑港會議開催前に米英佛ソ重慶五國會議の開催を提唱した、また委任統治領を全部信託統治制下におくことを希望し既に新國際機構中の總會の下に信託統治評議會を設置する案さへ作成してゐる、米國政府の案によればこの信託統治領となる領土には舊委任統治領と異なり各國の自由な航空、通信權を認め

ることとなつてゐるが、桑港會議前に五國會議が開催出來ぬ場合は外交機關を通じて五國間に意見の交換が行はれることとならう

ソ聯の要求に米國論沸騰

(リスボン二日發) ワシントン來電ニソ聯がクリミア會議の決定にも拘らず突然ポーランド假政權の桑港會議参加を要求したことは米國政界に一大衝撃を與へたが、度重なる米英兩國の對ソ屈服に不満な米國の輿論は、今度こそ米國としてもソ聯の要求に屈服すべきでなく斷乎既定方針通りに邁進すべきだと主張、對ソ強硬論が俄かに勢を得て來てゐる、上院外交委員長コナリーも國務省がソ聯の要求を拒否したことは當然であると對ソ強硬政策を支持、また民主黨上院議員ヒルも

ポーランドに關してクリミア會議で決定したことは何らの變更も加へらるべきでなく、米國政府としてはこの取極めを文字の上でも精神の上でも飽くまで押し通さなければならぬと政府を鞭撻してゐる、共和黨上院議員ウエリイは一應ポーランドが桑港會議に参加することは何も差支へない筈だと斷りつつも

かかることが繰返されると漸く積極的對外協力政策支持に傾いて來てゐる米國民を失望させ、再び孤立主義が勢を得て、米國民は今後一切の國際機關への米國の参加を嫌惡するやうな憂ふべき結果を招くかも知れない

と述べてゐる、ソヴェト政府がクリミア會議の決定を無視してポーランド假政權の桑港會議参加を要求するに至つた事情については各種の臆測が頻りだが、ソ聯が桑港會議脱退を眞剣に考慮してゐるとみる向は少なく、結局ソ聯一流の外交懸引の一つとみる向が多く、これを代表して二日の「ワシントン・ニュース」紙は次の通り報じてゐる

スターリン議長は大きな獲物を得るため思ひ切つて極端な要求を出すといふ古い外交術策の一つを用ひてゐるのだ、即ちソ聯の眞意はポーランド假政權を絶対に桑港會議に参加させようなどと考えてゐるのではなく、寧ろこれを餌としてルーズヴェルト、チャーチル兩者からさらに大きな祕密協定を引出さんとしてゐるのだ

三票問題でソ聯聲明

(モスクワ二日發) 新國際機構におけるソ聯の三票要求問題は米國からの三票要求、ポーランド假政權の桑港會議參加問題とともに會議の前途に一大暗影を投ずるに至つたが、三票問題に關し反樞軸陣營の動搖を他所に現在まで沈黙を守つてゐたソヴェト政府は二日に至リタス通信社を通じ次の通り發表した

クリミヤ會議において米英兩國はウクライナ及び白ロシア兩共和國も桑港會議に參加することを承認しその代償としてソ聯は米國にも桑港會議で三票を認めることに同意した、米英兩國はさらに桑港會議で決定される國際機構にウクライナ、白ロシア兩共和國がそれぞれ單獨の加盟國として參加することにも同意した

ソ聯脱退の可能性

(リスボン二日發) 桑港會議の開催の前に米英ソ三國關係は、ソヴェト政府が三十一日突如ポーランド假政權の桑港會議參加を要求、米英兩國がソ聯の要求を拒否する態度に出るに及んで俄然極度の緊急状態に入つた模様だ、國際消息筋の間ではこの問題の成行き如何では桑港會議が豫定の四月二十五日に開催出来ないのは勿論のこと、事態が更に尖鋭化すればソ聯の會議脱退の可能性さへ豫想する者さへ出てゐる有様だが、ニューヨーク來電によるとAP通信ワシントン特派員ジョン・ハイトワは米國政府筋の見解として二日次の通り報道してゐる

クリミヤ會議で米英ソ三國間に成立した取極めによると四月二十五日までにポーランドに統合政權ができた場合にかぎりポーランドを桑港會議に招請するといふのだが、ソ聯が現在になつて突然ポーランド假政權の參加を要求するに至つたのはソヴェト政府が四月二十五日まではポーランド統合政權が成立しないとの見透しをたてた結果と思はれる、従つてソ聯の要求を實現させるために桑港會議の開催を延期することもあるが、米國政府當局者は現在のところ會議開催日の延期のごときは考慮してゐない

やうだ、米英兩國政府共にポーランド假政權の桑港會議參加は承認できないとの聲明を發してをり、またロンドン及びワシントンにおけるあらゆる諸情報に綜合しても他のことならいざ知らず、この問題に關するかぎり米英兩國政府は絶対にソ聯の要求には屈服しないとの斷乎たる態度をとることに決定した模様だ、かくてこの問題は今後ソ聯が如何なる態度に出るにかかつてゐるが、ソ聯としては最後の切札として桑港會議から脱退する可能性さへ仄かして米英兩國をおどかしつけるかも知れない

桑港會議に英國政府も不満

(ストックホルム二日發) 桑港會議にソヴェト政府がモロトフ外務人民委員を代表として派遣せずワシントン駐劄大使でお茶を濁したことは英國政界に少なからぬ衝撃を與へ、下院議員ヴァーノン・バートレットは「ニューズ・クロニクル」紙上でモロトフ外務人民委員が桑港會議に出席しないのはソ波兩國の紛争處理に關するソヴェト政府の不滿のジエスチュアに他ならないと述べてゐる、さらに國際平和機構に米國政府が三票の投票權を要求したことも英國政府の少からず意外とするところで、ロンドンからのUP電報は三日次の通り報道してゐる

英國外務省筋では桑港會議を繞る米英ソ三國關係を少からず懸念し、新たにチャーチル、ルーズヴェルト並びにスターリン議長が會談を遂げて相談せねばなるまいとの意向を洩らしてゐる尤も英國政府當局は桑港會議が延期にならぬだらうとの見透しのもとに準備を進めてゐるが、外務省當局は二日に至り外相アイデンも樞相アトレイもロンドンで重要な仕事があるので桑港會議の全會期を通じて會議に參加することはできず早く切り上げる公算が大きいと述べてゐる、同時に「デリー・スケッチ」紙並びに「ヨークシャー・ポスト」紙等は早くも桑港會議の延期を豫想し特に「ヨークシャー・ポスト」紙は二日の紙上で會議が延期されても些かも不思議でない、歐洲戦争の推移に鑑みアトレイ、アイデンがロンドンと論じてゐる

米英ソ佛豫備會談か

(リスボン一日發) ワシントンでは桑港會議の豫備會談として四月一日から米英ソ佛四國の會談が行はれる模様で、ワシントンからの情報に

今回の會談では日本、ドイツ及びトルコ領諸地域の委任統治が議せられ佛領印度支那等英佛の植民地問題には觸れないだらう

と觀測してゐる、會談には關係四國の桑港會議代表が出席することとならう

ド・ゴール桑港會議代表決定

(リスボン一日發) バリ來電「ド・ゴール政權は桑港會議派遣代表を左の通り決定、三十一日發表した」

外相ビトー、財務相ブレヴァン、保健相ビルー國民諮問會議外交委員長ポール・ボンクール

イラン兩代表辭任

(リスボン二日發) テヘラン來電「イラン外相ナスルラー・イデザムは二日國王レザ・シャー・パールヴィに辭表を提出、併せて桑港會議の代表をも辭す旨聲明したが、ロンドン駐劄イラン大使タギ・ザデンも桑港會議への出席を拒絶してをり、以上の動きは會議に對する政府の態度と輿論の喰ひ違ひを暴露したものととして西亞諸小國の深甚な關心を集めてゐる」

國際空輸運營會議

(リスボン二日發) ワシントン來電「米國通商協會は一日夜米國の諸航空會社を代表して次の通り發表した」

米國內空路會社十七社並びに外國空路會社二十社は来る十六日キューバのハヴァナで開催される第一回國際空輸運營會議に代表を出すことを承諾した、同會議の目的は世界人類のために國際空輸の發達を促進し、國際航空に關する規準確立のため、國際民間航空機關と協力するにある、會議に参加する外國空路會社には、英國、フランス、オランダ、スエーデン、ノルウェー、スイス、ポーランド、スペイン、メキシコ、キ

ューバ、エール國、ベルギー、印度、ニュージーランド、チエコスロヴァキアの諸國から米國に向ふ空路の運營に當つてゐる會社が含まれてゐる

【英 帝 國】

兩相カナダ訪問

(ストウクホルム二日發) オツタワ來電「カナダ政府は英食糧相ジョン・リユーリン、戰時生産相オリヴァー・リトルトンの兩名がオツタワに到着した旨二日發表した、兩相は英國に對する食糧、軍需品の供給につきカナダ政府首腦と協議する

英國の頭使は御免

(リスボン三十一日發) キャンベラ來電「濠洲政廳は三十一日、濠洲は英本國とは別個に一票の投票權を獲得すべきであると主張して次の通り聲明した」

桑港會議において濠洲が獨立の投票權を持つことが出来ぬならば、濠洲は實際に戰爭に参加しなかつた中小諸國が投票權を持つことに斷乎反對する、濠洲が英聯邦とは別個の代表權を持つことが出来ないならば、會議において濠洲の立場を正當に主張することは不可能だから、事前に相談なく英帝國ブロックに包含されてしまふことを欲しない、英聯邦が全體として同じ投票を行ふ場合、各自治領代表は會議の各部門毎に數多く協議を重ねなければならないこととなりかうした繁瑣な手續きは百害あるのみだ

【ソ 聯】

「三次元映畫」の製作開始

(モスクワ三十日發延着) 「ブラウダ」紙の三十日附報道によれば、ソ聯最初の試みである「三次元映畫」製作所がモスクワに設置され、昨年十一月以來「ロビンソン・クルーソー」を製作中で、近くグルジャのトビリシに赴き、ロケーション撮影を行ふ豫定といはれる、また同製作所はゴッリの名作「死せる魂」に取材した短編映畫「トロイカ」も試験的に製作してゐる

【米 洲】

各地罷業の波昂まる

(リスボン三十一日發) ニューヨーク來電ニ米國各地の軍需工場では最近罷業が頻發、軍需生産に甚大な支障を來してゐる、デトロイト市のハドソン發動機工場では、去る三月二十八日労働組合役員を誡首したことから検査工百十名が罷業を起し以來一萬三千名に上る職工が怠業状態を續け、航空機及び上陸用舟艇の重要部分品生産が阻害されるに至つた、戦時労働局は右事態を憂慮、三十日米國自動車工組合デトロイト支部にたいし即刻作業を開始するやう指令し、組合代表はまた罷業労働者にたいして

罷業は戦争に必要な武器の生産を阻害し、幾千にも上る貴重な人命を喪ふこととならう

と警告する等、罷業の中止に躍起となつてゐるが各地の罷業は全然衰微を見せず、カンサス州カンサス市のヒュージ兵器工場でも三十一日包装工三千五百名が一齊に罷業を開始、軍契約物資の引渡しは停頓するに至つた

軍需生産が依然第一

(リスボン一日發) ワシントン來電ニ戦時動員局長官バーンズは三十一日ルーズヴェルト並びに議會に對して要旨左の如き米國軍需生産の近況に關する報告を提出した

「政府は歐洲戦の終了に對して萬般の準備を整へておかねければならぬこと勿論であるが、この準備を進めるに當つては太平洋における戦局の現實を無視してはならぬ、即ち太平洋において米國の敵は太平洋上の島嶼並びにアジア大陸の各基地にじつくりと腰を据ゑて進攻する米軍邀撃の態勢をとつてゐるのであり、かかる事實を前にして米國の努力は歐洲戦終了の後と雖も依然軍需生産第一主義をとらねければならぬ、太平洋における米軍邀撃の度は最近著しく急速化した、これがため同戦域における軍需資材の消費は一段と激しくなり、一方新兵器、特に電波暗視器、噴射推進式飛行機、新式戦車等の大量生産のためにも軍需生産には益々拍車がかけれなければならぬ

最近の軍需生産近況は一月は十二月に比し十一%、二月は一月に比し更に九%と夫々緊急軍需品の増産が記録されたが、一部緊急兵器で依然生産豫定額に達しなかつたものがあつた、かかる生産の遲滞は軍需生産が量第一主義から質第一主義に轉換した結果でもあるが、軍需労働者の減少もたしかにその重大な原因であり、現在の軍需労働者數は一九四二年二月に比し百八十萬も減少してゐる、歐洲戦争終了後米軍は歐洲戦域にある將兵並びに裝備を太平洋戦域に移駐せしめなければならぬが、これは實に恐るべき龐大な仕事とならう、かくて歐洲戦終了後六ヶ月間に軍需生産から解放し得ると豫想される労働者の數は僅々百萬人程度に過ぎまい、されば政府は歐洲戦終了後も依然として賃金統制及び物資割當制を維持しなければならぬまいし、國民も空腹を忍んでも最後の勝利に向つて前進しなければならぬ」

戦時動員局長官更迭

(リスボン二日發) ワシントン來電ニ大統領ルーズヴェルトは二日戦時動員再轉換局長官ジェームズ・バーンズの辭表を受理、後任として聯邦融資局長官フレッド・ヴァインソンを任命した

亞國、米洲宣言參加通告

(リスボン一日發) ワシントン來電ニアルゼンチン政府は對樞軸宣戰布告に引續き、三十一日汎米聯盟執行會議に對し、過般メキシコで開催された米洲外相會議が決定した西半球共同防衛宣言に參加する旨通告した、執行會議は右通告を「満足」をもつて接受、これを外相會議議長メキシコ外相パデイヤに送るやう發表したが、この結果、まだフアル政府を承認してゐない米國その他米洲諸國の同政府承認は、近日中に實現するものとみられる

樞軸國人を登録

(リスボン二日發) ブエノスアイレス來電ニアルゼンチン政府は二日アルゼンチン國內に居住する樞軸國民監督のため樞軸國民の登録を行ふに決定した旨發表した

【東 亞】

世界最大の變動部隊を動員

琉球上陸敵側發表

(リスボン一日發) グラム島來電 沖繩本島上陸に關してニミッツ司令部は一日公報でつぎの通り發表した

- 一、陸軍第二十四兵團及び海兵隊第三水陸兩用部隊を主力とする新編第十軍は、四月一日朝(東京時間)琉球列島沖繩本島西海岸に侵攻した、本上陸は太平洋で最大の水陸兩用作戦である
- 二、作战の全般的戰術指揮官は米第五艦隊司令長官レーモンド・A・スプルーアンス、水陸兩用作戦の指揮官は太平洋艦隊水陸兩用部隊司令官海軍中將リッチモンド・K・ターナーであり、第十軍の司令官は陸軍中將サイモン・B・バツクナーである
- 三、上陸作战は第五艦隊の艦砲並びに艦上機の掩護の下に同艦隊所屬の船舶並びに上陸用舟艇によつて行はれた
- 四、沖繩攻撃はまた海軍中將バーナード・ローリング麾下英國太平洋艦隊機動部隊の掩護と支援を受けた
- 五、第二十四兵團の指揮官は陸軍少將ジョン・R・ホツヂ、海兵隊第三水陸兩用部隊指揮官は少將ロイ・S・ゲイガーである
- 六、沖繩本島の攻撃に先立ち三月二十六日より沖繩本島南端の西方に位する慶良間列島の侵攻が行はれ、この準備作战における水陸兩用戦術面は米海軍少將I・N・カイランドが指揮し、上陸部隊は陸軍少將アンドルー・ブルース麾下第七十七師團である
- 七、水陸兩用掩護部隊指揮官米海軍少將O・H・ブランドイは慶良間列島侵攻にも参加し、これら諸作战の全般的責任を有する、艦砲掩護射撃の主力をなす戦艦部隊は米海軍少將M・L・デヨ一の指揮下にある
- 八、本攻撃に参加せる米國太平洋艦隊快速空母機動部隊は海軍中將マーク・A・ミツチャーこれ

を指揮し、同じく攻撃を掩護する護送空母部隊の司令官は海軍少將C・T・ダージンである

九、上陸前より現在にかけ米國太平洋艦隊の戦艦巡洋艦その他輕艦艇は大口砲による掩護を與へてをり、米海軍艦上機隊も地上部隊に緊密な協力を示してゐる、さらに南太平洋地域及び太平洋水域の海岸基地航空隊並びに第二十航空隊による戰略的掩護も行はれつつある

更に大なる侵攻を豪語

(リスボン一日發) ワシントンからのロイター電報によれば米國海軍當局者は沖繩侵攻作战の發表に關聯して次の通り發表したといはれる

沖繩本島の占領は日本本土並びに支那沿岸への侵攻路を開くべく今次作战はさらに大なる作战への準備とみることが出来る、沖繩島の約三分の一は陸海軍基地として貴重なるべく島内西海岸に沿つて良好な鐵道並びに道路が走つてゐる

笑止、東亞戦争犯罪調査委員會

(リスボン一日發) ロンドン來電 反樞軸戦争犯罪人調査委員會は今回東亞における戦争犯罪調査のため重慶に小委員會を設置した旨一日發表したしかし東亞における戦争犯罪の調査は從來通り小委員會以外の機關を通じても行はれてをり、小委員會は差當り日本の戦争犯罪人にたいする資料並びに情報の調査を受け持つことになつた

【歐 洲】

アルバ公辭職の動機

(ストックホルム二日發) ロンドン來電 AP外記者が二日報ずるところによれば、一九三九年三月以來ロンドン駐劄スペイン大使の任にあつたアルバ公は辭職したといはれる、もつともスペイン外務省もロンドンのスペイン大使館もアルバ公の辭職を未だ確認してをらず、大使館員の如きは「そんな話は夢にも知らぬ」と稱してゐるところからみても、アルバ公が自ら辭職の舉に出たことは明瞭だ、アルバ公はフランコ政權に仕へてはゐたが、王制主義者として知られ、兼々フアランヘ黨から睨まれてゐたもので、當地の外交界はアルバ公の辭職が最近急激に活潑化したスペインの王制復古運動と一脈の關係を持つのではないかとみてゐる



フランスと桑港會議(上)

井上 勇

△尻をまくるフランス

桑港會議の招請國となることを拒絶して十束ひとからげの被招請國に甘んじたフランスの眞意は自ら「大國」の地位を放棄したやうにもとられ、甚だ諒解に苦しむ次第だと米英側では不快に思つてゐるらしいが、フランスの表向きの云分は、この會議で討議の基礎となるべきダンバートン・オークス及びヤルタ會議の決定について、これらに参加してゐないフランスは發起人國としての責任が取りかねるといふことになつてゐる。「ニューズ・クロニクル」の素破抜きによると、フランスは招待狀の文句に「ダンバートン・オークス、ヤルタ兩會議での決定は新平和機構憲章の基礎を構成する云々」とあるのを「憲章討議の基礎とする」と訂正を申込み蹴られたといふことで、その結果フランスは發起人國となることを斷つたといはれる、また説をなすものは、ダンバートン・オークス案が全く大國專制を立法化したものであり、特にヤルタで決定した採決法式はこれを實證するものだと論が大國の内部、特に中小國間に有力に行はれてゐるのに着目し、フランスは、これら中小國を率ゐてその「保護者」として會議に臨み、一舉に戰前の權威を回復しようと企ててゐるのだといふ

爾來一ヶ月、三月末に至つてもフランスはなほ派遣代表を決定せず、僅かに下馬評として外相ジョルジュ・ビドー、諮問會議外交委員長、元首相外相ポール・ボンクール、元空相ビエール・コツト、元ブリアンの官房長フーク・デュ・パルク、外務省の局長ギ・ド・シヤルボニエール、弘報部長レイモン・オフロア等の名が擧げられてゐるにすぎない、桑港會議への不満として公式にフランス政府が發表してゐるのは三月二十六日、この會議がフランス語を公式用語として採用しなかつたことについて米英ソ三國に抗議を提出したといふ事實のみで、フランスが何を考へてゐるかは判然し

ない、フランス語が國際會議の公式用語として認められなかつたのは今回がおそらく初めて、アカデミアンのジョルジュ・デュアメルは「フィガロ」紙上で「このことを知つた全世界のフランス文化の友人たちは恐慌の叫びを擧げるだらう」と云つてゐるが、この用語問題に具象化されてゐるのが米英ソの見るフランスの實體なのだ、それは別として、一體フランスは桑港會議で何を企てようとしてゐるか

△修正提案の内容

三月十六日フランスの閣議は「ダンバートン・オークスにおいて到達し、後ヤルタで修正された諸決定につき或る種の修正提案を聯合國諸政府に提出するに決し」「この提案の目的は國際平和保障組織の連帶と効率とを強化するにある」と發表した、この言葉は抽象的で何とでも解釋出来るが「デリーリー・テレグラフ」は十五日のパリ電でかう説明してゐる

フランスの修正案は諮問會議の外交委員會で討議決定したもので、ダンバートン・オークス、クリミヤ決定に較べると一層自由主義的で、相當先見的な示唆に富んだもののやうだ、フランスは桑港會議で一種の世界政府、特に司法、經濟、社會の諸面で世界政府類似のものの中核體を建設するため音頭を取るつもりでゐる、フランスの考へ方はダンバートン・オークスで豫見されてゐる經濟、社會問題理事會に出来るだけ廣汎な權威を持たせたいといふのであり、その構成員十八ヶ國の内少くとも半数を、經濟上の重要性において最高の地位を占める國々によつて代表せしめれば、その目的が達成出来るだらうと考へてゐる、しかして、かかる理事會が實現したならば、これにあらゆる經濟的、社會的人道的活動に關しての調整權力を附與する、例へば世界の原料資源の配分等はこの理事會の決定に委ねなくてはならない、一方地域的條約に關しては、ダンバートン・オークスの決定を修正し、地域的保障條約の締結國に對して、或る種の分野の問題については世界理事會の干渉なく自守的行動權を與へねばならないとする

侵略國に對しては武力を行使するといふことをもつて、その效力の本質とする相互援助協定こそは、最も模範的な地域的保障條約の適例であり、フランスが提出しようとしてゐる修正案の骨子を構成するものだ、フランスの提案の底にあるものは國家主權の本質に關しての見解であり、たとへ國際的聯盟に参加してゐようと各國はその主權の行使に當つては聯盟中央機關の權力の制肘を受けず自らの權威に基づいて行動すべきものだとの考へ方だ

△佛ソ同盟の有り様

フランスの修正提案はいづれ會議の席上でなされるのであらうが、その眞意は佛ソ條約の救済にあることは明らかで、世界的集團保障と地域的保障を如何したら調和させ得るかに苦心がある、リッヅマンは三月九日の「ヘラルド・トリビュン」紙上で、フランスが佛ソ條約を後生大事に擔ぐ愚を説いて、フランスはこの條約の意味をはき違へてゐると評してゐる、リッヅマンによると、ド・ゴールは米國はもとより英國からも外交的に孤立したと信じてモスクワに詣で佛ソ同盟を獲得しかへつた、ド・ゴールはこの條約をば單に將來のドイツ處理に關してのフランスの立場を強化するための協定以上のものと考へ、フランスとソ聯とはこの同盟により政治的相棒になつたと解釋したド・ゴールの以後の態度によりて判斷しても、それはよくわかる、ダンバートン・オークスの決定に對するド・ゴールの態度も同じ考へ方から出發してゐる、佛ソ條約はソ聯にとつても、フランスにとつてと同様、その外交政策の基底だとド・ゴールはみたのである、ところがスタリーンは決してさう考へてゐないことが今では明白になつた、スタリーンはド・ゴールに對して佛ソ條約はそれ自體、決して米英との協定の代替物ではない、さういふ意味でこの條約を利用することは許せないと通告した、佛ソ條約は今後歐洲及び世界の平和を維持するために締結を要する一聯の諸條約、諸協定の一つの環にすぎないといふのがスタリーンの見方である、フランスはソ聯との二國同盟のみによつて自國の保障を見出すことは出来ない、モ

スクワの次にはロンドンにもブリュッセルにも、ハーグにもサンフランシスコにも、ワシントンにも、行かねばならないのがド・ゴールの眞の立場だ、とリッヅマンは結論する

△地域的保障の要求

ド・ゴールがそれほどまでに佛ソ條約に依頼してゐたかどうかは、見方の相違で眞疑は當人にきいてみるほかはないが、彼が世界的安全保障も結構であるが、身近にある「おい」と呼べば「はい」と答へる味方の方が空漠として掴みどころのない「世界的」な保障よりも一層頼りになると考へ、佛ソ條約はその役をする一つの道具だとみてゐることに間違ひはない、リッヅマンのやうにフランスが、少くともド・ゴールがソ聯のみを頼つてゐると考へるのはアメリカ式な公式外交論以外のものではないといひ切つてもよい、故にフランスが桑港會議で佛ソ條約を救済すべく試みるとすれば、それは地域的安全保障制度を、世界的保障制度の下位におかうとするダンバートン理念を修正して少くとも兩者を平等に、謂はば上位にまで持上げようといふにあり、決して佛ソ條約自體の保全のみが目的ではないとみるべきだ、フランスのこの主張は、地域保障制度をどこまでも世界的保障制度の埒内に入れ、これに統御を加へようとするアメリカの主張と相容れないものであることは明らかだ、もつとも米國自體も二月下旬のメキシコチーフ會議でチャベルテベク憲章などといふものを作り米洲の地域的保障制度の確立に乗出してゐるので必ずしもフランスのわがままは叱られない地位にあるが、そこは面の皮の厚いヤンキーのことで自分のことは棚にあげて、ひと揉み揉むことはいまから豫想してよからう、フランスは採決方式についても異論を持つてゐるらしいが、ヤルタで決定した採決方式は、元來がスタリーンの主張にオブラートを着せたもので、フランスとしては、多少の異議があつても鵜呑みにするほかはないと觀念してゐるだらう、フランスの狙ひは採決方式に文句をつけて「だから地域的保障制度を強化する必要がある」といふ主張に持つて行きたいのである

昭和二十年四月六日(金)
第三三八三號

同盟通信

海外電報

(76)

米軍航空隊の對日戰略爆撃はいよいよその頻度を加へて來た、規模こそ從來と餘り變つてゐないが、一週間乃至十日を單位にしてその出撃機數を見れば、マリアナ基地に對する燃料、彈藥等の補給が最近頗る増大してゐることは、十分に察知される、爆撃に限らず近代の消耗戰においては作戰のリズムといふものが極めて著しい、それは兵器の發達により鐵量の費消が甚だしく能率的になつたのに反し、補給力の方面は餘り急速な進歩を遂げなかつた所から生れた現象であつて、陸軍機甲部隊の大突破作戰においても、水上機動部隊の推進作戰においても、一定期間活潑な作戰行動を行へば必らず若干時間の休止期間が來なければならぬのである、同様の機動戰においても、この近代戰のリズムを離れることは出來ない、即ちリズムを決定する因子は、燃料、彈藥の補給、航空機の補充並びに整備であつて、人員は十分に用意されて何交替制かで常時待機してゐるとみなければならぬ、以上の因子のうち現在マリ



アナ基地を最も制約してゐるのはB29の補充並びに整備であらう、高射砲彈幕の間を縫つて低空攻撃する最近のB29は恐らくその破損消耗もわれわれの想像以上に甚だしいにちがひない、整備といつても航空機部分品のごとき到底必要量だけは揃へられる筈がなく、そのことは第二十一爆撃隊當局も認め、大部分代用品で間に合してゐると告白してゐる、しかも敵が毎日出撃機數を三百機と發表してゐる事實は、航空機の犠牲を出来るだけ世界の眼から隠蔽しつつ、攻撃リズムの平均化急速化を實現する時期を待つてゐるのだと解釋される、硫黃島作戰終了後旬日を超えながらA26、B25、P38、P51、P61等の機種がいまだに東京上空に姿をみせないことは、これら中小型機種の本格的出動以前にその作戰リズムをマリアナ基地と合せんとする調律の苦心が窺はれ、それだけに油断はならない

【目次】

上院國民徵用法案を再び否決……………九七六

米國務長官英ソ重慶大使と會談……………

米、一日の戰費二億六千萬弗……………

米、炭田罷業再開……………

ソ伯兩國國交開始……………

チエコ新政權閣僚顔觸れ……………

希、EAM團分裂……………

アラブ豫備會談を開催……………

【米 洲】

三要求を撤回……………九七七

延安の武器援助要請を拒絶……………

在米ユダヤ人の五要求……………

【英 帝 國】

英聯邦會議開幕前の空氣……………九七八

英聯邦の立場を陳辯……………

【反樞軸陣營】

アンラ解消論擡頭……………

獨監理委員長任命……………

【東 亞】

ビルマ派遣東阿第十一師團長……………

【特 輯】

フランスと臺灣會議(下)……………九七九

英國における過渡期の諸様相……………九八〇

上院國民徵用法案を再び否決

(リスボン三日發) ワシントン來電 米國上院は上下兩院協議會の提出した國民徵用法修正案を審議中であったが三日四十六票對二十九票で否決した、問題の國民徵用法原案は下院において末節に修正を加へたのみで一應可決されたが、上院で徹底的に骨抜きにされ更に上下兩院協議會の作成した妥協案も僅か七票の差で下院を通過したが、上院で眞向から否決されたもので、上院の強硬な態度によりルーズヴェルトの國民徵用法案は昨年と同様今年も闇に葬り去られた譯である

米國務長官英ソ重慶大使と密談

(リスボン三日發) ワシントン來電 國務長官ステチニアスは三日英ソ重慶の三大使と特別會見を行ひ、まづ午後二時四十五分ソ聯大使及び重慶大使と同席で會談した後、四時十五分英大使ハリファックスと單獨談合を遂げた

米、一日の戦費二億六千萬弗

(リスボン三日發) ワシントン來電 米財務省は三日左の通り發表した
三月における米國の戦費は八十二億四千六百萬弗に上つた、一日當り二億六千六百萬弗となる
右は一九四四年五月以來の新記録で當時の戦費は七十八億七千九百萬弗であつた

米炭田罷業再開

(リスボン三日發) ワシントン來電 米國東部炭田の大罷業は四月一日で満了した從來の勞働契約を暫定的に五月一日まで延長して賃金交渉を續行する建前で一應回避される氣配を示したが、全米の有煙炭坑夫八萬名は三日突如罷業を再開、再び不穩な雰圍氣を醸すに至つた、以上の罷業は一日にして直ちに他の重要軍需工業に影響を及ぼし、USスチール最大の仔會社カーネギー・イリノイ鐵鋼會社のごときは「急速に事態が打開されぬ限りは熔鑪爐を閉鎖しなければならぬ」と悲鳴を擧げてゐる有様だ

罷業は米國炭坑勞働者組合會長ジョン・ルイス

が組合の各支部に勞働契約の延期と賃金交渉の繼續とを通告して罷業の停止を命じたに拘らず、これを無視して斷行されたもので勞働者側が組合本部の措置に反對してルイスの要求を手緩しとして再罷業の擧に出たのではないかとみられてゐる、因みにルイスは週三十五時間勞働制を復活し右以外の勞働は總て時間外勞働にすることを主張してゐる

ソ伯兩國國交開始

(リスボン三日發) リオ・デ・ジャネイロ來電 ブラジル政府は二日ソヴェト聯邦との間に外交關係を開始した旨發表した、ただし公使の選任については言明してゐない

チエコ新政權閣僚顔觸れ

(ストックホルム三日發) 英紙「ニューズ・クロニクル」の三日附報道によればチエコスロヴァキア政權大統領ベネシユは新政權閣僚の主な顔觸れを次の通り發表したといはれる

首相・フイエリリンゲル(モスクワ駐劄大使)

國防相・スヴオボード(東部戰線チエコ軍司令官)

外相・アサリク(留任)

希、EAM團分裂

(リスボン三日發) アテネ來電 EAM團所屬の黨派として共產黨に次ぐ大勢力を誇るギリシヤ大衆共和同盟ELDは三日、EAM團からの脱退を正式に發表した、他の群小社會主義政黨もELDと行動をともしEAM團を脱退した

アラブ豫備會談を開催

(リスボン三日發) カイロ來電 エジプト放送はエジプト政府が桑港會議開催前にアラブ諸國代表をカイロに召集し、豫備會談を行ふに決定した旨三日發表したと傳へてゐる、これに關しシリヤ、レバノン、イラク、サウジアラビヤ代表はエジプト代表と會談する用意ある旨言明したが、イラントルコ兩國代表はまだ態度を明確にしてゐない

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

【米 洲】

三票要求を撤回

(リスボン三日發) クリミヤ會談の密約により米國がソ聯に對し國際安全保障機構における三票の投票權を認めると同時に、白國も同じく三票を要求するとの事實が發表されたことから、反樞軸陣營内には俄然紛糾續出、ソ聯のポーランド假政府參加要求まで加はつて桑港會議の延期説さへ傳へられるに至つたが、ワシントン來電によれば米國務長官ステチニャスは三日新聞記者團會見において大統領ルーズヴェルトが米國の三票要求を撤回するに決した旨發表すると同時に、桑港會議は延期されないと言明した、ステチニャスの言明要旨次の通り

大統領ルーズヴェルトは米國が國際安全保障機構において三票の投票權を獲得すべしとの提案を撤回した、白ロシア並びにウクライナの兩共和國が國際安全保障機構の第一次加盟國となるべきか否かはサンフランシスコに會同する反樞軸諸國の考慮し決定すべき問題である、白ロシア並びにウクライナを國際機構の第一次加盟國とすべしとの提案をソ聯政府が特に重視せる點より見て、ヤルタ會談の米國代表は兩共和國人民が共通の敵に對する不屈不撓の抗戰において演じたる英雄的役割と、彼等が戰爭の迫害に耐へ忍んだ勇氣を尊敬し、合衆國政府が桑港會議においてかかる提案のなされた場合それを支持すべきことに同意した、しかしながらヤルタ會談においては兩共和國の桑港會議參加の問題については何の協定も行はれなかつた、また桑港會議を延期するやうなことは絶対にない、如何となれば米國政府は軍事的、政治的情勢の發展の急速なるテンポがダンバートン・オークス會談における計畫案の即時實施を愈々必要ならしめてゐると信ずるからである

更にわれわれは他のどの政府にせよ會議を延期すべきだと信じてゐるといふ證左を全然認めてゐない、桑港會議に對するポーランド代表の出席に關する外交交渉は今なほつづけられてゐる

米國政府は現在においても新ポーランド政府が時期に遅れぬやう樹立されることを希望してゐる、余はルーズヴェルト、チャーチル並びにスターリン議長の三者が最近米英ソ三國間の一致を脅かすに至つた諸困難を克服すべく努めてゐると信じてゐる、また桑港會議並びに五大國會談が行はれるといふやうなことは今まで何の示唆もなく、また全然考へられてゐない

延安の武器援助要請を拒絶

(リスボン二日發) ワシントン來電「歸國中の重慶駐米國大使バトリック・ハーレーは二日初めて記者團と會見、米、重慶兩國間の現下の關係について説明したが、特に一記者が延安が米國に鹵獲兵器の引渡しを要求した事實について質問したに對し次の通り米國政府の態度を明らかにした如何なる武裝政黨にもせよ武器を供給することは交戰國としての地位を認めることになるが、米國は重慶政權のみを承認してをり、従つて軍事的にも政治的にも將又經濟的にも援助すべきは重慶政權のみであるべきだ

在米ユダヤ人の五要求

(リスボン二日發) ワシントン來電「米國ユダヤ人會議は二日、在米ユダヤ人を代表して國務長官ステチニャスに對し、桑港會議にはユダヤ人を傍聴者として出席せしめるやう要求すると同時に、戦後におけるユダヤ人のための「安全保障」計畫を提示、反樞軸國はユダヤ人の利益のため次の五ヶ條を實行すべきであると宣言した

- 一、戦後における反樞軸憲章に國際上の「人權章典」を加へること
- 一、ユダヤ人國家としてのパレスチナ地方再建事業促進
- 一、歐洲在住ユダヤ人の市民權並びに統治權の復活

一、ユダヤ人の復興、移住及びナチ黨によつて沒收された財産の回復のため必要の措置をとること

一、ユダヤ人に對する戰爭犯罪責任者の處罰

【英 帝 國】

英聯邦の議開幕前の空氣

(リスボン三日發) 桑港會議の豫備會議としての役割を演ずる英聯邦會議は愈々四日から開幕の運びとなり、南阿聯邦首相スマッツは三日外相フォーシスを帶同、ロンドンに乗り込み、印度代表ヴァンガール・クリシ・ユナマハリアも同日ロンドンに到着したが、英國政府筋は會議開催の眞の意圖を隠蔽するため、三日次の通り陳辯した。

「本會議開催の目的は英本國が英國自治領各代表に共通の政策を押しつけるためでもなければ、自治領諸國に共同政策を樹立せよと強要するためでもない、本會議をもつて英本國並びに自治領各國が英帝國ブロックを形成し、桑港會議に共同戦線を張るための準備過程と見る向きがあるが、かうした見方は會議の精神と目的を全く誤解してゐるのであり、本會議では英聯邦諸國が相互に利害關係ある諸問題につき單に協議を行ふことを目的とするに過ぎない」

しかるに、先に濠洲外相エヴァットは桑港會議における英國自治領の立場を説明して英本國が一票の投票権をもつて自治領各國をも含めて代表することには絶対反對を表明したが、南阿聯邦首相スマッツも同様自治領が本國と平等かつ獨立の立場を維持するを主張するものとみられてをり、更にカナダ首相マッケンジー・キングは既にカナダ議會においてダンバートン・オークス提案でカナダ、濠洲等の英國自治領が中小諸國として輕視されてゐる事實に不満の意を表し、印度代表もまた印度が別個に安全保障機構の一員として参加するを當然のこととして豫想してをり、桑港會議と英聯邦會議を契機として、從來から認められてゐた英自治領諸國の本國離反傾向は愈々顯著となつてゐる。

英聯邦の立場を陳辯

(ストツクホルム二日發) ロンドン來電 桑港會議に對する英聯邦豫備會議出席のためロンドンに到着した濠洲外相エヴァットは二日この問題に對する英聯邦の立場を釋明して次の通り述べた

米國では英聯邦が六票の發言權を持つてゐるため米ソ兩國に比し非常に有利に立場におかれてゐるとの主張が行はれてゐるが、これは英聯邦の性格に對する重大な認識不足から來てゐる、今度英聯邦がロンドンで豫備會議を開くこととなつたのも各自治領が自發的に決定したところで、英本國が共同戦線をはるために特に召集したものである、英聯邦諸國が時々會合を行つても、これは決して各自治領の國際的地位と矛盾はしない

【反樞軸陣營】

アンラ解消論擡頭

(チューリッヒ一日發) アンラ(反樞軸救済復興會議)は設立以來既に二年近くにもなるが、尨大な組織を擁するのみでその業績一向にあがらず、その主催國たる米英兩國においてさへアンラの無能に對して非難の聲囂々たるものがあるが、直接アンラの救済對象となつてゐる戦火にさらされた小國においてその不満特に強く、最近公然とその解消論さへ論議されるに至つた、アンラの無能振りについては舊國際聯盟委員會でさへアンラよりは遙かに能率的だつたとさへいはれてゐる程だが、アンラ解消論と關聯しては新國際安全保障機構内に設置されることとなつてゐる經濟、社會問題評議會にアンラの事業一切を委託せよとの主張も行はれ、きたるべき桑港會議の一議題となるだらうと觀測されてゐる

獨監理委員長任命

(リスボン二日發) エキスチエンジ通信社のワシントン電報によればアイゼンハワーは三月二十九日夜正式に西部戦線反樞軸軍のドイツ監理委員長に任命されたといはれる

【東 亞】

ビルマ派遣東阿第十一師團長

(リスボン三日發) ケニア州ナイロビ來電 英陸軍少將W・A・ダイモリンは三日ビルマ派遣東阿第十一師團長に任命された



フランスと桑港會議(下)

井上 勇

△小國の保護者面

フランスが地域的保障制度にこだはるのは、その方が一層實際的であるといふ表看板のほかに、地域的保障に名をかりて、歐洲の群少國と協定を結び、これを牛耳ることによつて、戦前の「弱少國家の保護者」の地位を回復したいといふ肚がある。「ロルドル」のエミール・ビュレなどは英首相チャーチルがフランスに對して「保護者面をして口を利く」のがフランス人の耳には我慢がならぬと稱してゐるが、同じことをベルギーやオランダではフランスについてゐる、ロンドンに出てゐる「ヴリー・ネデルランド」は

ド・ゴールは牝鶏が雛つ子を自分の羽の下に掻きこまうとすると同じやうにベルギー、オランダを扱つてゐる、フランスは白、和兩國を抱込んで、ドイツから分離したラインランドを加へそれに各國が有する植民地まで参加させて、フランスが指導權を持つ一種の聯邦を作らうと誘ひ水をかけてゐるが、少くともオランダはフランスの保護などが必要とせず、英國が参加しない如何なる歐洲聯合にも参加する意圖はないと述べてゐる、この氣持ちはベルギーも同様であることが容易に想像出来る、フランスが小國群を率ゐて、一種の歐洲聯合を組織することは直接英國の關心の的たらざるを得ない

△フランスの自己認識

ルーズヴェルトとの面會を斷り、桑港會議への發起人國となることを拒絶したフランスの態度の中には一貫して流れる一つの心理的動機があることは確かである、それは米英ソ三國がフランスの國家的衿持を蹂躪したといふ感情だ、ド・ゴールの最近の言動、フランスの外交政策の基調がフランスは世界的大國であり、米英ソと同じ水準に立つ國家であるといふ考へ方から出發してゐることは明白である、この考へ方が如何に現實から遊離したものであるかの客觀的認識がフランスにはな

い、一九三九年以後フランスの地位が如何に變化したかを彼等は少しも悟つてゐないのである、その點は英國とても同様であるが、英國ほどの老獪さを知らぬフランスはひた向きに、大國振らうとして、出来もしない相談を相手に持ちかけては笑殺されてゐるのだ、「ステーツマン」誌は自省し且つフランスに訓へてゐる

世界の規模で測量し、權力の規準で判定した場合、英國もフランスも、米國やソ聯に較べれば二流國になつてしまつたのだ

だから兩國は共に握手して、牛後となるよりも鶏口とならうではないかと「ステーツマン」はいふのであるが、フランスは今のところでは牛後になる意志は持たない上に、鶏口になるにしても、兩頭の鶏などは御免だと考へてゐる、フランスはこの立場乃至は見解から出發して、桑港會議へ臨む態度を決定しつゝあるわけであるが、相手國特に米國が極めて明瞭なフランスの實力に對する認識を有してゐる限りは、フランスの主張は進退兩難に陥入る危險が多分にある、ド・ゴールはソ聯の同情を心當てにしてゐるかも知れないが、モスクワが同情で動く代ものでないことはこれまた明瞭であり、フランスは孤立する惧れがないこともない、ソ聯は戦後一定期間の國際協調を必要とする實情にあり、フランスのために己れの安全を犠牲にするつもりはない、現に「バーズラー・ナショナル・ツァイトング」など

パリとモスクワとの關係は最近特に緊張の度を強めて來たやうだ、従つてフランス共產黨がド・ゴール政府に對する態度を改めるに至ることも想定し得る

と三月九日報じてゐるが、モスクワの對ド・ゴール態度の變化は、いまのところでは形の上には現れてゐないといへばいいが、フランスの要求した桑港會議招待狀内容の變更を「時期を失したものと」して一蹴したり、ダンバートン・オークス案の修正要求覺書を「受取りおく」程度にあしらつたりしてゐる點からみても、モスクワが少くともド・ゴール個人に對する認識を修正しつゝある證左とされなくもない、かたがた桑港會議はフランスにとつては、己れの眞の地位を悟らせざるを得ない機會を與へてくれる點でも、大いに意義があらうといふものである



英國における過渡期の諸様相

長谷川才次

「冬来りなば春遠からじ」といふ詩人シェリーの言葉は英國で初めて實感が味へるやうに思ふ、短い冬が過ぎて三月ともなれば早くも春日煦々たる陽春の氣候である

「先週中に愈々春が來たことを英國が知つた、カラとタイを取りはづし中折帽を止め女性はショーツを穿き出した、數千の工員は新鮮な空氣といふ強壯劑を吸ひ込みロンドン並びに郊外からは自轉車に乗つた人々が續々田舎へ出かける、山里の小徑は元氣のいいハイカーで活況を呈し、分譲地や裏庭ではみな忙しさに土を起してゐる、土曜日（三月十七日）の氣溫は全國を通じて例年よりも高い、イングランド西部は日光を心ゆくまで享受し、コーンウォールのリザード岬では九時半、プリマス、ペンブローグでは九時、プリストルでも六時以上だ、日曜日にはドーヴァー海峡地帯で十時間の陽光だ、ロンドンではハイド・パークに初めてデッキ椅子が現はれ休養をとる勤勞人で一杯だ、農民達は三月初めの春めいた氣候に満悦の態で春は英國にとつてこの上のない恵みである」

ロイター電報は三月十九日このやうに報道してゐるが、住宅難と燃料不足に悩み抜いた英國人にとつて春の訪れは全く天の助けに違ひない

△政界は總選舉氣構へ濃厚

イーデン外相が下院で述べたところによれば、英國議會は三月二十九日をもつて復活祭休日に入り四月十日再開、四月二十四日には藏相が豫算演説をやるといふし、防空監視哨も撤廢になる様子だ、政界は保守黨大會におけるチャーチル首相の演説を皮切りに總選舉氣構へ愈々濃厚である

「デーリー・テレグラフ」紙の政治記者は三月十六日の紙上で次の通り述べてゐる

「チャーチル首相の演説に徴すれば總選舉は豫想よりもずつと早く執行され、且つ總選舉と共に各

主要政黨を代表して新しい内閣が組織されるだらうとの觀測が有力だ、首相は中間的な聯立内閣を組織して歐洲における戰鬭の終了後民意を問ふことを示唆したが、黨大會の決定にも拘らず勞働黨の領袖が新たな聯立内閣に参加しても差支へないといふのが勞働黨議員多數の見解だ、自由黨もまた總選舉が間近に迫つても、現在の聯立内閣乃至新たに出来る内閣を支持するに傾いてゐる」

また「ニューズ・クロニクル」紙の政治記者スタンレー・ドブソンは次の觀測を傳へてゐる

「チャーチル首相が現在の聯立内閣解體後舉國一致内閣を組織し度い希望を述べた結果、政界筋では種々な臆測が流布されるに至つた、先づ保守黨の有力分子の間には以上の見解に失望を感じてゐる向きが多い、彼等は來るべき總選舉で保守黨が下院に過半数を占め聯立内閣における妥協に煩はされず獨自の政策を遂行出来ることを期待してゐる、更に過渡期内閣において實際に内政部面の全般を擔當するのは誰だらうといふ點に種々觀測が傳へられてゐるが、現内閣の藏相サー・ジョン・アングダーソン、復興相ウィルソン卿並びに勞働相サー・アーネスト・ベヴィン等の呼び聲が高い、内先の二人は政黨人でなく次の内閣に留任することとは確實だ、サー・アーネスト・ベヴィンについては多數友人が次の内閣に仕へる勞働黨の少數の領袖の一人と見てゐる、モリソン内相は勞働黨の勢力挽回に大きな役割を果たさねばならぬので過渡内閣には留任しないだらう、萬一チャーチル首相の舉國一致内閣に参加すれば、モリソン内相は飽くまで社會主義綱領に基き總選舉を争はうといふ勞働黨の「卒伍」を敵に廻はす結果とならう、しかしチャーチル首相は現在の閣僚の大半と同様、歐洲戰爭後數ヶ年間は世界的な諸懸案を片付けねばならず戰時におけるが如く各政黨の合意がなければ何事も達成出来ぬといふ意見だ

△注目される勞働黨の動き

●問題は勞働黨の立場だ、勞働相サー・アーネスト・ベヴィンは聯立内閣を頻りに提唱してゐるから、チャーチル首相の傘下に踏み止まること疑ひなく、アトレイ樞相に代つて新たな勞働黨内閣を組織しようといふモリソン内相が閣外に去ることも

同盟通信

海外電報

(第三種郵便特許可)

まづ間違ひない、且つ總選舉の推移も太平洋反政作戦を背景としてその影響を直接間接受けることも明らかだ、しかし労働黨の内情はもう少し複雑だ、ロイター電報は三月十八日次の通り報道してゐる

「舉國一致内閣を組織しようといふチャーチル首相の提言については英國政界に三種の解釋が下されてゐる、第一に戦後復興期間内に保守黨労働黨並びに自由黨の聯立内閣を再現する意圖だとの見方、第二に必ずしも形式的な各政黨の聯立内閣を求めず首相が「何れの政黨たる」と乃至無所属たるを問はず」といつてゐるやうに各方面の強力な人材を網羅する方針だとの観測、第三に日本軍との戦争乃至戦後復興のため新たに聯立内閣を必要とする場合を見越し聯立内閣への門戸を開けておくジェスチュアに過ぎないとの考へ方だ

首相は二年前所謂四ヶ年計畫を發表するに當り第一案を提唱、もし第一案が纏らぬ場合には第二案で満足する旨を明らかにしたが、爾後労働黨と自由黨とは黨議をもつて、黨出身の閣僚が依然留任を希望する場合には歐洲戦争の終了後執行される總選舉に先立ちあらかじめ脱黨しなければならぬ旨決定してゐる、各政黨とも自黨の政綱變更に反對ではつきり自黨の政策に立つて總選舉を戦ふことを希望してゐるがチャーチル首相今回の言明で労働黨の内部は意見の對立を來たすに至つた

△シンウエル、痛烈に首相を攻撃

労働黨將來の首相と呼ばれるエマヌエル・シンウエルは過般ブリマスにおける演説で

労働黨は歐洲戦争の終了後保守黨との提携を拒否する、我々はトリー黨の御機嫌を伺ふためにチャーチル首相のお座敷に出はしない、來るべき總選舉で労働黨がはつきり過半数を確保出來ようといふ際何を苦んでチャーチル首相の申出を受け容れる必要があらう、來るべき總選舉においてはチャーチル首相の政治的將來は戦争指導者としての榮光と雄辯とによらず、戦前におけるチャーチルの業績と無制限な民間企業を提唱する黨派との關係とによつて決定されよう保守黨は民間企業體制によつて民権自由を確保出來ると稱してゐるが、少數が社會の残りを搾

取する體制に他ならぬ

と痛烈にチャーチル首相を攻撃した、但し労働黨の首領アーサー・グリーンウッドは可成り穩健論で、總選舉後における聯立内閣の門戸を閉ぢはしなかつたが、首相の演説は労働黨の内部攪亂を企圖してゐるに他ならぬと論難してゐる

ただ不思議なのは共產黨領袖ハリー・ポリツトが聯立内閣案に賛成してゐることで労働黨も進歩的分子とをもつて過半数を占め、各政黨を網羅する後繼内閣を主張してゐる過渡期の内閣には蔵相サー・ジョン・アンダーソン、陸相サー・ジェームズ・グリグ、復興相ウールトン卿、運輸相レザース卿等が留任するだらうが爾後の内閣の性格は總選舉の結果如何によつて極まらう、十年振りの總選舉で各派とも明確な過半数を収めることが出來ず聯立内閣の組織をみるかも知れない

△光明なき英國の前途

以上英國政界筋の論議は悉く歐洲戦争が近く片付くとの皮算用に立脚してゐるが、果してしからば何時如何なる様式で歐洲戦争が終了するといふ見透しを立ててゐるのだらうか、チャーチル首相は今回保守黨大會における演説で、從來の見透しを幾分修正し「歐洲における勝利は夏以前に否それよりも一層早く到來するかも知れない」と樂觀し、「デリー・テレグラフ」紙の政治記者は

「米英ソ三國が共同聲明でドイツ軍の效果的抗戦は終りを告げた旨宣言するのが正式に歐洲戦争の終結を指示する方式とならう、右宣言後抗戦を繼續するドイツ人に對しては戦時國際法を適用しない、時期はドイツ國內における主要交通線が悉く聯合軍の掌中に歸し、集結した大規模なドイツ軍の抗戦が停止した場合を選ぶ」

と述べてゐる、更に労働省當局では爾後一ヶ月以上を経過した後初めて派遣軍の除隊が始まると洩らしてゐるが、萬一かかる皮算用が悉く實現するとしても、英國の前途には殆ど光明を見ることが出來ない、労働相サー・アーネスト・ベヴィンは最近の演説で次の通り警告してゐる

労働省は英國人二千二百萬人以上を徵用した最高時には徵用人員約二千五百萬人に達したが、敵味方を通じ人口に比して最高の動員である、解除が愈々始まる場合には復員を圓滑にする潮

流が出来ねばならない、第一に歸國する英國民に對し親切に配慮する必要あり、その場合には忍耐が肝要である、色々不快なことや困難も起らう、彼等を教育して逐次市民生活に復歸させねばならない、若し注意深く善處しなければ國內には罷業が起り混亂が起り騷擾が持上らう、しかし英國は産業上の騷擾を起してゐる餘裕なく、萬一かかる事態が発生すれば戦争よりも高價な結果とならう

前マドリッド駐劄大使テンブルウッド卿は更に歐洲大陸の危機を指摘し

西に東にわれわれは最大の努力に全力を傾倒してゐるが、次に第三の頂きが——歐洲の混亂といふ頂きが控へてゐる、ドイツが崩壊する場合全歐洲が破滅に瀕する恐れあり、ナチ黨は歐洲を混沌の泥沼に叩き込んで再起を圖るかも知れない、歐洲に對する最高指揮官即ち經濟的なアイゼンハワー將軍と經濟的參謀本部とを必要とする所以である

と述べてゐる

五年有半の惡戰苦闘の後一陽來復、英國人が社會保險法に基く樂土を豫想してゐるとすれば深刻な裏切りを感じるに違ひない、シンウエル等を首班とする労働黨が最近英國下院において事毎にチャーチル首相に喰つてかかつてゐるのも、民心の動向を察知した政治工作に違ひない、米國との間には太平洋作戦や食糧貸與に關聯して喰ひ違ひが絶えないし、ソヴェト政府のバルカン近東政策にも英國民は晏如たるを得ないだらう

△心細い食糧省の聲明

食糧泥試合についてはリユーリン食糧相が近くワシントンに乘込んで交渉を開始する様子だが、食糧省では三月二十三日早くも次の聲明を出してゐる

今後暫く米並びに家庭用ミルクを市場に出すこととは出来ない、家庭用罐詰ミルクは從來貸與協定で米國から輸入されてゐたが、最早殘餘はなく、米はビルマ地方から輸入されてゐたのだが同地方の米作地解放は米を消費する地域の解放と足並みを揃へることが出来ない、代りにブラジル、エチオピア並びに米國から入る米は、此等

の米消費地域並びに東亞戰線の兵士に振り向けられてゐる

△首相も懸念な住宅難對策

派遣兵士の歸還を豫想してゐる英國政府にとつて、食糧よりも一層大きな問題は住宅難だ、復興相ウールトン卿は三月二十日白書の形式で住宅難對策を發表したが、白書の一節は次の通り述べてゐる

政府の住宅對策は第一に各家庭に獨立家屋を提供することを目標としてゐるが、以上の目標を實現するには、新たに七十五萬戸の住宅を建設せねばならない、第二に貧民街並びに過度密集地域の整理だがそのためには別に五十萬戸を必要とする、歐洲戦争の開始以前には建築業の人員百萬人であつたが今日の人員は三十三萬七千人に過ぎない

住宅問題についてはチャーチル首相も保守黨大會における演説で事態の重大な所以を認め

五ヶ年間全然建築せず五ヶ年間ドイツ軍によつて破壊を受けた後充分に住宅を提供する緊急の要務に當面してゐる、兵士がライン河畔から、アペーニ山系から、乃至マンダレー地方から歸還する前に、最善を盡くして住宅難を片付けようとする當局は全力と盡くしてゐる

と述べてゐるが、復興省の白書に關しては三月二十二、二十三兩日英國下院で活潑な論議が展開された、保守黨のロフタス議員が

住宅問題は戦争と同様な國家非常事態として處理されねばならない

と主張したのに對し、チャーチル首相は次の通り答辯してゐる

戦争遂行の施策によつて住宅難を解決せねばならない、戦争に對すると同様一括豫算を可決し保健省が戦時における陸軍省と事業省が供給省と同じ地歩に立たねばならない、余は平時における労働力の統制に反對だが、住宅に關する國家非常事態については、一定期間例へば三年間労働力の統制に同意する

戦時編制で住宅難を解決するといふ趣旨に基きサンデース事業相は二十三日の下院で元ロンドン高射砲隊司令、代將サー・フレデリック・ライルを「假住宅總司令」に任命する旨發表した

昭和二十年四月七日(土)
第三三八四號

同盟通信

海外電報

(77)

歐洲戰爭が世界戰爭に發展して以來、米英ソ三國の共同戦線が何時まで維持されるかが戦局の推移と睨み合はせて世界戰爭の歸趨を決定する要因と看做されてゐるが、或ひばソ波兩國間の紛争といひ、さらにイラン油田に關する爭議といひ、幾多利害對立の契機を包藏しながら三國の共同戰爭はテヘラン會談以來逐次強化されるに至つたと解するのが至當であらう

全從連衡の秘策を施す餘地があつたとすれば、赤軍が未だドニエプル河を渡らず米軍機動部隊がサイパン島に迫らぬ以前のことだ、爾來いはゆる大同盟は東西の戦線において順風満帆の攻勢を繼續してゐるのだらう、紛争の契機は潜在しても三國の對立が表面化する餘地はない、世界戰爭が全面的に終局を告げるまで如何なる難題を吹きかけられてもソヴエト政府の御機嫌を取結ばうといふのがルーズヴェルト大統領とチャーチル首相との不動の方略である、亡命ポーランド政權を見殺しにしてカーゾン線Aをソ波兩國間の國境線として承認したのも、國際平和機構に關する投票權に關聯し米國政府があつさり自國の要求を撤回したのも、冷靜な打算の上に立ち面子をかなぐり棄てた施策である



したがつて米英ソ三國の寄合世帯を指摘し同床異夢を論議するのは少くとも世界戰爭の現段階において百害をそゝる一片の利もない、ソヴエト政府としても歐洲戰爭の遂行に米英兩國から多量の武器貸與を受けてをり、戦後經營にも兩國の資本と機械と技術との援助を受けねばならぬのだから歐洲の戦場においてのみならず東亞政策についても飽くまで米英兩國と緊密な協力關係を維持するに違ひない

この現實をはつきり把握せずに希望的觀測に基いて國策を指導するならば岌々乎として殆い哉

目次

佐藤大使モロトフと會見	九八四
米國務長官三國大使と會見	九八四
平和會議は二回	九八四
新チエコ政權組織	九八四
獨軍ブルツク放棄	九八四
ドイツ軍戀しの伊國民	九八四
米自動車工業の再轉換	九八四
米軍損害九十萬に迫る	九八四
【米 洲】	
桑港會議顧問任命	九八五
海軍徴兵數削減	九八五
飛行機生産高	九八五
亞國チャブルテベツク決議參加	九八五
【英 帝 國】	
ハイレ、ロンドン着	九八六
英聯邦會議開く	九八六
【東 亞】	
敵硫黃島司令官任命	九八六
重慶駐劄ソ聯大使更迭	九八六
【歐 洲】	
瑞西、伊國境防備強化	九八六
ド・ゴール經濟相辭職	九八六
【ソ 聯】	
シヤポーシニコフ元帥病死	九八七
【軍事情報】	
ますます大型になるV兵器	九八七
【特 輯】	
アフリカ雜記帳(下)	九八七
【資 料】	
反樞軸戰後海運協定	九八八

佐藤大使モロトフと會見

(モスクワ五日發) 佐藤大使は五日午後三時ソヴェト政府の要請に基きソヴェト外務人民委員部を訪問しモロトフ外務人民委員と會見した

米國務長官三國大使と會見

(リスボン四日發) ワシントン來電 國務長官ステチニアスは三日ソヴェト大使グロム・イコ氏英國大使ハリファックス、重慶大使魏道明と會談した、會談は桑港會議に關する打合せだつたといはれるが、ワシントン政界消息筋はこの種の會談でソヴェト大使が重慶大使と同席した點を特に重視してゐる

平和會議は二回

(リスボン四日發) 上院外交委員長で桑港會議における米國代表の一員に任命された民主黨上院議員トム・コナリーは四日次のやうに言明した
將來世界地圖を描く平和會議は一回ではなく二回開催されることになりさうだ、即ち歐洲戰爭と太平洋戰爭を解決する二つの平和會議だが、歐洲における反樞軸軍の早急の勝利は一つの平和會議の時期を早め、對日戰が決定される前に開催されることとならう

新チエコ政權組織

(リスボン四日發) ロンドン來電によればチエコスロヴァキア大統領ベネシユは五日假首都キヤツソーに乘込み、ヤコブ・フイエルリンゲルを首班とするチエコ新政權の顔觸れを發表する豫定といはれる、新内閣は先に内外のチエコ政界首腦五十餘名がモスクワに參集慎重協議を凝らした結果に基き選出されたもので、共產黨、社會民主黨、社會國民黨、カソリック黨から各一名、スロヴァキアで地下運動を行つてゐる諸黨派から六名の閣僚によつて構成され、左翼各黨及びスロヴァキア地下黨の進出が注目される、亡命政權國務相ヒューベルト・リプヤも外相ヤン・マサリクとともに貿易相として留任することとなつてをり、閣僚一同

のキヤツソー到着を待つて最初の閣議をひらき新内閣の政策に關し聲明を發表するものとみられてゐる

獨軍ブルツク放棄

(ベルリン五日發) ドイツ前線報道 マリノフスキー麾下の第二ウクライナ戦線軍は五日ウイーン東南三十軒、ライタ北岸のブルツクを占領した

ドイツ軍戀しの伊國民

(ストックホルム三日發) ヨーヂボリー商業新聞のローマ電によればローマ市民は同市占領當時のドイツ軍を今さら懐しく思ひ始めた模様で、その事情は同紙によれば次の通りだ
ドイツ軍は殆んどイタリアの内政に干渉しなかつたため南イタリアに好印象を残して行つた、それに反して聯合軍は或ひは建物を受け取り種々の占領軍制を布くなどあらゆる點で友好國の假面を脱いで征服者としての暴虐を露呈し、悉くイタリア國民の意に反する行爲に出てゐる

米自動車工業の再轉換

(リスボン五日發) ワシントン來電 戰時生産局は世界戦局の推移に鑑み、最近再び軍需工業の再轉換準備を開始したが、開戦以來最も大規模な轉換を行つた自動車工業の再轉換準備にも着手し、生産局長官クルーグは今週中にも専門家團を引率して自動車工業の中心地デトロイト市を訪問することに決定した模様だ、一方クルーグは自動車工業の再轉換を専門に擔當する者を生産局首腦部のうちから一名選任することとならう

米軍損害九十萬に迫る

(リスボン五日發) ワシントン來電 陸軍長官ステムソンは、五日の新聞記者團會見で、開戦以來の米國陸海兩軍の兵員損害が八十九萬二千九百九名に達したと發表した、その内譯は陸軍七十九萬八千三百八十三名海軍九萬四千五百二十六名だが陸軍の分は三月二十七日までに報告すみのものである

同盟通信

海外電報

(第三週郵便物)

【米 洲】

桑港會議顧問任命

(リスボン四日發) ワシントン來電 政府は四日桑港會議の米國代表に隨伴する顧問團の顔觸れを次の通り發表した

△國務省

國務次官補 ジェームズ・ダン

法律顧問 グリーン・H・ハツクワース

レオ・パスヴォルスキー

イザイア・ボーマン

ハミルトン・ワイシユ・アームストロング

チャールス・タウシツグ

チャールス・タフト

ジョン・ヒカーソン

△陸軍省

次官補 ジョン・J・マクロイ

中將 スタンレー・D・エムビク

少將 ムイル・フェアチャイルド (統合參謀本部附)

代將 ケナー・F・ハートフォード (統合參謀本部附)

次官補 アーテムス・ゲイツ

大將 A・J・ヘプバーン

△海軍省

次官補 ラセル・R・ウイルソン

中將 (將官會議々長)

少將 ハロルド・C・トレイン (統合參謀本部附)

少將 (統合參謀本部附)

次官補 ハリー・D・ホワイト

△內務省

次官 アペ・フオータス

△農務省

次官補 チャールス・ブラン

△商務省

商務長官附特別補佐官 フランク・ウオリング

△外國經濟院

法律顧問 オスカ・コックス

司法並びに勞働省よりの顧問は退つて任命の管

である

海軍徴兵數削減

(リスボン四日發) ワシントン來電 米海軍は徴集人員の半減を斷行、五月には一萬六千名を徴集する旨四日發表した、一月及び二月の徴集人員は月約三萬三千名であつたが六月以後はさらに徹底した削減をみる模様である、海軍省當局は四日右に關し

海軍の兵力は七月一日をもつて議會の承認を得た最大兵力三百六十萬に達する豫定で爾後の兵員超過を避けるため以上の措置を講じたと言明したが、軍事消息筋ではさらに削減の理由として十七歳の少年志願兵が豫想外に多かつたことをあげてゐる

飛行機生産高

(リスボン四日發) ワシントン來電 戰時生産局長官クルーグは四日三月中の飛行機生産高は目標の六千八百五十三機を突破して七千五十三機にのぼつたと發表した、因みに二月中の生産機數は六千二百九十六機であつた

亞國チャブルテベツク決議參加

(リスボン四日發) メキシコ市來電 米キシコ駐劄アルゼンチン公使ルフォン・カルヴォは四日メキシコ外務省において過般の米洲外相會議が採擇した米洲共同防衛のチャブルテベツク決議に調印した、アルゼンチンはこれにより他の米洲諸國同様、正式に米洲共同組織の一員となつた

【英 帝 國】

ハレー、ロンドン着

(リスボン四日發) ワシントン來電 歸國中だつた重慶駐劄米大使バトリック・ハレーは歸任の途次四日ワシントンからロンドンに到着した、ハレーはモスクワにも立寄る模様である

英聯邦會議開く

(リスボン四日發) ロンドン來電 英聯邦會議は英國自治領各國首相並びに印度代表ヒロズ・カン・ヌー、クリシュナマハリア兩名参加の下に英國自治領相克蘭ボーンの司會によつて四日ロンドンで開會された、會期は一週間乃至十日の豫定で各代表は世界安全保障機構案をはじめ桑港會議に關聯する諸問題を協議する筈である

【東 亞】

敵硫黃島司令官任命

(リスボン二日發) グラム島來電 ニミッツ司令官は二日次の人事を發表した

陸軍少將 ジェームズ・E・チエーニー

任硫黃島司令官

陸軍代將 アーネスト・M・ムーア

任硫黃島基地航空隊司令官

チエーニーは最近まで英本國駐屯米軍司令官をつとめ、ムーアはハワイ航空隊の參謀だつたことがある

重慶駐劄ソ聯大使更迭

(リスボン三日發) 重慶來電 重慶駐劄ソ聯大使パニエーシユキン氏は病氣のため辭職後任にアポロン・アレクサンドロヴィッチ・ペトロフ氏が三日任命された

【歐 洲】

瑞西、伊國境防備強化

(チューリッヒ四日發) 反樞軸各國では「スイス政府はイタリア北部において近く重大な事態が発生するとの豫想の下に四日スイス、イタリア國境の閉鎖を斷行しよう」との噂が流布されてゐるがローマ駐劄スイス代理公使ビエール・ド・サリは右に關し四日左の通り言明した

スイス政府はスイス、イタリア國境の強行突破を防ぐため二週間來國境防備強化措置を講じてゐる、しかし國境閉鎖に關しては聞知してゐない

ド・ゴール經濟相辭職

(リスボン四日發) パリ來電 ンド・ゴール政權は四日經濟相ビエール・マンデスフランスが辭職した旨發表した、マンデスフランスは物價安定計畫につき財務相プレヴァンと衝突してゐた

【ソ 聯】

シヤポーシユニコフ元帥病死

(ストックホルム二日發) モスクワ來電 ソ聯國防人民委員部次長シヤポーシユニコフ元帥は、長らく病臥中のところ二十六日死亡した、享年六十四、元帥は革命當時帝制ロシア軍將校から赤軍に投じたが、トハチエフスキー事件にも捲き込まれず、よく赤軍正統派の地歩を占め、スターリン議長的眼鏡にかなつて三度參謀總長となつた、著書に「赤軍の頭腦」あり、赤軍切つての智囊と目されてゐたが、病魔に冒され參謀總長の地位をワシレフスキー元帥に譲り療養に努めてゐた

【軍事情報】

ますます大型になるV兵器

(ストックホルム三日發) 「タイムズ」紙三月六日號は次の通り報じてゐる
「最近從來より長距離で大型の彈頭を有する流星彈が恐らくはオランダもしくはシルト島の基地から英國にむけ發射されてゐる事はほぼ確實とみられる、もしこれが事實であれば流星彈はすつかり作りかへられたものとみななければならない、最初のV一號のままで、あれ以上射程を大にして遠隔の基地から英國を攻撃しうるだけの量の火藏を充填することは出来ない、ドイツ軍は近くオランダを失ひドイツ領から發射せねばならぬ日の來るのを見越してゐるのだ、地上から發射する場合のいま一つの利點は恐らく狙ひが正確であるといふことだが、その代り距離が大になれば精度が落ちることも事實だ」



アフリカ雜記帳(下)

鈴木富美子

△英國の對阿媚態

かうしたアフリカ原住民の動向に脅威を感じた英國政府は、今度は手を變へて原住民の歡心を得るに汲々たる態度をみせ、二月四日のロイター電報によればロンドンの植民省當局は今回タンガニカ地方の社會施設の改善を計畫、次の通り發表したと傳へられる

英國植民省はタンガニカ地方の社會的開發のため、一九四〇年制定された「植民地開發福祉法」

に基き、今回五萬磅の投資を行ふに決定した、この資金によつて、中央並びに各地方の政廳所

在地にアフリカ人のための社交機關を設置、兵卒その他一般アフリカ人の集會所、或ひは成人教育機關として利用せしめるが、近時アフリカ人の間に要望されてゐた地方クラブにも使用する、なほそこにはクラブ室、講演、映畫、芝居

などのための廣間、書庫、讀書室、職業紹介所の役をも務める事務室などの施設が望ましい

右發表に對しタンガニカ政府當局は「最近アフリカ人の間にかかる施設の設置が要望されてゐた折から、この種の計畫は戰後當地方の社會的、文化的發達に寄與するところ大であらう」と述べて

ゐる、これに呼應して南阿聯邦政廳も一九四七或は四八年まで、毎年一千六百三十五萬磅を社會事業費として計上する旨議會に提案した、右提案に合法的承認を與へるため必要な法案が現在起草されてゐるが、提案中には養老年金、疾病賜金、失明年金が含まれ、政廳の失業對策法も更に範圍が擴げられ、現在よりさらに廣範圍に思想が及ぼされる計畫である、さらに各州も政廳の援助の下に病院諸施設の擴張を行ひ、現在各州當局の手によつて行はれてゐる社會事業の擴張も計畫されてゐる、これらの費用はすべて國庫支出によつて賄はれ、民間の寄付は豫算に入れてゐない、この資金を得るため、現行稅率の引上げ、特別稅の設置などの措置がとられる模様である

△南阿金銀儲

會では黄金の王者と謳はれ、一九三九年末まで

の總生産額十七億五千萬磅を誇つた南阿聯邦も最近に至つて戰爭の餘波を喰ひ、一九四四年の金產出額は約一億磅、前年に比し二千萬磅の減少となつてゐる、主要金產地であるトランスヴァール州並びにオレンジ自由州當局は今後も益々金產高が下り坂になるものとみてをり、殊にオレンジ自由州の鑛脈は大部分五十年來の古いものであるため既に掘盡された感を與へてゐる、州當局は種々對策を講じ、鑛脈試掘の獎勵に乘出した結果、一九四三年には二百通にも達しなかつた試掘許可證の發行が、一九四四年度には二百通を遙かに超える好成绩であつたといはれる

△ダイヤモンド問答

南阿聯邦は金と並んでダイヤモンドの世界的生産地として名高いが、戰爭の擴大に伴ひ、工業用ダイヤの軍需が増大したためダイヤ發掘努力は愈拍車がかげられ、ケープタウン・ダイヤモンド貿易會社の世界市場における一九四四年度のダイヤモンド販賣額は一千七百萬磅を凌駕したといふ米國政府が一月末トラスト禁止法違反の廉でダイヤモンド會社九社を告發した事件は最も關係の深い南阿聯邦の注目を集めてゐるが、ケープタウンからのロイター電報によれば、各社總支配人、エールンストオツペンハイマーは二月六日ランド撰擇會社の年次總會で會社側を辯護して次の通り述べてゐる

關係各社は米國內では何らの取引を行つてゐらず、ダイヤモンド生産者を代表する販賣組織は工業用ダイヤを戰前と同價格で米國軍需產業界に十分に供給すべくあらゆる努力を盡くしてきた、米國が今まで工業用ダイヤを充分に利用し得たのは全くこの機關があつてストック蓄積に努めたお蔭である、この販賣機關が存在しなかつたならば工業用ダイヤの價格は現在より遙かに高値になつてゐたに相違ない、この販賣機關は單に生産者の利益を計るのみならず、加工者或ひは消費者のためにも活動して來た、この事實はダイヤモンド販賣協定の當事者であるのみならず、生産者がダイヤモンド販賣のため協力し得ない場合に實際の販賣權を接收する筈の南阿聯邦政廳が充分に認めてゐる、米國政府が倒産せしめようと圖つてゐる販賣機關は、或る特定の會社に不當な利益を得しめるためのもので

はなく南阿聯邦の産業の根軸であるダイヤモンドの生産、加工、消費三者一般の利益のために活動する國家的存在である

△戰後對策

戰爭の餘映を蒙つてゐるのはダイヤモンド許りではない、軍需産業、食糧加工業における活況は目覺しいものがあり、「フアイナンシャル・レビュー」紙によれば、ローデシア、南阿聯邦を歴訪してロンドンに歸つた英國議員使節團の一行はこの地方の經濟界の發展振りに驚歎したといはれるしかしこれらはすべて軍需に應ずるためのものではないはゆる新興産業、例へば軍需品、毛布、長靴、軍用車輛の豫備品、飛行機用シザル麻製品、東アフリカにおける乾燥野菜、輸出用果實罐詰などの製造業者は戰後の將來性につき非常な不安を感じてゐる模様だが、これに關し各方面で一致した意見は、全產出量の必然的減少が經濟上の破綻を齎さないのであれば、南阿に産する原料或は農産物を利用する副次的産業を發達せしめよといふのである、政廳當局は原住民もまた以上の製品或は農産物の主要消費者に加はることを豫想し、戰爭の結果原住民の生活程度が向上すれば大消費階級となるものとみてゐる、故に政廳としては輸出第一主義は過去の殘滓として捨て去り、原住民が飢餓に瀕しようといふのに、玉蜀黍を輸出してゐたといふ奇現象が再び繰返されることはないといふてゐる、ローデシア産業界の王座を占めるのは青銅で同地方の鐵道の發達は全く青銅のお蔭といつてよい、農業も近時改良が加へられた結果、逐次發達を遂げ、煙草、家畜も有望視されてゐる、戰後同地方の青銅會社が現在の歐洲並みの高賃金を維持し得るとは考へられないが、北ローデシアの財政は専ら銅山にかかつてゐる現状であるから、戰後の再轉換過程において當を得た運営が行はれなければ地方豫算、鐵道當局にも悪影響を及ぼすは必らず、鐵道の國營化が各方面で要望されてゐる、しかし南阿聯邦の鐵道従業員の大半は白人で、北ローデシアの如き植民地政府の到底容認し得ぬ好條件で働いてをり、このやうな大きな相違を考慮に入れる時、鐵道國營の運びとなつた場合、各地

方政府が果して圓滑にこれを經營し得るとは豫想し難い



反樞軸戰時海運協定

「ジャーナル・オブ・コマース」十二月二十九日

△國際商船統制協定に關する白書全文

一、下名代表は、締盟國政府として後述せる各國政府當局により正當なる權限を賦與されたる代表として、次の如く協定す

締盟國政府は、共通の責任として、歐洲及び極東における戰爭完遂に必要な軍事上その他の任務並びに戰爭に伴ひ發生すべき軍事上その他の任務の凡てに對し、又凡ての解放されたる地域並びに聯合國一般及びその治下に在る地域への補給に對し船舶を提供す

二、締盟國政府は各國領土に登録されたる凡ての船舶又はその他の事由により自己の權限下にある凡ての船舶に對し前記聲明に従ふ各船の使用を有効に指導し得るがごとき權力を今後も引續き保持する旨を約す、但し第三項及び第九項の各締盟國政府により、徵發その他の機構を通じ、統制を實行すとの規定に従ふものとす

三、締盟國政府は全締盟國船舶噸數が全締盟國需要量を超過せざる限り、自己の權限下にある如何なる船舶をも統制より解放せず、又は如何なる不急事業或ひは不急貨物にも使用せしめざることに同意す、全船舶噸數が全需要量を超過せる時始めて如何なる締盟國の利益にも反することなく全締盟國に自己保有噸數を商業貿易に使用する公平なる機會を與ふる相互に承認されたる條件の下に前記使用を許すものとす

四、中立國政府にして絶対不可缺の輸入繼續に必要な噸數以上を自己の統制下に保有する場合、その使用を聯合國の一般目的と合致せしむるための義務負擔を同國政府に勸奨するものとす

五、締盟國政府は自國領土内において利用し得べき海運施設に對し、米英兩國の航海證制度の線に

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

沿ふ適當なる措置によつて統制を加へ、更に自國國旗を掲ぐる船舶の使用を聯合國の目的に合致せしむるに必要な他の措置をも講ずる旨を約す、本協定に新たに參加する他國政府も右と同様な義務を負担すべし

六、何等かの場合に敵國法律乃至權限の下に航行を許すべき船舶の配置乃至使用については、聯合國の必要を考慮の上決定すべし

七、聯合國統制下に在る全船舶の配屬を聯合國の必要を繼續的に充足せしむるやう決定するため

1、中央當局を設置し、對獨戰鬪の全面的停止と同様に活動を開始せしむ、中央當局は協定による計畫に基き組織さるべし

2、中央當局は各國政府が第一項において負擔せる義務を實行に移す目的をもつて船舶の使用方法を決定し、聯合國の軍事的その他の目的に基く船舶必要量を情勢の變化に應じ供給すべし以上の目的のため各國政府は中央當局の決定に準據し、この目的のため中央當局の決定せる船舶の全面的有効使用計畫並びに第七項3の決定に背馳せざる船舶を配置すべし、締盟各國政府は特に自國が海運上の責任を有する地域の必要缺くべからざる輸入量を維持するため、自己の權限下にある船舶の全部乃至一部を配置することを得

3、一般に締盟各國政府中一國の國旗を掲ぐる船舶は該國政府或ひは特別の軍事的必要によりこれら船舶を備船せる政府の統制下におくべし米英兩國政府が共同乃至個別的にこれら船舶に對し權限を有する他國政府との間に、これら船舶を輸送船、病院船その他軍隊に使用せしめる目的をもつて、締結せる協定に屬する船舶は、引續き現在通り戰時海運局或ひは戰時運輸省の備船とし、今後關係各國政府間に個別的に締結せらるべき取極めによりその地位を決定するものとす 將來以上の目的のため必要とさるべき他の船舶も同様の方法にて取扱はるべく、以上の船舶が軍事上の目的に使用されつつある事實によつて、關係各國政府が第一項の範圍内において自己の不可缺の必要を充足せんため、船

船を供給せんとする際執るべき措置につき、中央當局と討議を行ふ權利の害せらるることなし

4、締盟各國政府は軍事上の機密に亘らざる限り、船舶の使用に關する現在及び將來の計畫に關する取極めの有效なる活用に必要なあらゆる情報を、中央當局を通じ相互に提供すべし

5、中央當局は更に第五項實施のため執るべき行爲を指令し、第六項に基く行爲をも指令すべし

6、船舶使用者——政府及び民間を含む——の支拂ふべき報酬は、中央當局により合理的基礎に立ち、左の如き二個の根本原則の趣旨に沿ふ方法により決定すべし

(一) 同一乃至類似の任務を遂行するあらゆる國の船舶は同一の運賃を徴收すべし

(二) 船舶は財政的考慮を懸念することなく必要なる目的に使用すべし

八、本協定に述べられたる諸原則は、客船、油槽船、捕鯨に出漁し居らざる捕鯨船を含む、大小あらゆる型の商船に適用さるべし 但し、第七項又は沿岸貿易乃至近接諸國間の短距離貿易に従事する船舶には適用されず、これら船舶の統制には當該地域に存在する必要を充足するに足る取極めを結ぶべし、諸原則は更に、必要なる限度において適當なる機關を通じ、漁船、ホウエイル・キャッチャーその他同種の船舶にも適用さるべし

この種船舶に關する特別措置の必要につき各國間に意見の一致を見たる地域においては、該地域において使用し得るこの種船舶を海軍及び商業上の任務に分配する能力を有する特別當局を設置すべし

九、前記原則は中央當局の活動開始と同時に效力を發生し、中央當局の正當なる權限ある機關に代表せられたる各國政府間においてさきに同意せる諸原則の全部乃至一部の廢棄乃至修正が、滿場一致をもつて承認されざる限り、歐洲乃至極東の戰鬪の全面的停止——歐洲乃至極東の孰れにせよ戰鬪停止の遅き方を意味す——より六箇月以上

を經過せざる時期まで有効とす

(聯合國各國代表署名)

△附屬文書 中央當局組織の大綱

一、中央當局は

1、理事會——聯合國海事理事會

2、執行委員會

をもつて構成さる

二、理事會は締盟各國政府全部の代表より成る、更に理事會は聯合國たると中立國たるを問はず締盟各國政府の義務を承認し、受諾する同意あるすべての政府の代表参加を許容す

三、理事會は年少くとも二回、必要と思考さる時期に、適宜の場所において會合すべし、會議は執行委員會により準備さるべし、理事會は自己の議長を選出し、自己の議事進行規定を決定すべし、理事會會議は全般的船舶情勢につき締盟各國政府に情報を提供し、執行委員會の活動に關し發生する一般政策の問題に關し締盟各國政府間の意見交換を可能ならしむる機會を提供せんとするものなり

△聯合國海事執行委員會

四、執行委員會はワシントン及びロンドンに支部を設置し、それぞれ戰時海運局及び戰時運輸省代表を委員長とすべし

五、執行委員會は支部を通じ中央當局の執行事務を行ふべし、本協定第七項に述べられたる機能の遂行を可能ならしむる目的の下に、兩支部の下に適當なる機關を設置すべし、沿海航海及び短距離貿易に従事する船舶並びに小型船舶に關する本協定第八項の取極めを實施すべき機關もまた、執行委員會の下に設置さるべし

六、兩支部間に分配さるべき日々の責任は、時々的情勢に應じ適宜に決定し、兩支部の協力實現を期すべし、執行委員會の全體會議は、兩委員長の命令により、時々的情勢に應じ必要な回數を、適宜の場所において開催すべし

七、執行委員會の委員は一定數に限定さる、通常國際貿易に従事する船舶に關する多大の經驗並びに共同目的のために、多數の船舶を貢獻せる事實

に鑑み、左記諸國政府代表を執行委員會に参加せしむ

英國、米國、和蘭、諾威各國政府

執行委員會委員は、中央當局の有效なる活動を促進するため、情勢に應じ同委員會委員の追加を締盟各國政府に提唱することを得

八、執行委員會に参加せしめられざる締盟各國政府は陪席代表を派遣すべし、陪席代表は自國政府の權限下にあつて領土に對する船舶の供給に關係ある問題につき、執行委員會または支部の諮問を受け、または會合に出席する權利を有す

九、執行委員會及びその支部の議事は同意によつて進行せしむべく、表決を行ふことなく

十、必要な際には決定は陪席代表の承認を経るべし

十一、執行委員會は本協定第九項の目的のため十分な權能を有する機關たるべし、ただし執行委員會に参加せる政府が同項に基き到達せる如何なる決定と雖も、他の締盟國政府の明瞭なる同意を得ずして、同國政府に新しき義務を負担せしめ、乃至は同國政府の既に負擔する義務を擴大することなし

十二、本協定調印後、執行委員會をして第七項6の機能を含む自己の機能を遂行せしむるに必要な機關の細目につき、締盟各國政府は満足なる基礎を樹立する目的をもつて、可及的迅速に企畫委員會をロンドンに設置し、活動を開始せしむべく、企畫委員會には如何なる締盟國政府も代表を派遣し得

十三、執行委員會は戰時海運局及び戰時運輸省の機構及び手續を充分利用し重複を避くることを期すべし

十四、締盟各國政府は、出來得る限り迅速に、企畫委員會に派遣すべき自國代表名を米英兩國政府に通知すべし、さらに執行委員會に派遣すべき代表乃至陪席代表名をも通告すべし、米英兩國政府は關係締盟各國政府と協議の上、本協定第七項に從ひ中央當局の活動を開始せしむる時日を決定する責任を有す

昭和二十年四月九日(月)
第三三八六號

同盟通信

海外電報

(78)

歐洲戰爭終了後、同戰域にある米國軍隊は米本國歸還ないしアジアへの移駐を待つ間學校教育を受けることとならう、歐洲にある數百萬の米國軍隊を本國及びアジアに送るには多くの月を必要とすべく、軍當局はこの長い期間兵士達に時間を浪費させることを防ぐためかかる學校教育を計畫してゐるので

以上はUPのワシントン電だが、この報道がその一班を物語る如く、たとへ歐洲戰が敵側の宣傳し希望するやうに極めて近い將來に終結するとしても、歐洲戰域にある米國軍の引揚げは大變な大事業であり且つ長日月を要する仕事になりさうだ

歐洲の米國軍をそのまま本國に引揚げることは比較的簡單だらう、何故ならこの場合には將兵だけを船に乗せて大西洋を横斷させればいいのである、兵器、裝備の輸送は殆ど別個の問題として、扱ふことができるからだ、しかるに東亞戰域への米國軍兵力の移動はさやうに簡單にはゆかない、この場合には兵員とともに出来るだけ多くの裝備をしかも出来るだけ早く移動させなければならぬからだ、東西兩戰域を距てる長大な距離、さらには反樞軸軍に直面してゐる最大の悩みたる船腹不足を考慮に入れる時、東亞戰域への兵力の移駐が如何に困難であるかが益々明らかとならう



この困難の一部を解決する方法として米陸軍當局が考へ出した案は歐洲戰域にある米國軍の重裝備は一切あとに残し取敢ず兵員だけを東亞に持つてきてこの戰域で改めて再裝備するといふ案だつた、しかしかかる計畫が大變な無駄を伴ふことは斷はるまでもなく、流石の米國でも議會方面から猛烈な反對が出て陸軍當局は一應この案を引こめなければならぬことになつたやうだ

米軍の移駐はかくのごとく大變な事業である、われにはまだ時を稼ぐ機會が考へられてゐる

目次

獨外務省批判を避く……………	九九二
國防軍と親衛隊の同格を闡明……………	九九二
獨軍ブラチスラヴァ撤收……………	九九二
米太平洋兩軍統一……………	九九二
對日戰二年覺悟……………	九九二
瑞典、重慶治外法權撤廢……………	九九二
エリヨーメンコ再び登場……………	九九二
【東 亞】	
中立條約不延長を通告……………	九九三
中立條約不延長に關する發表……………	九九三
延安バーレー聲明を攻撃……………	九九三
【ド イ ツ】	
ゲリラ戰法で飽くまで抵抗……………	九九三
【反樞軸陣營】	
桑港會議オランダ代表……………	九九三
【米 洲】	
戰略物資空輸狀況……………	九九四
三月中造船高……………	九九四
【英 帝 國】	
米英食糧會談に加を招請……………	九九四
印度は英本國を代表せず……………	九九四
【西 亞】	
シリア内閣總辭職……………	九九四
【特 輯】	
米國の豫延談議……………	九九五
アジアは動く……………	九九八

獨外務省批判を避く

(ベルリン六日發) 日ソ中立條約の廢棄通告は、ベルリンにおいては當然豫期された發展として平靜に受け容れられてゐるが、ドイツ外務省當局は六日の新聞記者團會見において日本の内閣更迭に關しては一切言及を避け、ただ日ソ中立條約廢棄の問題について次のやうに簡單に論じ、米英側のソ聯引込み運動の内幕を暴露した

「日本の内閣更迭及び日ソ中立條約廢棄通告の問題或ひは兩者の關聯については、東京から詳細な情報が入らない限り論すべきではないが、この國際外交上の大事件の裏には米英兩國の懸命な運動があつた、即ち兩國は最近ソ聯の對日戰引込みといふ宿望を實現するためにあらゆる讓歩を敢へてしてソ聯の御機嫌を取り結んでゐるが、その若干を挙げれば、第一、ソ聯に對し桑港會議の追加投票權を認めたこと、第二、中歐におけるソ聯の支配的地位の容認、第三、ロイター通信の暴露せる如くルブリン政權の事實上の承認、第四、外蒙、滿洲、朝鮮等を悉くソ聯に委ねるとのヤルタ會談における密約——以上四事實を數へることが出来るよう」

國防軍と親衛隊の同格を闡明

(ベルリン六日發) ドイツ國防軍統監カイテル元帥は六日親衛隊長ヒムラーと連名で次の布告を發した

ドイツ國防軍と親衛隊との間には階級地位その他一切において全く差別はなく、兩者は完全に同格である、従つて一方が他方に優位を占めるといふ如きことは絶對にあり得ない

以上の布告は國防軍並びに親衛隊の相互間に伏在する地位權限上の疑問を一掃するもので、東西兩戰線における重大事態に鑑み國防軍に對し親衛隊が優位を占めてゐるといふ從來の謬つた觀念を拂拭し圓滑な作戰遂行を期するために發せられたものとみられる

獨軍ブラチスラヴァ撤收

(ベルリン六日發) ドイツ軍當局はスロヴァキア

の首都ブラチスラヴァを準備するドイツ軍が熾烈な市街戰の後同市を撤收西方の新陣地に移つた旨六日發表した

米太平洋兩軍統一

(リスボン五日發) ワシントン來電によれば米國統合參謀本部は太平洋戰域の陸海軍最高司令官を決定、五日次の通り發表したといはれる

陸軍最高司令官元帥 ダグラス・マツカーサー
海軍最高司令官元帥 チェスター・ニミッツ
元帥ヘンリー・アーノルドは從來通り第二十航空隊司令官の地位に止まるといふが、それが空軍最高司令官を設けないといふ意味かどうかは明らかでない、今回の決定は現在までの地位並びに戰績をそのまま生かして從來太平洋を二分してゐた二軍を統一したに過ぎず、ニミッツ、マツカーサー兩軍が作戰範圍が既に接觸交錯せる今日では當然の措置であらう

對日戰二年覺悟

(ストックホルム五日發) ニューヨーク來電「ウォール・ストリート・ジャーナル」紙のワシントン特派員は四日左の通り報じてゐる

ワシントンの米軍當局は歐洲戰終了の後米國は二年間太平洋戰を繼續しなければならぬとみてゐる、この見方は全般的であり政府當局の正式見解とみてよからう

瑞典、重慶治外法權撤廢

(リスボン五日發) 重慶來電「重慶政府は、スエーデン政府との間に治外法權の撤廢その他在重慶スエーデン特權權益の拋棄につき交渉を進めてゐたが、五日交渉成立し協定に調印を了した旨發表した

エリョーメンコ再び登場

(モスクワ五日發) スターリン元帥五日の軍布告によれば第四ウクライナ戰線軍司令官ベトロフ大將は他方面に轉じ、かはつてエリョーメンコ軍大將が指揮をとつてゐるといはれる、エリョーメンコ軍大將はカリーニン戰線軍司令官であつたが、後に獨立兵團を指揮してセヴァストポリ攻略戰に参加更に第二バルト戰線軍司令官に轉じてラトヴィア、北部リトワニアの作戰に當つてゐた

【東 亞】

中立條約不延長を通告

(モスクワ五日發) モロトフ外務人民委員は五日午後佐藤大使との會見において一九四一年四月十三日、日ソ兩國間に締結された中立條約は爾後情勢が根本的變化を遂げた結果意義を喪失したが故に同條約第三條に基き同條約を不延長とする意圖を日本政府に通告する旨言明した、佐藤大使は右通告を本國政府に傳達する旨を約して辭去した

中立條約不延長に關する發表

(モスクワ五日發) タス通信社五日夜の發表によれば、モロトフ外務人民委員は五日午後三時佐藤日本大使を引見ソヴェト政府を代表して次の通り言明した

日ソ兩國間の中立條約は一九四一年四月十三日即ちドイツがソヴェト聯邦を攻撃し日本と米英兩國との間に戦争が勃發する以前に締結された爾來情勢は根本的變化を遂げた、ドイツはソヴェト聯邦を攻撃し日本はドイツの同盟國としてソヴェト聯邦に對する戦ひにおいて後者に援助を與へてゐる、更に日本はソヴェト聯邦の同盟國たる米英兩國と交戦中である、かかる情勢のもとにおいて日ソ兩國間の中立條約はその意義を喪失しその繼續は不可能に歸した、以上に鑑み且つこの五ヶ年條約の失効に先立つ一年以前に廢棄する權利を規定した條約第三條に遵據しソヴェト政府はここに一九四一年四月十三日の條約を延長せざる意圖を日本政府に對し言明する

佐藤大使は右ソヴェト政府の言明を日本政府に傳達する旨を約した

延安ハレー聲明を攻撃

(リスボン五日發) 重慶駐劄米國大使ハレーが延安政權を武装政黨と規定し、米國が武器援助を與へぬ意向を明らかにしたことは延安側に大きな衝動を與へた様子で、機關紙「新華日報」は五日の社説で次の通り論じてゐる

ハレーは支那民衆の民主々義的要求を無視し支那統一を目的とする延安の努力を限りなく困難ならしめるものだ、さらにハレーの聲明は支那を決定的に分裂せしめ、内亂を勃發せしめる危険を包藏するといつても過言ではない、彼は延安の率ゐる武装兵力が單なる一政黨を保護することを目的とするものでなく抗日戦のため全力を盡してゐる事實を全然理解してゐない

【ドイツ】

ゲリラ戦で飽く迄抵抗

(チューリッヒ五日發) ベルリン來電によれば、ドイツ新聞長官代理ヘルマン・ジュンデルマン氏は五日職を辭して軍隊に入り、前線で反樞軸軍と闘ふ決意を表明したといはれるが、以上の報道は國家存亡の關頭に立つドイツのひたむきな抗戰意力を示すものとして、ドイツ國民を大いに感奮させてゐる様だ、事實ゲッベルス宣傳相が「ダス・ライヒ」誌の最新號で認めてゐるやうに、戦局はドイツにとつて全く不利で、この窮境から脱するためには單なる超人的努力以上のぎりぎりのものが必要とされてゐるが、ヒトラー總統は萬一國防軍による組織的抗戦が困難となつた場合にはバルチザン闘争によつてあくまで抵抗を続ける決意を固めた様子で、米英ソ情報も擧つてドイツ遊撃隊が既に占領地域で執拗果敢な抵抗を續けてゐる旨報じてゐる、以上の事態に鑑み、アイゼンハワーは五日軍布告を發し、將來長期に亘るドイツ軍の遊撃戦を覺悟せよと警告を發してゐるが、反樞軸軍司令部ドイツ遊撃活動の初期を示す今日かかる警告を發したことは、反樞軸軍がその遊撃戦に如何に手を焼いてゐるかを間接に裏書するものだ

【反樞軸陣營】

桑港會議オランダ代表

(ストックホルム五日發) ロンドン來電「オランダ亡命政權は五日桑港會議に對するオランダ代表として外相ヴァン・クレフエンス、オランダ極東派遣軍總司令官海軍中將ヘルフリッヒ及び蘭領東印度總督陸軍中將ヴァン・モックを任命した

【米 洲】

（戦略物資空輸状況）

米國外國經濟院長レオ・クローリーは三月二十九日一九四四年中に米國に飛行機で輸送された戦時下重要な戦略物資の輸入状況につき次の通り發表した

「一九四四年に飛行機で米國に輸送された戦略物資の總計は七百十三萬三千封度になり、前年に比し十六萬六千封度の増加であつた、このうち二十五萬二千封度は民間輸入業者の勘定で輸入されたが、その他は全部政府勘定であつた、これら物資は米國で不足を來してゐる補給品を補充するため空輸をもつて迅速に輸送されたが、民間輸入業者が輸入する場合には特に戦時生産局がその物資の重要性並びに不足状況を明らかにした證明を發行した、昨年は重慶地區からも更に多くの重要物資が輸入されたが、これら物資はヒマラヤを越えて印度に空輸され、カルカッタから米國まで船で輸送された、昨年中に重慶から印度に輸送された物資の總量は三千三百七十六萬六千封度で、印度から米國、英國、ソ聯各國に向けて送り出された

米國が輸入した物資の主なものには綠柱石、タンタル石、雲母、滑石、酸化ニツケル等で雲母は南米印度から、タンタル石は南米、アフリカ、濠洲から、滑石は印度、中南米からはマラリア豫防藥が供給され、更に重慶から米國に供給された物資の最大のものには錫で次に豚毛、タングステン等であつた、これら戦略物資の五七%は陸軍航空輸送部隊により輸送され、四・五%は米國海軍輸送部隊、残りは米國並びに諸外國航空會社の手で輸送された」

三月中造船高

（リスボン五日發）ワシントン來電「米海事委員五日三月中の米國造船高を左の通り發表した

造船隻數

一二六隻

噸數合計

一、二九四、四三二重量噸

内譯

貨物船

九五隻

油槽船

一八隻

軍用型船舶

一三隻

右により一九四五年第一四半期における造船高は總計三百七十一隻三百八十二萬四千六十八重量噸となつた

【英 帝 國】

米英食糧會談に加を招請

（リスボン五日發）ワシントン來電「米大統領ルーズヴェルトは五日カナダ政府に對し近くワシントンで開催される米英食糧會談に参加するやう招請した、カナダ政府は農相ガディナリーをカナダ代表として出席せしめる模様である

印度は英本國を代表せず

（ストツグホルム五日發）ロンドン來電「五日の英聯邦會議において印度代表フィロツ・カーンは英聯邦會議並びに桑港會議に臨む印度代表の立場を闡明して次の通り演説した

印度代表がロンドンにやつてきたのは英本國政府を代表するためでなく印度を代表するためである、また桑港會議においても印度代表は英本國政府を代表せず印度の立場を代表して行動するのであらう、紙の上では印度はまだ自治領でないかも知れないが余はこの際特に英本國政府が氣がつかないうちに印度は既に自治領の地位にまで成長してゐる明らかな事實を指摘したい

【西 亞】

シリア内閣總辭職

（リスボン五日發）ベイルート來電によればフアイエス・エル・コーレーを首班とするシリア内閣は五日總辭職したといはれる、辭職の理由は發表されてゐないが、昨年十月アレキサンドリアにおけるアラブ聯盟豫備會談の直後に辭職したサーデユラー・ジャブリー内閣の例もあり、二月中旬から開催されたカイロのアラブ聯盟會議に密接な關係があるとされてゐる、後繼内閣は前内相ルフティ・ハーファアまたは前外相ジャマイル・マルダン・ベイに委囑される模様である

資料

米國の渝延談義

米國對支政策の重要部分を占める延安問題に關聯して米國內では重慶、延安の批評が盛んであるが、大體の傾向は延安を民主主義的だとして肩を持ち重慶を獨裁的で和解統一を實現しないと責めてをり、この傾向が延安の重慶に對する態度を硬化させ米國自身が間に立つて頻りにとりもつにも拘らず和解の困難を増大するといふ皮肉なブーメランとなつてゐる、一部には延安が民主主義の假面をかぶつて時流を巧妙に利用してゐると非難する向もあるが、重慶攻撃に比較すべくもない

以上について最近の例三つを左に掲げるが、ラチモアは蔣が勢力を失墜したとみるのは正しくないと釘をさしながら、延安を支那で最も進歩的な政黨だと表現してゐる、彼は眞の支那通なき米國ではこの方面の代表的人物であり、蔣の顧問をつとめ近くはウオレスと重慶延安を訪れ、米國の對支政策には有力な參畫者の一人だからこのやうな意見は影響が最も大きいだらう

「モニター」紙記者ステインは延安とソ聯共產黨の間に關係なく、ソ聯の支配力は存在の兆候なしと簡単に片づけてゐるが、この表現は延安を視察した米人記者に殆ど共通したもので、特使マンسفールドさへ同様の報告をしてゐる、ステインはさらに「民主主義原則に従つて新國家への土臺がおかれるやうな基礎に立つ和解」を要望してゐるが、これも大勢を占める意見であり、スメドレーに至つては民主主義を口にする者なら何んでも支持しろと唱へてゐる

要するに米國のいはゆる支那通なる者達の對支政策、從つて延安問題に對する考へ方は陳腐な理想主義の標本でしかない、もつとも渝延和解などは初めから理想主義的な表看板で行かねば手が出せない問題かも知れぬ、以上の大勢に對し現實主義的な者がいないではない、ジャッドが延安を偽裝民主主義と呼び支那不統一は延安の責任だと喝破

してゐるのは一半の事實を剔抉してゐる、しかし政權と武權をあくまで抑へて行かうとする蔣も同類であることは言ふまでもない (藤原文雄)

支那の政治的壓力

オウエン・ラチモア

「アトランティック」誌
二月號所載

重慶は漢口、廣東を失陥して抗戰建直しに失敗した一九三八年の末から一九四二年の末、即ち敵撃破の仕事は殆ど米國が片づけるので、重慶は勝利の完全な責任分擔者といふより寧ろ媾和會議で受益者となる危険な兆候が次第に増してゐた當時にかけて、その名聲は頂點に達してゐた

この重慶が名聲を高めてゐた時期に米國では、支那の政府及び軍隊に對し無差別な稱讃を送る不幸な傾向があり、この讃辭の殆ど大部分は重慶の抗戰繼續を「奇蹟」だとするものであつた、ところが今日では、その重慶の名聲は目立つて失墜し民衆、政府及び軍隊に對する非難が無差別に加へられてゐる、重慶の政治について詳しいことを知つてゐる者は僅かしかなないが、重慶が國外から援助のあるなしに拘らず日本に抗戰する決意をしてゐる、と全世界が考へ得る時には重慶の名聲が最も高かつた

もしも重慶の抗戰がこのやうなものでなかつたとしたら、早晩日本と手をうち、日本の軍閥が防禦的勝利を達成するに十分な軍備を丁度よい時に日本に賣るやうなことになつてゐたであらう

△重慶政權の消長

重慶の名聲は一九四〇年の末及び四一年の初頭に低下した、當時支那の統一は新四軍と重慶軍事委員會との間の緊張によつて破れ、その結果重慶軍が新四軍に攻撃を加へるに至つた、しかし重慶の名は眞珠灣事件の後に、すぐではなかつたが再びあがつた、重慶は新しい同盟諸國の敗退によつ

て失望落膽の極に陥つたが、この同盟諸國が頽勢を挽回すべきことを瞬時たりとも疑はなかつた。打つ手がなく行詰つた戦争の七年間を戦つて行く不安定の主要な要素は重慶が同盟國を持つにも拘らず有利なやうには解決しなかつたが、反樞軸が敗戦を挽回し、攻勢をとるに要するに違ひない時間については殆ど不安はなかつた、最も良心を缺いた叛逆者と雖も今では日本に賣るやうなことはすまい、そして重慶が崩壊しなかつたといふ事實は、もう一度彼らの名聲を昂揚した

△二つの論議

さらに重慶が最近威信を失墜したのは、支那戦域における戦争の性格の變化に關聯がある、ただしこの性格とは何れの側が戦争に勝つかについての疑問と混同してはならない、重慶人は誰もこのやうな疑ひを持つてゐなかつた、事實、支那の戦争の性格を變へたものこそ反樞軸の勝利の確定である、蓋しこの確實性が重慶と他の諸國との關係及び支那における政治活動の範圍を變へたからである、重慶の地位が變化した結果、必然的に第二線の概念 (Second Line Concept) と第一線の概念 (Front Line Concept) と呼び得るやうな根本的に相反した二つの戦略概念の何れかを選ぶ問題が重慶自身の内部に生じた、第二線の概念によれば支那は事實上他の戦争がすむまで坐して待つべきだとするものである、即ち日本は何れは敗退する運命にあるが、重慶は大砲や戦車がなくて正規の攻勢をとることは出來ず、しかも重慶の工場では大砲や戦車は生産不可能であり、反樞軸もいまだ用意が出來てゐないとするものである、これに對し第一線の概念によれば、今こそ重慶にとつて日本を出來るだけ早く撃破することに能ふ限り協力し、共同の勝利に重慶自身の分擔を果すやう超人的努力を發揮すべきときだとするものである、この二つの戦略的概念は政治的な結果を齎らし、これが最近支那における政治的緊張を増大する原因をなした、またこれが支那の國民黨——地主の右翼と、中共——民主々義——の統一、左翼との構成が變化したことに關聯をもつてゐるのである

△四つの結論

共產地區についてはたゞ多くの知識を擴めねばならないが、われわれは若干の暫定的結論を引出すことが出来る

第一に中共は國民黨に比較すれば、彼らが持ち耐へてゐる領域では十分よくやつた、中共は一時は生粋で偏狹な共產主義の一群であつたが、今では支那で最も進歩的な政黨になつたばかりでなく、民主々義的で自由主義的な軍隊と協力する意志がある

第二は問題を軍事的管理に附す前に中共と政治的妥協を交渉する餘地があることである

第三は民選政府のもとにある支那全國は一たん政治的權利の平等性が生れるならば、この政府は軍統帥の統合と兵役の條件の均一化を實行すべきである

第四は米國では現在、蔣介石が統禦力を失ひつつあると考へる傾向があるがこれは正しくない、政治的な妥協は必要な聯合政府を實現するだらう

中共は支那共和國に自らの大統領候補を推舉するほど十分に強力ではない、従つて蔣介石が一切の政黨政派に推戴され、各黨は國民黨の任命によつて蔣が占めてゐる地位を承認するだらう

△政治的統一の價值

フィリピンのやうに比較的小規模な場合ですらもしも全國民が寢返りをうては異つた世界を作ることがすでに示されてゐる、支那の正規軍とゲリラ部隊はさして裝備が増強されてゐないのに、もしも政治的士氣が回復すれば日本軍に與へる損害を増大し、領土を回復することすら出来る、支那では政治的士氣が復活出来るといふ事實は、斷じて軍事的計算から除外すべきでない、政黨に屬さないものを含む壓倒の大多數の國民は支那の統一と不敗の地位回復を望んでゐる

必要な政治的和解はそれが二十五年乃至三十六年前よりもいまの方が成立は一層容易である、最近の重慶政府の行政院改組は未だ行はれない主要

な決定への用心深い接近である、最も重要な人事は新軍政部長陳誠の任命で、彼は一九二六年からの國家的統一の傳統に最も關係深い將領と軍隊とを代表してゐるのである

支那最重要の課題

「クリスチヤン・サインス・モ
ニター」紙前東亞特派員ガンサ
ー・ステイン

延安は新しい民主主義のもとで戦争努力を動員し遂行してゐるが、全くソ聯的な方式で行ひながら殆ど共產主義的ではない、記者にとつては、英國の戦時民主主義に一層比肩し得るものの如くに見えた、それは戦争にも平和にも可能性を持つてゐる、重慶の一黨專制政治に對する中共の態度は重慶の顛覆を狙ふものではなく、反對に中共は一つの民主主義政府のもとにおける支那の統一と支那の統一された戦争努力の復活を希望してゐる、中共は根深く國家主義的であり、完全な孤立の數年間に外界の助言なしで自身の諸問題を學んだもので中共に對するソ聯の支配力が存在する外見的光候はない

中共が米國及び反樞軸全體に對する多大の友好と反樞軸の戦争努力に協力しようとの熱意とは、支那が反樞軸に對しかつてないほど効果的な協力を強化する見透しを與へてゐる、記者は中共がアジアの強い力になつたものと信ずる、彼らは支那の半分を支配してゐると稱してをり、記者は彼らが全民衆の大部分の支持を得てゐるものと信ずる、勿論このことは現下の状態のもとでは實證することは不可能だ、中共は日本に對抗してすでに多大の業績をなし遂げたが、中共がもつと業績をあげるにば少くとも反樞軸からの援助を必要としよう、手段は明らかにすることが出來まいが、ある種の手段で持込める月額數百噸の補給でさへも共產軍がこれまで既に實行した以上に計り知れぬほど効果的にすることにならう

しかし現在までのところ重慶は中共を援助する用意なく、或ひは反樞軸に對してもさうさせる用意が出來てゐない、支那が今日補給物資以上に必

要とするものは、支那の戦争努力が促進されかつ民主主義原則に従つた新國家への土臺がおかれるやうな基礎に立つ延安、重慶間の和解である

「支那の統一は達成されるか」

重慶、延安是非論

(討論出席者) 林語堂、共和黨下院議員ウォルター・ジャツド、女流作家アグネス・スメドレー、新聞記者ハリソン・フォーマン

△重慶是認、延安否認論

林語堂 中共は國家の利益を黨の利益の上におくことを欲しない、中共は一切の民主主義的自由が抑壓されるやうな獨裁を確立するために民主主義の特權と自由とを利用するにつとめてゐるジャツド 支那不統一の責任は主として非妥協的な中共一派にあるといふ意見に自分は同感だ、中共の偽裝民主主義に對する國民黨の最善の回答は眞の民主主義に向つて大膽に進進することである、即ち戦争によつて壓倒されてしまふ前に、共通の民衆の福祉に對して國民黨が本來抱いてゐた關心に困難なことではあるが立還ることだ、戦後に改革を起すといふ蔣介石の誓約は歓迎されるが情勢は極めて危機を孕むので彼はこれを戦争終了前に試みねばならない
米國が支那の統一に貢獻する途は三つある、第一に米國は事實でないことについて——或ひは米國自身乃至は同じ事情のもとにある如何なる國におけるよりも支那において一層事實に遠いやうなことに——無責任な批判を下すのを止めねばならない、第二は米國は支那に現實に存在し且つ實際危険な悪い状態に對し批判を加へるにしてもその批判は建設的でなくてはならない、第三に米國はもつと物資を生産して迅速に支那の手に渡さねばならない

△延安是認、重慶否認論

スメドレー 國民黨は小さい支配階級で少數派であり、中共は興隆する國家の力だ、支那の闘争は「動向軍隊と進歩的軍隊との闘争である國民黨

は中共の「全く民主々義的な」要求に同意することを絶えず拒絶し、その代りに政府の各省に僅かな椅子を提供しようといふのであり、これでは中共は「面子」を持つだけで権力は持たないことになる、しかも國民黨は鐵面皮にも第八路軍と新國軍が國民黨の統制下に引渡されることを要求した、中共はその軍隊を支那の如何なる代議制の民主々義政府にも共產軍を引渡す意志を常に表明してゐる、民主々義の要素は中共に發見されるべきだ

米國民は支那國民の民主々義的軍隊の背後に重點を注ぐべきであり、何處に民主々義を發見しそれがどんな口實を訴へようとも、それを支持すべきである

フォーマン「國民黨は中共に對し優越者が劣等者を扱ふやうに扱ひ、それによつて統一に資さうとしてゐる、共產軍は日本軍の支配から約九千萬の支那人を「解放」した、しかもなほ國民黨は共產軍の正規兵五十萬、民兵二百萬の武裝解除と解體を要求した、中共はソ聯共產主義者の經濟理論に左袒してはゐないのである

アジアは動く

(リスボン二十九日發) ニューヨーク來電「在ニューヨーク米國太平洋問題調査會研究員ブルノ・ラスカーは最近「アジアは動く」と題する一書を著し、今次の戦争による東亞民族の移動を論じ、要旨左の如き見解を述べてゐる

☆

☆

極東及びその他の地域における民族の移動によつて提起された問題は種々あるが、このうち戦争によつて移動を餘儀なくされた民衆に對する援助並びにその避難の問題はも早や一刻の猶豫も許されない性質のもだ、今次の戦争における人口移動は歐洲、アジアともに一脈相通するものがある、今次の戦争によつて最も深刻な影響をうけたのは支那であつて、三千萬乃至四千萬に上る民衆が移動を餘儀なくされたものと推定されてゐる、なほ

歐洲において同様戦争のため移動を餘儀なくされた民衆の数は約二千萬に上るといはれてゐる、すでに戦争によつてかやうな大量の人口移動が行はれてゐる以上各國は慎重な國際的計畫に基いて戦争以外の他の人口移動の原因を除去することに努めなくてはならない

かかる人口移動に對處する緊急施策は支那において最も大きな事業とならう、米國は將來これら奥地に移動した支那民衆の相當數を沿岸地區に復歸せしめる任務を擔當することを覺悟しなくてはならない、支那以外の東亞各國においては、將來生起すべき諸種の事情——これらは勿論現在豫測の限りではない——によつて、支那における如き民衆の復歸問題以外の人口移動が生起されることとならう

全體的にみてかかる人口移動は正常な生活狀態を阻害する諸要因中の一つに過ぎないものであつて、その程度は各地方の事情及び戦争のもたらす影響によつて異なる、これに對する救護、復舊施策は利用可能なあらゆる人的資源、人力の經濟的使役を必要とし、これは外部からの物資供給並びに自然資源の利用に劣るものではない

してみれば、この對策には計畫をたてることが絶対に必要であり、これは第一に民族の經濟的地位をどの程度まで強化し得るかの點と、各人口群のその原地における狀況とに關聯するものである、各國は人口増加、移動、復舊等の個別的問題に對して協同して對處する原則を確立することによつてのみ、あらゆる國際的社會問題中の最大なるもの、即ち列國人口の偏差的生成の問題を共同の手段によつて解決し得ることを認識するに至るであらう

獨避難民百萬を海上輸送

(ベルリン四日發) 海軍省は四日の公表でドイツ海軍及び商船隊が一月中旬以降東プロイセン及びポメラニヤ地方から百萬餘の避難民を敵潛水艦及び飛行機の絶間なき脅威の下にドイツ本土に輸送したと發表した

昭和二十年四月十日(火)
第三三八七號

同盟通信

海外電報

(79)

【目次】

米國からの食糧輸入停止か	一〇〇〇
ボノミ政権は全く除外	〃
ボノミ政権要人の解職を要求	〃
スバシツチ桑港會議へ	〃
ユーゴ首相モスクワ着	〃
スターリン議長チャーチル夫人を引見	〃
ブラステラス内閣總辭職	〃
基地獲得が先決問題	〃
【反樞軸陣營】	
日ソ條約問題敵陣營内の反響	一〇〇一
内閣更迭により戰意を強化	〃
ソ聯の通告は對米ジエスチュア	一〇〇二
日ソ關係箝口令に憤慨	〃
再び三頭會談か	〃
桑港會議に一千餘名參集	〃
ステチニアスを臨時議長に任命	〃
英ソ再び見解對立	一〇〇三
ワルシヤワ政権の既得權利を主張	〃
亡命波政權泣寝入か	〃
ユーゴ代表はスバシツチ	〃
【歐洲】	
瑞、チエコと國交再開	〃
佛經濟相辭職	〃
【英帝國】	
英聯邦會議は單なる連絡會議	一〇〇四
【ソ聯】	
工業建設躍進	〃
【ドイツ】	
地方行政から黨支部を分離	〃
【特輯】	
米佛關係その後	一〇〇五



最近に中立條約を不必要乃至は邪魔とする事情が起つて今日の破棄通告となつたものであり、理由などはどうでもよいといふことにも解されぬことはない、その事情とは何であるかは、想像すれば際限もなく存在するであらうが、われわれが、このことあるを豫期したといふのは、かかる想定事實を考慮に入れた上での判断であり、今回のことも淡々として、はい左様だと受入れてよからう反樞軸國側は、ソ聯のこの決定により驚天動地のことでも起りさうに欣喜雀躍してゐるが、われわれとしては長い交際のソ聯であり、物事をも少し、はつきり認識してゐる筈で、別に驚くに當らない、ソ聯とはどんな國であるかといふ判定さへ正しいなら中立條約の有無などは問題でないわけだ

日ソ中立條約は豫定通り不延期になつた、廢棄されるだらうことは、早くから豫想されてゐたのでこの通告で別に事態が急轉換したわけでもなく急展開するわけでもない、只、ソ聯が不延期の理由として挙げた根據の一、中立條約成立後、獨ソ戰が起り、日米英戰爭が起つて周圍の事情が變化したといふことは、正にその通りであるが、中立條約はある意味では、かかる事態を豫定した上での中立條約なのであり、しかも一九四四年三月の日ソ協定は、かかる新事態を認識しつつ尙且つ兩國が中立條約の精神に基いて成立せしめたもので今更、中立條約不延期の理由にならず、強ひていへば如上の事實に對するソ聯の解釋が、この一年間に變化したといふほかはない、また、日本がドイツを援助してゐるといふが、それはソ聯が米英を援助してゐることと何の變りもなく、相見互ひで、これも日ソ中立條約の價值評價の上からいへば双方ともとるに足りぬと考へて今日まで無視してきてゐた事實にすぎないしてみればソ聯の側で、極めて

米國からの食糧輸出停止か

(リスボン八日發) ワシントン來電 米國食糧供給調査委員長クリントン・アンダーソンは七日ホワイト・ハウスで開催された軍事評議會に出席、三時間に亘つて協議を遂げたが、會議後次の通り言明した

米國政府が即時徹底的對策を講じなければ七月一日以降米國から輸出出来る食糧は全然なくならう、政府においては食肉業を國家管理におく止むなきに至るかも知れない

ボノミ政權は全く除外

(リスボン八日發) ローマ來電 米國政府は八日ボノミ政權に對し

桑港會議はボノミ政權の参加を認めずオブザーヴァーの出席をも許さぬ旨通告した

ボノミ政權要人の解職を要求

(リスボン八日發) ローマ來電によれば反樞軸イタリヤ管理委員會は六日ボノミ政權にたいし「政治的色彩の不闡明」を理由に同政權要人約一千名を直ちに解職するやう指令を發したといはれる、一方現に裁判に附されてゐるボノミ政權官吏も四百名の多きに上つてゐると傳へられる

スバスツチ桑港會議へ

(リスボン八日發) ワシントン來電 米國國務省は七日夜次の通り發表した

ユーゴスラヴィア政權外相スバスツチが同政權の代表として桑港會議に出席するに決定した

ユーゴ首相モスクワ着

(ストックホルム六日發) モスクワ來電 ユーゴスラヴィア統合政權首相チトーは閣僚數名を随へ五日モスクワに到着した

スターリン議長、チャーチル夫人を引見

(モスクワ七日發) スターリン議長は七日モスク

ワ滞在中の英ソ補助資金委員會委員長チャーチル夫人を引見した、會見の席には外務人民委員モロトフ氏並びに英國對ソ救援委員會書記ジョンソン夫人も同席した

フランスチラス内閣總辭職

(リスボン八日發) アテネ來電 ギリシア内亂はフランスチラス政權の成立によつて一應落着いたが國內の政情は依然として安定せず、王黨派は五日に至り、フランスチラス首相が歐洲戰爭の當初イタリア軍がギリシア領土に進撃した際、ドイツ政府の調停を主張した書面を發表、曝露戰術に出た結果、攝政ダマスキノス卿は七日夜に至りフランスチラス首相の桂冠を要求、ギリシア艦隊司令ペトロフ・ブルガリス提督に後繼内閣の組織を委嘱した

基地獲得が先決問題

アーノルド對日爆撃強化計畫を説く

(ストックホルム八日發) 西部戰線からのUP電報によれば、歐洲戰線視察中の米國陸軍航空本部長兼第二十航空隊司令官元帥ヘンリー・H・アーノルドは、七日西部戰線の第九航空隊司令部において新聞記者團と會見、對日爆撃強化計畫について次の通り言明したといはれる

ドイツを爆撃したのと同程度の航空破壊兵力の下に日本々土を曝すためには、歐洲戰終結までに太平洋において十分なる航空基地を獲得しておくことが望ましい、歐洲が片づいた曉には出来るだけ早くこの方面の大航空兵力を太平洋に移動し、歐洲におけるわれわれの裝備と體驗とを對日戰に最大限に活用すべく、全力を盡さなければならぬ、航空兵力移動における最大の問題は航空基地の建設だが、歐洲戰の終るまでには何とかなるのではないかと思つてゐる、同時に航空要員の再教育も必要で、異つた型の爆撃機を使用するためには多くの者に新しい技術を授けなければならぬ

【反樞軸陣營】

日ソ條約問題敵陣營内の反響

(ストツクホルム六日發)

ソ聯の中立條約不延長通告は反樞軸陣營内に多大の希望的刺戟を與へ、米國、英國、重慶等に有頂天な狂喜、樂觀氣分を齎したらしく、激動する歐洲西部戰線の戦況もそのので、世界の話題を獨占した観がある、以下各反樞軸陣營内の觀測乃至見解を紹介しよう

まづ米國では満足の意が隠すところなく示され、經濟市況に與へた刺戟はドイツ軍のソ聯攻撃開始によりソ聯が反樞軸陣營に加はつた時にも匹敵する位だつたといふ、國務省當局は記者團から批判を求められて「合衆國政府は勿論今回の舉を大歡迎する」旨の聲明を發表するし、議會方面その他官邊筋もソ聯の對日態度に欣喜雀躍の有様だ、専門家筋では勿論、ソ聯が條約の條項を文字通り守れば、條約が技術的に一九四六年四月二十五日まで效力を有するといふ事實を指摘してゐるが、この點ソ聯が如何なる態度に出るかは明らかでないまでも今回の措置からは

一、太平洋戦争全般の短期化に少からず貢獻する
二、日本並びに爾餘の世界に對しソ聯が自己の地位の矛盾を熟知することを闡明する

などの結論が得られるといふのがワシントンにおける見解である、新聞論調では「ニューヨーク・タイムズ」紙は

スターリンはヤルタ會談で從來になく明瞭に大體の日時と發表の根據とをルーズヴェルト及びチャーチルに通告し、これに對して兩者はソ聯に對して或る種の讓歩をしたといふことだ、従つてモスクワからの今度の報道を消息筋は喜びと不安の交錯した氣持で受け取つてゐる

と論じ「ニューヨーク・ヘラルド・トリビュン」紙は

今回の措置はわれわれの確信を立派に裏書してくれた

と勝手な熱を上げてゐる

英國はどうかといふと「ダーゲンス・ニヘター」

紙のロンドン特派員はかう報じてゐる

ソ聯は今回の措置について反樞軸諸國に事前通告しなかつたが、結果が反樞軸國にとつて有利なため、たれもこれに抗議する者はゐない、但し、歐洲問題の場合ほど甚しくはなくとも、新しく外交上政治上の紛糾を生ずる可能性は依然減じてゐない

また「マンチエスター・ガーディアン」紙は現在世界最大の關心を集めてゐる問題は、ソ聯が對日戰に参加するかどうかはなくソ聯が極東において如何なる態度に出るかといふことだと述べてソ聯の政治攻勢を示唆してゐる、ロンドンに滞在中の濠洲外相エヴァットは

この措置こそソ聯が將來太平洋地域の問題解決に重要な役割を演ぜんとする第一歩だと警告的言辭を吐いてゐるのに反し、ニュージールランドの首相代理ナツシユは

これは宣戰とはちがふが、比較的早く重要な決定に到達する可能性がある

とひどく希望的大である、最後に重慶の喜び方は一通りではなく「大公報」のごときは好機到れりとはかり支那國民に對し急速なる總反攻準備を極し日本の敗北は一般に豫想せられるより遙かに、早く来るだらうと、鬼の首でもとつたやうな宣傳である、しかし軍機關紙「掃蕩報」は日本軍が依然全力を擧げて戰ふだらうと警告する反面、重慶軍に好都合な觀測に耽りドイツが崩壊すればソ聯から大量の兵器が重慶に流れ込むだらうと蟲のよいことを並べてゐる

内閣更迭により戰意を強化

(リスボン六日發)ワシントン來電「米國務次官ジョセフ・グルーは日本の内閣更迭に關し六日米國民に次のやうに警告した

日本における今次の政變は日本があくまで戰爭を繼續する意圖を有してゐるものと解さねばならず、内閣更迭は日本國民の戰爭遂行の決意を最大限に強化する目的から出たものであると思つて差支へない、故にわれわれは寸時と雖も戰爭努力をゆるめてゐる暇はなく、再び戰爭が起らないことを望むならば、あくまで戰ふ決意を更に固めねばならぬ

ソ聯の通告は對米ジエスチュア

(ベルリン七日發) ドイツは小磯内閣の總辭職、ソヴェト政府の日ソ中立條約不延通告等最近の日本の事態に關し依然沈黙を守り、七日の各紙も内閣更迭の事實を簡單に傳へたのみで中立條約については一言も觸れてゐないが、他方ドイツ外務當局は七日正午の記者團會見で次の通り見解を表明した

ソヴェト政府の日ソ中立條約不延長通告は單なるジエスチュアとみられ、これによつて早急に日本に對するソ聯の態度が變化することはないだらう、ルーズヴェルトとチャーチルはクレムリンに反日的感情を植ゑつけることにあらゆる手段を盡し、その成果の現はれるのを待つてゐるので、日ソ關係が全く豫期に反した關係に入ることを惧れてゐる、しかしスターリン議長はまだ中立條約の有効期間が一ヶ年あり、東亞に對しては外交的に依然行動の自由を保つことが出来る

日ソ關係箝口令に憤慨

(リスボン七日發) 米國政府檢閱當局が日ソ關係に關する反響の外國向放送と打電を禁止したことは、米國各通信社の極度の反感を買つた様子で、ニューヨーク來電によれば、AP通信社は政府の箝口令に對する不満をぶちまけて六日次の通り聲明したといはれる

檢閱當局がソ聯の中立條約不延長に關する論評の外國向打電を禁止したため、各國は反響を自由に傳へてゐるといふのに、米國だけが馬鹿みたいに沈黙してゐるといふ稀有の現象が生じたしかも外國からの反響電報は、一語も創られずに米國の新聞にでかでか掲載されてゐるのだ事の起りは檢閱局長官バイロン・ブライスが五日覺書を發して、「保安上」の理由からソ聯の對日態度に關する觀測電の外國向打電と放送を禁じたためで檢閱局は右覺書に對する照會や抗議が殺到するので泡を喰ひ、ブライスは

五日發表した覺書の文言は明瞭な筈だ、それは勝手な臆測の危險を指摘し、しかるべく檢閱當

局の意見を叩いてから發表して貰ひたいと要請しただけだ

と百万陳辯に努めてゐる

再び三頭會談か

(ストックホルム六日發) 桑港會議の開催を前にして米英ソ三國にはソ聯のポーランド假政權參加要求問題は、ソ聯の二票問題等の新たな難問題が発生し再び三國政府首腦協議の必要に迫られるに至つた模様だが、ロンドン來電によれば、六日の「デーリー・メール」紙外交記者は米英ソ三頭再會談に關し次の通り報じてゐるといはれる

米英ソ三國政府間には既にルーズヴェルト、チャーチル、スターリン三者の再會談につき交渉が進められてゐる、この新會談は早ければ桑港會議開催前遅くも同會議中に開かるべく、桑港會議のあとにまで持越されるやうなことはあるまい

桑港會議に一千餘名參集

(リスボン六日發) ワシントン來電 桑港會議に招請を受けた反樞軸諸國は現在までに全部參加を受諾し、四十六ヶ國が正式に参加することとなつたが、參加各國から米國政府への通告によると各國代表者數は百九十名、これに顧問、隨員等を加へると出席者數は合計一千十五名に上る

一方大統領ルーズヴェルトは、六日國務長官ステチニアスを桑港會議の臨時議長に國務省特別政治局長アルガー・ヒスを會議の事務總長に任命した

ステチニアスを臨時議長に任命

(リスボン六日發) ワシントン來電 米國大統領ルーズヴェルトは六日國務長官ステチニアスを來る二十五日開催される桑港會議の臨時議長に指名し、また國務省特別政治局長アルガー・ヒスを事務總長に任命して會議の準備に當らせることとなつた

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

米ソ再び見解對立

(リスボン六日發) ワシントン來電「國務長官ステチニアスは六日の新聞記者團會見で次の通り聲明した

來るべき桑港會議に提案されるダンバートン・オークス國際機構案はあくまでも暫定案であり會議に招聘を受けて参加する國々は勿論、同案の作成に参畫した米、英、ソ、重慶四國と雖もこの案に對して自由に修正案を提出し得る權利がある

ステチニアスが改めてかかる發言を行つたのは、ソヴェト勞働組合機關誌「戦争と勞働階級」が最近新國際機構案に關し一文を發表、ワシントン駐劄ソヴェト大使館當局が特にこの論文を再印刷して一般に配布したためで、この要旨は次の如きものだった

ダンバートン・オークス案は米英ソ重慶の四國間に意見一致した案であり、この四國は桑港會議でこの案に何等の修正も加へられず現在通りの内容で成立することに努力する義務があるステチニアスの發言は新聞記者團からこのソ聯の見解につき意見を求められたに對して行はれたもので、米ソ兩國は再び桑港會議をめぐつて深刻な對立を示すこととなつた

ワルシャワ政權の既得權利を主張

(リスボン六日發) ソヴェト政府はワルシャワ政權を桑港會議に参加せしめよと要求して一波瀾を捲き起したが、ワシントン來電によればソ聯大使館情報部發行の英文週刊宣傳誌は六日附の誌上にポーランド假政府の既得權利を主張する次の内容の論説を掲載してゐるといはれる

現在ポーランドで行政の任に當る假政府こそ將來樹立されるポーランド國民統合政權の基礎となり中核とならねばならない、ロンドンの亡命ポーランド政權はクリミア決定において全然言及されなかつたが、それはポーランド民衆の信頼を完全に失望した「かたがり」政權であるから

以上の宣傳論文によればソ聯がワルシャワ政權を

單に衣更へして、そのまま新統合政權に換骨脱體させやうと圖つてゐることは明らかである

亡命波政權泣寝入か

(ストックホルム七日發) ロンドンの亡命ポーランド政權は桑港會議からの除外を不満として過般抗議したにも拘らず、ソ聯がワルシャワ政權の参加を要求したのに對しては完全な沈黙を守り態度を明らかにしてゐなかつたが、ロンドン來電によれば亡命政權首相アルチエフスキーは桑港會議にオブザーヴァ二名を派遣するに決定した旨七日發表したといはれる、以上により亡命波政權が獨自の代表を會議に参加させる希望を放棄したことはほぼ確實とみられるに至つた

ユーゴ代表はスパシツチ

(リスボン七日發) ワシントン來電「ユーゴスラヴィア新政權は七日米國政府に對し、正式に桑港會議出席の招請を受諾し、現在チトーと共にモスクワにある新外相スパシツチを首席代表に任命する旨通告した

【歐洲】

瑞、チエコと國交再開

(ストックホルム六日發) スエーデン政府はチエコスロヴァキア政權と外交關係を回復し、スロヴァキア政府と斷交する旨六日發表した、舊チエコ領のドイツ保護領編入とスロヴァキアの獨立以來スエーデン、チエコスロヴァキア間の國交は斷絶状態にあつたが、ストックホルムに在留してゐた元ストックホルム駐在チエコ公使ウラデミール・クチエラが差當つて公使の事務をとる筈である

佛經濟相辭職

(リスボン六日發) パリ來電「フランス臨時政權經濟相マンデス・フランスはド・ゴールに對し辭表を提出したところ、ド・ゴールは六日、同人の辭表を受理し、財政相ルネ・ブルヴァンをして經濟相を兼任せしめる旨發表した

【英 帝 國】

英聯邦會議は單なる連絡會議

(ストックホルム七日發) ロンドン來電ニ桑港會議に對する印度首席代表サー・ラマスワミ・ムダリアルは七日記者團と會見、英聯邦會議開催の目的を説明して次の通り述べた

英聯邦會議に參集した英自治領並びに印度代表は、それぞれ各國政廳の指令を携へてをり、各種の問題が討議に上る毎に關係政廳が右指令を擴大し、あるひは修正することとなつてゐる、即ち英聯邦會議は、桑港會議において英聯邦が共同戦線を張るため、英聯邦として一箇の意見を纏めることを目的として開かれたのではない勿論聯邦各國はその性質上政治的には緊密な連絡を保つてゐるが今後豫想される國際上の諸問題については各國の意見の交換が必要とされてゐるため桑港會議では自治領各國の意向と行動の自由が完全に保持されるに至つた

故に英聯邦會議開催の目的は第一に英國及び自治領各國獨自の意見を自由に交換するにあり、第二に英國側からダンバートン・オークス提案及びヤルタ會談の決定事項に關する詳細な説明を聴取することによつて、これ等諸提案の背後にある事情を理解するためである

【ソ 聯】

工業建設躍進

(モスクワ二日發延着) 「ブラウダ」紙は二日の紙上で新規工業建設特に回復地域の復興狀況につき次の通り報じてゐる

「ウラルその他東部地方における發電所の能力は戦争中約二倍に増加した、特にクラスノゴールスクではタービン能力は五・五倍、ボイラー能力は六倍になつた、またチェリヤビンスク發電所では十萬キロワット時のタービンが新たに建設されウズベク共和國のナルチク河には二ヶ所の發電所が、その他には四ヶ所の水力發電所が建設された更に恐らく世界最大の水力發電所はウズベク共和國で建設中である、回復地域では三十五地區に

發電所が建設され一九四四年末までにタービン八十基、ボイラー百五十六基が据えつけられた、一九四四年の回復地域における電力は一九四三年に比較して二倍半に達した、また一九四五年始めまでに東部地方において鋸鐵爐十、マルチン爐四十三金屬壓延機二十一、コークス爐十二が建設され戦争中チェリヤビンスク、マグニートゴルスクスターリンスク、アクチュビンスクの諸市に金屬工場が新設された、以上の建設により一九四四年における金屬生産、鑛石採掘量は次の通り増加した

鉄鐵四七% 鋼鐵四三%
壓延鉄四五% 鐵鑛二二% コークス二〇%
合成鉄三〇%
鐵管五〇%以上

【ドイツ】

地方行政から黨支部を分離

(ベルリン七日發) ヒトラー總統は七日附の布告をもつて地方行政機關とナチ黨との分離を次の通り發表した

現下の重大時局に當りナチ黨指導部が無數の問題に直面してゐる際、さらに國家行政の重任を負担することは徒らに重荷を増すばかりである地方行政區に關與するナチ黨とドイツ國家機關を爾今分離する、以上の措置は黨と行政機關に携はる者が同一人物である場合も例外なく實施される、黨と國家機關との緊密な協力とは從來屢々實踐において立證されてきたがこの關係は擔當すべき任務を明確に分離された後も些かの變化はない

ナチ黨は從來地方行政に積極的に參加し、黨支部長で市長を兼務する者の數を年毎に増加してゐたが、今回地方行政から黨が一應手を引くに至つたことはナチ黨として時局の重大化に迫られた大英、斷といふべく、最近ナチ親衛隊と國防軍の完全な同格を闡明した布告と共に國難下のドイツの急速な動きを示唆するものとして注目し價する



米佛關係その後

井上 勇

△チヤーリーの己惚れ

米佛關係は米の週刊誌「タイム」によれば「ムード・オブ・アングラー」ださうだ、どちらが一層怒つてゐるのか判らないが、この怒り氣嫌は米軍の北阿進駐に始まり、フランスの「解放」で熱を昂め、アルジェ事件で天井を打つたかたちで、以後依然として頭痛の態である、米佛間のいざこざは主としてド・ゴールとルーズヴェルトの個人的性向の差異の觀點から論じられてゐるやうであるが、それも重大な要素を構成してゐるには違ひないが、それだけでまさか一國の外交が左右されてゐるわけではないだらう、「ローロール」紙は「チヤーリー大先生は少々己惚れが強すぎて、固くなつてゐないのかな」と反問し、「フランスは依然大國に相違ないが、それだけによいに不氣嫌な面をするのは慎しまねばならない」とチヤーリーをいましめ、「ル・フロン・ナショナル」は「怒るのもよいが、それはある意味では弱味を曝露することだ」と指摘し、フランス國內でも必ずしもド・ゴールの疇癪は人氣がよくない、ケードルセーの小役人は「將軍ときたら何でもノーで、イエスとはいへぬ男だよ」といつてゐるさうであるが中には「ルーズヴェルトも何處そこへ出て来い、會つてやらうでは一國の元首に失禮ぢやないか」といつた新聞もないこともなかつた

米國側は、ルーズヴェルトの横面が張られたことでひた向きに氣嫌を悪くしてゐるらしく、元來が外國人を餘り好かない「ニューヨーク・デリー・ニューズ」の如きは「米國大統領に會ふためなら千里の路も遠くはないはずだ、米國はラファイエット勘定は前の大戦で支拂ひ済みで、今度フランスを解放した聯合軍の七割五分は米軍ぢやないか」と毒付いてゐる、國務省當りでは「フランスは今度の戦争に殆ど何の寄與もしてゐないし戦前の國力も權威もいまは持つてゐない、が米國と

としてはフランスの復興のために出来るだけのことはしてやるつもりだ」くらゐの考へであると「タイム」は報じてゐる

△英國の悦ぶところ

「ロンドン・タイムズ」は二月二十二日「大國としての「フランス」といふ社説を掲げそのうちルーズヴェルトは老軀、遠路の旅で肉體的に疲れてゐた、歸路のフランスの町までド・ゴールが出掛けてこれに會ふのは四度、世界の最大國の元首の責任を荷ふた政治家に對する禮儀ではなかつたらうかと一應ド・ゴールの態度に反省を求め、同時にケベック會議で、フランス臨時政府の承認を決定しておきながら、米英ソ三國がそれぞれ三つの異つた様式で承認通告をした三國側の狹量を回想し三國が一致して、誠心誠意からフランスの大國たることを認め、乃至は大國たるやう援助してやるべきだといひ、小出し援助では駄目で、英國としては、自己の福祉のためにも、一日も早くフランスを大國に育て、これと長い將來に涉る共同行動を協定すべきだらうと説き、フランスが大國となることは一人フランスのためのみではない、爾餘の世界全體のためだと、暗に米國にも教へるところがあつた、米國とフランスとの接近を無條件には悦び得ない立場にある英國は、表向きはさうと口に出してはいないが、片言隻語にはその感情が隨所に現はれてゐる、聯合國の共同戦線の強化を主張する口の下から、暗に米佛關係の離反に快哉を感じつつある好例は二月二日の「エコノミスト」にも見ることが出来る

ド・ゴールがアルジェに赴いてルーズヴェルトと會見することを斷つたのは不幸な出來事だつた、フランスはこれによつて何の利益を得たといふのか判斷に苦しむ次第だ、ド・ゴールの拒絶の背後の理由は案するに難くない、ルーズヴェルトの政府はフランス臨時政府の承認を長い間遮りその結果としてフランスは國際事件に効果的な影響力を及ぼすことを阻止された、最近では、フランスはヤルタ會議へ出席出來なかつたのは主としてルーズヴェルトの責任だと解し

てゐる、英國はフランスの出席を支持したと解されるしソ聯は積極的には反對しなかつたと一般に諒解されてゐるからだ
と火付け役も仲々藝はこまかい

△佛領植民地の略奪

ド・ゴール個人の米國及びルーズヴェルトに對する感情はすでに度々紹介したので繰返さないがフランスが米國に對して、乃至は米國がフランスに對して心よからぬのにはもつと實質的な理由がある、ヤルタ會談への不招請問題もさうであるし北阿におけるアメリカの侵略、ダンバートン・オークス案を繞る見解の不一致、戦後の植民地處理案を挟んでの對立、武器貸與法供與交渉の經緯等々そのいづれも別の機會に説明したので、差當りは植民地問題を取り上げてみよう

外相ビドーは三月二十七日諮問會議に臨んで桑港會議に關聯しての説明を行つたがその中で「目下フランスの植民政策について色々の囁き戰術が行はれてゐる、ある種新聞にはフランスとしては默認出來ぬ提案まで報じられてゐる、われわれはその屬領に對する主權の剝奪など斷じて許容出來ぬ云々」と述べてゐる、ビドーが指摘してフランス植民地剝奪論の本家が米國でロイターワシントン電が報ずるところによれば、アフリカの植民地はこれを四分して四つの國際委員會によりて統治し太平洋の植民地は三分して三つの國際委員會をして管理するといふ案を米國は考慮してゐるといはれるが、その何れにおいてもフランスが最大の犠牲を要求されてゐるわけで、フランスとしては晏如たり得ないわけだ三月二十三日のフランス閣議が周章して「フランス聯邦ユニオン・フランセーズ」の組織を決定したり佛印の新憲法を約束したりしたのも、この米國の植民地略奪陰謀に對抗するためで越えて二十九日太平洋の佛領諸島土民にフランス國籍を附與する法律を公布したのも同じ線に沿ふ作戦と見るべきだ

△むくれたビドー

「タイム」の二月二十六日號は、このフランスの周章ぶりを冷笑しつつ次の如く報じてゐる

ド・ゴールとその閣僚は臨時緊急閣議を開いてアフリカの大西洋への關門ダカールに廣大な陸海空三軍の基地を作ることを決定した、ダカールはルーズヴェルトが一再ならず米國の作戰前哨基地だと聲明した地點であることを忘れてもらふまい、その數日後、ド・ゴールは安南人たちが新年祝賀式を行つてゐた地理學會に不意にやつて來てクリム色の安南美人から腕一杯の花輪をもらつた上、やをら一席の演説を試みて「氣高く忠誠で、聰明な」安南人に呼掛け、印度支那の政治的、經濟的、社會的、文化的發展はフランスの主目的の一つだと宣言した、事實フランスは三大國に對して、第四の大國は極東の植民地に關するあらゆる權利を留保すると告げてゐる、佛印はフランス本國よりも地域は大で、米、ゴム、錫、鉛の大産地でフランス帝領中でも最貴重な植民地である、ルーズヴェルトの顧問ホプキンスがヤルタ會議への途中パリに立寄つて外相ビドーに會見し「基地の國際化」について申入れをした際ビドーは「フランスの基地はいまは聯合國の使用にまかしてあるが、將來どうするかはフランスと植民地當局の間のみで決すべき問題である國際化するならば、それは相互的たるべきで、眞珠灣の如きその中に含めて貰はう」と劍もほろろの返事をしたといふことだ

このタイムの記事はフランスと米國との植民地問題を挟んでの對立を挿繪して遺憾がないといへよう、ド・ゴールと彼の率ゐるフランスがアメリカが持つと想像される野望に對していきり立つてゐるのは事實であるがアメリカ自身では公式には何ともいつてゐない、強ひていへばフランスがじたばたするのを面白がつてゐるともいへる、佛印の問題にして「ストラスブールの次はサイゴンだ」とスローガンだけは掲げて見たが、さて武器はとなるとアメリカ様の前に膝を屈しなくてはならない、米軍の佛印接岸作戰を豫想して佛印の「解放」はフランス軍の手でと叫んで見たところで若しアメリカが佛印作戰をするものなら、これを實力で阻止するだけの能力は相憎く持合せぬ、本國ではしきりと極東派遣義勇軍だの、看護婦だの募集してゐるが、まさか陸續き歩いてくるわけにも行くまい、怒るのもよいが、それは弱味を曝露することだと訓へられるわけだ

昭和二十年 四月十一日(水)
第三三八八號

同盟通信

海外電報

(80)

歐洲戰における聯合軍の攻勢は戰術的にみれば残念ながらドイツの不利に進捗してゐるやうだ、

九日現在の西部戰線における反樞軸軍の戰線は北はブレーメンからハノーヴァを経てゲツチンゲンミュールハウゼンを通り、エルフルトを過ぎてシュヴァインフルトに達してをり、ドイツ中原の扉は既に數箇所で強引に押し開かれてゐる、従つてドイツ軍はハンブルグからヤグデブルグに至るエルベ西岸の防禦線で反樞軸軍を喰ひ止めぬ限り、それはまたベルリンへの關門も開かれたことを意味することにならう

しかしドイツ軍がいはゆるエルベ・ラインを死守するためには兵力が必要だ、従つてルール地方で反樞軸軍の重圍下に陥つたブラスコヴィッツ大將麾下ドイツ北部集團軍の主力たる第十五軍と第



五機甲師團がどの程度まで圍みを破つて死地を脱したかにかかつてゐる、萬一ルールドイツ軍が反樞軸軍の主張する如く殲滅されたならば、エルベ・ラインは假空の存在に歸すであらう

他方東部戰線において東プロイセンの首府ケーニヒスベルグのドイツ軍守備隊は長期間に亘る孤軍力闘の甲斐なく七日遂に赤軍によつて壓服せしめられたが、さらに重大なのはオーストリア戰線だ、目下首府ウィーンの市内では凄惨な市街戰が展開されてゐるが、ウィーンの陥落は率直にいつて時間の問題である、またオーストリア戰線南部上シレジアのコーネフ軍はドレスデンでパットン軍と握手する機會を狙ひ、ベルリン正面のジューコフ軍もまたモントゴメリー軍の進出程度と睨み合せて總攻撃の火蓋を切る態勢を全く固めてゐる、以上重大危局を克服するためには、ドイツにとつてヘルクレス以上の努力を必要とするであらうが、ドイツはすでに勝敗を度外視して闘つてゐる、即ち無我の戰だ、これほど強いものはない

目次

英聯邦會議大波瀾	一〇〇八
フアレル政權を承認	〃
ギリシヤ新内閣成立	〃
シリヤ後繼内閣	〃
歐洲	〃
波要人十五名行方不名	一〇〇九
英政府、ソ波交渉説を否定	〃
ローマでまたぞろ破獄事件	〃
瑞典、永島間通商條約	〃
ソ聯	〃
オーストリア國民に呼びかく	〃
英帝國	〃
印度自由黨重大提案	一〇一〇
米洲	〃
農作物減産か	〃
ニユードセン再び軍需局長官に	〃
商業連絡委員會を新設	〃
ボリヴィアで革命騒ぎ	〃
グワテマラ近くソ聯と外交關係確立	〃
特輯	〃
英國財政金融の諸問題(上)	一〇一一
資料	〃
米國人の邦人虐待	一〇一二
軍事情報	〃
獨軍自慢の戰軍拳骨	〃

中小國の不滿爆發

英聯邦會議大波瀾

(ストックホルム九日發) ロンドン來電 四日以來ロンドンで開催されてゐる英聯邦會議は週末休會した後九日再會、愈々ダンバートン・オークス提案が組上にのせられたが、俄然議論沸騰し、多少だれ氣味であつた會議は著しく活況を呈するに至つた、特に議論の焦點となつたのはいふまでもなくダンバートン・オークス提案が安全保障會議に全權を集中し、大國の封建主義的專制を企圖した點で、ニュージールランド代表、首相ドナルド・フレイザーは

ダンバートン・オークス案の規定する總會はさしたる權限を持つてをらず、全權は安全保障會議の手中にある

と述べて、大國獨裁に一矢を報いれば、カナダ代表も

カナダ、濠洲、オランダ等特別の任務をになふ「中等國」をも安全保障會議に加ふべきだ

と主張して無視された中小國の憤滿をぶちまけた結局濠洲、ニュージールランド兩國代表は安全保障會議の權力を制肘し、獨裁的專横の餘地を狭めるため司法會議の權限を擴大すべしとの折衷案を提出、目下ワシントンで開催されてゐる反樞軸司法會議の成果に期待したが、以上の問題は桑港會議でも中小諸國の攻撃の焦點なることは當然豫想され、一悶着は免れまい

濠洲代表、外相ハーヴァード・エヴァツトは九日王立國際問題研究所において濠洲の地位を説明したが、中小諸國の不滿を代辯して次の通り述べた

ダンバートン・オークス提案の二、三の點は小國間に疑惑と不安を醸成せずにおかない、五大國からなる安全保障會議は全體の意思を代表する總會に對して直接何等の責任もになふことになつてゐるが、國際正義と公平、各國平等の權利といふ點からみればダンバートン・オークス案は未だ多くの檢討を必要とする

フアレル政權を承認

(リスボン九日發) 反樞軸各國は米國政府の音頭取りでアルゼンチンのフアレル政權不承認の政策を固執してきたが、同政權が日獨兩國に對し宣戰を布告した結果、米國政府を初め米洲の二十ヶ國は九日正午を以て同政權と國交を再開した、同時に英國政府もフアレル政權を承認しド・ゴール政權、亡命オランダ政權なども相次いで承認した

ギリシヤ新内閣成立

(リスボン九日發) アテネ來電 ギリシヤ新首相ペトロフ・ブルガス提督は九日、攝政ダマスキノス師に對し新内閣の閣員表を提出した、新閣僚はすべて何れの政黨にも附屬せず、うち五名は元大學教授である

首相兼國防相 ペトロフ・ブルガス
外 相 ジョン・ソワイアノポウルス (留任)

法 相 コンスタンチン・トリアンダ

フィロプロス教授

鑛山相兼文相 デイミトリ・バラノス教授

經濟相兼勞働相 グレゴリ・カシマティス教授

藏 相 ガオルゲ・マントソアヴィノ

ス

保・健 相 トリコルホス・スバルニス博

士

社會事業相兼内相

コスタル・ウアツオス教授

情 報 相 デイオニシオス・ツアキニノ

ス教授

公共事業相 ロス・デイミタコボフロス

船舶相兼運輸相 海軍少將スピロ・マテン

内務次官 ケオルゲ・ラブリノボロス

シリア後繼内閣

(リスボン九日發) ベイルート來電 ファイエス・エル・コレーを首班とするシリア内閣は五日總辭職したが、大統領シヌクリ・エル・クワトリは九日後繼内閣の組織を再び同首相に委嘱した

【歐 洲】

波要人十五名行方不明

(ストックホルム六日發) ロンドン來電「亡命ポーランド政權は過般來頻々と發生するソ聯當局のポーランド人拉致事件につき米英兩國政府を通じて抗議してゐたが、同政權情報省はまたまた發生した拉致事件に關し六日つぎの聲明を發表した

亡命ポーランド政權首相代理、同政權現地代表國民統合會議議長及び解體されたポーランド本國軍の最後の司令官の四名は、三月二十七日赤軍第一白露戰線軍代表イウアノフ將軍に招待されて、會議に赴いたまま杳として消息を斷ち、翌二十八日にはポーランド本國にあつた亡命ポーランド政權閣僚三名、各政黨領袖八名及び通譯一名が行方不明となつた、以上の諸氏はソ聯内務人民委員部(ゲーペーウー)のビーメノフ大佐の署名になる正式の招待状を受けたものでその内容は大體次のやうなものであつた

「余は諸氏にイウアノフ將軍との會談を要請する、會談は無條件に必要であり、且つ異常に重要である、余は赤軍將校の名譽にかけて諸氏の安全を保障する、會談の目的は今日までソ聯と接觸を持たぬ諸政黨を獨立ポーランドの民主主義統一勢力に合流せしめんとするにある」

右招待狀に基いて會見に赴いた十五名のその後

の運命も所在も全く判明しない、又以上の諸氏の氏名と職名を併記して發表することは差し障りがあるが、内十四名の氏名は次の通りである

ギンスキー、ツアチヤチンスキー、ツエルニクヤンコフスク、オクリキー將軍、ヤシンコヴィツ、コブイランスキー、ミエルツワ、パヂヤーク、プザク、ステムレル、ストイフルコフスキー、ウルバンスキー、ビエン

英政府ソ波交渉説を否定

(リスボン八日發) ロンドン來電「八日のロンドン各紙は目下モスクワにおいて亡命ポーランド政權の使節團がソヴェト政府と交渉を行つてゐる旨ソヴェト政府から英國政府に通告があつたと報じてゐるが、英國政府當局は直ちに右報道を全く事

實無根なりとして否定、つぎの通り言明した

「亡命政權の言明によれば六日夜以來行方不明にあつたといはれるポーランド各政黨領袖並びにポーランド地下運動代表者に關し、政府はソヴェト政府から何らの通告にも接してゐない

ローマでまたぞろ破獄事件

(リスボン六日發) ローマ來電によればローマ市のレジナ・コエリ中央刑務所に收容されてゐる全囚人は五日夜突如暴動を起し、十二名が脱獄に成功、うち數名は街上で巡邏警官隊のため射撃されて負傷したが、大部分は闇に紛れて足跡をくらましたといはれる、他方刑務所内に残つた囚人達も放火を企て、二時間近くの間監守や應援の警官隊と大格闘を演じた後漸く鎮壓された様子だ、ボノミ政權は過般のロアツタ將軍脱獄に續く今回の不祥事件に狼狽、關係者を集めて原因を追究してゐるが、ロイター記者の報道によれば原因は専らボノミ政權治下の混沌たる政情に基く甚だしい紀律の頹廢によるものとみられてゐる

瑞典、氷島間通商條約

(ストックホルム八日發) スエーデン、アイスランド兩國政府は七日、兩國間の物資交易復活に關する協定を締結した、この結果、スエーデンはアイスランドに向けて電動機、電話施設材料、農具木造家屋材料その他の工業製品を輸出し、他方アイスランドはスエーデンに對し生鮮十二萬五千樽その他干魚、冷凍魚などを輸出することとなつた、なほ支拂ひは通貨によつて行はれる筈である

【ソ 聯】

オーストリア國民に呼びかく

(ストックホルム八日發) ハンガリー國境を越えてオーストリア領に侵入した赤軍は、首都ウィーンの攻防を繞つてドイツ軍と激戦を展開してゐるがモスクワ來電によればソヴェト政府は八日オーストリア國民にたいし

ソヴェト政府はオーストリア國民を友と考へ、かつオーストリア領土を獲得し、または社會制度を變革する如き意圖を持つてゐない

旨布告したと傳へられる

【英 帝 國】

印度自由黨重大提案

(ストックホルム五日發) ロンドン來電 印度自由黨總裁サプルーを委員長とする調停委員會は曩のガンヂー、ジンナー會談でも遂に解決を見るに至らなかつた印度政情の行詰り状態打開のため目下ロンドンに滞在中の印度總督ウエーヴェルに對し五日左の提案を打電し來つた

一、拘禁中の政黨領袖全部を即時釋放すること
二、英國王は布告をもつて印度が英聯邦の爾餘の自治領と同等な獨立國である旨宣言すべきこと
三、人民政府を放棄又は喪失した英領印度諸州が總て人民政體に復歸することを望み、またかかる州の首相が重要少數黨派の領袖を内閣に参加せしめることを希望する

四、左の二案の何れかによつて印度中央政府を改革すること

(イ) 印度土侯國の参加を俟たず、十分信頼すべき聯立内閣の政府を中心とする印度聯邦の成立を宣告する

(ロ) 現在の中央政府に印度の有力黨派を包含せしめる

印度からの報道によれば以上の提案に對し印度回教徒聯盟總裁ジンナーは猛烈に反對

サプルー委員會は印度國民會議派の下女に過ぎずその提案は回教徒聯盟のバキスタン計畫を迂回攻撃で爆沈しようと努めるものだ、英政府はかかる提案を却下するがよからう

と述べてゐるといはれる、英政府當局は目下のところこれに對して積極的な反響を示してゐない

【米 洲】

農作物減産か

(リスボン七日發) ワシントン來電 米戰時食糧局長官ジョーンズは農産物減産を豫想、七日次の通り述べた

當局の調査によれば本年の播種豫想面積は當局設定の目標よりも一千三百三十萬エーカー下廻り、二億六千八百八十萬エーカーに減少する模様だ、今や反樞軸諸國救済のための食糧需要は増大の

一途を辿つてゐる、農務省當局では農民が要請通りの播種を行つたとしても肉類や家畜類の減産のほか本年度の食糧生産高は全體として昨年よりも五乃至一〇%方減少するとみてゐる

ニユードセン再び軍需局長官に

(リスボン八日發) ワシントン來電 米國陸軍省は八日つぎの人事を發表した

航空技術本部長中将ウリアム・S・ニユードセンは五月一日付をもつて陸軍省に歸り、軍需局長官の職に復舊する、航空技術本部長の後任には現次長少將ベネット・E・メイヤーズが昇格する

ニユードセンは昨夏航空資材本部と補給本部を統合、以後補給技術本部長の職にあつた

商業連絡委員會を新設

(リスボン七日發) ワシントン來電 米上院商業委員長ベイリーは七日上院議員ミード(民主黨)チャンドラー(同上)、コードン(共和黨)、ワイリ(同上)の四名を商業委員會の小委員に任命した小委員會の使命は商務長官ウオレスに協力して商務省、商業委員會間の關係調整を圖るにある

ボリヴィアで革命騒ぎ

(リスボン七日發) サンチャゴ來電 サンチャゴで七日入手した情報によればボリヴィア軍隊は大統領がルベルト・ヴィヤロエルにたいし叛亂を起したといはれる、但しボリヴィア政府は右に關し何の公報をも發表してゐない

グワテマラ、近くソ聯と外交關係確立

(リスボン八日發) メキシコ市來電 米キシコ市駐劄グアテマラ大使館は八日次の通り發表した
グアテマラ政府は極く近い内にソヴェト政府と外交並びに通商關係を確立する方針である、グアテマラ議會外交委員會は同案を承認し、大頭領は議會の勧告に基き近く正式に決定することになつてゐる

特輯



英國財政金融の諸問題(上)

外山敬一

戦争遂行は先づ何よりも「物」の面を通じて行はれるが、その裏側をなす「金」の面の努力また忽せにし得ざることは周知のことである、先づ戦費調達がある、調達資金の重點效率的使用があるインフレーション防止がある、次いでまた戦時蓄積資金の解除轉換がある——といふ工合で財政金融部門においても問題は山積してゐる、この間にあつて英國は如何なる策を講じ、何を考へてゐるかの一端をうかがふために最近の情報から問題を拾つてみよう

△復興と資本統制

戦時中浮動資金吸収と資本統制が強度に行はれることは當然であるが、これを將來如何にして行くか、復興と組合せてどう運んでゆくべきか——この問題について「ニューズ・クロニクル」十月三十日號は次の如く述べてゐる

「國民貯蓄は戦後工業復興の國家的要求に緊密に結びつけて運用されるだらう、その方法は三つある、第一は「再轉換」資金を必要とする工業會社であつて、この場合會社は戦争中抱へ込んだ巨額の國民戦時債券その他の政府債券を賣るなり、現金に換へるなりしなければならぬ、そこで政府はこれを償還するために何處からか金を借りねばならぬことになるが、結局國民貯蓄運動を通じて蓄積された貯蓄から多額の借入をなすことが必要とならう、第二は超過利得税の拂戻の場合、それがただ資本目的のためにのみ用ひられ株主に分配することを禁ずるといふ條件で行はれるならば同様に政府はその資金を借入により賄はねばならぬ、第三に、例へば棉業におけるが如く、資本市場を通じて投資家からは所要資金額を調達することが出来ない産業の再建のためには、政府が巨額の特種貸付金をなさねばならぬのは略々確實である

かくて戦後貯蓄は國家的復興事業の方向に向けられることになる、國民貯蓄委員會がこれに對し適宜な考慮を拂ひその線に添つた宣傳方法を計畫してゐることを疑ふものではないが、更に貯蓄運動の焦點を直接明確に復興事業の上に合せ、宣傳の方法に變化を與へるなり、或ひは名前を換へて國民貯蓄債券を國民復興債券とでもする必要があるらう、更にはまた地方的に「家屋建築週間」や「製鐵週間」をやり「この期間に債券を買へば貴方達は直接に建築計畫や地方産業復興を助けることになるのだ」と呼び掛けるのも宜いだらう、この問題は更に産業金融會社創設に關聯する、新會社を作り産業復興援助のために一定の産業に貸付をなすなり、或ひは通常の方法で株式を獲得して重役を任命し將來に亘つて統制をなして行くやうにするのが望ましいことである」

英國の戦時資本統制は一方における超過利得税の存在、他方における輸入と資材の政府獨占と相俟つて殆ど禁止的といつてよい、戦時生産施設は概ね國家の手によつて行はれるから設備資金の資金調整といふ問題はなく、一般には資本發行は許さず、蓄積資金は公債賣出一本で國家に吸収するといふ高度の統制を行つてきてゐる、今後この運営を如何にして行くかの問題であるが「ファイナシアル・タイムズ」十一月二十七號は次の如く述べてゐる

「戦後の何がしかの時期における資本統制の形が可成詳細に豫見せられるに至つた、といふのは大藏省が最近、商業に關聯する抜穴封鎖と、地方當局により實施される或る種の原則を強調する新手段を聲明したからである

從來の資本統制においても資金が國家的利害を持つ目的以外に流用されてはならないといふ原則は強調されてゐた所だが、一方年一萬磅までの資本發行は許可を必要としないといふ例外特權を享受してゐた、この例外が許され得る範圍外の業務にまで流用されてゐたことが發見された、すなはち新設會社が企業擴張への踏石に利用されてゐたから十二月一日以降新設される會社は、統制新措置の第一の對象として詳細な吟味を受けることになった

また統制は既存會社にも及び不當と認められるものについては例外容認の撤回がなされる筈である地方當局への同状は地方債の長期債への借換及びそれを大藏省の基本方針に基いて處理すべきの必要を述べてゐる、地方團體の擔保付借入の借換には從來通り當事者の同意に基いて行はるべきであるが最短期間七年とすることが望ましい、現在の地方團體の借金の中には一年とか更にそれよりも短い期限のものがあるが、現在は平時と異なる緊急時であるから短期債借換への必要が大いにあり、そのためには大藏省が定期的に適切な規定を作つて應じて行かねばならない、出来る限り長期の債券に切換へて行くことが必要なるは疑ひを容れぬが、最大の要諦は可働資金の處理權をすべて政府に與へ、政府以外からの資本市場に對する要求を最少にすることである、この意味では期限延長は確かに有能なる一法であるが、さらに進んでは大藏省の抱いてゐる地方團體の新規借入は勿論のことと借換すら出来るならば避けた方がよいとの信條は同様の効果を持つであらう、この原則は既に暫らく前から實踐に移されてゐる、最近の一聯の借換操作に明瞭に見られるところがこれであつて、それに當つては同時に當局の手許資金狀態によつては一部償還を行ふといふ事例が示されてゐる、かうした方面に手持資金乃至は歳入金を用ふることは一般に奨むるに値する、蓋し資本投下といふことは何れにせよ不可避な範疇に屬することであり、且つこれを償還によつてなせば資本市場に對する要求を暫し避け得られると共に、餘剰資金を個人の再投資に用ふるを得る、といふ二つの利便を生ずるからである」

上述の記事によつて英國政府當局は今後も資本統制の手綱は放さず、寧ろこれを強く握つて將來の運營を自らの手によつて打開しようとしてゐることを知るが「ファイナンシャル・ニューズ」及び「タイムズ」二月二十一日號は更に大藏省の最近方針について次の如く記してゐる、「ファイナンシャル・ニューズ」は

「二月二十日アンダスン藏相が下院で述べたところによれば、政府は現在資本發行統制に何等の變更をも意圖してゐない、資本市場に對する要求は

依然政府發行及び國家的基本需要に基く借入に限られるが、戦後過渡期については若干の修正を考慮してゐる、政府以外の重要企業は資本發行を一般公募によらず投資機關に據るのは從來通りとするが關係機關はそれを賣却しないことに同意するか、或ひは資本發行委員會を通じて豫め許可を申請するを要することとする」

「タイムズ」はこの問題に對するシティ筋の不精不精の態度を報じてゐる

「シティが新資本供給といふ機能を發揮しない状態を續けるのは已むを得ざるものとして容認されるだらう、大藏省のすべての方針はシティの機能を出来る限り働かせぬやうにするにある、ただ藏相が言及しなかつた點について希望的樂觀論が行はれてゐる、即ち第一には歐洲戰が次の公債發行後六ヶ月以内に終了すれば政府は統制を緩和するだらうといふのと、第二には大藏省はともかく資本發行統制の枠を今までのやうに限定したものせず、これを廣めて行くことを忘れはしないだらうといふのがそれである、資本發行を投資機關に限るといふ一般方針は恐らくそのまま残されるだらうが、その限定のうちに範圍が相當に擴げられると考へられ、實際にもブローカーに關する制限が減ぜられるだけでもかなり大巾の擴張とならう、さうなれば發行會社、個人銀行は發行條件交渉に際し現在より強化された地位を占むるに至るであらう」

△政府借入金の諸問題

かくの如く金融部面で政府財政の賄ふ範圍が壓倒的比重を持つに至ると、財政においてその資金を如何に調達するかについて一聯の問題が発生する

先づ政府の借金總額を「ファイナンシャル・ニューズ」一月十七日號の報についてみておかう

「開戦より一九四四年末までの政府債務は

總額 一三、九七五百萬磅

(私有前大戰債償還用借入を含む)

その源泉内譯

小額貯蓄

三、〇三三

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

公債

四、六〇九

浮動公債(大藏省預金證書を含む)

四、三四七

租稅準備證券

七六〇

豫算外餘剩資金

八一八

海外よりの借入金その他

四〇八

借入が嵩んでくればその金を成るだけ「安く」手に入れ、期限も一番有利なところに持つて行き現在は勿論將來への負擔を最も軽くするのが當然の要諦になる、金利といひ期限といひ、借入には相手が有り、また政府自身の懐都合もあることだから、その時その時の事情を巧みに捕捉して最も良いところを渡つて行く技術が要るわけである

そこで昨年十一月よりの一分七厘五毛五ヶ年の割期的低利短期新國庫債券が問題となる、これについては十一月一日に「ファイナンシャル・ニューズ」と「ファイナンシャル・タイムズ」が論じてゐるがその要旨は次の如くである(詳細は二月八日「同盟海外經濟」参照)從來の國民戰時債券の發行を中止してその代りに低利短期の新債券を賣出したのは最近約半年間政府公債への應募成績が不良を示したのに對處する爲である、その原因は専ら金融機關及び投資家の戰爭終結近しとの見透しに基いてゐる、即ち戰爭が近く終るとすれば戰後の經濟再轉換、不測突發的な變化に備へるため何よりも手持現金を殖やしておくが、少くとも資金を出来るだけ流動的な形で保有しようとも、從つて長期物は必然に不人氣となる、そこで大藏省は銀行筋及び金融市場の希望をも參酌して中期物たる從來の戰時債券よりもさらに短期で五年後即ち一九五〇年に償還される新債券發行を決意した短期償還をすればそれだけ政府の金繰は期近かになつてその意味では近い將來における負擔が増すことにはなるが、現在において緊急な軍資調達が必要がなほ存する以上今回の處置は中間餘白を埋める妥當な手段といふことを得よう、同時に一分七厘五毛といふ未曾有の低利率も興味ある問題である、それは償還期間が短くなつたからの當然の歸結だが、政府の執る低金利政策の一端を示すものに他ならない、二分五厘戰時債券より低いかなほ大藏省預金證書の一分八分の一よりは高いか

ら吸收力は相當あると思はれる、唯懸念されるのは預金證書から新債券への乗替へが行はれることで銀行の資産勘定が一から他へ移るだけでは何もならず、結局その成否は大衆資金の吸收如何に懸ることになる」

新公債發行後の實狀については當初應募不良が傳へられ、一時的な方法たるに止め再び戰時債券形式に歸るべきではないかとの論議も行はれたやうだが、二月アンダースンの聲明によるとこと當分は一分七厘五毛五ヶ年債發行を繼續する由である

【資料】

「米國人の邦人虐待米國民の公正觀念」

「タイム」誌三月十九日號

米國在郷軍人會フッド・リヴァ(オレゴン州)支部は三ヶ月前からみつともない人種優越論を振り翳して遂に日系市民十六名を在郷軍人會から除籍してしまひ、彼等の復籍を斷乎拒絶した、在郷軍人會長エドワード・シエイバーリングは當惑してかかる無謀な命令を撤回し、除籍した日系市民を復籍するやう勸告した、ところが同地方在住市民一萬一千五百名のうち「フッド・リヴァ」地方は日本人を排撃する」との標題を掲げた新聞廣告に署名したものは、なんと五百名、新聞の一面をぎつしり埋める龍大な數に上つた、フッド・リヴァ支部は「再考の餘地なし」とばかり在郷軍人會長の勸告を撥ねつけたが、先週に至つてかかる強硬な態度を維持するならば同支部の特權につき何らかの制裁が加へられるかも知れないとの危惧を生じたため、支部は遂に陸軍から譴責除籍されたもの一名を除く十五名を復籍するに決定した、一安心したシエイバーリングは新聞紙上に

米國在郷軍人會のかかる措置のお蔭で米國民の健全な公正觀念が立證された

と發表「ニューヨーク・タイムズ」紙の如きは

米國在郷軍人會フッド・リヴァ支部が過を改むるに憚らぬ勇氣を持ち合はせてゐたことは欣快に堪へぬ

と報じたほどであつた、ところが西部海岸地方に

者が大部分である

【軍事情報】

獨軍自慢の戰車拳骨

(チューリッヒ二十九日發) ドイツ國民は東西兩戰線より雪崩れこむ敵軍を相手に悲壯な抗戰を續けてゐるが、裝備において遙かに優れた反樞軸軍に對してドイツ軍が極めて有効な戰闘を挑んでゐるのは全くその科學兵器「戰車拳骨」のお蔭だ、「デイ・タート」紙ベルリン電はこれについて次の通り報じてゐる

「中立國の觀測者にとつて最も注目すべき事實はドイツの現實主義的兵器製作者が現在の戰局に特に適した戰車拳骨のやうな兵器を創造したといふことだ、ドイツ軍の一將校は戰車拳骨のごときロケット兵器の戰線に現れることが餘りにも遅かつたことを残念がりながらも、記者に向つて

戰車拳骨を使ふやうになつてから、自分も部下の兵士たちもこれを自走砲などよりもつと頼りにしてゐる、赤軍の十五糎重自走砲は厚さ十八糎乃至二十糎といふ防楯だが、戰車拳骨のために見事破られてゐる、T34型戰車などはたつた一發の戰車拳骨で破壊される有様だ、T34型戰車の製作には一萬三千勞働時間の勞力と、二萬六千瓊の鋼鐵と、一萬五千瓊の特殊鋼が必要で原價は獨貨にして十八萬二千マルクに上るのに比し、戰車拳骨は鋼鐵四・九瓊を含み重量僅か六瓊、生産原價も八マルクに過ぎないと説明してくれた

記者が前線を旅行した間、戰車拳骨をもたない兵士は一人もみかけなかつた位で、どここの戰線にもこの兵器があり、少年兵の一人々々までこの魔術兵器に親しんでゐる、かうみると戰車をもつて都市を占領することは困難になるばかりだ、ドイツの戰車拳骨生産高は月産百萬を越え、しかも着々改良されつつある、最新型の戰車拳骨は熔接法によつて製造され、目標物に命中した瞬間四百度の高熱を發する、戰車に對する有効距離は百二十米だ、東部戰線のドイツ軍將兵が一般に自信を回復し得たのはこの兵器の力だと信ずる」

おける人種的偏見は依然として改められず、フツド・リヴァ地方でも排日意識激烈で、同支部所屬の白人在郷軍人は日系市民を復籍するならば白人會員は脱退を要求するだらうとの噂が擴まつたため先週末に至るも在郷軍人名簿には日系市民の氏名は記載されぬままであつた、シャトルではワシントン大學を卒業し、戰前アイキング地方のハーバーヴィュー病院の監理人を教へてゐた一日系女性高橋某は強制收容所から釋放されて住み馴れた自宅に歸つた當初は、友人達に向つて

ここは私の生れ故郷ですから歸つて來られて本當に嬉しいです

などと言つてゐたが、十日程経つうちに住民の無言の冷眼視に耐へられず、秘かに荷物を取りまとめてコロラド州デンヴァーの強制收容所へと舞ひ戻つた

またオレゴン州ポートランドに小農を營む坪田某は因地の野菜市場へ野菜を持込んだところ全く販賣を拒否された、グレンシアム近郊の住民は「日系市民を悉く太平洋島嶼に追放せよ」との請願書を廻覽にした

サンホセに住む農民武田某が或る夜物音に驚いて目を覺ましてみると、自宅の玄關先にガソリンが流れて火を噴いて慌てて消火したところ、一人の暴漢が彼に向つて發砲したといふ事件もあつたしかし太平洋沿岸では日本人二世には好意を示す者がなく、日系市民に對する數々の暴行を憤慨する者も多く、日系市民に對する數々の暴行を憤慨する者も何百人かあつた、ワシントン州ウッドインヴァイルでは強制收容所附近で日系市民が人手不足のため目分で荷物を引いて上つて來るのをみて、ワシントン大學の學生が急いで駈け寄つて車の後押しをしたといふ小景もみられた、しかし米國全體としての意向はどうであらうと排日論者の遣り方は極めて挑發的である、強制收容所を出た日系市民三萬三千名のうち西海岸へ戻つたのは一千六百四十名に過ぎない、收容所には未だ六萬三百餘名の殘留者がゐるが、うち僅か一千九百名が舊在住地へ戻ると言明したに過ぎず、隣人や友人達の冷遇を思慮つて他へ移住しようかと迷つてゐる者、或ひはどうしてよいか解らないで愚案に暮れてゐる

昭和二十年 四月十二日(木)

第三三八九號

同盟通信

海外電報

(81)

【目次】

情報相を一齊に攻撃……………一〇一六

野望の代表上院で宣誓……………〃

小國にも發言權を與へよ……………〃

ド・ゴール米英ソに解明要求……………〃

【米洲】

米國は日本の島嶼を領有すべし……………一〇一七

比島經濟の獨占を企圖……………〃

【反樞軸陣營】

反樞軸司法會議開催……………〃

【ソ聯】

「プラウダ」紙執拗に要求……………〃

【英帝國】

保守黨の政策を攻撃……………一〇一八

英は全體主義國家を排撃……………〃

全濠洲空軍も對日戰に参加……………〃

イラン紙英駐屯軍を攻撃……………〃

V兵器による損害發表……………〃

【歐洲】

芬內閣總辭職……………〃

【特輯】

英國財政金融問題(下)……………一〇一九

【資料】

ステチニアス外交演說……………一〇二二

戰時における英國の工業界……………〃



九年振りの英國總選舉戰は既に開始された、勞働相サー・アーネスト・ベヴィンがリーズ市における演說で保守黨の外交政策を扱き下ろしたのは事實上における聯立内閣の解體選舉戰の開始と見て差支へあるまい、右演說に對し情報相ブランドン・ブラツケンハムはロンドン市のホルボン區における保守黨の午餐會で直に一矢を酬い「貿易や商業の運営に干渉しなくとも政府にはやらねばならぬ仕事が出積してゐる、英國民は決して勞働黨の要望するやうな全體主義國家體制に同意しないだらう、國營案は必然的に混亂と混沌とを惹起するに過ぎない、それよりも生産力を擧げて英國民に家庭と家具とその他の物資を供給することが必要だ」B・Bは一九三九年三月サー・アーネスト・ベヴィンが「英國は結局起らずに済むかも知れぬ

戰爭のために國內の組織を急

いでゐる」と述べた言葉を引

用し保守黨の外交政策に對す

る非難に、竹箆返へしを食は

せてゐるが、「デーリー・メ

ール」紙の政界通プロードベ

ントの報道によれば、今まで

仲のよかつたチャーチル首相と勞働相との關係が最近頃に「冷却」するに至つたといふから首相の

秘書B・Bが首相に代つて、勞働相の挑戦に應じ

たわけだらう、「デーリー・メール」紙は勞働黨

の領袖が近く辭職するかも知れないとみてをり、

桑港會議の首席代表にイーデン外相を据え、勞働

黨首領アトリー樞相の顔を潰してしまつた保守黨

の遣り口に對する不満、その他兩黨の對立が愈々

爆發する公算が大きい、「マンチエスター・ガー

デアン」紙はサー・アーネスト・ベヴィンの演說を

「英國内政上の危険信號」と呼んでゐるが、歐洲

戰爭がはまだ片付きもしないのに英國の政界が深

刻な抗爭の巷と化するに違ひない

情報相を一齊に攻撃

(ストックホルム十日發) 労働相サー・アーネスト・ベヴィンの演説は英國政界に深刻な衝撃を與へ、首相チャーチルの代辯として情報相ブランドン・ブラッケンが反駁したのに對し、九日夜労働黨首領アーサー・グリーシウツドが重ねて保守黨を論難するといふ有様で、英國政界は正に總選舉の旋風に捲き込まれるに至つた

ロンドン來電によれば十日英國下院の質問時間に際しても労働黨の領袖は一齊に情報相を攻撃し首相チャーチルとの間に次の通り應酬したと傳へられる

質問 情報省は何時解散されるのか

首相 言明することはない

シンウエル (労働黨) 情報相最近の活動に鑑み同人に對する給料は國費をもつて支辨せず保守黨が拂つたらいいと思ふ

首相 情報相は英國政府の一員として所見を開陳してゐるのだが、従前より言論自由の範圍が擴大されたまでである

ジョン・ローソン (労働黨) 政治戦線の平和が破れたことを認めるのか

首相 内部では常に平和と信頼とが存するが、御承知の通り政界が逐次政黨間の論争に向つて動き出してゐるので、外部に對する表現には種々相違が起るのは明瞭だ、但し代議政權並びに閣内一致のために、政府の實際施策を傷つけるやうな聲明がなされたこともなく、またかかる聲明は許されぬ、もつとも社會主義者(労働黨)が社會主義を主張せず保守黨が保守主義を提唱しないことを余は要求しない、否、自由黨が自由主義を主張してならぬともいはない

野望の代表上院で宣誓

(リスボン十日發) ワシントン來電 桑港會議に對する米國主要代表の一員たる共和黨上院議員アーサー・ヴァンデンバーグは九日上院において桑港會議から必らず上院を満足せしめ得るごとき「救世の條約」を齎らすべく努力することを誓ひ次の通り演説した

「切迫せる大冒険の以前に余が語る機會はもはやあまり多くない、余は圖らずも大任を受けて近く

サンフランシスコに出發するが、桑港會議において世界中が各種各様の國語をもつて信頼すべき方式を祈り求めてゐるその願望に應へる責任が組織せられたる人類に對して負はせられるのだ、上院外交委員長にして同じく桑港會議代表たる民主黨のトム・コナリー議員と余とは餘り遠からざる日に、平和と公正とが自由人を恵む幸福なる世界のために米國自らの利益の名において諸君の承認を得るに價するごとき救世の條約を持ち歸り得ることを祈つてやまない、われわれの行手を遮る障礙があり、前途の大目標を覆ひかかる一時的な暗雲はあらうとも、われわれは平和の組織のために耐へ忍ばねばならない、余は出發に先立つて諸君にこれを誓約せずにはゐられなかつた、余は地球上到處で米國の勇敢なる將兵がそれを求めて死んで行つたこの目標に到達すべく余のなし得る一切の努力を捧げるであらう、余は出發前に諸君の不斷の祈念を要請せずにはゐられなかつたのである」

小國もに發言權を與へよ

(リスボン十日發) ニューヨーク來電 元國務次官サムナー・ウエルズは九日夜ラジオを通じて次の通り演説した

新國際機構の總會においては各主權國がすべて同等の發言權を持たなければならぬ、さなくば進歩的民主主義的思想を有する諸小國は事實上の參加を拒否されることにならう、また日獨兩國に對しては兩國が加盟國として適格なることの實證されるに十分な年月が經過するまでは新機構への加盟を許してはならない

ド・ゴール米英ソに解明要求

(リスボン十日發) ワシントン情報によれば、フランス臨時政府はワシントン、ロンドン、モスクワ各政府に對して、ヤルタ宣言の適用範圍及びその解釋につき改めて米英ソ三國の解明方を要求したといはれる、フランス政府の見解によればヤルタ會議の以後のポーランド、ルーマニア、ギリシヤの事態を観察するに、ヤルタ宣言の精神はこれ等諸國に適用されず、英ソ兩國はこれ等諸國において特殊利益を享受する暗點の諒解が存在するやの疑ひが存するといふのである

【米 洲】

米國は日本の島嶼を領有すべし

— 下院議員ジョージ・マホンの提案 —

(リスボン九日發) ワシントン來電によれば、テキサス州選出下院民主黨議員ジョージ・マホンは九日日本から奪取した主要諸島嶼を米國の恒久基地として保持する趣旨の決議案を下院に提起したといはれる、マホン案の骨子は

一、「世界平和を維持する必要上」米軍參謀本部の指定する日本領島嶼を永久に保持する

一、米軍が占領した反樞軸國領の島嶼も、本來の所有國が兵力を派遣して同島を再占領出来る時まで米國の手中に留めておく

A P電報によれば以上のマホン案は法案とはなり得ず、政府に對する議會側の意志表示として役立つだけだといはれるが、政府自身太平洋諸島の領有を企圖してゐるのだから寧ろ目的實現のための伏線とみるべきだ、マホンは以上の決議案を提出した後、記者團に對し

米國は米軍が血をもつてあがなつた硫黃島や他の太平洋の重要島嶼基地から米國旗をおろすことなど斷じて許さぬことをこの際全世界に廣告しておく必要がある、もしも、米國が戦後愚かにも現在占領してゐる重要島嶼を指の間からすべり落したならば、將來金を山と積んでも再び手に入れることが出来ぬのだ

と暴言を吐いたといはれるが、ルイジアナ州選出下院民主黨議員エドワード・ヘバートも同日後刻マホン案を支持する決議案を提出して次の通り言明した

米軍の血で支拂つた太平洋島嶼を米國領に編入し、米海軍によつて維持し管理することは、米國の國防上必要缺くべからざることだ

但しヘバートの決議案がマホンと異なる點は、日本領であれ反樞軸領であれ一視同仁に扱はれてゐることだ

比島經濟の獨占を企圖

(リスボン九日發) 米國は比島の獨立承認の假面

の下にその完全な植民地化を企圖、まづ手始めに比島經濟を米國經濟に隸屬せしめようと目論んでゐる、ワシントン來電によれば、米大審院は五票對四票の差で比島からの商品は輸入品として扱ひ國稅を賦課しないことに決定したといはれるが、元比島高等辦務官であつた大審院判事マーフイは次の通り言明した

比島を世界市場裡に投じて獨力で活動させることは安全でない、米國は比島經濟と緊密に結びつき、ひとり立ち出来るまで後見してやる必要がある

【反樞軸陣營】

反樞軸司法會議開催

(リスボン九日發) ワシントン來電に反樞軸司法委員會は九日ワシントンにおいて米國司會の下に會議を開催した、同委員會は國際紛争處理に關し桑港會議に具體案を提出することを目的とする

【ソ 聯】

「ブラウダ」紙執拗に要求

(ストックホルム九日發) ワルシヤワ政權を桑港會議に参加させよといふソヴエト政府の要求は米英兩國によつて峻拒されたが、「ブラウダ」紙は九日紙上で再び以上の要求を持ち出し

ポーランド假政府はポーランドを代表する争ふべからざる權利を有してゐるが、同政府を桑港會議から閉出すことは許すべからざる不公平だ

と敦囑いてゐる、次いで同紙は前亡命ポーランド首相ミコライチクを初めて槍玉にあげ

ミコライチクは依然一九三五年のフアシスト憲法を支持し、ロンドンの亡命ポーランド政權を唯一の合法政權と考へてゐる

と攻撃してゐる

【英 帝 國】

保守黨の政策を攻撃

(ストックホルム八日發) 歐洲戰爭の終結を見越して英國政界筋では早くも總選舉の氣構へ濃厚だが、勞働黨の領袖サー・アーネスト・ベヴィンは七日リーズ市における演説で保守黨の政策を痛烈にこき下し次の通り述べた

保守黨は英國並びに全文明を殆ど破局に陥れようとするやうな外交政策を採り、さらに以上の政策の結果如何なる事態を惹起するかについて英國國民の注意を喚起することを怠つた、きたるべき總選舉においては勞働黨は獨自の政綱に基づき獨立した政黨として攻戰を遂行する方針である

以上勞働相の演説は聯立内閣の存続を主張するチャーチル首相の要請を一蹴した強硬な意見として英國政界に少なからぬ波紋を捲起してゐるが、サー・アーネストは更に八日夜ニューカッスルにおいて演説し

「英國は今や重大な岐路に立つてゐる」と述べた

英は全體主義國家を排撃

(リスボン九日發) ロンドン來電「英勞働相アーネスト・ベヴィンの保守黨攻撃は英政界に多大の反響を捲き起したが、情報相ブランドン・ブラツケン」は九日保守黨午餐會の席上ベヴィンに應酬して次の通り黨政策を陳辯した

政府當局が民間の商工業運営に直接介入する必要は更でない、英國は今後も決して社會主義者の要望する全體主義的な形態を採ることはあるまい、商工業の國有化によつて混亂狀態を現出するよりも、英國の全生産機能を十分發揮して國民の家庭に家具その他彼等の最も必要とするあらゆる物資を與へるべきだ、生産さへ十分になれば各種の統制は當然速かに取除かれることとならう

全濠洲空軍も對日戰に参加

(リスボン九日發) キャンペラ來電「濠洲首相ジョン・カーチンは九日記者團會見で次の通り言明

した

太平洋戰が歐洲戰終了後も續くことは、反樞軸諸國の等しく認めるところだが、その際濠洲空軍は悉く太平洋戰に参加することとなるが、但し服務期間のあまり長くなるものは動員を解除する豫定である

イラン紙英駐屯軍を攻撃

(ストックホルム七日發) テヘラン來電「イラン駐屯英印軍は最近軍用電線竊盜の名目でイラン人五名を射殺し、イラン輿論の憤激を買つたが、テヘラン發行の左翼機關紙「トーデ」紙は七日激烈な口調で英印軍の暴虐を次の通り攻撃してゐる
印度兵は英帝國主義の重壓下に奴隸の境遇にあるため常に心面白くないのでイタリヤ戰線ではあれ程臆病風を吹かせたにも拘はらず、武器を持たぬ弱いイラン人を射殺して鬱憤を晴らすといふ卑劣な手段を弄したので
同事件を繞る意外の反響に狼狽したテヘラン駐劄英國大使館は次の通り陳辯してゐる

最近イラン駐屯の反樞軸軍用の電線竊盜が頻發昨年中に盜まれた分だけでも百五十四哩に上つてをり、反樞軸軍の通信連絡に重大支障を來してゐる

V兵器による損害發表

(リスボン八日發) ロンドン來電「英國内務省はドイツ軍のV兵器攻撃開始以來の損害につき八日次の通り發表した

死者

八、四三六名

重傷者

二五、一〇一名

以上死傷者の大多數は南部イングランド地區の住民である

【歐 洲】

芬内閣總辭職

(ストックホルム九日發) ヘルシンキ來電「ユネ・パーシキヴィ博士を首班とするフィンランド内閣は九日總辭職した、大統領マンネルハイム元帥は、パーシキヴィ博士に再組閣を委嘱すると見られる



英國財政金融問題(下)

外山敬一

△低金利政策の見透し

政府が今後も低金利政策を堅持持續することは確實とみられてゐるが、そのために一分七厘五毛新債權發行を控へた昨年十月末以來逆に長期金線證券が買慕はれて高値を呼ぶといふ一見奇異な現象を呈した、この間の事情について「フアイナンシャル・ニューズ」十二月十三日の記事をみよう「十月末以來長期證券に可成の値上りがあつた、ここ約一年長期物の値頃は頃合の所から次第に下つてきてをり、それは大衆が戦争早期終結を豫想し低利政策が維持困難となつたからだ」と説明されてゐた、戦争がもう幾月も續くとは思はれない今になつて、長期物が値上りを見せたのは實は一分七厘五毛新國庫債券の發行と一九五二、五四年期限國民戰時債券の發行停止と深く關係があるのだ長期債の利率引下げをなすべきや否やについては意見が分れてゐて未だ決定してゐない、今の問題は金利の現機構に即した短期債券の新設に先立つて何故長期物の値が上つたかといふことだ、その一つの説明は、一分七厘五毛新債の低金利といふところが強く響き、市場は償還期限が短かいといふ點を忘れて利率だけで動き、長期債への需要もこれに基くといふにある、だが新債券發行の本當の意味はその條件よりもその技術にある、それは大衆が益々流動性を望んでゐる事態に對處して初められた政策であり、國民戰時債券への應募が減少傾向に陥り預金及び短期政府債に向つてゐるのに答へたものである、新發行債券は現金狩立てを今始めたばかりのところ、それは魅力のある方法であるのは確かだが、今のところいまだ大したものではなく、さらに短期にすればさらに魅力を増すものとみられる、今までの施策からみれば大蔵省は低金利戦線ではまだまだ打つ手を澤山持つてゐる、當局は長期物の代りに短期物發行量を單に増加するだけでも大衆の要求を引張つて行くことが出来るし、また長期物の利率は現行率に保持されるであらうと示唆するだけでも買手を引つけ

ておくことが出来る

では長期物が更に高値を呼ぶかどうか、は別の問題だが、今日シテイ筋の多數はいまだ上ると考へてゐる、シテイ筋の關知するところでは、政府はその屢次の聲明の如く低金利政策を堅持してゐること疑ひなく、更に當局の技巧としても今後短期物の供給を増加するだらう、としてゐる、だがそのいづれによつても戦後の低金利政策なるものが利率を今日のそれよりも更に低いものとするや否やは明確ではないが、例へば次の選舉で労働黨が天下をとつたと假定する、その時は現政府以上に復興資金のために安い金を獲るやうに努め、金貸しを更に窮地に追ひ込むだらうし、その政策のために必要な統制の繼續を行ふであらう、つまりまともな話長期金線證券は労働黨に對する繋ぎの手と考へられるわけだ、かうした議論は思ひつきに過ぎぬかも知れないが、善かれ悪しかれ低金利主義は着々と地歩を占めつつあり、政府は低金利維持のためのあらゆる技術的準備を整へてをり、後はただ政治的考慮によつてどこまでの手を打つかだけである、といふ状態である」

△無利子論出現

低金利政策がすでに現實の體制となつてゐる今日、さらに進んで「ニューズ・クロニクル」十一月二十日號が掲げてゐる無利子論は興味がある「ビヴァリツチ完全雇傭案の無視された一面に注意する要がある、特にシテイ筋が問題を提出してゐる、彼の革命的提案は短期債にせよ長期債にせよ利率といふものを次第に廢止することに成りはないかと思ふ、低金利は彼の案の基礎をなす蓋し第一には戦後の英國は公私兩面で高度の投資を絶對必要とするし、第二には完全雇傭政策は繼續的に公債起債をなすを必要とするが、若し借入金に相當率の利息を拂はねばならぬとすると國民所得の内部移轉に際し厄介な問題を殘すことになるからである、かうした事情からすれば理想的な利率は零であることで、同時に英蘭銀行が金利統制の全權限を持つ必要がある、利息廢止といつても即時全廢でなく遞減政策を採つて時の経過と共に調整する方法を採る、即ち長期債の利率を二年

毎に十分の一に下げて行く、さうすると長期債の利率は二十年経てば三分から二分になり六十年後には零となる、この遞減率はあまり緩慢すぎるとはいはれても不當に速すぎるとはいへぬだらう

この問題の論議はここまでで止められてはならないのであつて更に考へを進める必要がある、例へば若し長期貸借の利息の問題がなくなれば長期貸借の問題自身がなくなるだらう、そしてケインズの説く如く預金といふものは利息の形による報酬がなくとも行くところに赴く事は確かである、唯さうかといつて放つておいても預金が必要貸付に向ふといふわけではなく要は預金者のために彼らの預金の流動性を完全に確保してやるのが肝心で、さもないと彼らはその貯蓄を現金で握り込んでしまふからだ、かうした状況となれば公債は要求あり次第、即時拂戻を要する當座貸越の形をとることとならう、その場合金融機構に對する政府の統制が完全であらうとなからうと問題ではないとの議論も立つが、完全にしておく方が良いのは勿論であつてまたそれは可能でもある、即ち外國との爲替及び貿易の全取引について嚴密な統制を實施して國內資本が外國では未だ利息といふものがあるとの強い誘惑に引つ懸からぬやうにピタリと押へることにする、かくの如くして政府債に利息がなくなれば一般産業の借入金にも利息がなくなるか、極く輕少になるかする、産業資金借入に利息がなくなれば新形式の産業金融が案出されることになる、企業會社はもはや資本市場で政府と競合して大衆の貯蓄を奪ひ合ふことは出来ない政府のみが何れの企業が借入をなし得、何れが借入をなし得ざるやを決する力を有する、そしてすべての借入は當日物の形でなさるべく政府は借入を許容された會社の支拂に對して保證をなす

換言すれば要するに利息の廢止は必然的に全經濟體制の完全な編成を必要とするわけである

△株式の見透し

ダンカーク後の崩落以後は低金利政策の進行につれ株式に人氣が戻つて高値を呼びつつあるが、これが今後どういふ展開を見せるかについて「マシエスタ・ガブデイン」十二月六日號は次のやうに觀測してゐる

「株價がすでに時に達したのか、それともさらに騰勢を持続するか」の議論は興味ある問題である、悲觀論は、四年半も續いた騰勢はそろそろ落勢に轉するのが當然だとしてゐるがこれは獨逸敗北後の過渡期について確たる見透しが立たぬからであり、赤字豫算を通する信用膨脹は今まで投資の強い推進力になつてきたが、軍需發注契約が激減をみ復員が開始されるや否や直ちにその勢を失ふであらうとみてゐる、これに對し樂觀論は、國民所得は一九三八年水準の三分の二増加をみたがこれがさる短期間に急減して逆戻りとなることはない彼等はビヴァリツヂの最近の著書に據つて、一九四八年には完全雇傭が實現し所得税が磅當り五志六片になるとしてゐる、そして株價は現在大體一九三六年の水準にあるが、前途有望の狀勢が急に萎むなどといふことはない、としてゐる、兩者の間に中間論がある、これはさる有名な株式仲買人の説だが、それによれば上記の悲觀、樂觀兩論は決して矛盾しない、といふのは政府は戦後もある期間強度の利率統制を繼續するだらう、何となれば基礎産業の再建再裝備のための巨額の資金需要はどうしても統制されねばならぬからである、かくて株價は情勢不確定のため足取りは不規則にはなるが、更に上昇を續けるだらう、だが時が経つにつれて不落傾向が次第に強くなつて、戦争直後の復興と消費者の消費の殺到するある時期が過ぎるとこれが大勢と化するだらう、かくの如き事態においては政府の方針が事を決する唯一最大の要素となるのである」

△銀行界今後の問題

由來流動資金を根幹として短期商業金融で生きてきた英國の銀行は、戦争と共にその業務様相が一變して、貸付減退、公債手持増加の情況に轉じて今日に至つてゐるが、その今後の展開がまた一つの興味ある問題だ、「フアイアナンシアル・ニューズ」一月二十九日號はこれについて次のごとく報じてゐる

「以前の繁榮時代に比すれば昨今の諸銀行年次報告に現はれた業績は先づ先づといふところだが、それにしてもそこには幾つかの注目すべき問題がある

第一の問題は戦後戦前におけるやうに貸附が全

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

面的に復活する餘地があるかどうかだ、技術的見地から行へば、銀行が從來よりも工業に對する貸付を増加してきたことは賞讃されて良い、だが問題は一般財政の事情が、この種の流動資産の清算を果して許すかどうかにある、例へば、大藏省預金證書は準備金を構成するものであつて、戰爭が終り國家の全復興計畫が開始せらるるや否やその必要とする巨額の資金がそこから引出されるのだとみてゐる者もあるが、すでにウオデントンが指摘してゐる如く、當局が期限更改を要求すればそれですべてがおしまひで預金證書財源から産業融資のためには一文の新しい現金も出ない、大藏省預金證書は英蘭銀行で再割出来ることは出来るが、これが經濟的效果を持つものと考へるのは不可能だ、さうかといつて投資を回收しても再投資の道はなくすべての銀行にとつて投資回收は望ましいものではない、ここで更に一體大衆が短期銀行預金と長期貯蓄の何れを好んでゐるかを考へる必要がある、戰後過渡期には當局は消費と投資に相當の統制を繼續するだらう、その場合大衆が好んで低利長期債を望むならば、政府は豫算の不足を長期借入で賄ふことが出来、大藏省預金證書を利率をせり上げることなく返すことが出来、と同時に投資の回收にも何の反對も起らぬだらう、だがもし反對に大衆が長期債を好まず流動資産を望んだとすると、利率を上げぬ限り銀行信用に關する問題は何一つ解決しないだらう、低金利政策が根本にある限り銀行も政府も與へられるべき信用の量を決定するを得ないし、信用擴張といふことになればインフレーションの問題が起る、そこで貯蓄運動の果すべき任務だけが強調される所以である

かうした情勢に當つて銀行界としては一九四三年の聲明の約束に隨ひ、戦後は自由貸付政策を行ふべき全面的意圖を有することは明白であつて、既に屢次の聲明書でこれを繰返してゐる

そしてその復興計畫が具體的には如何なる形で
行はれるかについて色々異つた見解の披瀝が行
はれてゐる

バケツとはいふ「いかなる國民も戦争の試煉を經濟的貧困を來すことなしに擔ひ切ることは出來

ないのだ、幻滅の悲哀は數多くあらうがわれわれは直接新しき世界に勇敢に踏み入ることが出来る
と知るべきである」と、クリストファスは強調
してゐる「われわれは、一見脅威的に見える戦争努
力の巨量とその結果に壓倒されてしまつてはなら
ぬ、戦費の大部分は現在既に消化済みである、全
經濟界は留保なくこれを引受けた、この力をもつ
てすれば、われわれが職務に全力を注いで取組む
努力を捨てぬ限り戦後の資本恢復は比較的短時間
で成し遂げられるだらう、そしてそのためには必
要期間だけしかるべき統制を繼續する要があら
う」と、またコリン・キャンベルはいふ「爲替管
理、輸入食糧配給統制の存続は銀行家も認めるで
あらうが、要するに戦後の困難を解決する最大の
條件は個人企業と能率にありと知るべきだ」と、
ノートン・バークレイは棉花に關するブラツト報
告を支持して「一人當りの生産力を増進すること
が、貿易、生産能率、分配の問題の解決を決する
重要要素だ」と述べてゐる、さらにキャンベルは
強調して「先づ石炭、棉花の生産増強がすべての
主要貿易の能率を増進する鍵となる、戦後輸出の
果すべき役割は度々強調されたところだが、さら
に米國との輸出市場における競争の問題があるの
を忘れてはならぬ」といつてゐる、ウオディント
ンはいふ「政府は重要輸入支拂のために英國にと
り缺くべからざる「見えざる輸出」に何等かの保
護策を講ずることが出来るだらうが、現在の如く
國際貿易が重要性を増してゐるときにブレトン・
ウツツ協定に對して明確な態度をとつてゐるのが
ノトン・バークレイただ一人とは驚くべきことだ
ブレトン・ウツツの提唱する自由爲替による無差
別多邊貿易は恐らく論議の的となるだらうが、わ
が經濟界の一部が少くともパートナーと爲替者意統
制に反對することは確かであり、自由を望むその
一部とは正に銀行界である」と

英國に「金」の面でも戦後經營に浮身をやつしてゐるものの如く、頽勢のしからしむるところかその藝は米國のそれに比べてやや細かい點が興味があるが、果してその皮算用の如くことが運ぶや否やはさらに今後の現實の展開に俟たねばならぬ



ステチニアス外交演説

米國務長官ステチニアスは四日夜シカゴの外交政策協會に臨み要旨左の演説を行つた

「われわれは通商問題研討のため來年中に世界の主要通商國の會議を開催すべく全力を盡す意向である、米政府は戰爭を惹起するやうな政治的經濟的並びに社會的諸原因を取除くため諸種の計畫を立ててゐるが、今回提案された通商會議も永久的な通商機關の設立に至る途を開くもので、この通商機關は永續的な基礎の上に立つて戰爭の諸原因除去の問題を取扱ふべき國際機構内の一機關となるのである

われわれは桑港會議と關聯して發生した一時的な政治上の諸困難を解決し得ると確信してゐる、米政府當局はこの瞬間において以上の諸困難を解決するため活潑な努力を續けてゐるが、そのためこの問題を詳細に論ずることは出来ない、われわれは諸種の計畫を抱懷して眞直く桑港會議に向つて進んでをり、會議を成功に導くやう決意してゐる、また會議が成功するに違ひないことは以下の事實を想起すれば明白であらう、まづ反樞軸各國は過ぐる三年間に遙かに重大な諸困難を數度ならず克服してきた、次に米國及び反樞軸各國の死活的な國家利益を維持するためには戰時に結ばれた盟友關係を平和時においても維持増進しなければならぬ、さらにわれわれ相互の意見が一致してゐる範圍は相違點よりも遙かに廣範且つ根本的である

米國の外交政策は米國が次の戰爭の慘禍に巻き込まれないためには、他の諸國と協力して世界の如何なる場所における侵略をも效果的に阻止出来るやうな方策を發見せねばならないといふ嚴たる事實に立脚してゐる

昨年の米國の戰時輸出額は百四十億弗以上に上つた、これに對し戰前平和時における最高輸出額さへ右の數字の三分の一を超すか超さぬ程度であつた、専門家の計算によると米國の生産及び雇傭

狀態をわれわれが望む水準に保つためには、輸出額が年百億弗近くでなければならぬといはれる、われわれは通商を妨げる諸種の人爲的な障礙を除くするやう最強力な措置を講ずることによつてのみ戰爭後右の目標に到達し得るであらう、われわれはまた戰前盛に實施せられた關稅障壁の全面的低下にも努めねばならぬ」

戰時における英國の工業界

「タイムズ」紙三月二十三日

ドーマン・ロング會社社長ハマー・グリーンウツドは三月二十二日株主總會で、最近五年間における同社の業績に關し次の通り報告した

「ドイツ空軍の攻撃で、當社の施設は損害を蒙り従業員の間から死傷を出した、現に従業員六千三百十一名が出征したにも拘はらず當社は従前通り高度の機能を發揮出來た、現在従業員數は四萬二千名、一九四四年九月三十日を最終日とする五年間の鎔鐵生産高は六百五十餘萬トン、石炭產出高一千六百餘萬トン、鐵鑛產出高八百七十五萬トンに上つてゐる、鋼鐵を使用する建設工事並びに架橋工事の他、當社は砲彈、外壁、橋、船舶、上陸用舟艇、組立前の船舶部品、船舶の製作に當つた戰時における運営は極めて困難であつたが、戰後困難はますます増大しよう」

次にボールドウイン會社社長チャールス・ライトは同社の戰時活動につき次の通り述べた

「當社の生産機能は戰爭の結果大半縮小のやむなきに至つた、即ち一九四〇—四四年間における鎔鐵、鋼板、鋅板の平均年產高を一九三七年の生産高に比較すると次の通り

(一九四〇—四四年に おける平均年產高)		(一九三七年生 產高との比較)	
鎔鐵	二八七、二〇七噸	二七・五%	減
鋼板	一一三、五五七噸	二四・五%	減
鋅板その他	六六九、三六一箱	二六・五%	減

生産減少は勞力および石炭その他の資材不足に基づく當社の事業品目のうち、軍需轉換の結果増産を見たのは電氣板、電氣壓斷機、及びアルミニウム板で、ステンレスその他全鋼製品を増産も著しい、當社の所屬炭坑は一九三九年に炭坑夫一千九百五十名によつて五十五萬八千二百五十七噸の石炭を產出したが、一九四四年には炭坑夫は一千七百三十四名、產出炭高は三十八萬六千五百九十二噸に減少した

昭和二十年 四月十三日(金)
第三三九〇號

同盟通信

海外電報

(82)

英國人は戦争に倦み疲れてゐるに違ひない、労働黨がチャーチル首相に叛旗を翻へしかけたのも深刻な社會不安の現れである、「ニューズ・クロニクル」紙は最近の紙上に住宅難と歸還兵士の問題を掲げ、或る將校が四年半振りで歸還したところ妻君はすつかり獨身生活に慣れたので家庭生活はご免蒙るとばかり離婚を申出で、或る兵士が脚に負傷して歸つたところ立派な工場監督になり濟ました妻君は戦傷兵の世話は困ると劍もホロロの挨拶だつたといふ、「エコノミスト」誌が二月二十四日の誌上で「日本本土で最後まで戦ふことは考へられぬ位高價につくに違ひないし、日本國內の經濟を全的に破壊すれば日本國內並びに各隣邦を窮乏のどん底に陥れ却つて將來の戦争を用意する結果になるかも知れない」と早くも弱音を吐いてゐるのは、要するに英國人の本音だらう、しかし當



面の讐敵米國の輿論は日本抹殺論の一本槍だ、「ヘラルド・トリビュン」紙は四月十一日の紙上で「極東に一九一八年を繰返さぬ」と題する社説を掲げ「聯合國が日本本土の實體的占領(Physical Occupation)以下の如何なる條件にも同意するとは考へられない、しかし米國人は日本の封建的社會組織を覆へず決意が出来てゐるか、日本の工業を管理する決心があるか」と暴言を吐いてゐる

無條件降伏の内容はドイツ領土の分割であり日本本土の占領である、英國人が如何に戦争に倦み疲れてゐようと聯合國の政界と戦界とを決定するのがルーズヴェルト大統領である以上、焦土抗战の一途あるのみ、即ち戦局の現狀において帝國の針路は智者を俟たずして明らかだ、さう乍ら國を擧げて疎散に狂奔する實狀は果して抗战到底の姿であらうか、但出奔の策を建つるのみ」に終始した宋の宰相の轍を踏ますんば幸なり

目次

「ブラウダ」強者の權利を主張……………一〇二四
スペイン對日政策を決定……………

【米 洲】

陸海兩省統合案……………一〇二五
罷業の波鎮まらず……………
有煙炭坑を遂に接收……………
武器貸與一ヶ年間延長法案可決……………

【反樞軸陣營】

桑港會議カナダ代表……………
米の態度は多數決で決定……………
世界勞働會議開催……………

【英 帝 國】

本國援助を中止せよ……………一〇二六
流星彈攻撃終結か……………
英本國警防團解散……………
ロンドンに「世界林業委員會」結成……………
波農民黨領袖も行方不明……………
獨伊戦線總司令官……………

【ソ 聯】

赤軍參謀總長後任決定……………

【資 料】

ソ聯報告……………一〇二七

米國のアルミ製可搬橋

(リスボン六日發)デトロイト來電 米國土木局は六日次の通り發表した
重量僅か五四噸だが河幅四三六呎までなら容易に架橋できるといふ新式アルミ製可搬橋が考案され既に大量生産に入つてゐる、この橋はM—四號と呼ばれ、強行渡河の直後軍輸送を可能ならしめるため陸軍補給部隊所屬技師團が研究創案したものである

「ブラウダ」強者の権利を主張

(ハトックホルム十一日發) ソヴェト聯邦共產黨機關紙「ブラウダ」は十一日の社説において桑港會議を採り上げ、世界の平和を維持するは強者の權利であり義務であると稱して大國の小國支配を辯護すると同時に、平和と安全を望む國はソ聯の意を向へよと述べて桑港會議におけるソ聯の強大な發言權を主張した、同紙社説の内容次の通り

△全世界の民衆は桑港會議の開催を待望してゐる會議の召集はあらゆる意味で時宜に適したものである、會議は四月末に開催されるが、それまでの數週間は恐らく現下の情勢では畫期的時期といふべきであらう、米軍はドイツの二大河川を渡ると一方赤軍はオーデル河を越えてドイツ領内深く西進を續けてをり、反樞軸軍はラインを越へて西方から東に向つてドイツに壓迫を加へてゐる、嘗つてキツプリングは「東は東、西は西、東と西は永遠にともに廻り逢はぬ」と書いたが、西は西であり、東は東であらうとも、西と東はいまやわれ等の眼前で相ひ會はうとしてゐる

△新しい現象が生起する度毎に舊い歴史の例に立脚して判斷しようと試みる者が依然として存在する、かれ等は桑港會議を國際聯盟の衣更へとも、蓄音器に古臭いレコードをかけて小國の運命について感傷的な歌を奏でてゐる、吾人は會つてジュネーヴからのかうした音の流れを度々耳にした、ドイツのファシストはかかる小夜曲に合せて新らしい世界大戰の準備を進めてゐるのだ、しかし桑港會議は國際聯盟と共通なものは何もない、桑港會議は過去の繰返しではなく歴史の新たな一章を畫するものだ、スターリン議長は新國際組織について次の通り斷言した「この機構は惡名高き國際聯盟の復活であつてはならない、それは新たな侵略行爲を阻止し平和を確保するに必要な一切の權限を手中に握る權威ある世界組織でなければならぬ」

△桑港會議が米國で開催されることは意味極めて慎重だ、それは米國孤立主義の敗北を裏書するものだ、この孤立主義こそ國際聯盟を弱體化し

た主な原因であつた、米國はいまや國際平和機構の建設に参加するばかりでなく、桑港會議を招集するといふ積極的な動きを示してゐる、も一つの注目すべき事實はソ聯が會議主催國の地位にあることだ、ソ聯は未だ會つて一度も孤立主義に身を投じたことはなく、寧ろ他國がソ聯を孤立化させようと試みたのだ

△會つて強力なソ聯を参加させずに世界を組織しようとして試みられたことがあつた、否ソ聯に對して世界を敵對させようともする試みすらあつたこれはソ聯に對する戰爭の準備を意味するにほかならない、これまた國際聯盟の致命的缺陷でもあつた、國際聯盟は現實主義的な事態に基かず、野心と希望に基いて活動を展開したのである、しかるに桑港會議はなによりもまづ現實の事態に立脚してゐる、會議の主唱國は世界の最強國即ちソ聯と米英兩國だ

△第二次世界大戰の經驗は弱小國家は空辭と愚鈍な條約以外のなにものによつても守られず、常に侵略行爲の最初の犠牲となつたことをわれわれに教へた、これら弱小國家を保護し得るものはただ一つ民主主義の理想に基く武力であり、武力のみ弱小國の自由と獨立を保障出来るのである、いまやポーランド、チエコスロヴァキア、ユーゴスラヴィヤ、フィンランド、ルーマニアハンガリーの諸國民に對しその自由と安全を保障し得るものはソ聯との友好的聯繫であること指摘する必要がある、蓋しソ聯の武力こそこれら諸國民を侵略者の手中から救ひ出したからである、もしも世界の最強國が平和を維持する共通の足場を發見出来るならば、世界は平和の光に浴するであらう、反對にもしもかかる足場が發見されぬならば、如何なる組織も機關も平和を維持し得ないであらう

スペイン對日政策を決定す

(マドリッド十一日發) フアランへ黨の最高機關政治委員會は、日本政府にたいする施策を承認した旨十一日發表した、ただし細目は全然發表されない

【米 洲】

陸海兩省統合案

(リスボン八日發) ワシントン來電 陸軍省と海軍省を合同して陸海空三軍を統轄する一省を新設せんとする議論が最近盛になり、アラバマ州の上院議員リスター・D・ヒルは、全武裝兵力の長官を一人おき、陸海空三軍の次官を設ける新省創設の法案を起草したが、この法案には陸軍長官ヘンリー・スチムソンも賛成なることがスチムソンのヒル宛書翰により明らかにされた、八日ワシントンで發表された右書翰の内容には「陸軍省は全武裝兵力の單一官省創設に心から好意を寄せ、この目的を法的秩序に従ひ達成するとき手段の發動せられんことを望む」との一節も含まれてをり、統合案は相當現實性を有するとみられる

罷業の波鎮らず

(リスボン十日發) ニューヨーク來電 〓 オハイオ州アクロンにある「グッドイヤー」ゴム製品會社の従業員約七千名は十日突如罷業状態に入つた、右は去る三日勃發した混合工三百名の罷業に對する會社側並びに組合役員の態度を不満とした爲だが、過去一週間の罷業で軍用タイヤ三萬五千本その他多量の軍需ゴム資材の生産が阻害された、一方デトロイト市では十日バツカード自動車工場で六千名、ケルゼイ 〓 ヘイス車輪工場で四千名の職工が怠業した

有煙炭坑を遂に接收

(リスボン十日發) ワシントン來電 〓 米大統領ルーズヴェルトは十日内務長官イツキーズに目下罷業中の有煙炭坑約二百を接收、政府の手で運営することを命じた、右は米國の最重要軍需物資生産特にペンシルヴァニア、オハイオ、ウエストヴァージニア諸州の鐵鋼生産を確保するための措置である

武器貸與一ヶ年間延長法案可決

(リスボン十日發) ワシントン來電 〓 米上院は十日武器貸與法の運営を一九四六年六月三十日まで

延長する法案を可決、白聖館に廻付した

【反樞軸陣營】

桑港會議カナダ代表

(リスボン十日發) オツタワ來電 〓 カナダ首相マツケンジー・キングは九日、桑港會議に對するカナダ代表の顔觸を次の通り發表した

首席代表 首相 マツケンジー・キング

法相 ルイ・サンローラン

上院議員 J・H・キング (自由黨)

同 ルシアン・モロー (進歩保守黨)

下院議員 ゴードン・グレイドン (進歩保守黨)

下院議員 ミシユース・カツセルマン (自由黨)

同 M・J・コールドウエル (協同聯邦黨)

米の態度は多數決で決定

(リスボン十日發) ワシントン來電 〓 米國務長官ステチニアスは十日の記者團會見で桑港會議に關し次の通り言明した

一、桑港會議の米國代表は完全な協同行動をとり問題が起きた場合は多數決によつて代表全體の態度を決定する

一、スエーデン、スイスの中立國及びイタリーは會議に陪席代表を派遣する許可を求めてきたが陪席代表の出席は許されない

一、會議開催までにポーランド代表を參加させるため新ポーランド國民統合政權が樹立される筈である

一、國務省米洲局長アヴラ・ウオレン、戰時情報局代表アーサー・スウィーツァーを米國代表の顧問に任命した

世界勞働會議開催

(リスボン十日發) ワシントン來電 〓 世界勞働會議の執行委員會は十日ワシントンにおいてCIO會長マレー司會の下に會議を開催した、會議は歐米洲諸國、ソ聯、重慶諸國代表十三名よりなり、勞働組合運動ばかりでなく平和機構一般につき桑港會議に意見を具申することを目的とする

【英 帝 國】

本國援助を中止せよ

(リスボン十日發) オッタワ來電〓カナダ下院は九日、今後の戦後政策を採り上げて討議したが、ケベック州選出議員マクシム・レイモンは政廳の政策に對して次の通り述べた

太平洋戰には解放諸國の壯丁を動員、カナダ軍と交替させるべきだ、また對英援助を繼續してみたとこで、いろいろな點からみて戦後英國がカナダ製品を大量購入するといふことは考へられない、英にはただもらふのなら喜んでカナダ製品を受入れるが、買ふといふことになれば大して歡迎しないだらう

流星彈攻撃終結か

(リスボン九日發) ロンドン來電〓英治安省政務次官エレン・ウイルキンソン女史は九日記者團に對して、ドイツ軍の流星彈攻撃は終結せりと斷じ次の通り述べた

西部戰線の反樞軸軍進出の結果後退の止むなきに至つたドイツ軍が今後も流星彈による英本土攻撃を續けるには、流星彈の射程を相當延長しなければならぬ、だがそのために燃料を増加すれば彈頭の火藥は當然減じなければならぬので、報復兵器としての威力は殆どなくなつてしまふだらう

英本國警防團解散

(ストックホルム九日發) 「ニューズ・クロニクル」紙三月二十四日附報道〓一時は五百萬の男女を動員した民警防團は一應解散の運びとなり、二十四日から英國各地で強制警防勤務を廢止乃至中止した、警防團廢止令の適用を受けたのはロンドン地區、英國東部東南部海岸地區で、ロンドン警防團員三千を含めて五十萬の警防團員が任務を解かれた

ロンドンに「世界林業委員會」結成

(リスボン九日發) ロンドン來電〓英國の植林專門家は九日ロンドン駐劄十八ヶ國大公使と共に世

界の森林復興を目指し「世界林業委員會」を結成した、この運動を支持する十八ヶ國にはアルゼンチン、メキシコ、イラン、コロンビア、ルクセンブルグ、スイス、重慶、リベリア、キューバ、オランダ、ブラジル、チリ、チエコスロヴァキア、印度、ベルギー等が含まれてゐる

波農民黨領袖も行方不明

(ストックホルム十日發) ロンドン來電〓ミコライチクの主宰するロンドンのポーランド農民黨は同黨領袖で四度首相の印授を帶びたことのあるヴァイトスがポーランドのヴァイエルツチヨスラヴィツツエの自宅から行方不明になつた旨十日發表したヴァイトスはドイツ軍のポーランド占領中ドイツ軍に度々協力を迫られたが拒絶したため死をもつて脅かされ、數ヶ月前行方をくらまして某所に潜伏赤軍の到着に伴ひヴァイエルツチヨスラヴィツツエに歸つたもので、三月三十一日四名の人物が訪れてヴァイトスを何處へか拉致し去つたといはれ、農民黨は曩に行方不明となつた要人十五名と同じ運命に陥つたのではないかとみてゐる

獨、伊戰線總司令官

(チューリッヒ十日發) 前線報道によればイタリア戰線ドイツ軍總司令官ケツセルリング元帥の西部戰線轉出に伴ひ後任としてフリードリッヒ・フォン・ファイティングホフ上級大將が指揮に當つてゐるといはれる、同大將はカウシノ防衛線の構築をもつて知られてゐる防衛作戰の逸才である

【ソ 聯】

赤軍參謀總長後任決定

(ストックホルム九日發) モスクワ來電〓赤軍參謀總長アレクサンドル・ワシレフスキー元帥の第三白露戰線軍司令官への轉出による後任にはアレクセイ・アントーノフ軍大將が任命されてゐる事が「プラウダ」紙で明らかにされた、アントーノフ軍大將は戰線軍參謀長として歴戰、その巧緻な作戰立案をもつて最近頭角を表してゐた

資料

ソ聯報告

左に紹介するものは本年二月號の米誌「リーダー・ダイジェスト」に掲載されたウイリアム・アレン・ホワイトの記事の抜粋である、筆者は「エンポリ・ガゼット」誌の編輯者で、米國商業會議所會頭エリツク・ジョンストンに隨行して昨夏六週間ソ聯を訪問した際の觀察記である、一讀すれば判るやうに、ホワイトは辛辣にソ聯を野次つてゐるが、これがきつかけとなつて「ブラウダ」紙の論客ザスラフスキーの時ならぬ「紅白試合」を演じたことは既に海外電報版で報じてある

△どちらが奇蹟

米國人はドイツ軍がソ聯を攻撃したときに赤軍が抗戦出來たことを屢々奇蹟視して驚きの聲を擧げてゐるが、赤軍は優れた軍隊であり、ロシア人は立派な兵士だ、赤軍はよく訓練され、指揮官もよく、装備も優秀で、多數の重火器を有し、しかも練れた手で武器を操作してゐる、がここでちよつと統計學に道草を喰はう、兵士は若くなくてはならない、一國の武力は全人口の多寡によつて決定されずに、二十歳前後の青年の數で決定されるソ聯は龐大な人口を擁してゐるばかりでなく、スラヴ民族特有の多産性をもつてゐるので、毎年二百萬の青年が徴兵適齡期である十八歳に達する、これをドイツの五十萬に比べると四對一の優位だからドイツ軍の兵士がソ聯領内に足を踏み入れることが出來たこと自體奇蹟といふべきだ

ドイツ軍がモスクワやレニングラードの郊外まで侵入し、ベルリンから千五百哩も離れてゐるコーカサスまで進出出來たのは、ソ聯の技術的貧困と工業發展の出鱈目な状態ばかりのせいではなく、主として當時赤軍が經驗に富んだ指揮官の不足してゐたせいにもよる、たとへば獨ソ開戦當時のソ聯空軍はドイツ空軍とはてんで比較にならぬ状態にあり、戦闘開始後最初の數週間に大半を撃破されてしまつた、ソ聯の飛行士は世界第一位を占めてゐるが、ソ聯は優秀な飛行機を造る能力に缺け

てゐる、英國の「ランカスター」や米國の「空の要塞」「リベレーター」などの長距離爆撃機を大量に生産するためには最高度の工業技術が必要とするし、また大編隊をもつて作戦するためにも最高度の熟練を要するが、ソ聯空軍にはかうした技術が全然ない、ソ聯空軍の組織に當つた人々はアルミニウムのような重要資材や工業技術の不足に直面して、速力の遅い低空銃砲攻撃用の「シユトルモヴィク」の生産に努力を集中した、この強力な小型戦車攻撃機は通常非常な低空で作戦するので、ソ聯戦闘機は掩護の際高度飛行用の装備を必要としない譯だ、また米國がソ聯に供給した一萬臺の飛行機のうち、ソ聯が一番好んだのが「シユトルモヴィク」と同じ機能のベル「エアラコブラ」低空野戦直協機であつたのも別して不思議でない

△劣惡な空軍

ドイツ爆撃機の行動圏内にあるソ聯の目標は高射砲の掩護に頼ることができない、電波探知器で敵機の所在を知る設備がないので、赤軍高射砲陣地の砲手は爆音をたよりに射撃するだけだが、音響だけでは爆撃機の所在は判らず、單に數秒前にゐたところが判るだけだ、従つて威力を發揮するために高射砲は空襲中泉のやうに火を吐かねばならぬわけだが、これはたいした浪費だ、しかしながら一九四四年の半ば頃から兵員器材におけるドイツ軍の優位は、次の三要因によつて削減された、第一はウラル奥地のソ聯工業が漸く軌道にのつて、戦車、飛行機の増産に顯著な業績をみせはじめたこと、第二に米英空軍の爆撃によりドイツの軍需工場の生産が減退したこと、第三にソ聯はそれまでに米國から五十七億五千萬弗に値する武器貸與援助を受けたことで、そのなかには一萬臺の飛行機、四千臺のジープ、二億二千五百萬弗に値する工作機械、二十一萬臺の貨物自動車が含まれてゐる、これらの貨物自動車がなかつたならばソ聯は一九四三年にスターリングラードで大勝利を博することが出来なかつたであらう

しかるにソ聯は米國の援助の意義を過少評價してゐる、もつともソ聯國民が米國の援助にあたり感謝しないのは、スタンドレー提督(前モスクワ

駐劄ソ聯大使が度々強硬に抗議したにも拘らずソ聯政府から米國の援助の程度を知らされてゐないためであらう、いづれにしても一九四四年の夏には、ソ聯は非常な困難に遭遇してゐた、當時十六歳以上四十五歳までの男子は全部軍服を着て戦線にあり、僅かに技術家と樞要の地位を占める役員が後方に残つてゐるだけであつた、それにも拘らず米英軍がフランスに上陸すると、ソヴェト政府はテヘラン協定の公約を遵守して東方から攻撃を開始したのである

△金あれど物買へず

ソ聯國民は地位と階級に従つて異つた食糧の割當を受ける、赤軍兵士の食糧は非常によく、特に前線はよい、外國人は共產黨の最高指導部と同じ程度に待遇がよく、肉も麵麴もたんまり配給をうけ、月に四バイント（わが國の約一升二合強）のウオツカを買ふことが出来る、作家、俳優、歌手音楽家その他の藝術家も特に贅澤を許される部門に入れられ、食物ばかりでなく衣類も住宅も相當のものを支給されてゐる

モスクワの第一級軍需労働者は、一日六百瓦の麵麴を割當られ、第二級労働者は五百瓦、事務員（役員を除く）は四百瓦、老人、子供、不具者等のいはゆるかかりびと（寄食者）は、三百瓦といふ順序だ、軍需労働者で生産割當を超過する仕事をした者は、月約一千留の収入を得る、これはいまの爲替相場で換算すると八十弗だ、しかも割當食糧の量は知れたものだから、月に割當食糧に費ふ金額は精々六弗五十仙程度に過ぎない、モスクワの中央市場は米國の大きな町にある農夫の市場に似た大きな建物だ、そこで一疋當りの留値段を米弗に換算して、ソ聯の軍需労働者が一週二十弗の収入を得るとして、どの位物を買ふことが出来るか調べてみよう

彼は一ダース十三弗十仙の割で要るだけの卵を全部買ふことが出来る、麵麴一本を買ふことは難しいが、一封度五弗六十七仙の割で要るだけは買へる、また一封度十一弗三十四仙の割で羊肉があるひは恐らく山羊の肉を買へるが、これは週給の半ば以上に當る譯だ、ビート糖は一封度八十仙だから相當買へるし、蜂蜜は一封度十五弗だ、懷の

頭と四個のナツクル（懷の附骨關節部、スーブに用ふ）を十八弗で賣る積りの、髪をふり亂しどろんと濁つた眼をした婆さんは、ただ數匹の蠅の注意を牽くことが出来るだけだ、馬鈴薯は一封度につき一弗五仙、牛乳は一クオート（わが國の六、合三勺）につき二弗六十五仙だが、行列買の盛況だ、もつとも行列したところでコップに一杯の牛乳を手に入れられるかどうかは大いに怪しい

△政府直營の闇市場

もつとも彼等はいかに食糧の値段が莫迦々々しいほど高いことに氣付くわけはない、月に八十弗を貰ふソ聯の軍需労働者は割當初符でもつて政府の經營する賣店で入用の食糧の十分の九を買ひ最低値段で月六弗五十仙拂へば濟むからだ、中央市場の前の廣場では、一人の娘が數足の靴下を賣つてゐた、どれも使つたものばかりで、丁寧に繕つてある、値段は木綿の靴下が六弗二十五仙で、人絹は二十五弗だ、また一人の男は割にがつしりした古靴を千弗で賣つてゐた、軍需労働者の約一ケ年分の俸給に當るわけだ、新しい短靴はいくら位かといふと、一足三百三十三弗三十三仙見當だ、ソヴェト政府は賃金の退藏を防ぐため一九四四年四月に「商業賣店」と稱するものを開設した、この商業賣店では食糧でも衣類でも贅澤品は大抵賣つてゐる、但し値段は自由市場と殆ど同じで、割當切符は要らない、米國式にいへばソヴェト政府は労働者の賃金の大部分を吸収するため國家獨占で闇市場を經營してゐるわけだ、だから平和が訪れると政府は、労働者の貯金の大部分を手の中に握つてしまふことになり、労働者は再び政府の統制賃金に依存してその日暮しをしなければならなくなる

参考のためにソ聯軍需労働者の週給に相當する二十弗の金を握つて、この國營商業賣店に入り品物と値段に眼を走らせてみよう、ここでは最下等の陽詰が一封度十三弗二十仙で、ベーコンは二十四弗五十七仙だ、鶏肉は一封度十三弗二十仙、米國では細切れにする程度の牛肉が十三弗六十二仙生卵が一個一弗二十五仙、生クリームが一バインにつき八十弗、スイス・チーズが一封度二十弗だ、商業賣店の前にはみずばらしい身装りの労働

者が買物をするため行列を作つてゐる、それがまた一町も續く長さだ、賣店のなかでも勘定場の前に長い行列だ、だから二三品買ひ込んで歸るのは一日仕事である、といふのはモスクワ全市で商業賣店は二十軒しかないからだ、外國人にとつて奇妙に思へるのは、政府が非合法な闇市場を初めるときに民衆が抗議しないことである

△ソ聯式「社會の設計」

われわれはカザクスタンの廣大な地域を横切つて南へ飛んだ、眼下には荒れさびた共營農場が點々と散らばつてゐる、ここには一九三九年と一九四〇年に、ソ聯がバルト三國やポーランド東部を併合したとき、その地の數十萬の中産階級を強制的に移住させたのだ、何故にソヴェト政府が以上の地域を併合したときかうした措置をとつたかを理解するためには、共產黨が考案して實現に移した「社會の設計」といふ言葉の意味を理解する必要がある

共產黨は新たに占領した地域の多くの個人がソヴェト體制に順應出来ぬと考へた、特に順應出来ぬのは舊體制下に成功した個人だ、そこで舊體制で要職にあつた者、官公吏、地方警察官、それから大地主、成功した工業家、商人、農民等をブラツクリストに載せた、このリストで特に注目を要するのは勞働組合の幹部も含められてゐたことだ、この連中は直ちに逮捕されて、強制的に移住させられた、ほかの「小蠅」共はその後の數ヶ月間に割に間をおいて狩り集められた、この場合銃殺された者は極く稀らしい、「社會の設計」は憎惡といふ感情の餘地を許さぬ科學であり、銃殺などは彈丸の浪費である、従つて強制移住させられる階級の人達は、大抵十ヶ年の強制勞働に服役させられる

他方選舉の手續が進められる、いはゆる「人民の敵」がかうして處分されると、赤軍と一緒に乗込んだソ聯宣傳機關が大活躍を初める、候補者は共產黨の承認を得た者ばかりだ、そこで投票數を掻き集めるため大車輪といふことになる、立看板や示威行進、さては演説などで棄權するものは、新國家の敵と見なされると盛に宣傳される、米國人からみて最も奇妙なことは、占領赤軍の兵士も

投票を許されることだ、選舉人達が投票場に行くとき投票用紙を渡されるが、この用紙には既に候補者の氏名が記載してあり、その儘投票箱に投ずるかあるひは帳の蔭にはいつて書き換へるかどうかを選べと命令される、勿論選舉人は帳の蔭に入つたならえらいことになることをいはれなくとも知つてゐるから、書き換へる者は殆どない

△「繕詰」輸送事件

こんな風にして選舉された代表ばかりからなる國會は數日後に開會するわけだが、赤軍占領下のポーランドではかうした國會は舊政府の權限をとり上げ、ソヴェト聯邦への編入を要求し、大土地を沒收し「われらの偉大な指導者スターリン」を讚賞するお定りの決議を採擇したのだ、また十八萬のポーランド軍捕虜のほか、約百五十萬の住民が「社會の設計」計畫の一部として一九四〇年の初めにポーランドから移住させられた、これらの人々はいはゆる「輸送車」で運ばれたが、ソ聯の輸送車といふのは普通の箱車で、鐵格子の小さな高窓が二つと暖爐が一つ、ほかに床に穴をくり抜いた便所があるだけで、各車には三十名から四十名の強制移住者が詰め込まれて、錠が卸される

大抵の「強制移住狩」は眞夜中頃に、NKVD

【譯註】内務人民委員部】と稱する秘密警察によつて行はれる、夜は住民が一番御し易くなつてゐるからだ「社會の設計」では家族を分散させることを信條としてゐるが、それは不必要な慘酷な行爲とは見做されず、むしろ男子の方が妻や娘よりも強く荒仕事に適するからといふわけだ、だから男子は北部シベリアの材木伐りや鑛山に送り、妻子を南部ガザクスタンの煉瓦工場や共營農場に送る慣例になつてゐる、強制移住に際して多少の混亂が起るのは避け難い、輸送車の扉は、毎日開放されることになつてゐるが、時にはうっかりして數日間退避線にほつたらがされることがある、漸く氣がついて扉を開いた時には、往々にして飢へや寒氣のため衰弱死した多數の死體を運び出さねばならぬことがある、しかしこれは別に故意にやつたことではなく、かうした住民の大衆移動には避け難い手違ひである、だからソヴェト政府を辯護するため、ポーランド人だけに限つたことではなくソ聯國民を移住させる場合にも同様のことがしばしば起つてゐることを一言いひ添へて置かねばなるまい

△ソ聯の民族政策

我々一行はウズベク共和国に訪れた、首府は古い回教都市のタシケントだ、ウズベク人は民族混淆の好例だ、ある者は蒙古人だし、他の者はアフガニスタン人に似てゐるし、またイラン人やアラビア人の血をひいてゐる者もある、我々はウズベクスタンの副首相でロデオン・グルホフといふ若い好男子のロシア人と雑談を交したが、ウズベクスタンには開戦當時ソ聯の各地から二百萬の避難民が雪崩れ込んだといふことだ、この避難民の大部分は郷里へ歸つたが工場と一緒に引揚げて來た連中は勿論尻を落着けることになる、工場は何處から引揚げて來たかといふと、モスクワやウクライナ、北コーカサス等で、特にレニングラードから多數の熟練工や技師を連れて來てゐる

グルホフは笑ひながら勿論レニングラードは技師達をとり戻したがつてゐるが、ウズベクスタンは返したくないと語つた、結局はモスクワが勝負を決することになるのだが、一體技師達自身はどう思つてゐるのだらう？ ウズベクスタンに住み込むことを希望してゐるのだらうか？ かうした疑問が當然われわれの腦裡に浮んできたが、さういふことは些して重大ぢやないさうだ、労働者達はモスクワが一番有用だと決めたところに住み着くことを望んでゐるらしい

われわれはウズベクスタンで起つた一事件に取材したオペラを見物したが、その際ソ聯に關はることで最も賞めてしかるべきは、いはゆる植民政策と小數民族、時には遅れた民族に對する態度である、これはロシアが歴史的にあまり民族的偏見を持つてゐないといふ事實にもよるが、ロシア人は弱小民族を差別待遇せずその未開性を利用して階級稱號を與へて嬉しがらせてゐる、初めわれわれは原住民の役員は、いつてみれば假裝服を着せられた囚で、碌に權力を持つてゐないのだと一足飛びに結論したが、よく聞いてみるとこの共和国の首相はウズベク人で非常な敏腕家だといふことが判つた、つまり囚どころか鋼鐵の意思を持つた古くからの黨員で、黨の首脳部でも高く買はれてゐる人物であつた

△米國とソ聯

米國の新聞記者達が英國その他の自由な國家で

享有してゐると同程度の自由を許されてソ聯を旅行し、妨害されずに民衆と話し、檢閲に邪魔されずに本國へ報道出来るやうにならぬ限り、ソ聯と密接な關係に入ることは相當の危険を伴ふ、同じことはソ聯の國土に限らず赤軍占領下の歐洲の地域やソ聯領に編入された地域にもいへる、海外特派員は米國民主主義の耳であり眼である、もしも米國がソ聯の復興を援助するならば、米國民は米國が援助することについて新聞記者の完全な報道を入手してもよい筈だ

しかしながらわれわれはソ聯が敵意を示さぬ歐洲の諸國と仲良くする資格があることを銘記すべきだ、またわれわれは米國がソ聯の産業復興を應援することはソ聯にとつて極めて望ましいが、必ずしもどうしても必要だといふわけでもないことを銘記すべきだ、ソ聯は新世界における自國の安全を犠牲にしてまで米國の援助を求めはしまい、といつてもソ聯は穩當な歩み寄りならいつでも受け入れる氣構へである、だが歐洲の安全を保障する間米國が歐洲に軍隊を駐屯させておく限り、われわれは好き勝手なものが手に入るとはきまつてゐないことを知るだらう、第一自分の玩具を拾つたら、さつさと家へ歸らうなどといふのは子供っぽい考へだ

もしもわれわれがソ聯と取引するのが賢明だと考へるならば、法外な値段を拂はねばなるまい、もつともどんな取引も歐洲およびアジアにおけるソ聯の目的に全く左右される、われわれはソ聯の意圖するところが平和愛好であることを今日よりももつとはつきりさせるやうにしなければならぬ、筆者は米國のかうした態度が結局は友好的なものであると信ずる、しかしながら歐洲大陸が安定する前に米國が軍隊を引揚げるならば、混亂と流血の騷擾が続くならば、ソ聯はこの政治上の眞空にはいり込むであらう、とにかくソ聯は馬鹿ではないのだ、ソ聯はいまのところ領土よりも數十年間の平和を渴望してゐるが、依然として資本主義世界に對する疑惑に憑かれてゐるから、斷乎たる方針と友好的な態度を巧みに織り交せてソ聯を扱はねばならない、ルーズヴェルト政權の今日なすべきことは將にこのことだ

昭和二十年 四月十四日(土)
第三三九一號

同盟通信

海外電報

(83)

労働黨の「離叛」で政局の前途多難と見たのであらう、チャーチル首相は一日プレス・アソシエーション(P・A)を通じて、ドイツ國內の情勢に關するデマを全國にバラ撒いた、九歳十歳の少年少女をヒトラー青年團に召集したといふDNBの報道を歪曲して「ドイツ國內の人的資源が涸渇してつた」と強辯し、ドイツ人俘虜の證言と稱して武器も彈藥も乏しくなつたと出鱈目を並べてゐる、更にドイツ内部から當局筋に入つた情報と銘打つてヒムラー内相が軍政の兩分野に亘つて全權を掌握しヒトラー總統は半病人の狀態だとお極り文句を並べ、さらに聯合軍が僅か二百名でハノヴァーのやうな大都會を占領したことからもみてもドイツ軍の戰意喪失は明らかだと述べてゐる



しかしかかる宣傳工作に對しては英國内で少く疑念を挟む向きが少くない、「ニューズ・レヴュー」誌に曰く「判つきりした認識を持つてゐる英國人は聯合國の新聞やラヂオ宣傳に瞞まされない、ドイツ國民の瓦礫が間近といふデマに反しドイツ兵の戰意がすべての戰線に亘り熾烈なことも承知してゐる、逆に英國は歐洲に對するソヴェト聯邦の進出により重大な危機に陥つてゐることを炯眼な英國人は見抜いてゐる、チャーチル首相は英國の政治家が未だ曾つて直面したことのない困難な問題を解決せねばならない、國際政局における英國の政治的勢力が今回の戰爭の過程において徹底的に衰退してしまつた現状において、英國が最早世界の強國でなくなるのを阻止するのがチャーチル首相の任務である」

世界戰爭が一日長びけば一日だけ外交上、内政上自國の地歩が不利に陥るといふのが常識的な英國人の等しく直感してゐる所だ

【目次】

ルーズヴェルト死去	一〇三二
重大ニュースを發表	〃
白聖館に半旗垂る	〃
白聖館公報全文	〃
ルーズヴェルト頓死の經過	〃
ツルーマン大統領に昇任	〃
【英帝國】	
政治休戦を繼續	一〇三三
「中等國」の權利を主張	〃
制限撤廢を申入れ	〃
米と粉乳拂底	〃
【米洲】	
陸海統合案へ海軍は反對	〃
ミシシッピ河大氾濫	〃
【反樞軸陣營】	
國際法廷常設地はハーグか	一〇三四
【歐洲】	
波要人續々雲隠れ	〃
ド・ゴール暗殺計畫	〃
チエコ新首相初聲明	〃
チエコ新内閣の背景	〃
【特輯】	
佛國三月肅清	一〇三五
【資料】	
太平洋におけるニミッツの地位	一〇三七
戰爭と米國婦人	〃
虹應用照準器出現	一〇三八

ルーズヴェルト死去

(リスボン十二日至急報) ワシントン來電「ルーズヴェルトは十二日午後死去した」

重大ニュースを發表

(リスボン十二日發) ワシントン來電「大統領官邸は十二日午後五時四十五分、AP、UP、インターナショナル三社に電話をかけた、電話に出た大統領秘書ステープン・アーリーはしばらく沈黙したやうな様子の後に無理に感情をおさへつけた様な聲で

重大ニュースだ、大統領が午後急に死んだと述べた

同報電話に出てゐた三社の連中は忽ちガサガサしはじめたが、或社が「ルーズヴェルト大統領のことですね」と愚問を發したところ、秘書は「勿論大統領は一人しかない」と答へ、次いで發表の要點を傳へた

右報道は三通信社を通して忽ち米國全土にバラまかれたが、米國民が少からぬ衝撃をうけたことは蔽ひ難く、ワシントンからのAP電報はルーズヴェルト大統領の死はワシントンを根柢からゆるがした、次に大統領となる副大統領ハリ・ツルーマンから市井のささやかな人間に至るまでこのニュースで壓倒されてしまつたとのべてゐる

白蠟館に半旗垂る

(リスボン十二日發) ワシントン來電「米國政府は十二日夜緊急閣議を召集、各閣員が踵を接して參集した」

最初に勞働長官パーキンス、内務長官イツキーズが速しくホワイト・ハウスに到着したとき、ホワイト・ハウス屋上の中央に半旗が緩かに掲げられた

白蠟館公報全文

(リスボン十二日發) ワシントン來電「ホワイトハウスは十二日夜次の通り發表した
ルーズヴェルト大統領は十二日ウオーム・スプ

リングスにおいて死去した、死因は腦溢血である、大統領は過去十日間ウオーム・スプリングスで静養してゐた、また副大統領ハリ・ツルーマンに對して通告あり、同人はホワイト・ハウスに招致され、ルーズヴェルト夫人から通知を受けた、國務長官にも通告し、閣議が招集された、葬儀は十四日午後ホワイト・ハウスの東の間で執行、十五日午後ハイド・パークに埋葬する

ルーズヴェルト頓死の經過

(リスボン十二日發) ワシントン來電「大統領ルーズヴェルトの侍醫ブリュン博士は發病以來の經過について次のやうに語つた

今日午前九時三十分(中部戰時時間)には大統領は非常な元氣で少しも調子が悪い様子はみせなかつた、午後一時一寸前には椅子に坐つて繪かきにスケッチをとらしてゐた、ところが午後一時十五分に意識を失つた、余は一時半まで大統領の側にゐたが、大統領は遂に意識を回復せず苦痛も耐へずに午後三時三十五分遂に死んだ、余は大統領が意識を喪失すると共に直ちにワシントンにゐるマツキンタイヤー提督に通報し、同提督はアトランタ市にゐる専門醫のデューム・ス・P・パウリン博士を呼出した、同博士は早速ウオーム・スプリングスにかけつけたが、大統領が死んだ時には病室には自分とデョージ・ホツクス海軍少佐並びにパウリン博士が立會つた醫師は大統領の死因を「多量の腦出血」と診斷してゐる

ツルーマン大統領に昇任

(リスボン十二日發) ワシントン來電「副大統領ハリ・ツルーマンは十二日十七時二十五分頃ホワイト・ハウスからの通告により直ちに自動車でホワイト・ハウスに赴いたが、十八時緊急閣議を召集、先づ勞働長官パーキンス女史、イツキーズ内相等が相次いで到着、緊急對策を協議した、三十二代大統領には合衆國憲法第六十條に基き、ハリ・ツルーマンが昇格直に宣誓式を舉行、現内閣に留任を要請した

【英帝國】

政治休戦を繼續

(ストックホルム十一日發) 週末における勞働相ベヴィンの演説を契機として英國の政界は早くも總選舉を思はせるに至つたが、爾後チャーチル首相を中心に保守、勞働兩黨の領袖が協議した結果、暫く政治休戦を繼續するに決定した様子で、ロイター政治記者は十一日次の通り報道してゐる。週末以來兩黨領袖間の泥試合の後始末として各派出身の閣僚は歐洲戰爭が最終的に片づくまで聯立内閣の崩壊を早めるやうな言動を避け相互に協力することとなつた、少くとも閣僚は今後數週間特に言動を慎しむこととならう、週末における政治的危機の結果皮肉にも總選舉の日取りは早まるどころか却て延びる結果となつた

「中等國」の權利を主張

(ストックホルム十一日發) ロンドン來電「英聯邦會議は國際安全保障機構における大國の獨裁に憤慨したカナダ代表がいはゆる「中等國」にも大國と同様の發言權を認めよと要求して一石を投じたため豫期せぬ波瀾を捲き起したが、カナダと同様「中等國」を自負する濠洲、ニュージールランドは勿論印度代表もカナダの「中等國の權利」要求を強力に支持、特に印度代表は十一日ロイター記者に向つて次の見解を洩した

今次戰爭における印度の軍事、産業上の寄與は決して大國に劣らない、印度は重慶に一步もひけをとらぬばかりか、今次戰爭努力と將來の國力の點から考慮するも寧ろ大國の地歩を凌駕するところさへ考へられる、印度も大國に匹敵する發言權を持つことは當然許されてよい筈だ

英聯邦會議の決定は當然桑港會議で持ち出されるわけだが、自治領諸國の一致した反撥は英聯邦會議の完全な失敗を意味しよう

制限撤廢を申入れ

(リスボン十一日發) ロンドン來電「英國外相イーデンは十一日下院において次のごとく言明した英國政府はソヴェト政府に對し、ブルガリアに

おける反樞軸監理委員中英國側委員團に課した自由行動の制限を撤廢されたい旨申入れた。右の拘束はさきにブルガリアが赤軍の後方基地となつてゐた際、赤軍當局によつて加へられたものである

米と粉乳拂底

(ストックホルム九日發) 「マンチエスター・ガーディアン」紙は三月二十四日の紙上で次の通り傳へてゐる

食糧省は二十四日米と家庭用粉乳の配給割當制限を發表した、これにつき當局は左の通り辯明してゐる

「現在の事態で米をこれ以上市販に供することはこ暫く出来かねる、また今期は家庭用粉乳の割當は行はれない、米についていへばビルマの米國の解放よりも米穀消費地域の解放の方が進捗してゐる有様だ、粉乳は武器貸與法に基いて米國に仰いでゐるが、今の所未着である」

【米洲】

陸海統合案へ海軍は反對

(リスボン十日發) 最近米國內に再び擡頭してきた陸海兩省の統合案はもともと陸軍長官スチムソンの發案といはれ、統合の最大の眼目は現在陸海兩軍に分屬してゐる航空兵力を一つの命令系統に纏めるにあるが、ワシントン來電によれば、右統合案に對して海軍省が猛烈に反對を唱へてゐるといはれ、同案が具體化される見込みはまだ全然立つてゐない

ミシシッピ河大氾濫

(リスボン九日發) 米國中部ミシシッピ河流域一帯は三月初旬から一九二七年以來の大洪水に見舞はれ、アイオワ州からメキシコ灣に至る諸州は被害甚大で軍需工場多數が操業を停止し、工兵隊は防水工事に大奮であるが、ニューオーリンズ來電によれば河口に當るルイジアナ州では百二十五萬エーカーの農地が流失、三萬家族が住宅を失ひ、赤十字社では既に罹災民二萬五千を收容したといはれる

【反樞軸陣營】

國際法廷常設地はハーグか

(リスボン十一日發) ワシントン來電「ワシントンで開催中の反樞軸司法家委員會は十日新國際法廷の常設地としてハーグを選定することに意見の一致を見た、ハーグは一八九九年の第一回ハーグ平和會議以來、國際法裁判所の所在地として國際間の紛争を平和的に解決する努力は常に同市を舞臺に行はれてゐた、桑港會議参加四十數國を代表する司法家委員會は新しい國際裁判所法規を起草するより舊法規の改訂を意圖してその検討に着手十日の會議では舊國際裁判所法規六十八條の中最初の二十二條につき論議し、判事選任に關する諸條項の検討を小委員會に附託した、比較的重要ならざる條項については既に決定を見てゐるが小委員會の決定はすべて桑港會議に報告される筈である、司法家委員會参加國は合衆國を含む最初の三十八ヶ國に九日登録の四ヶ國(フィリピン聯邦、ノルウェー、ユーゴスラヴィア、ルクセンブルグ)を加へて現在四十二ヶ國である

【歐 洲】

波要入續々雲隠れ

(ストツクホルム十一日發) ロンドン來電「ロンドンの亡命ポーランド政權は去る六日要人十五名の拉致事件につきソヴェト政府に抗議したが、十一日更に元ポーランド首相、農民黨の最高幹部ヴィンツェンチ・ヴィトスが去る三月三十一日夜クラカウ州ヴィエルツチヨスラヴィツツエの自宅から拉致された儘消息を絶つた旨發表した、亡命政權はヴィトスも赤軍の主催する政治會議に無理強ひに連れ去られたものと稱してゐるが、英政府も度重なる拉致事件は新ポーランド統合政權樹立に重大支障を來すものとみてモスクワに真相調査方を依頼した模様だ、しかしロイター外交記者の報道によればモスクワ駐劄英國大使カーは亡命政權の主張する政治會議なるものが實際に開催されたものならば、米英兩國代表に何等かの通告がある筈だが、一向に通告がなかつたため真相は全然わからないと回答してきたといはれる

ド・ゴール暗殺計畫

(マドリッド十日發) パリ來電によればパリにおいてド・ゴール暗殺計畫が暴露し犯人二名が十日逮捕されたといはれる、内容は明白でないが十日夜パリ近郊サンシール付近を疾走中の公用自動車に臨検し機關銃その他の兇器と二名の空軍將校を捕縛したが、これが暗殺計畫と關係があるかどうか明らかなない

チエコ新首相聲明

(ストツクホルム十一日發) モスクワ來電「亡命チエコスロヴァキア新首相フエルリンゲル博士は十日最初の聲明を發表した、聲明要旨次の通り
チエコスロヴァキアがソ聯と國境を接してゐる以上、我々は軍事的のみならず、通商或ひは文化の面においてもソ聯との協力が必要であらう
ポーランド政權との間に友好關係を確立することも新政權のなすべき最も重要な任務に屬する
新政權は今後モスクワから出来るだけの支援を得るやう努力するつもりである

チエコ新内閣の背景

(モスクワ七日發延着) コシツツエからのタス電報によればチエコスロヴァキアのシュラメク政權は四日辭表を提出、大統領ベネシュは新内閣を任命したといはれるが、首相ズデネク・フィリシゲルは戦争中大使としてモスクワに駐在、ソヴェト政府の最も受けのよい人物である、副首相五名の内シュラメクは前首相だがクレメント・コートワルトは一八九六年生れ、一九二一年以來チエコ共産黨員コミンテルンの書記を務めてゐた一七名の閣僚中國防相スヴォボダはソ聯で組織されたチエコスロヴァキア軍團の司令官として赤軍と共に今日まで戦つて來た將軍で、レーニン勳章を貰つてゐる、文相のネジエドリは汎スラヴ委員會の副議長でモスクワから發行されてゐる月刊雜誌「スラヴ人」の編輯員であつた、また藏相シユロバールは最近モスクワを訪問、スロヴァキア國民代表として政治活動に没頭してゐた



佛國三月肅清

井上 勇

△エステヴァアの場合

フランス三月、肅清騒動の壓巻は元チュニジー線督ジャン・ピエール・エステヴァア提督の裁判だった、この事件には下級官公吏が上級官公吏に無條件に服従してよいか悪いが、下級軍人は、若し命令が間違つてゐると判断したら上級軍人に反抗すべきかどうかの原則が含まれてゐた、エステヴァア提督はベタン元帥の命を受けてチュニジー總督だつたために、法廷に引出されてゐるのである、エステヴァアを告發したド・ゴール政府は、提督が無罪といふことになれば、いままでもヴァイシー政府の官吏だつたといふ理由だけで幾多の人間を肅清した根拠が根こそぎ崩壊して、重大な政治的責任を負はねばならなかつた、——といふのは平和時のことで、司法部も行政部もぐらになつての裁判にひとたび告發された「大物」が無罪になるやうな心配は政府はしてゐなかつたのが實際だが、裁判は三月十二日にパリの特別法廷で開廷、裁判長は前大戦中戦塵の中から狂ひ咲きした妖花一輪マタ・ハリの裁判で人々の記憶に残つてゐるジャン・コルノーだつた、物見高いパリジャンがこの裁判を見落すわけもなく、裁判所の内外は大變な騒ぎだつたらしいがそれは先づよからう

検事の論告要旨ははかうだつた

「エステヴァアの裁判は彼個人のみの裁判ではないベタン元帥、ラヴァル元首相にたいする裁判の一部だ、彼等は共にフランスの名譽を致命的に毀損した限本人である、エステヴァアはベタン、ラヴァルの命令に従つたのみといふかも知れないが、この場合ベタン、ラヴァルの命令に従ふことは、軍隊からの脱走である、戦場に在つて軍から脱走したものは最高の叛逆罪を構成する、エステヴァアの罪は死刑に相當する」

エステヴァアはこれにたいして

「余がベタン元帥の命に服したことは事實であるあの場合ベタン元帥に従ふのが最善の路と信じた

が故である、若し、ド・ゴール將軍が正當な政府の首班だつたならば、餘は同様に勿論ド・ゴール將軍の命に従つたであらう、余の行動はフランスにいままだ残されてゐるものを救ふために最善をなさうといふ動機に基いたものである、北阿に反樞軸軍が上陸するに先立ち、余の許には米國側からの接觸があり、事情は前もつて承知してゐた、後チュニジーの米國領事は余に對して、ルーズヴェルト大統領からの書翰を手交した、しかし、余は正當なるフランス政府以外のものからの命令は受領しかねる旨を米國領事に回答した、余のこの行動については、假令それが死刑によりて罪されようとも、余は全責任をとる覺悟である、余の求めるところは完き正義のみである」——これがエステヴァアの辯疏だつた

エステヴァアの會つての同僚であり、ド・ゴールがロンドン亡命時代自由フランス委員會の海軍部長を勤めたミユズリエ提督は、舊友のために自ら辯護を買つて出て、エステヴァアの米英びいきを證言し、またエステヴァアの元參謀長だつたジャック・ヴィモンは、提督が如何に愛國者であるかを縷々説いたが、マタ・ハリの明眸をもつてしても陥落させることは不可能だつたコルノー裁判長は遂に十五日エステヴァアに對して「祖國への叛逆者、國家の面汚し」のレッテルを貼つて、軍籍から追放終身懲役を云渡した

△死刑六百七十九人目

エステヴァアと日を同じくしては、元中東空軍司令官ジャン・アンリ・ジョーノーが通敵罪で終身懲役になり、十六日には對獨協力罪で捕へられてゐた小説家ピエール・ドリユー・ラ・ロシエルが獄中で自殺した、ドイツ占領下のパリで、ドリユー・ラ・ロシエルは「新フランス評論」を主宰してゐたがそれがたたつたわけだ、前大戦から「歸つて來た人々」を書いてモンテルランと並んで新文學の先驅をした彼も、新しい「歸つて來る人々」に席を譲つてひと足に失禮したわけだ、「獨佛文化協會」の肝入役で、オット・アベツツ大使とよかつた辯護士ジャック・シュワイツァは同じ日に死刑を宣告された、レオ・トルストイの孫を名

乗るレオニード・マカロフといふ男が、矢張り同
じ罪でアラスの法廷で二年の刑をいひ渡されたの
も同じところである、ドイツ軍の通譯をしたのが怪
しからぬといふわけだつた、僧侶のくせに人の罪
を曝いて八百名以上のフランス人を、ドイツ軍の
手によつて殺させたといふ坊主が死刑になつたの
も三月中旬である、名はロベール・アレツシュ、
フレイヌの監獄の教誨師をつとめてゐる中、監
者の告白をきいてはドイツ軍に密告してゐたとい
ふのである、かうした小ものの公判は連日續いて
ゐるが、三月初め十日間の死刑宣告は六十六名、
終身懲役は二名で、その他の雜魚はものの數でな
いとパリ・ラジオはいつてゐる、公式の死刑宣告
はジャック・シユワイツアが六百七十九人目で、
これまた非法に殺されたり、行方不明になつた
ものは俺の知つたことではないと司法省が十六日
發表した

エステヴァを皮切りとして、續々「貴族裁判」
が續けられる豫定だが、ペタン元帥の公判は四月
二十四日に始まるとフランス新聞通信社A.F.P
が報じてゐる

△ドクールの場合

佛印總督ジャン・ドクーも對敵協力者としてパ
リで缺席裁判されることになつてゐるが、三月十
三日の「コンバ」紙はドクー提督を猛烈にこきお
ろして

ドクーは今になつて、フランスの友邦、特に米
國の氣嫌をとらうと躍氣になつてゐる、自分も
抗戰運動の一員だといふつもりだらう、が、フ
ランス人はこの問題についてははつきりした肚
を定めてかからねばならない、ドクーが將來ど
んな役割をつとめやうと、つとめまいと、彼が
フランスを汚辱に導いた人間であることには變
りはない、ドクーは佛印でなほ、自由を口にし
得たあらゆる人々を處斷して悔いなかつた、ド
クーが佛印でフランスを代表せざることは、ダ
ランが北阿でフランスを代表しなかつたのと
同様である、かかる徒輩の在るべき場所は、今
日エステヴァが在るところと同じ場所たるべき
だ

ドクー總督はいまわが軍によりて保護されてゐる

管なので、本國の新聞の毒舌も耳には入るまいが
「コンバ」の主張を聞いたらどんな顔をするか一
寸みたい氣もする

これも肅清餘談だが一九四〇年の秋、ペタン政
府支持投票に加つた代議士連は罪の重きは公判に
廻され、輕きは被選舉權を剝奪し、罪なしと判定
されたものはそのまま捨ておくため目下二十五名
の「信用のおける」代議士の委員會で調査中だと
内務省は發表した

△對獨協力種々相

スイスの「デイー・タート」のバリ電は對獨協
力罪も判定は仲々六ヶ敷い、そのうちでも双股膏
藥の連中ときては始末が悪く、烏の雄雌の判斷は
だれにもつかぬと次のやうな例を擧げてゐる

一、パリ駐屯獨軍指揮官スツツエルブナゲル將軍
が雇つてゐた雜役婦は極めて仕事に忠實で、ド
イツ側から特別賞與を貰つた位だといふので捕
へられた、ところが彼女はその地位を利用して
ドイツ側の情報に抗戰地下運動者に供給してゐ
た、これは對獨協力かどうか

二、ヴァイシー政府内相ビュシウはドイツ軍が數千
人のフランス人を處斷するのを默認した、その
方がフランスのためだと信じたから、と彼は主
張してゐる、これは罪かどうか

三、ド・ゴール政府派の元パリ新聞協會々長イー
ヴ・ペイエは、元ヴァイシー政府の内務省に勤務
中、あまたの「愛國者」を捕縛拷問にかけたこ
とが判明して捕へられたが、三月二十一日無罪
放免になつた、それで果してよいのか

四、歌唄ひのモリス・シユヴァリエはドイツ側
から高給を受けてラジオ放送をし、ドイツの宣
傳に協力したが罪に問はれてゐない、當り前で
あらうか、共產黨と左翼作家のアラゴンが後立
てだといはれてゐる

五、獨軍管理下のラジオ・パリのタイピストだつ
た、ある二十歳の娘は僅かの給料を貰つてそれ
で多人數の家族を辛うじて養つて來たが二十年
の懲役を宣告された、これが正義だらうか

六、パリ・オペラの舞踊家で白系露人セルジュ・
リファールは政府で對佛協力者として捕縛しよ
うとしたらソ聯大使館から申入れがあつて、そ
のままになり今も踊りつづけてゐる、どんなも
のだらうか



太平洋におけるニミッツの地位

「ニューヨーク・タイムズ」紙

眞珠灣電報一月二十九日

ニミッツの前線司令部の略號がC I H C P O A
(Commander in Chief of Pacific Areas)

太平洋方面軍司令官——となつてゐることは、アジア水域で戦争が行はれる結果、眞珠灣に艦隊の大部分が實際に集結することがなくとも依然として眞珠灣は米太平洋艦隊の正式根據地であるといふことを示してゐる、ニミッツは今後も眞珠灣で生活の一半を送ることならう

ニミッツは太平洋艦隊司令長官及び太平洋方面軍司令官の兩職をかねてゐる、ニミッツは太平洋艦隊司令長官として米太平洋艦隊の指揮をとり、海上における司令長官代理としてハルゼーとスプルアンスとを随へてゐる、又太平洋艦隊の長といふ權能でニミッツはワシントンにゐる聯合艦隊司令長官キングに對して責任を負つてゐるのである一方太平洋方面軍司令官は戰略的な指揮官の地位だ、ニミッツは太平洋方面軍司令官として太平洋における戦争遂行の全面的監督に當り、麾下には艦隊のみならず太平洋戰域における全陸軍並びに海兵隊の諸部隊を随へてゐる、太平洋方面軍司令官は米國統合參謀本部に對して太平洋戰の諸攻勢計畫を進言する、米國統合參謀本部はまた反樞軸國の世界戰略を決定する米英合同參謀本部に諮るニミッツが提案した計畫にせよ、またはこれの代案にせよ、一計畫が採用されるとニミッツは太平洋方面軍司令官として同計畫の遂行を委ねられるのである

ニミッツが西南太平洋戰域(比島を含む)總司令官マッカーサー並びにワシントンの米國統合參謀本部と頻繁に會談を行ふのは、太平洋艦隊司令長官としてといふよりは太平洋方面軍司令官としての權限で行つてゐるものである、米聯合艦隊司令長官キングは、米國統合參謀本部の一員をも兼ねてゐるが、ニミッツはキングに對しては太平洋艦隊司令長官として事を諮つてゐる

結核の新治療法

(ストックホルム九日發) スウェーデンの醫學者スヴェン・イングヴァー氏は最近マルモエの醫學雜誌で、新しい結核の治療法を發見したと發表恐らく今後二十年間にスエーデンからこの病氣を根絶することが出来るだらうと述べてゐる、但し新治療法の詳細は明らかにされてゐない

戦争と米國婦人

サンフランシスコ放送

三月二十三日

米國の職業紹介所では戦争に關係ある總ての仕事のうち、その八五%は女手でなし得るとみてゐる米國工業會議所は婦人工の生産能率について同一作業を男子工が行ふ場合との比較を百四十六名の常務委員に質問したが、得た回答は次の通りであつた

婦人工は男子工に匹敵または男子工を凌駕する成績を挙げたと答へたもの

六〇%

作業の様式により優劣ありと答へたもの

一五%

婦人工が一般に男子工より劣ると答へたもの

二五%

但し最後の二五%のうち大半は、「もし婦人工がさらに經驗を積めば男子工に匹敵する生産成績を舉げるだらう」と付言してゐる

一九四三年米國の婦人就業人口は約千百萬名に達し、就職待機中の婦人は二百五十萬名に及んだしかるに現在では就業婦人は殆ど千九百萬にのぼる有様だ、かくて従前就職してゐなかつた約八百萬の婦人が今次戦争中職場へ向つたことになる、彼女達は既婚、未婚を問はず熟練したものも未熟なものも工場へ事務所へ商店へまた農園へと向つたのである、しかしこれら婦人勞働者は戦争が終ればどうなつて行くのだらうか

若い女子で學窓に戻るものも多數に上らう、結

婚生活に入つて工業部門での労働を止める者もあらう、また應召兵士の妻で主人が歸還すれば職場を離れるといふ者も多くあらう、しかし右以外に戦死者未亡人、廢兵の妻等獨身婦人及び寡婦さらに労働によつて獲得した生活の安定と獨立とを今後も保持して行かうと思つてゐる婦人の數は非常に多數に上る、かく戦後も労働を希望し、労働の必要に迫られてゐる八百萬の婦人に答へる唯一の途は完全雇傭政策を達成するにある

ルーズヴェルトは戦後人的資源委員會の諮問小委員會に婦人問題の専門家を任命した、この小委員會は婦人労働者の地位に關し長期に亘つて研究を行つた後、左の通り報告してゐる

労働を希望する婦人及び労働せねばならぬ婦人の數は、今次戦争中激増した、米國の總人口に對する未婚婦人數の割合は今後さらに高率とならう、また戦争で配偶者を失つた結果以後ずつと一家の主な稼ぎ手となる必要に迫られた婦人も多數に上る、さらに労働により家庭生活を建直し困苦の末打建てた濟濟状態を失ふまいと思つてゐる婦人も少くない、戦後職業の前途が確實であること及び新たな職業につき得る當てがあるといふことは大切な問題である、現在軍需工場に傭はれてゐる婦人の約半數は、戦前何か別の工業部門で働いてゐたのである、労働市場における婦人は、殆ど總て獨力で自身の生計を立ててをり、扶養者を抱へてゐる婦人も多い、今日全婦人労働者の約四三%は獨身で約一三%は寡婦か離婚婦人である、既婚婦人もその多くは家族の唯一の支柱となつてゐるか、夫の収入では不足なために止むなく働かねばならぬ者である、戦前においてさへ全婦人労働者の五分の一は一家の主要な賃金獲得者であつた、故に現在労働に従事してゐる婦人の大半が戦後にも働く必要があるといふことは明かだ、本年二月八日における米軍の死傷兵は七十六萬四千名に達したが、かかる老大な人員の消耗に伴ひ戦前働く必要のなかつたやうな婦人が戦後は働かねばならぬといふことも見逃せない、戦後の職業問題を解決するに當つて統計的にせよ、また理論的にせよ、婦人を労働軍から放逐しようとする試み

ることは、米國の福祉に關する最も無責任な態度だ

調査で明かとなつたことは戦後も働かねばならぬ婦人のほかさらに經濟的には働く必要がないにも拘らず、家事をみると同時に勤めに出ることも出来るといふ理由、また餘分の収入で一家の生活水準が高まるといふ理由で労働を希望する婦人も多いといふことである、例へばカイザー造船所の職工八萬一千人に對する調査によつて婦人工の六七%が戦後も工業關係の職場に留まることを望んでゐることがわかつた、労働運動は婦人が工場から追放されるのを默認し得ない、かかる措置は幾百萬の婦人から働く權利を奪ふこととなり、引いては完全生産及び生活水準の上昇といふ戦後經濟の建設を援助すべき幾百萬もの女手が失はれることとならう、われわれは聲を大にして次のやうに叫ぶものである、
「米國民經濟において婦人が持つべき民主的な市民權を破壊しようとする者、婦人を社會的進歩の過程から隔離しようとする者、また婦人を育児と教會と臺所にと拘禁しようとする者は米國の進歩が數百萬に上る婦人労働者の進歩幸福と不離の關係にあるといふことを覺らない者である」

虹應用照準器出現

(リスボン九日發) ニューヨーク來電「タイム」誌四月九日號は虹を應用した新型高射砲照準器が現はれた旨次の通り報じてゐる

「この照準器は結晶體に光線を當てると人工の虹を生ずるといふ原理を應用して作られ、射手は目標物の周圍に集中された虹の色彩によつて、どの程度飛行中の目標物より先に狙ひをつけるかを決するのだが、二枚の偏光ガラスの間に天然水晶または合成の硝酸曹達結晶を挿入した所謂環狀照準器が用ひられてゐる、この照準器製作にあたつてゐるポラロイド會社の技師達は、新型照準器の用途が今後益々多くなることを豫想してゐるが、既に寫眞家の間では優秀なファインダーとしての價値が認められてゐる」

昭和二十年四月十六日(月)

第三三九三號

同盟通信

海外電報

(84)

【目次】

新大統領直ちに協議……………一〇四〇

十四日を國喪日と定む……………〃

戦争遂行の決意を表明……………〃

太平洋艦隊も半旗……………〃

空襲下に快哉を叫ぶ……………〃

スターリン議長弔電……………〃

トルーマン初聲明……………一〇四一

米海軍三十日間の半旗……………〃

民主黨分裂の可能性……………〃

チャーチル大きな衝動……………〃

蒋介石凶報に呆然……………〃

桑港會議豫定通り開催……………一〇四二

延安代表不満を表明……………〃

【歐洲】

スペイン對日斷交……………〃

【英帝國】

開戦以來の死傷百十二萬餘……………〃

波要人行方不明の背景……………一〇四三

【特輯】

敵陣營に見る日本の政情……………一〇四四

【資料】

ドイツの顔……………一〇四五

米海軍補助費の内容……………一〇四六



至つたのではなからうか

日本本土を據點とする大東亞現在の戰略態勢に立つて、飽くまで抗戦を繼續してゐさへすれば破綻が自ら敵陣營の内部に發生することは、全く豫想もせず豫期もしてゐなかつたルーズヴェルトの頓死によつて最も雄辯に裏書されたといへよう、ナチ黨の總統代理ルドルフ・ヘスが突如英國に飛來した際、英國政府當局が雀躍りして喜んだのも以上の心理的契機に基く、米軍の第二十一爆撃隊が連日帝都を初め各都市に無差別爆撃を加へ、ソヴェト政府が中立條約を破棄した現狀において、惡材料は悉く出つくして恰も焼け出された戰災民と同様落付き拂つてゐるのが日本國民の心境だ

以上人心の機微を巧に把握して戰意の昂揚と生産の増強と國內防衛態制の確立とに資することこそ政治の要諦ではなからうか

新大統領直ちに協議

(リスボン十三日發) ワシントン來電 米國新大統領ハリ・トルーマンは十三日午前九時コネテカウト・アヴェニューのアパートを出てホワイト・ハウスに赴き先づ陸海軍の首脳と緊急軍事會議を開催、終つて國務長官ステチアスと外交關係について二十分間に亘り協議を遂げた、一方前動員局長官ジエームズ・バーンズは十三日サウス・カロライナ州スパータンバーグの私邸からワシントンに入り新大統領と約一時間に亘り懇談を遂げた、バーンズは親しくヤルタ會談に出席して三頭會談の経緯を熟知してゐるので少くとも非常期間ホワイト・ハウスに立ちかへりトルーマンに協力するのではないかと見られる、更に新大統領は知人で辯護士のヒュー・フルトンと懇談したが内閣改造の場合には同人が入閣するだらうとの觀測が有力である、終つて新大統領はキャピトル・ヒルに赴き上下兩院の領袖と會見した

十四日を國喪日と定む

(リスボン十三日發) ワシントン來電 新大統領トルーマンは十四日ルーズヴェルトの葬儀執行の當日を國喪日とする旨發表した

戦争遂行の決意を表明

(リスボン十三日發) パリ來電 反樞軸軍最高司令アイゼンハワー將軍は十三日新大統領トルーマンに對し次の通り打電した

大統領ルーズヴェルトの急死に衝撃を受け哀悼の念切なるも歐洲における米軍は我等の新たな最高司令たる貴下にたいし戦争完遂のため全力を致すべきことを誓ふ

太平洋艦隊も半旗

(リスボン十三日發) ワシントン來電 太平洋艦隊司令チエスター・ニミッツ提督は十三日ルーズヴェルト夫人にたいし次の通り弔電した

われ等海軍にゐるものは卓越した最高司令を失ひ米國民は偉大な指導者を失つた、太平洋艦隊

の各艦艇に對しては三十日間半旗を掲げるやう指令した

空襲下に快哉を叫ぶ

(ベルリン十三日發) ルーズヴェルト急死の報がベルリンに達したのは十二日眞夜中頃、丁度空襲の眞最中だつたが、ニュースは忽ち野火のごとく政治界、外交界や報道人の間に擴がつた、これがドイツ人に多大の感銘を與へたことはいふまでもない、外務省當局は十三日正午ルーズヴェルトの死去が齎らす影響を論じ次の通り言明した

ルーズヴェルトの死去は對外的對内的に直ちに多大の影響を及ぼすことはあるまいが、將來段々に表れて来るだらう、想起すべきは前回の大統領選舉に際して民主黨の主張が河中で馬を乗り換へることは出来ないといふにあつたことだ蓋しルーズヴェルトは多年一切の國際計畫を自ら立て、その詳細を熟知してゐるにより、英ソ兩國との間の戦後諸問題を圓滿解決すべき唯一の人物であるからだ、然るにハリ・トルーマンは到底ルーズヴェルトに代り得る人物であるとは考へられない、恐らく机上の諸懸案にたいして呆然腕を組む他はあるまい、米英ソ三國の協調はルーズヴェルト、チャーチル、スターリンの「六つの眼」を基盤としてゐた、この三國を結ぶ極めて複雑な綱の糸目を持つ男が死んだのでは、綱は忽ちバラバラになつて了ふだらう

スターリン議長弔電

(リスボン十三日發) ワシントン來電 スターリン議長は大統領ルーズヴェルトの急死を悼み、十二日次代大統領ハリ・トルーマンに對し次の弔電を送つた

偉大なる世界の政治家にして平和並びに戦後安全保障の組織者たりしルーズヴェルト大統領の逝去に際し、ソヴェト聯邦政府は米國民に對して深甚なる哀悼の意を表し、共通の敵に對し主要な負擔を荷へる大國間の友好政策は、將來においても發展すべしとの確信を披瀝するものである

トルーマン初聲明

(リスボン十二日發) ワシントン來電―新大統領トルーマンは十二日夜ホワイト・ハウスを通じた聲明を發表した

われわれが東西兩戰線においてわが有するすべての力を傾倒して戦争を遂行し、成功的結果に至らしめる決意なることを全世界は確信して可なり

米海軍三十日間の半旗

(リスボン十二日發) ワシントン來電―海軍長官フォレストは十二日米國の全鎮守府及び艦隊に命令を發し、ルーズヴェルトの死を悼むため十二日以降三十日間作戦の許す限り半旗を掲げるやう通達した

民主黨分裂の可能性

(リスボン十二日發) ルーズヴェルトの死が米國の政戦兩略に如何なる影響を及ぼすか未だ明かないが、十二日夜新大統領トルーマンが發した第一聲に徴しても戦争遂行方針において變化を來たすとは思へない、しかし乍ら政治部面即ち米國の内外政策に關しては假令トルーマンがルーズヴェルトの遺跡を繼ぐことが確實としても兩者の器量の相違により特に國內政治においては小さからぬ變化を生ずるのではないかと見られる、重慶中央社のワシントン特派員は十二日トルーマンの大統領就任が及ぼす影響について次の通り報じてゐる
トルーマンが内治外交の兩面においてルーズヴェルトの遺跡を繼ぐことは間違ないが、果してトルーマンがその識見、理想、精力、統禦の才においてどの程度までルーズヴェルトに比肩し得るかは現在これが解答を下すのは時期尚早といはねばならない、昨夏ルーズヴェルトが民主黨間の進歩、保守兩派間の妥協を圖つてトルーマンを副大統領候補に選ぶまで、トルーマンは特に大きな政治力も實行力も持たない一介の良心的な上院議員としてのみ知られてゐた、一部

ラジオ解説者達の意見によれば、ルーズヴェルトが死んでも米國民がルーズヴェルトの世界平和に對する考へを白紙に歸するやうなことはないといはれるが、この見方は、最近米國の輿論調査機關が調査した結果、米國人の八二%までが國際協力を支持してゐるといふ事實が明かになつてゐることによつても十分うなづかれようしかし乍らこれまで民主黨内の各派を結束させることが出来たのは、全くルーズヴェルトの力によるものであることは周知の事實でそれだけに今回の彼の死により民主黨内における進歩派と保守派とを分裂させる惧れがある、更にまたルーズヴェルトの死は明年の選舉において共和黨に有利な影響をおよぼし、一九四八年に共和黨が政權を獲得することさへ豫想される

チャーチル大きな衝動

(リスボン十二日發) ロンドン來電―ルーズヴェルトの死去は英國朝野に深刻な衝動を與へ、國民はあまりの意外さに初め眞偽を疑つたほどだつたといふ、チャーチルも大きな衝動をうけた模様で各國記者はチャーチルの聲明を聞くため駆けつけたが、英國政府當局は
チャーチル首相は大統領の死に大きな衝動を受け、悲しみの餘り今の所は何も言ふことはないと言つたと述べたといはれる

蔣介石、凶報に呆然

(リスボン十三日發) 蔣介石はルーズヴェルト死去の報に、深刻な衝撃を受けAP通信重慶特派員ムーサは次の通り報道してゐる
朝食中だつた蔣介石はルーズヴェルト死去の報に呆然食事の手をやめ、悲歎の色をみせた、一九四三年十一月カイロでルーズヴェルトに會見した蔣は彼を深く尊敬し重慶の眞の友として信頼してゐた、重慶人筋ではルーズヴェルトの死が反樞軸の事業の挫折になると考へてをり、彼の堅實で經驗に富んだ手腕は戦争及び平和何れの會議においても必要であつたとし、彼が戦争の結末を見ずして死去したことを歎じてゐる

桑港會議豫定通り開催

(リスボン十二日發) ワシントン來電〓新任大統領ハリー・トルーマンは國務長官ステチニアスに對し豫定通り四月二十五日桑港會議を開催する權限を賦與した

延安代表不満を表明

(リスボン十二日發) 重慶來電〓桑港會議延安代表董必武は十一日夜次の通り言明した

我が黨は桑港會議に對し延安支配地區一億の民衆を代表してこの國際會議に所信を表明するため余を選任した、だが支那代表團全體の構成は決して満足だとは考へられない、即ち百二十萬名の黨員と九十萬の正規兵を有し、二百五十萬の民兵を含む一億の人口を統禦する中共が、支那代表團中に僅か一名の代表より出してゐないのである

【歐洲】

スペイン對日斷交

(リスボン十一日發) マドリード來電〓スペイン政府は日本との外交關係を斷絶した旨十一日發表した、同日フランコ統領はフアランへ黨の最高機關政治委員會を司會、右委員會において政府の對日政策の承認を得た上、さらに閣議を開き以上の重大決定を發表するに至つたものである

【英帝國】

開戦以來の死傷百十二萬餘

(リスボン十日發) ロンドン來電〓英首相チャーチルは十日下院で歐洲戰爭開始以來二月二十八日までの英帝國軍の損害が百十二萬六千八百二名に達した旨發表した、内譯次の通り

△英帝國軍損害

總計	一、一二六、八〇二
戰死	三〇六、九八四
行方不明	七〇、八七二
戰傷	四二二、四七六
俘虜	三二六、四七〇

△英軍損害

總計

戰死	六八五、六三八
行方不明	二一六、二八七
戰傷	三〇、九六七
俘虜	二五五、一四二
	一八三、二四二

△印度軍損害

總計	一六三、四八六
戰死	一九、四二〇
行方不明	一三、三七七
戰傷	五一、〇三八
俘虜	七九、七〇一

△カナダ軍損害

總計	八九、二二〇
戰死	三一、四三九
行方不明	四、一六三
戰傷	四五、二五一
俘虜	八、三六七

△濠洲軍損害

總計	八七、二五六
戰死	一九、四三〇
行方不明	六、九五五
戰傷	三五、五九五
俘虜	二五、二七六

△南阿聯邦軍損害

總計	三三、八〇三
戰死	六、〇三〇
行方不明	五一、二
戰傷	一二、六三二
俘虜	一四、六二九

△ニュージランド軍損害

總計	三六、七四七
戰死	九、三三四
行方不明	九三四
戰傷	一七、九七八
俘虜	八、五〇一

△植民地軍損害

總計	三〇、六五二
戰死	五、〇四四
行方不明	一四、〇一四
戰傷	四、八四〇
俘虜	六、七五四

波要人行方不明の背景

△探偵小説的な興味

亡命ポーランド政權が去る四月六日ポーランド要人十五名の雲隠れを發表したに引續いて十一日には農民黨の最高幹部ヴィンツェンチ・グイトスの行方不明を聲明したことは、たださへ奇怪なソ波關係を一段と不可思議な探偵小説姿みた謎のヴェールで包むものだ、亡命政權の發表によれば、オクリキー將軍以下十四名もグイトスも赤軍第一白露戰線軍の招請に應ずるといふよりも無理遣りに政治會議に参加するため連れ出されたといふことと、兩者の場合とも迎ひの者が夜蔭に訪れたことと、連れ出された後は杳として消息をたつてゐることが、事件を愈々不可思議にしてゐる、しかも赤軍の提案した政治會議なるものが、果してワルシャワで開かれる(或ひは既に開かれたかも知れない)ものやらモスクワやら全く判らぬことでモスクワ駐劄英國大使のカーもかかる政治會議が實際に開催されるならば一應の通告がある筈だと稱して、亡命政權の發表を疑問視してゐる位だ、勿論以上の事件についてはソヴェト政府は完全に沈黙を守り、肯定も否定もしてゐないが、曩にスターリン議長がポーランド問題を解決するため、ワルシャワのポーランド假政府の外にあるポーランド各政黨要人と交渉に入る決意を披瀝した點からみて、恐らくソヴェト政府が独自の立場で工作を開始したのではないかとみる向もある

△ソ聯の自主措置か

たとへば「ノイエ・チューリツヒアー・ツアイツング」紙のロンドン電報は以上の前提から出發して四月十日次の通り報じてゐる

英國政府はポーランド地下組織及びスコールスキ、ミコライチクの兩亡命政權を支持した各政黨領袖からなる代表團が、ソヴェト政府と交渉に入るためモスクワに赴いたといふ噂に關してまだソ聯から確認を得てゐない、しかしながらロンドン政界はソ聯が獨力でポーランド問題を解決しようと圖つてをり、クレムリンは威信

を高めるために、他國の調停乃至干渉なしに解決出来ることを世界に誇示したがつてゐるのだとみてゐる、ソヴェト政府は彼等を完全に外界から遮斷すれば、問題の解決も容易だと考へてゐるようだが、こうした駆引がポーランド側の支持を得るかどうかは大いに疑問だ、一説によればポーランド代表は亡命政權と相談するためロンドンを訪れる許しを得てゐるといふことだが、これは亡命政權の行方不明聲明と完全に矛盾する、いづれにしてもソ聯が沈黙を守つてゐることは些か奇妙で、恐らく米英兩國政府は強硬に説明を要求するものとみられてゐる

△英國の不安募る

亡命ポーランド政權はこれらの行方不明事件を單にソ聯の不法行爲としてとめてをき、専らソ聯の遣り口を世界に訴へて亡命政權の地位をひたすらに守らうと圖つてゐるやうだが、英國にとつて問題になるのは探偵小説的事件でなく、ソ聯が一應の相談もなく勝手にポーランド問題を解決しようとしてゐることだ、特にソヴェト政府が最近ワルシャワ政權を桑港會議に参加させようと要求したり、「ブラウダ」紙が「新ポーランド統合政府はワルシャワ政權を基礎として組織すべきだ」と主張してゐるだけに、英國の疑惑も特に深い譯だ

米國は目下のところ桑港會議で忙しいのか、行方不明事件をまだ問題にしてゐないが、恐らく成行次第ではクリミヤ協定の違反だといふ定り文句で騒ぎ立てるは必定で「デーリー・テレグラフ」紙のワシントン電報は、「モロトフ外務人民委員がソ波政治會議を米英ソ三國委員會の米英兩國委員に通告しないことは、新たな紛争の種とならざるを得まい」と豫言してゐる、尤も米英兩國は桑港會議前にことを荒げたくないために、一應不問に附す態度を採り、積極的に干渉することを差し控へるかも知れないが、事件の發展如何では新たな三國紛争の禍因となるやもはかられない



敵陣營の見る日本の政情

日ソ中立條約の不延長通告の直前に東京において小磯内閣が總辭職したことは、世界に種々の臆測と疑惑を捲き起してゐるが、これに對する中立國筋並びに反樞軸陣營の論評は大部分が總辭職をソ聯政府の不延長通告を豫知した結果であると論じ、その後に來るべき内閣に多大の興味と期待を示してゐた、しかしして鈴木貫太郎大將が七十九歳の老軀を擡げて陣頭に立つに及び、敵陣營の揣摩臆測は頂點に達したかの觀がある、以下簡単に各方面の反響を紹介してわが日本の國內情勢に對する敵側の見解を検討してみたいと思ふ

△無條件降伏を叫ぶ米國

米國における論調は今回の鈴木内閣の成立を米國の穩健和平論者並びに厭戰階級（戰爭に疲れた社會層）に對する日本の攻勢が行はれようとする前兆だと警告してゐる者が多い、だが不幸、日本が妥協による平和を求める可能性を無視しないまでも鈴木内閣はさらに活潑なる戰爭遂行と日本本土の最後の防衛のための「戰鬪内閣」であると解する者も可成り多い

「ニューヨーク・タイムス」紙と「ニューヨーク・ヘラルド・トリビュン」紙とはともに

鈴木内閣は依然戰爭遂行内閣であり、何等重要な政治的變化を示唆するものではない

と斷じてゐるが、「ヘラルド・トリビュン」紙の方は

閣僚の中には穩健分子と目されるものも混つてゐるが、日本の穩健分子とは世界征服の理想に挺身する點においては帝國內の何人にも劣らず従つて鈴木内閣に提起し得る唯一の通牒は無條件降伏でなければならぬ

と強硬な意見を述べ、餘り希望的な見透しを持たない點が注目される

東郷外相の就任については同外相が日ソ間の國境問題に際しソ聯と交渉したる人物なることを指

摘してゐる以外まだ論評らしい論評を加へた電報をみてゐない

△戰爭に疲れた英國

以上の如き米國內の觀測は米國に相當厭戰氣分が蔓延してゐることを反映してゐると解せられるが、米國以上に戰爭に疲れてゐる英國では鈴木内閣の成立をどう解釋してゐるだらうか、勿論一評論家の言をもつて英國の輿論を察することは出来ないが、評論家の吐く一言一句は一般國民の關心の存するところを明かにする點でその當否に拘らず注目されなければならない、以下はロイター通信社ロンドン本社と外交記者の論文である

東郷茂徳氏の外相兼大東亞相就任をもつて鈴木大將を首班とする日本の新内閣が成立したことは、當地消息筋の間では日本がまだなかなか和平を求めさうにないといふことの證左だとみられてゐる、眞珠灣攻撃當時同じ外相の椅子を占めてゐた東郷は、滅多に日本國民にたいしても或ひは外國に對しても平和工作を持ち出すやうなことはなさうだ、また最近大政翼賛會の代りに組織された新全體主義政黨の總裁に南次郎大將が就任してゐる事實は、同大將最近の政治的傾向よりみていよいよ以上の見解を裏書するものといへよう、日本現在の政治情勢は、ドイツが數ヶ月前に軍事的には急速なる崩壊に瀕しつつも國家の指導者達に全く無條件降伏を考慮する色なく飽くまで終極における平和を勝ち得ようとしてゐた當時と同じ段階に到達したのだとの感が深い

新首相の放送演説はその語調においてこそ悲觀的であつたとはいへ、しかもその底には徹底抗戰の決意がある

このロイター電報に見られるやうな批評は決してこじつけや出鱈目ではなく、確に歐米人の世界觀からみればかうでも解釋する他はないのであらう、日本人の敬虔にして謙虛なる決意の表明は、彼等の耳には悲觀的言辭であり、打算以外の抗戰決意に生きる日本國民の精神は彼らの常識をもつてしては到底理解し得ないのである

（武井武夫）

資料

ドイツの顔

「タイム」誌

三月二十六日號

聯合軍には敗戦ドイツとその國民がどんな姿をとるか殆どまだわかつてゐないが、ただ一つのことだけははつきりしてゐる、それは第二次世界大戦後のドイツは、第一次大戦後にナチズムとヒトラー總統とを生んだと同じ氣違ひ染みた瀕迷を呈するであらうといふことだ、昨週で米國兵士がドイツ領に足を踏み入れてから五ヶ月とちよつと經つ、彼等はアーヘン、レートゲン、エイレンドルフ、ケルン等の諸都市で西部ドイツの崩れた顔を見た、そして數千のドイツ人の顔も目撃した

1 ドイツ婦人と二人の子供

が、ライン河に近い村の自分の家を指してとぼとぼ歩いて行く、その家を宿舎に割當てられた若い米軍士官は彼等の姿を眼にすると「あつちへ行けつたらあつちへ行け! 来るなつたらわからないか!」と呶鳴りつけた、ドイツ婦人は足をとめて家の中に入用なものがあるので取りに來たのだとドイツ語で説明にかかつた、すると士官はまたぞろ「あつちへ行け」と命令した、婦人の連れてきた男の子は泣き出した、女の子の方は士官の傍を抜けて玄關の戸口へかけ上ると、人形箱を持ち出してきた、ドイツ婦人と子供達が立ち去ると、士官はUP記者ストリンガーに向つてかういつた、「一年前なら僕もこんなことはしませんかね、いまだやドイツ人が憎いんです、一人残らず憎くて憎くてたまらんです」

2 カール・フゼラー

は十六歳、金髪の可愛い少年で、ナチ青年團の指導者、捕まるまでに、退却するドイツ軍に軍事情報を傳達するため三度も米軍の陣地を突破してゐる、米軍の軍法會議は死刑を宣告したが、再審で無期禁錮に減刑された、米人記者が監房にフゼラーを訪ふと、彼は全く心からドイツの敗北を認めたが、ヒトラー總統とナチズムに對する信頼は微

動だにせず、ドイツ人が米英兩國人やロシア人よりも優れてゐるといふ確信もぐらついてゐなかつた、彼の考へだと、ドイツが敗れたのは聯合軍が物量で優位を占めてゐるためだけだといふのだ

3 アーヘンのフランツ・

オッペンホーフ

はドイツ軍の火炮とV二號の部分品を製作する地方兵器工場クレトルツプの工場長であつた、彼はいはゆる地方の名士で、ナチは黨に参加せずとも裕かな生活を送ることを彼に許してゐた、そこで米軍政當局は占領下のアーヘン市長に彼を据えたわけだが、市の吏員として彼が最初に選んだ三百名のうち五十七名はナチ黨員であつた、米軍はそのうち二十七名をつまみ出したが、結局經驗あるナチ黨員の力をかりずに市の行政を圓滑に運ぶことは不可能だといふオッペンホーフの意見に従はねばならなかつた

4 ハルバツハにて

米軍法會議は農場にドイツ軍兵士を三名匿つた廉でカール・バックビアと友人ロベルト・ホーゲンを審問した、ところで裁きの庭に引き出されたバックビアとホーゲンは中年の富裕で評判の良い人物で、酷く無邪氣だつた、「聯合軍のラジオ放送者はドイツ人に向つてドイツ軍の脱走兵に出來る限りの援助を與へよと命令しなかつたですか?」と抗辯して、無罪放免、バックビアとホーゲンは軍法官達にお辭儀をして、悠々と立ち去りにけりといふわけだ

5 ある印刷屋の親爺

はナチ黨員ではなかつたが、倅は親衛隊に入つてゐた、曰く、「もしも親衛隊員が戦争犯罪者として處刑されねばならぬなら、なあに構ふこたはない、やらせるさ」

6 「ヒトラー總統をどう思ふか」

とある新聞記者がアーヘンで七歳になる少女に訊ねると、學校での菓子配給を思ひ出して、「あたしにチョコレートを呉れたから、良いひとよ」と答へたといふ、十二歳になる兄の方に訊ねると

滔々と辯じ立てたものだ、「英國は泥棒だから罰をくれなきあいけない、米國は猶太人の金權主義者の巢窟だ！」

7 仇つばい猶太人の女

彼女はプロテスタントに改宗し、ドイツ人のカトリック教徒と結婚したのだが、ドイツ人を批評してから言つた、「ドイツ人からあまり多くのことを期待してはなりません、一度ナチズムの洗禮を受けた者は元の人間になれませんよ、良い人達は戦争で死にました、どうしてか知りませんが物事はさうしたものです、良い人はみんな死にました、もう一人も残つておません」

8 ナチズムとは

著述家で歴史家のパドーヴァ、黒人歌手のポール・ロビンソン、戦時情報局の宣傳員ルイス・ギットラーといった米民間調査團がドイツ人の態度を研究するため西部ドイツに出掛けて行つた、ドイツ人の乾物屋、労働者、職人、主婦、ナチ黨員や非黨員といった連中とお喋りをしたあとで、パドーヴァは報告してゐる、「ドイツ人と話した結果一番驚いたことは、彼等が國家主義の觀念に缺けてゐることだ、彼等は自治を望まない、いろいろなひ方をするが、彼等はドイツの將來が聯合國によつて決められるといふことに完全に意見の一致をみてゐる、彼等是一種の米國の植民地として扱はれることを希望してゐる、抵抗しようなどとは考へずに、支配されることをまるで子供のやうに安堵しながら歓迎してゐるのだ」かうしたドイツ人はナチズムとは要するに國家主義で、ヒトラー總統が政權を掌握して以來、上から押しつけられたもので、米軍が到着するとナチ黨員は一目散に逃げ出したと考へてゐる、一般のドイツ人は戦争を初めたからといつてヒトラー總統を非難せず、戦争に敗れたからといつて非難してゐる、猶太人を殺したからといつて非難せずに、ドイツの上に聯合國の世界を導き入れたといつて非難してゐるのだ

英海軍補助費の内容

「ニューヨーク・タイムズ」紙

ワシントン特派員三月十八日報道

米下院は海軍長官フォレストルの請求した沿岸諸施設設置、改良費約十五億弗を異議なく可決したが、一方三月十七日の議會において大統領ルーズヴェルトは海軍補助經費總計二十億弗の豫算案を提出した、その内譯は左の通りである

△大統領提出海軍補助經費豫算内譯

海軍省經費（聯邦行政保安機關經費を含む）

一九四四年度（追加） 八〇、〇〇〇 單位千弗

一九四五年度 一、八三四、一一四

海軍省勤務者及び海兵隊給與

一三六、八〇〇

内主要細目

海軍兵器局費 七〇〇、〇〇〇

艦船局費 六〇〇、〇〇〇

運輸費（一九四四年度） 四〇、〇〇〇

（一九四五年度） 二五五、〇〇〇

補給費、雜費

（一九四四年度） 二五、〇〇〇

（一九四五年度） 一六五、〇〇〇

海兵隊總費 三五、二一〇

聯邦諸機關補給費 二三、〇〇〇

保安行政及び公衆保健費 一八四

總計 約二、〇〇〇、〇〇〇

△下院可決の沿岸施設費細目

前進基地建設 九八六、〇〇〇

修理維持 二二〇、二二二

軍需生産施設 六五、五五〇

航空施設 五九、四一六、五

兵員訓練施設並びに兵營 四〇、〇二二

病院 二八、五一九

倉庫 一九、九五〇

海兵隊訓練施設並びに兵營 一四、一九〇

艦隊演習施設水陸兩用作戰 一二、〇〇〇

沿岸無電施設 三、二三〇

海軍研究所 二二五

その他建築施設 一四、二六五

總計

一、五〇〇、五四九、五

昭和二十年 四月十七日(火)
第三三九四號

同盟通信

海外電報

(85)

ルーズヴェルト大統領がウォーム・スプリング

スの山荘で急逝したのは、米國の中部戰時時間で十二日の午後三時三十五分、大統領秘書スチヴン・アーリーがAP、UP、インターナショナル三通信に同報電話したのは東部戰時時間の午後五時四十五分だといふから、中部と東部との時差一時間を勘定に入れば、大統領の死後一時間十分で米國民にこのニュースが傳へられた譯だ、ワシントンと東京との時差は戰時時間で十三時間だから、秘書の發表した時間を日本時間に直せば十三日の午前六時四十五分、通信院を通じて右ニュースが同盟の海外局に入つたのは午前七時直前である、同盟は國家代表通信社本來の使命に鑑み、宿直の會社員を動員して直ちに各當局に通告するとともに、一般ニュースとして外電を情報局に提出、正規の手續を経て全國の組合各新聞社に同報したので



が午前十一時十分過ぎである、戰時にも拘らず各國の代表通信社の事實上の聯絡が如何に緊密であり、新聞通信社の機能が二十四時間を通じて如何にキビキビ動いてゐるかのいい例證だと思ふが、この際特に氣付いたことはビジネスライクな米國の官廳機構が、速斷即決あくまで能率主義に徹底してゐる點だ、ルーズヴェルトの死後二時間半で、副大統領ハリ・トルーマンが合衆國憲法第二條第一款第六項に基づき、第三十二代大統領に就任宣誓し、十三日午前九時にはホワイトハウスに入つて、先づ陸海空三軍の代表と軍事會議を開催、次ぎにステチニアス國務長官と二十分協議した後、キャプトル・ヒルに赴いて、上下兩院の領袖と午餐を共にし、内政上の施策について意見を交換してゐる、勿論早いばかりが能ではないが、二た言目には會議だ相談だでは氣の早い米國人相手の戰爭には終始後手と踏む惧あり、今時下らぬ手前味噌ではない、ルーズヴェルト頓死に關する報道の經緯をお傳へする所以だ

【目次】

- ライプチツヒ挾撃態勢……………一〇四八
- ライプチツヒ外郭で阻止……………
- 米軍ケムニツツ突入……………
- 赤軍キユストリン西方で攻撃開始……………
- 英國早くも戰勝氣分……………
- 【米 洲】
- 新大統領布告全文……………一〇四九
- 各派新大統領に忠誠を誓ふ……………
- 敵戰意昂揚に必死……………
- 戰後問題への影響は甚大……………
- 華儀白聖館で執行……………一〇五〇
- 紐育市場取引停止……………
- 國務長官哀悼文……………
- 米軍損害九十萬に迫る……………
- B24工場罷業……………
- シカゴ大火……………
- 支那法規研究部長……………
- チリ下院も對日宣戰を承認……………
- 【反樞軸陣營】
- 新三頭會談開催か……………一〇五一
- 宋子文ワシントン着……………
- 三國大使國務長官と協議……………
- 【歐 洲】
- 西政府亡命者の歸國を許可……………
- 對日斷交以上の措置は不明……………
- セルビア新政權誕生……………
- パシキヴィ再組閣……………
- バーペン氏捕はる……………
- 【英 帝 國】
- 英聯邦會議終る……………一〇五二
- 勞働黨總選舉に決戰の覺悟……………
- カナダの總選舉は六月か……………
- 【西 亞】
- 三國反樞軸宣言に調印……………
- アラブ五ヶ國は共同戰線……………
- 白・土通商條約締結……………
- 【聯 邦】
- ユーゴと友好援助條約成立……………
- モスクワ全市服喪……………
- 【資 料】
- アンラ第二四半期報告……………一〇五三
- 一石二鳥の精神病療養所……………
- 將來の就業問題……………

ライプツヒ挾撃態勢

西部戦線の形勢益々重大

(チューリッヒ十四日發) 前線報道を綜合するに西部戦線において現在最も進出してゐるのは米第三軍で、ザクセンへ突入した同軍の左翼はムルデ河を越えてライプツヒ東南二十三軒の地點まで進出、第四機軍師團を先鋒とする中央部隊は既にテムニッツに突入して目下ドイツ軍と熾烈な市街戦を展開してゐるといはれる、更に米第三軍の右翼はチューリッゲンからバヴァリアに侵入、第十一機軍師團及び第九十歩兵師團をもつてバイロイトに迫つてゐる、ライプツヒ攻略を目指す米第一軍はヴァイゼンフェルス、メルゼブルグ、バルレの三方向から前進、最進出部隊はライプツヒへ十一軒の距離に達し、既にヴァイゼンフェルスは米軍の手中に歸し、ハルレでは目下市街戦が展開されてゐる様子だ、エルベ戦線の米第九軍は重裝備の渡河を開始、エルベ東岸に部隊の集結を圖つてをり、愈々本格的ベルリン攻勢を展開する形勢だ、既に十二日エルベ河を渡り一路東進中の第二機甲師團の現在位置については嚴重な報道管制が布かれてゐるため明かでない

ライプツヒ外郭で阻止

(ベルリン十五日發) 總統本營公報

一、ドイツ中部における防禦戦はさらに熾烈の度を加へ、比較的有力な米軍部隊はザーレ河を渡河して東方に進出した

一、ライプツヒ及びケムニッツを目指して進出する反樞軸軍はドイツ外郭防衛線で阻止された
一、オランダ戦線においてカナダ軍はアルンヘム及びデヴェンテルに攻撃を加へたが、局地的成功を収めたに過ぎず、その北方で敵偵察部隊はグロニンゲン地區まで進出した

一、エルベ河下流とエムス河との中間では戦況は實質的に變化してゐない

一、マグデブルグ東南方においてドイツ軍擲弾兵部隊はエルベ河を渡河進出した米軍を渡河點まで撃退し捕虜多數を獲た

米軍ケムニッツ突入

(ベルリン十五日發) 前線報道はザクセンの工業都市ケムニッツの西部に侵入するに至つた米軍はザクセン東部において、赤軍と聯絡しようとしてゐるが、ドイツ軍は目下これを阻止乃至出来るだけ引き延ばそうと努めてゐる、しかしハルツ山嶺地帯並びにチューリッゲンを通過して、ライプツヒ地區及びケムニッツにまで進出してゐる米軍前進部隊の兵力は弱小である

赤軍キュストン西方で攻撃開始

(ベルリン十五日發) 總統本營公報

一、ナイセ、オーデル兩河合流點とオーデルブルフ中間の戦線特にキュストン西方で赤軍は有力な戦車を伴つて數回に亘り攻撃を加へたが、ドイツ軍は激戦の後赤軍戦車九十八輛を破摧してこれを撃退した

英國早くも戦勝氣分

(ストックホルム十四日發) ラインのドイツ防衛線を突破した反樞軸軍はその後二旬にしてドイツ中原を席捲、ベルリンに向つてひた押しを進撃を續けてゐるが、西部戦線における戦局の意想外の發展は英國内にドイツ軍の組織的抗戦の終焉間近しとする先走つた樂觀氣分を齎してゐる模様だ、チャーチルは来る十九日議會で戦況報告する豫定だが、ロンドンからのAP電報によれば官邊筋はチャーチルが個人的希望を抑へてルーズヴェルトの葬儀に參列せず、外相イーデンを派遣することに決定したのも戦線からの「最後の報告」を受け、ためにロンドンを離れるわけにいかないからだ、と稱してをり、政府の高官もロンドンに足止めされ、各國の外交使臣もロンドンで待機の姿勢にあるといはれる

英國民もルーズヴェルトの死を悼みながらも十九日行はれる豫定のチャーチルの戦況報告までに反樞軸軍の勝利の布告が發せられるのではないかと強い期待を包み切れないうといはれ、セント・ポール寺院の前庭には戦勝宣言の當日感謝の祈禱のために殺到する群衆を整理すべく「手廻しよく」鐵柵を張り廻してゐるほどだといはれる

【米 洲】

新大統領布告全文

(リスボン十三日發)ワシントン來電〓米新大統領トルーマンは十三日ルーズヴェルトの死に關する次の布告を發した

合衆國第三十一代大統領フランクリン・デラノ・ルーズヴェルトの不滅の魂をわれ等よりとり去り給ひしは全智の神の御心であつた、彼は大戰争における米國民の指導者として勝利の保障されるのをみるを得たが、勝利を與にするを得なかつた、彼はまた自らの生命を捧げた、自由にして平和なる世界の最初の基石が据えられるのをみるをえたが、自らはその世界に入るをえなかつたのである彼の同胞はやがて訪れる時代に彼の不拔の意思と信念、勇氣のみられる事を衷心から惜むであらうまた自由と希望を愛する全世界の民衆は彼の死を悼むであらう、しかしながら彼の聲を再び耳にすることが出來ぬにしても、彼の勇氣は跡を斷たず彼の信念は消え去らぬ、偉大なる人物の勇氣は米國のみならず全世界の民衆の勇氣となり、さらに生命を保つて民衆の目的を支へ、その希望を叶へしめるであらう、ここにおいて余即ち合衆國大統領ハリ・トルーマンは、來る四月十四日土曜日を故大統領の葬儀の日と定め、合衆國全土に哀悼と祈禱の日と定める、この日國民がそれぞれの土地において全能の神の御心に屈し、偉大にして善き人の想ひ出に愛と尊敬を捧げることを衷心から希望する、よつて余はここに聖書に手をおいて宣誓し、この布告文に合衆國の國璽を押さしめる一九四五年四月十三日、合衆國獨立百六十九年目にワシントン市において作成す

大統領 ハリ・トルーマン

國務長官 エドワード・ステチニアス・

ジュニア

各派新大統領に忠誠を誓ふ

(リスボン十四日發) ニューヨーク來電〓前共和黨選出大統領候補でニューヨーク州知事のトーマス・デユイは十四日和戰兩面における新大統領

トルーマンの施策を無條件で支持する旨誓約したが、米國協同組合聯盟會長マレー・リンカーン、勞働總同盟會長ウイリアム・グリーン及び産業別組織會議會長フリッツ・マレーはそれぞれ米國三大勞働組織を代表してトルーマンに忠誠を誓つた、またトルーマンの大統領昇格に伴ひ副大統領の椅子が空いたわけだが、今大統領任期間即ち一九四九年一月まで後任は任命されない

敵戰意昂揚に必死

(リスボン十三日發) 米國政府はルーズヴェルトの死を逆に士氣昂揚の轉機たらしめんと躍氣になつてゐる模様で、戰時生産局長官クルーグは全國の軍需工業家並びに従業員に檄し

全國の工業家並びに従業員はトルーマン新大統領の意を體して十三、十四の兩日は生産豫定を完全に遂行し、前線への物資補給に滯滞なからしめよ、軍需物資の生産を中斷せしめず、職場を守ることを故大統領に對する最大の追悼である

と述べ、陸軍長官スチムソンはルーズヴェルトの勳功を長々と數へた後

勝利の日まで力の最後の一滴をも出し盡すこと以上に故大統領を稱へ得る道はない

と國民の奮起を促してゐる、また現在沖繩作戰を指揮しつゝある太平洋艦隊水陸兩用部隊司令官海軍中將リッツモンド・ターナーが

故大統領が戰争努力に示した能力と事業を思ふ時、その死は太平洋の戦場に仆れた將兵と等しく戰死をもつて目さるべきだ

と述べるなど、轉んでもただは起きまいとする努力が全般的にみられる

戰後問題への影響は甚大

〓孫科の言明〓

(リスボン十三日發) 重慶來電〓立法院長孫科は十三日次の通り言明した

桑港會議の終了をみずしてわれわれは最大の友を失つた、ルーズヴェルトの死は全反樞軸國にとつて甚大な損失であつた、彼の死は今次戰争の遂行には影響しまいが、戰後の諸問題解決に深甚の影響を持つことは確實である

葬儀白聖館で執行

(リスボン十四日發) ワシントン來電〓ルーズヴェルトの遺骸をのせた特別列車は十四日午前九時四十八分ワシントンのユニオン停車場に到着、直ちに陸軍彈藥車に移された、驛頭には新大統領トルーマンほか政府要人が出迎へてゐたが、遺骸をのせた車を先頭とする行列は道路の兩側に堵列する市民の間を縫つてホワイト・ハウスに到着、葬儀はホワイト・ハウス東の間において米政府の要人のほか英國外相イーデン、ワシントン駐劄英國大使ハリファックス、同ソ聯大使グロムイコ、カナダ總督アスローン伯、ニューヨーク州知事デューイ等の參列の下に施行された

紐育市場取引停止

(リスボン十四日發) ニューヨーク來電〓ニューヨーク株式市場はルーズヴェルトの死を哀悼し十四日取引を停止した

國務長官哀悼文

(リスボン十三日發) ワシントン來電〓國務長官ステチニアスは十二日故大統領ルーズヴェルトに對する次の通りの哀悼文を發表した

偉大なる指導者が現下の最も必要な時に勿然去つて過去の歴史的存在と化したことは、米國否全世界にとつて一大悲劇といはざるを得ない、曾て初代大統領アブラハム・リンカーンが國家存亡の危機に際し、全生涯を國務に投じたと同様、フランクリン・ルーズヴェルトは米國の生存と自由の昂揚のため文字通り生涯を捧げて來たのである、更にリンカーンと同じく彼は高邁な睿智と勇氣をもつて米國を指導し、暗黒の危機を突破して安全と平和の彼岸に殆んど到達せしめた、彼は遂に逝つた、今日米國民は筆舌に盡し難い悲しみを感じてゐる、大統領が個人的危機に直面する度に我々に示した搖ぎなき勇氣を想ひ起すことによつて我々は今後もなほ豫想される戰爭の困難に打ち勝つことが出來よう、ルーズヴェルト大統領は米國人のうちで最も深く強い信念の持主であつた、この信念において

彼は逝つた、我々はその信念とその勇氣をもつて切り抜ければならない

米軍損害九十萬に迫る

(リスボン十二日發) ワシントン來電〓米陸軍長官スチムソンは開戦以來の米陸海軍兵員の損害を十二日左の通り公報で發表した

總計	八九九、三九〇名
陸軍	八〇二、六八五名
海軍	九六、七〇五名

B 24 工場 罷業

(リスボン十四日發) デトロイト來電〓B 24 爆撃機の最終組立工場であるフォード・ウイロー・ラシ工場の労働者三百名は會社側の措置に不満を爆發させ十三日夜罷業を開始した、このためルージユ、ハイランド・パーク、リンカーンの三フォード工場も操業停止のやむなきに至つた

シカゴ 大火

(リスボン十二日發) シカゴ來電〓十二日シカゴ市内に火災が発生、全市の消防自動車を集め、消防夫五百人が出動するといふ大童の消火作業にも係らず、火の手は石炭置場並びに材木置場を舐めつくした、損害その他についてはいまだ判明してゐない

支那法規研究部長

(リスボン十日發) ワシントン來電〓米國商務省は元上海で開業してゐた辯護士マイロン・ウィーナーを海外商務局支那法規研究部長に任命した、同部は一九四三年一月の治外法權撤廢條約に關聯して生じた法律問題の調査研究にあたつてゐる

チリ下院も對日宣戦を承認

(リスボン十二日發) チリ上院はさきに同國の對日宣戦を承認したが、サンチャゴ來電によれば十一日夜下院も承認したといはれる

【反樞軸陣營】

トルーマンを交へて新三頭會談開催か

(ストックホルム十三日發) 米國では老獪なチャールと冷靜な打算家スターリンを相手に新大統領トルーマンが太過なく難局を押し切れるかどうか大いに疑問としてゐるやうだ、特に重大な國際問題が山積し、新たな三頭會談の必要が痛切に感ぜられてゐる折柄、ロンドンからのAP電報も十三日次の通り報じてゐる

歐洲解放地域に關する微妙な問題やソ聯の日ソ中立條約不延長通告などで近い將來新大統領トルーマンをまじへて新たに三頭會談開催の必要に迫られてゐる様子で、まづ下拵へとしてトルーマンが桑港會議に續いて開催される筈の三國外相會議に國務長官ステチニアスと同行するかも知れない、いづれにしても外交上空前の難局にある現在トルーマンが米國を代表してチャール、スターリンの兩者に對抗するには容易ならぬ覺悟が必要であらう

宋子文ワシントン着

(リスボン十四日發) ワシントン來電 桑港會議重慶代表宋子文は重慶經濟狀態の視察に派遣されてゐた米國經濟特使レオン・ヘンダーソンと共に十三日空路ワシントンに到着した

三國大使、國務長官と協議

(リスボン十四日發) ワシントン來電 〓ワシントン駐劄英大使ハリファックス、ソ聯大使グロムイコ氏、重慶大使魏道明は十四日正午國務長官ステチニアスを訪問、桑港會議の進行手續きに關し協議した

【歐洲】

西政府亡命者の歸國を許可

(マドリッド十四日發) スペイン政府は十四日左の聲明を發表した
スペイン内亂當時の犯罪の起訴は爾今一切行はれない、歸國を希望するスペインの亡命者は、スペイン領事館に設置される筈の關係當局に申

告の上歸國に關する新法規に適合するか否かの判定を仰ぎ、適當と認められれば歸國を許可されよう、しかし海外にあつて政府反對運動を續けて來た亡命者の歸國は許可されない

同時にスペイン政府は亡命者の歸國に關する法案を作成、既にフランク將軍の裁可を経て近く議會に提出する運びとなつてゐるが、以上の措置はスペイン政府の反樞軸陣營に對する迎合的態度の表明に外ならない

對日斷交以上の措置は不明

(マドリッド十三日發) スペイン政府は十一日日本との外交關係を斷絶するに至つたが、當局筋では現在のところ政府が日本に對し、斷交以上の措置をとる模様はないとの見解を洩らしてゐる

セルビア新政權誕生

(モスクワ十一日發延着) ベルグラードからのタス電報によれば、セルビア國民解放戰線の反ファシスト議會は、九日ベルグラードで第一回の會議を開催、セルビア國民政府を樹立することを決議した、その結果、同夜國民解放戰線執行委員會書記長ネシコヴィツ博士を首相とし、副首相二名、閣員十一名からなるセルビア新政府が組織された

バーシキヴィ再組閣

(ストックホルム十二日發) ヘルシンキ來電 〓フィンランド前首相バーシキヴィ博士は、十二日、大統領マンネルハイム元帥の再組閣委嘱を受諾した

バーベン捕はる

(リスボン十四日發) パリ來電 〓西部戰線反樞軸軍司令部はフランス・フォン・バーベン氏がさる十一日シュトゥットガハウゼンにある令息の家で米軍により逮捕された旨十四日發表した、バーベン氏は一九三二年首相となり、ナチ黨の政權獲得の後アンカラ駐劄大使としてトルコ政府の對獨斷交まで辣腕を振つてゐた

【英 帝 國】

英 聯 邦 會 議 終 了

(ストックホルム十三日發) ロンドン來電〓去る四日からロンドンで開催されてゐた英聯邦會議は十日間に亘る會議を経て十三日漸く閉會の運びとなり、同日次の聲明を發表した

一、各國間の論争を防止する唯一の方策は戦後米國と緊密な協力を維持するにある

一、英聯邦各代表はダンバートン・オークス案を慎重に検討した結果二、三の點で更に明瞭とし改善する必要を認めた

勞 働 黨 總 選 舉 に 決 戦 の 覺 悟

(ストックホルム十三日發) ロンドン來電〓英國勞働黨の領袖アーサー・グリーンウッドは十三日記者團と會見、来るべき總選舉に臨む勞働黨の方針を闡明、次の通り述べた

来るべき總選舉は假借する所のない決戦である
勞働黨は獨自の政綱をもつて獨自の政黨として全國民に訴へ、多數を下院に確保して勞働黨内閣を組織出来るやう決然努力を傾倒する方針である

カナダの總選舉は六月か

(ストックホルム十二日發) オッタワ來電〓カナダ首相マッケンジー・キングは十二日左の通り言明した

カナダ議會は十四日閉會の豫定であるが、閉會後四十八時間以内にカナダ聯邦の總選舉期日を發表する意向である

因にオッタワの政界筋では選舉は七月二十三日又は三十日行はれるものとみてゐる

【西 亞】

三國反樞軸宣言に調印

(リスボン十二日發) ワシントン來電〓サウヂ・アラビア、シリア、レバノン三國代表は十二日國務省において反樞軸宣言に調印する旨十二日公表された、既にイラク、イラン兩國は一九四三年反樞軸陣營に参加し、エジプト、トルコ兩國は去る

二月二十八日同宣言に調印してをり、今回の調印によつて西亞諸國は全部反樞軸國側に参加することになるわけである

アラブ五ヶ國は共同戦線

(リスボン十一日發) ダマスカス來電〓シリア首相ファイエス・エル・コリーは桑港會議に出席するためサンフランシスコに向け出發するに先立ち十一日夜新聞記者團と會見し次の通り語つた
桑港會議に招待されたアラブ五ヶ國は會議に臨み共同戦線を張つて相當な發言權を獲得する積りだ、アラブ各國は西亞の利害に關するすべての問題につき共に協議し、國際安全保障機構とアラブ國家との和合を圖るであらう、國際間の團結並びに小國の權利保護促進のために提案された各種の措置は非常に重要である、シリア並びに他の西亞各國は世界平和を維持する上にアラブ國家が演ずべき役割を果す覺悟である

白、土通商條約締結

(リスボン十一日發) アンカラ來電〓トルコ政府は十日つぎの通り發表した

トルコ政府はブラツセル政權との通商に關し協議中であつたが、漸く意見の一致に到達、十日通商條約が成立した

【 聯 】

ユーゴと友好援助條約成立

(モスクワ十二日發) ソヴェト政府はユーゴスラヴィア統合政權との間に期間二十年の友好相互援助條約を締結、十二日モロトフ外務人民委員とチトー首相との間に調印を了した、條約の内容は未發表だが、過般フランス、チエコスロヴァキア兩國と締結した條約と同種類のものとみられ、期間満了一ヶ年前に廢棄の豫告がない限り自動的に五年間繼續することとなつてゐる

モスクワ全市服喪

(モスクワ十四日發) モスクワ全市の官公署は十四日喪章を附した國旗を掲揚してルーズヴェルトの死を悼んだ



アンラ第二四半期報告

(リスボン十一日發)ワシントン來電「ルーズヴェルトは反樞軸救済復興委員會に關する第二四半期報告を十一日議會に送つた、要旨左の通り

反樞軸救済復興委員會(アンラ)はドイツ國內の八百五十萬に上る反樞軸諸國民を世話し、歸國させるため援助團體として十三名から成る少くも二百個の組織を作りつつある、この大規模な役員組織は歐洲侵攻反樞軸軍最高司令部當局の要請に基いて構成されるに至つたものだ、しかし人種及び宗教問題、または反樞軸側に對する協力運動等の理由で祖國から追放された者を除き敵國民を救助することはアンラの考慮に上つてゐない

昨年九月、施療、被追放民救助、小兒及び妊娠婦保護等を目的としてイタリアの部分的救助に關する特別規定が設けられたが、右の目的に支出される經費は總額五千萬弗に限定されてゐた、アンラは既に補給物資を解放地區に送ると共にその分配の援助をも開始してゐる、また數百萬に上る反樞軸諸國の被追放民の故國送還事業をも開始した侵略者が侵入する以前から侵攻後の占領期間中一貫してナチ勢力に抗戦し、現在盟邦軍隊と肩を並べて戦線に立つてゐる反樞軸の英雄的な諸國民に對しアンラは情況が許す限り速かに緊急且つ必須な援助を與へる覺悟である

戦争が續く間はアンラとしては軍の作戰が許す範圍内でしか解放地區民を援助することが出来ないが、これら戦争の犠牲者が自立すると共に勝利の獲得と永遠の平和樹立といふ共同事業において各々相應しい位置を占める力を回復するやう米國民はアンラの一員としてその救助に全力を盡す決心である

フランス、ベルギー、オランダ、ルクセンブルグ、ノルウエーの諸國はアンラに對して救護物資や救護員の派遣を求めず、アンラ代表が補給並びに必要な物資の調達、保健並びに社會施設、被追放

民の救済、農工業復興等の分野で各關係國政府と連繫を保つやう要請した

右のやうな代表團はすでにフランスへ派遣されルクセンブルグへは先遣隊が行つてゐる、また一隊は近くベルギーに向け出發の豫定だ、さらにアンラの役員は歐洲侵攻反樞軸軍最高司令部に配屬されてノルウエー以外の全地域に駐在し數百萬に上る被追放民の保健と保護に當つてゐる

ギリシヤ、ユーゴスラヴィア、アルバニアでは戦争狀態が續く間、軍當局が救済の責任を負ひ、アンラは援助のために技術員を軍當局に提供しよう、ポーランド及びチエコスロヴァキアでは、軍當局が責任を負ふ期間はないものとみられ、アンラの補給物資交附のため黒海の港を使用することと國內輸送路の利用とに關しアンラ當局とソ聯政府間に協定が結ばれた

敵國內及び敵國內から國外へ向けてのアンラの活動は極度の制限を蒙るのであるが、一例としては昨年九月のイタリアの部分的救済案を擧げることが出来る、敵國におけるアンラの最大任務は強制的にそこへ移動させられ、歸國の希望を持つてゐる數百萬の反樞軸國民を援助する事であらう東洋ではアンラとアンラの支援を乞ふた重慶政府とが目不廣範圍な救済復興計畫を立案しつつある、一九四四年の第四四半期には重慶にアンラ事務所が開設されたが、幾人かの支那人は既にアンラの出發で米國において救済事業の訓練を受けつつある

解放地區に對する補給物資を手に入れるため約七十五億弗に上る必要物資を輸入せねばならないしかるに解放された國は、大多數斯かる輸入物資を支拂ふに足るだけの外國爲替を持つてゐないため、必需物資も手に入れることが出来ず、ただアンラからの援助に俟つのみといふ有様だ、アンラは約二十億弗におよぶ救済物資の供給を行ふ意向である、十二月三十一日までには右二十億弗の提案額のうち總額十八億二千四百萬弗がアンラ運営資金分擔金として加盟各國の認可を受けた

米議會は先づ四億五千萬弗をアンラの出發總額分擔金の一部に當てた、アンラ當局は米國においては一時的に生じた餘剩物資や季節的な過剩物資を買ひ集めアンラの計畫で極度に必要とされてゐ

る不足物資の増産努力を促進し、アンラの豫定してゐる第一回の補給作業に備へて最少限度の備蓄をすることを援助し、製造に長期を要する商品の注文を先づ發しておく等補給物資の獲得に努めたアンラ當局が米國で弗貨をもつて購入してゐる主要商品は衣類、纖維製品、履物類、農産物資並びに農具類である

一石二鳥の精神療養所

米國の出征將兵援護局は精神病に悩む傷兵の療養施設について十日次の通り報告した

農藝に従事することは、肉體的にはかかる仕事に耐へられるやうな精神病患者にとつて療養ともなればまた職業ともなる非常に貴重な仕事の一つであることが判つた

出征將兵援護局療養所の役員の報告によれば土いぢりをさせてもよいやうな患者は、よく何日もの間少しも面白くないといふ風で他の患者達が草木の手入れをしたり、家畜の飼養をするのを眺めてゐるが、その中に大底の者はみづから畝の作物の間から雜草を引き抜き始めたり、牛馬の手入れを手傳ひ始めたりするといふことだ

患者が一度斯うした仕事に興味を持ち始めると熱心さは加はるばかりで急速に上達の跡を示すのである、一九四四年には總計一千九百七十四名の患者が二十九ヶ所の療養所で農藝に従事した

戦時下の必要に應じ、各療養所の食肉生産高は大量の家畜飼料を買入れる必要があつたにも拘はらず著しく増加した、二十七ヶ所の療養所では養豚数を増加したし、十二ヶ所の療養所では廣い土地があつたため新たに肉牛を飼ひ始めた

更に牛乳を十分なだけ確保することが難しくなつたため乳牛の飼育も従前より一層各療養所に普及し、牛乳の生産高は増加するに至つた

以上にみるやうな酪農作業並びに牧畜の普及傾

向は從來草木の手入れよりも家畜の世話の方を好んでゐたやうな多くの患者達の仕事振りに拍車を掛けることとなつたのである

療養職業の一部として農藝部門の諸計畫の實施に當つてゐる關係當局の統計によれば、患者が生産した食糧の總額は七十八萬二千八十弗四十二仙に達し、患者が野菜類や果實を栽培した面積は計一千二百エーカー(前年は四千三百四十エーカー)に上り、療養所で食用に供するために屠殺した牛は六百三十頭、十二ヶ所の療養所ではその他に食用として六千九百四十八頭の豚を屠殺したといはれる

その他農藝活動が収めた成績は左の通りである

果實及野菜罐詰	六三、二二八ガロン
牛乳	三二六、三四〇ク
鶏卵	一〇九、三六〇打
調理済み家禽	八三、八二四封度

將來の就業問題

(リスボン十二日發) ニューヨーク來電 米國の造船王ヘンリー・カイザーは米國における戦後の職業問題について十二日左の通り意見を述べた
米國における建設事業と日用品供給業とは、戦争直後の期間中三千万人に職を與へるだらう、三千万人といへば、優に米國勞働力の五割を超える數だ、家屋、道路、自動車、空港及び輸送施設の建設には千百五十萬人が使用され、さらにこの數字の二倍近くに上る勞働者が米國民の日用品生産工業に雇傭されることにならう、だが平時製造業が本當に軌道に乗るためには先づ工業家が原價を承知しておかねばならず、消費者側は値段を知る必要がある、われわれとしてはドイツが倒れたその日に戦後の物價基準を發表するだけの用意が必要だ

昭和二十年 四月十八日(水)
第三三九五號

同盟通信

海外電報

(86)

豫期されたジュコフ軍のベルリン攻勢は遂に

開始された、同時にイタリア戦線においても第十五軍司令マーク・クラークは春季攻勢を發表、第八軍はポー河口のアルジエンタを目指した第五軍はスベチア方面で全力を擧げて攻撃を開始するに至り、ここに歐洲戦局は最終局面を迎へることになった、ドイツの中原深く進出した米第九軍はすでにエルベ河を渡り第三軍はザクセンに侵入してドレスデン附近に迫り、第七軍はバヴァリアの要衝ニュルンベルグへ突入するといふ有様で將にドイツの運命は累卵の危きにあるといはざるを得ない、もつとも過去三週間に三百五十軒以上の距離を前進した米英軍の背後にドイツ軍のポケット陣地或ひは抵抗據點が多數ある事は事實で、ドイツ軍將兵二十萬が依然敢闘を續けてゐるオランダを始め、ルール地帯、北海沿岸地區等のドイツ軍が引きつけてゐる米英軍は、アイゼンハワー軍總兵力の三分の一に當るとさへ稱せられてゐる従つて極めて近い將來に米軍と赤軍が連絡に成功しても、



これは直ちに歐洲戦の終了を意味する事にはならない、しかしながら以上各地のポケット陣地といひ、ミュンヘンを中心とする南部山嶽地帯といひ長期に亘り大規模な抗戦を繼續し得るだけの生産力を保持してゐるかどうか、問題はこの點にあるヒトラー總統が十六日布告をもつて麾下の全將兵に一步も退くなと嚴命してゐるところから推測して、恐らく南ドイツの山嶽地帯にも十分な生産力があるとは思へず、ドイツ軍最高司令部はドイツの運命を賭けてあくまでベルリンを中心とし、エルベ、オーデル兩河に挟まれた回廊地帯を死守する方針とみられる、ロイターの傳へるところによれば、まさかの場合ドイツはベルヒテスガーデンに政府を移し、その統轄下に北部軍司令官ブツシュ大將、南部軍司令官ケツセルリンク元帥並びに中央軍司令官シエールナー元帥はそれぞれ最高行政權をも掌握することにならうといはれるが、大した擴がりも生産力も持たない地域によつて果して效果的抗戦を繼續し得るであらうか、一抹の疑問なきを得ない

目次

ヒトラー總統全軍に布告……………一〇五六

イーデン、新大統領と協議……………

外相會議を開催か……………

トルーマン施政方針を闡明……………

ハーレー、モンクワで協議……………

ソ聯

ナチ黨と國民とを峻別……………一〇五七

【反樞軸陣營】

モロトフ氏桑港會議へ出席……………

【歐洲】

ボノミ植民地に戀々……………一〇五八

バーデン・バーデン市軍政官……………

【米州】

戰爭裁判は政治的軍事的に……………

爆撃で日本工業を破壊……………

ベスレーム製鋼、勞働組合と新協定……………

【ドイツ】

獨市長叛逆罪で處刑……………

【特輯】

無條件降伏の方針と英國……………一〇五九

【軍事情報】

英國航空機生産狀況……………一〇六一

【資料】

英國の戦時勞働力……………一〇六二

獨遊擊組織の活動振り……………

ベルリンを正面に敵を撃て

Ⅱ ヒトラー總統全軍に布告Ⅱ

(ベルリン十六日發) ヒトラー總統は十六日東部戦線のドイツ軍全將兵に對して次の布告を發した

「猶太的ポリシエヴィストの強敵は遂に大軍を投じて最後の攻撃を開始した、敵はドイツを粉砕しドイツ國民を絶滅しよう」と試みてゐる、東部戦線のドイツ軍將兵諸士は全ドイツ婦女子の前に如何なる運命が待ち構へてゐるかを體驗によつて熟知してゐる筈だ、老人や子供は殺害されるだらう、婦人や娘はみじめな淫賣婦の境涯におとされるであらうし、爾餘の者はシベリアへ流されるであらう、ドイツは本年一月以來強固な戦線を構築するため萬策をつくした、多數の新鋭兵力をもつて補充された強力なドイツ軍砲兵及び歩兵は敵を邀へ撃つてゐる、戦線は突撃隊、豫備隊及び國民突撃隊等によつて逐次強化されてゐる、ポリシエヴィズムはこの度もまた常にアジアに見舞つたと同じ運命に見舞はれるだらう、我々は首府の正面で敵を出血せしめねばならぬしまた斷乎出血せしめるであらう、かかる重大危局に當つて陣地を放棄する聯隊乃至師團は卑劣將に唾棄に價する、彼らはドイツ諸都市において勇敢に恐怖爆撃に堪へてゐる婦女子の前で恥辱に塗れるのだ、余は諸士に警告する、自己のみぢめな生命を救ふためソ聯に備はれ、恐らくドイツの軍服を着用してドイツ人と戦ふ少數の卑劣な賣國奴の將兵を監視せよ

退却の命令を發した者は直ちに逮捕し、必要とあれば位階を無視してその場で銃殺の刑に處せ、もしも來るべき數日乃至數週間全將兵が義務を遵守するならば、アジアからの最後の攻撃は瓦潰するであらうし、結局は西方における敵の突破も潰え去るであらう、かくすればベルリンはドイツ人のものとして残り、ウイーンも再びドイツ人のものとなり、歐洲は斷じてソ聯のものとならぬであらう、單に祖國といふ空疎な概念を防衛するのではなく諸士の國土を、諸士の妻や娘を、諸士の子供をそしてわれわれ全體の未來を防衛することを

誓ひ火の玉となつて團結せよ、今やドイツ全民衆の熱い視線は諸士に注がれてゐる、ドイツ國民は東部戦線の諸士が不撓不屈の精神と優れた武器をもつてソ聯ポリシエヴィズムを血の海に溺らせることを期待してゐる、諸士が歴史に類例をみぬこの恐るべき戦争犯罪者の群を片付ける瞬間、今次戦争における轉換點が訪れるであらう

イーデン、新大統領と協議

(リスボン十六日發) ワシントン來電「英國外相イーデンは十六日午前國務長官ステニアスの案内でホワイトハウスに新大統領トルーマンを訪問し、首相チャーチルからのメッセージを傳達した後懇談を遂げた

外相會議を開催か

(リスボン十六日發) ワシントン來電「英國外相イーデン、ソヴェト代表モロトフ外務人民委員、ド・ゴール政權代表ビドー外相、重慶外交部長宋子文は今週末ワシントンにおいて國務長官ステニアスとの間に五國外相會議を開催、桑港會議への地均し工作を進めると見られる、右會談では特にポーランド問題の對策について協議が遂げられるよう

トルーマン施政方針

(リスボン十六日發) ワシントン來電「米國大統領ハリー・トルーマンは十六日十三時、上下兩院合同會議に出席して施政方針を闡明し、特に

世界戦争に對する聯合國の大戦略は依然不變且つ何らの障礙を受けてはならず、また受けぬであらうと述べた

ハーレー、モスクワで協議

(モスクワ十六日發) 重慶駐劄米國大使ハーレー少將はワシントンから重慶へ赴く途次、十六日空路モスクワに到着した、モスクワ駐劄米國大使ハリマンと協議した後重慶に歸任する豫定である

【ソ 聯】

ナチ黨と國民とを峻別

— 共產黨中央委員會宣傳部長の論說 —

(ストックホルム十五日發) ソ聯共產黨中央委員會宣傳部長ゲオルギー・アレクサンドロフ氏は十四日「ブラウダ」の紙上でさきにユダヤ系のソ聯作家イーリヤ・エーレンブルグが同じく「ブラウダ」及び「赤い星」紙上に掲載した『ドイツ國民はすべて「一個の巨大なギヤングの集團」でありドイツ國民は均しくナチ黨の犯した罪を贖はねばならない』といふ論說に反駁を加へ、ドイツ國民とナチ黨指導者とを峻別すべしと主張してゐるがこれはソヴェト政府當局の見解を代辯するものとして注目される、アレクサンドロフ氏の論說要旨次の通り

「ドイツ國民とナチ黨とは同じではない、同志エーレンブルグの論文を注意深く讀んだものは誰でも彼の基礎的論點が十分練れてをらず、明かに誤謬を犯してゐることに氣付くであらう、讀者は、ドイツ國民が單一の巨大なギヤングの集團であるといふ彼の言葉に同意出來ず、またドイツ軍が西部戦線から兵力を移し、これを擧げて東部戦線に集中した理由について彼が與へた説明に納得出來ないのだ、ドイツ國民がちぐはぐな氣持で戦争しかつ勝手に身を處してゐることは、誰にでもわかつてゐることであるし、また特に最近數ヶ月間の經驗によつて顯著な事實となつてゐる、このことは一般ドイツ市民のみでなくドイツ軍隊においても同様眞實である

若干のドイツ將校が残忍なやり口で戦争してゐるかと思へば、一方ではヒトラー總統やその一派に爆弾を叩きつけたリドイツ國民に武器を棄てるやうに説いてゐる者がある、スターリン元帥はドイツ軍隊と國民との間にこのやうなことの起るのを久しい以前から豫見してゐた、もしエーレンブルグの見解が正しいとするならば全ドイツ國民はヒトラー總統の一味と運命を共にしなければならぬ筈だが、これはソヴェト國民の輿論を代表するものではない、赤軍はヒトラーの軍隊の清掃のための戦争を遂行し、偉大な解放の使命を果しつ

ひある、しかし、ソヴェト政府はドイツ國民の絶滅を企圖したことは曾てなかつた、このやうなことは馬鹿げてをり、全く考へられないことだ、エーレンブルグがソ聯で犯したドイツ人の慘虐に斷罪を下してゐるのは正しい、しかし彼は遺憾ながらこの事實から誤つた結論を抽出してゐる、エーレンブルグはドイツ軍が東部戦線で頑強な抵抗を續けてゐるのは彼等がソ聯の領土で働いた慘虐行為の贖罪の日が近いのだ知つて恐れてゐるためだといふ、だがドイツ軍は同じことを米軍に對してもやつてゐるのだ、ドイツ軍が西部戦線から東部戦線に兵力を移した目的は、これによつて反樞軸陣營内に不和を植付け、戦争を長びかせようとしてゐるのだ、同志エーレンブルグの根據のない結論と推定は徒らに問題を紛糾させ、反樞軸陣營に不和を醸さうとするドイツの政略を暴露するのに役立つものでない」

【反樞軸陣營】

モロトフ氏桑港會議へ出席

(リスボン十四日發) ワシントン來電「ソヴェト政府はこれまで桑港會議にたいする首席代表としてワシントン駐劄大使グロムイコ氏を任命してゐたが、スターリン議長は突如計畫を變更、モロトフ外務人民委員を同會議に出席せしめる旨十四日大統領トルーマンに通告した、右に關し白聖館當局は次の聲明を發表した

十三日大統領は桑港會議に關する諸計畫についてスターリン元帥と協議中の駐ソ米大使ハリマンにたいし、モロトフ外務人民委員の桑港會議出席は、ルーズヴェルト大統領が作成しヤルタ會談によつて承認された新國際機構の方式設定計畫を推進せしめる上でのソヴェトの眞摯な協力を表明するものとして歓迎されるだらうといふことを、スターリン元帥に保證するやう訓令した

大統領はモロトフ氏のワシントン訪問を榮しみにして待つてゐる旨語つた、十四日大統領はスターリン元帥からモロトフ外務人民委員が桑港會議に出席するとの通告をうけた

【歐洲】

ボノミ、植民地に戀々

(リスボン十一日發) ローマ來電「イタリア傀儡政権首相ボノミは十一日記者團會見で、イタリア植民地問題につき次の通り言明した

イタリアがエチオピアを失ふは當然のことだがリビヤ、エリトリア兩地方の喪失は耐へ難い問題だ、舊ファシスト政府の植民政策は別に非難すべき點はないが、アフリカの植民地に莫大な資金を投じたにも拘はらず、結果は全く思はしくない、ド・ゴール政権はアフリカにおけるイタリア領を領有する意圖なき旨言明したが、一方エチオピア國王ハイレ・セラシエはエチオピアに對する海港を獲得するため、桑港會議ではエリトリアを要求するだらう

バーデン・バーデン市軍政官

(リスボン十四日發) パリ來電によれば反樞軸軍最高司令部は十四日元バリ駐割米國大使ウイリアム・ブリットを最近フランス第一軍の占領したバーデン・バーデン市の軍政官に任命したといはれるが、ブリットは現在フランス第一軍の連絡將校として服務中である

【米 洲】

戦争裁判は政治的軍事的に

(リスボン十五日發) ワシントン來電「米國大審院判事ジャクソンは十四日夜米國國際法學會において戦争犯罪人の審判に關し次の見解を披瀝した「この裁判は單に名目上だけでなく現實においても戦争犯罪により告發された被告に對する裁判でなければならぬ、もしその戦争犯罪人が自國民の間に傳説や殉教精神を生む傾向が強いとすればその被告は死刑に處すべきだ、だがその場合、死刑の判決は軍事的または政治的な決定として下されるべきで、豫め決定された政治上軍事上の政策を遂行し或ひは合理化するための法律上の手續きといった形式であつてはならない、余は決して戦争犯罪の被告を法廷に引き出すなど論じてゐるの

ではなく、「事前に決定せる結果を批准する」ごとき裁判に反對してゐるのだ、世の中には法廷が他の機關のごとく政治的兵器であつてはならない理由を認めない大儒者流があるが、かくのごとく法の唯一の源泉を權力なりとする輩が自己の權力主義の萌芽を歐洲において頂點に達せるそれと區別し得ないのは當然である、世界は恐らく一世紀をもつて改造されるものではないが、「將來の世界機構に仲裁と調整と和協の技術に關する手段を増大せんとする勇敢且つ眞摯なる努力」に對しては米國內に相當大きな全般的反響あるべきを期待してゐる」

爆撃で日本工業を破壊

(リスボン十四日發) グラム島來電「米第二十一爆撃隊司令官ルメーは十四日記者團に對し左の通り語つた

爆撃で日本の工業を破壊するには更に多數のB29を必要としよう、硫黄島基地の戦闘機をB29の日本空襲掩護に使用してゐるのには特別の目的があるが、これに關しては軍機上發表出來ない、しかし戦闘機の参加が以上の目的を達成してゐることは證明済みである

ベスレ・ヘム製鋼、労働組合と新協定

(リスボン十三日發) ニューヨーク來電「ベスレ・ヘム製鋼會社とCIO所屬の米國製鋼労働組合とのあひだに十二日新しい集團雇傭協定が成立、調印を了した、今回の協定は一九四二年八月十三日に調印された第一回協定に代るもので、一九四六年十月十五日まで有効である、右協定には夜間労働の場合一時間四仙乃至六仙のプレミアムを附ける件並びに戦時労働局の裁定した休日支拂ひ規定を含み、右協定により労働組合或ひは雇傭者は一切罷業に参加しないことになつてゐる

獨市長叛逆罪で處刑

(ベルリン十四日發) ドイツ前線報道によればヴァイツェンベルヒ市の市長及び醫師は米軍と同盟渡しの交渉を行つた廢で十四日軍法會議に附せられ、直ちに處刑されたといはれる



無條件降伏の方式と英國

長谷川才次

勞働相サー・アーネスト・ベヴィンは最近ニューヨークスルにおける演説で英國は今や追ひ分けに立つてゐると述べてゐるが、歐洲戦争の終結が間近といふ聯合國の觀測を前提とすれば、政戰兩略の分野において、即ち政略の面においてはチャーチル首相を中心とする戦争政治から戦後經營の施策へ移らねばならないし、戰略の面においては歐洲戰線から太平洋乃至東亞の戰線に重點を移さねばならない、最近ロンドン各紙の報道を拾ひ出して見ても例へば四月二日付の「デーリー・エキプレス」紙によれば、英國空軍省は農民のために初めて天氣豫報を出したといふし、四月三日付「デーリー・テレグラフ」紙によれば、燈火管制(デム・アウト)で自動車事故が少くないので、當局は歐洲大陸からの爆撃の危険がなくなり次第、燈火管制を撤廢する方針だと傳へ、更に「タイムズ」紙は四月四日付の紙上で歐洲における戰闘の停止が發令されると當日は官公衙その他各工場は一齊に休日とし、翌二日も引續き有給休日となる豫定だと皮算用に耽つてゐる、尤もドイツ國內の情勢に關し、英國の情報省がP・Aを通じて全國にバラ撒いた宣傳に關しては、例へば「デーリー・メール」紙は四月十三日の紙上で「ゲベルス博士は依然優れた宣傳屋だから、かかる噂話は留保を付して扱はねばならない」と述べ、「デーリー・ヘラルド」紙も「かかる報道には一切信を措かない」とてんで相手にしてゐないが、英國民が一日千秋の思ひで戦争の片付くのを待つてゐるこ

△カサブランカ方式を繞る角突合ひ

カサブランカ會談でルーズヴェルト大統領が提案し、チャーチル英國首相が同意して以來、聯合軍の表看板に掲げられてゐる無條件降伏の方式についても、米英兩國の意氣込みには可成りの逕庭があるのも同様な國民戰意の反映とみることが出

來よう、米國政府は未だいわゆる「日本處分案」について、正式な見解を發表してゐないが、太平洋問題調査會の報告や米國各紙の論調は「日本抹殺案」の一天張りだ、「ヘラルド・トリビューン」紙は最近の紙上で日本々士の「實體的占領」を主張してゐるし、人的資源委員長ポール・マクナツトは四月五日テネシー州のチャタノーガにおける演説で「日本人を根絶やしせねばならない」と暴言を吐いてゐる、もつともマクナツトは爾後國務省邊りから叱言を頂戴した様子で「以上の主張は單なる私見で米國政府の政策ではない」と辭つてゐるが、太平洋上における弗帝國主義の進路を阻む唯一の障礙たる帝國をこの際一舉に叩き潰さうといふ米國人の不逞な魂膽は誰が眼にも明だ、ところが英國の場合は大分調子が違ふ、歐洲戦争に關聯しては無條件降伏の方式について英國下院に屢々反對意見が出てゐるが、東亞反攻作戰についても英國財界の意向を代辯するものとみられる「エコノミスト」誌は二月二十四日の巻頭に「東京におけるゴタゴタ」(Trouble in Tokio)と題する論文を掲げ、極めて婉曲に無條件降伏案に疑義を挾んでゐる、右論文の大半は日本國內の情勢に關する生嚙りの認識を一步も出てゐないが、最後の一節は英國財界筋の意向を代辯してゐる意味で次に譯述しよう

△高價すぎる本土決戰

「日本人は新舊の植民地を喪失することを承知してゐる、しかし集團的餓死を免れ得るかどうかを知らない、今までのところ聯合國が聲明で日本國內の經濟組織の破壊を要求したことはないが、沈黙はそれ自體容認ではない、従つて降伏か最後まで抗戦するか選擇の背後にいづれの針路を辿つても全滅を免れぬのではないかとの問題が残されてゐる、即ち聯合國としては日本國內の情勢を覆へす力を持つてゐるわけだ、勿論媾和條件を極めることには危険もあり障礙もあらうが、反對に日本々土において最後まで戦争を遂行することは、聯合軍にとり信じ難い位高價につくに違ひない、また日本國內の經濟統制を全的に破壊してしまふ

結果、日本國內は勿論一部隣接各國も極度の窮乏に陥り、ために不均衡を惹起して將來の戰爭の原因とならうとの議論も成立たう、かう論じたからといつて必ずしも妥協の和平乃至交渉による解決を示唆する譯ではない、唯若し聯合國が日本抹殺の政策を迫るならば道遠くして多難だが、右政策を迫るのでないとすればこの點を判つきり言明することによつて何れか軍事上政治上の便益を得られようといふにすぎない」

以上の論文はいわゆる媾和條件を發表することによつて日本國民の戰意に影響を與へ「軍事上政治上の便宜」を得ることが出来るだらうと甘い夢をみてゐる點が致命的な錯覺に陥つてゐるが「エコノミスト」誌がかつて米國に對する公開狀を叩きつけた経緯を考へ合せれば、極めて婉曲ないひ廻はしの間に、無條件降伏の方式に對する英國人一部の不満と、一刻も早く太平洋の戦ひを片付けたいといふ焦躁とをみる事が出来る

△戦争に倦み疲れた英國

ストックホルムの齋藤特派員は以上の論文に關聯し、四月九日の電報で、次の見解を開陳してゐる

「米國があくまで無條件降伏の原則を固執してゐるのに反し、英國は今や長期に亘る苛烈な戰爭に倦み疲れて交渉による和平の希望を表明するに至つた、「エコノミスト」誌の論文はかかる動向の最初の現れである、尤も「スヴェスカ・ダグブラデット」紙が指摘してゐる通り、米國はあくまで無條件降伏を主張し、英國には米國の國論を動かす力がないのだから、帝國のとるべき道は米英兩國の東亞遠征軍を粉碎する以外にあり得ない、決定的勝利を確保して初めて帝國は獨立國家としての存立を維持し日本民族は一國民として生き残ることが出来るよう、英國は聯合國の脆弱點である、すでに戦ひに疲れた英國人は一度遠征軍が粉碎されるならば必ずや戰意を喪失するに違ひない、雲山萬里遙かに故國を望んで、全國民が堅忍持久、皇軍が米英兩國の遠征軍を叩き潰ぶして、最後の勝利を確保するまで斷乎抗戰することを希望して止まない」

殆んど同時にチューリッヒの堀口特派員は英國の内狀について次の觀測を傳へてゐる

「政治上軍事上の如何なる事件についても、右事件で世界戰爭が早く片付くといふ解釋を下さうとする英國最近の顯著な動向が消息筋の關心を呼んでゐる、東部戰線乃至西部戰線の推移についても然り、日ソ兩國間中立條約の不延長に關しても然りだ、以上の動向が希望的判斷に由來するは明かだが、だからといつて英國が妥協しようとしてゐる意味で、戰爭に倦み疲れてゐると斷定するのは間違ひだ、歐洲戰爭が片付けば次いで大東亞戰爭も終了するだらうとの希望が病める英國の體制に對し恰も媚藥のやうな働きをしてゐる、英國は戰爭が一日長引けば長引く程單に國際場裡の政治的經濟的地歩を失ふに至るばかりでなく、歐洲戰爭によつて導入された社會組織の變革を恒久化する結果となるのを懸念する意味で、正に戰爭に倦み疲れてゐる譯だ」

△深刻な歸還將兵私生活の問題

殊に恰度深刻な社會的變革が起つてゐる際、長期間夫婦が別居した後で、夫婦關係を調整することが如何に困難であるか、最近「ニューズ・クロニクル」紙は歸還將兵の私生活について詳細報道してゐる、或る妻は同紙に寄書して曰く

純粹に人間的な見地からいつて英軍の海外出征期間を引き下げることもよりも緊急不可欠の施策は絶對他にない、兵士とその妻にとつてこのことは食糧、飲料、衣類よりも大切である、これは決して誇張ではない

そこで同紙が實狀を調査した上で次の通り報道してゐる

一、或る將校が四年半海外に出征して歸國した時、妻は冷かな態度で離婚を申出でた、決して不貞の行ひがあつた譯ではない、夫が長い間留守にしておる間に妻は夫なしの生活にすっかり慣れてしまつたまでだ

一、或る兵士が四年半の出征の後片方の脚に負傷して歸國した、その間に妻は立派な軍需工場の監督になりすましてしまつた、負傷した夫を抱え

家庭に引込んで看護せねばならぬ、これからの生活考へて憂鬱だ」

但し復員後英國の歸還兵士が當面する問題は、これだけではない、第二に住宅第三に職場の問題が控えてゐる、そこで就職市場が氾濫状態を呈する前に出来るだけ早く除隊になつて適當な住宅と職場を見付けようとするのが人情だ、この意味で東亞反攻作戦は特に不人氣だ、遠征の困難且つ辛い諸條件に加ふるに、懸軍萬里東亞の戦線に行くのだから、歸休の見込みも乏しいし何時除隊になるかも分らない、英國が何んでも事件が起る毎にこれで戦争が早く片付くと判斷する所以だ

△當局も手をやく住宅

最後に英國における住宅について最近の情報を付け加へよう、ウイリントン保健相が下院で英國内でドイツ軍のため全壊乃至修理出来ぬまでに破壊された家屋は百二十萬三千七百二十戸、此處の住宅に住んでゐた市民は約八十萬と述べてゐるが、サンデー事業相躍起の努力にも拘らず、住宅難は容易に解決出来ず、保健省は四月三日次の通り警告してゐる

西部戦線の戦況好轉とともにロンドンから疎散してゐる市民の思ひは首都に向けられてゐるが當局が正式に歸つて來てもいいといふまで疎散市民が動かぬことを希望する、以上の警告を無視する市民にたいしては當局は何等の援助をも與へない、無計畫に歸還する市民はあらゆる困難を覺悟せねばならない

労働黨領袖アサー・グリーンウッド四月十二日の「自宅へ歸り度がつてゐる疎散市民に對し何が注意することがないか」との質問にたいし、チャーチル首相は次の通り述べてゐる

時機が熟するとともに政府は疎散市民にたいし相當な速度で無事歸還出来るやうな組織的取極めを通告しよう、ロンドン地區において非常に多數の住宅が爆破されてゐるので、右取極めが出来るとき疎散市民は受け入れ地區に止つてゐて貰ひ度い

【軍事情報】

英國航空機生産狀況

「ニューヨーク・タイムズ」紙一月二十二日號

英本國に視察に赴いた米國航空機工業技師團は全面的動員並びにV兵器の連續攻撃といふ惡條件の存在にも拘らず英國航空機工場があげた成果に深い感銘を覺えた、英國における航空機の研究、設計、生産はともに高水準を維持してゐる、即ち最近の白書によれば英國の航空機生産狀況はつぎの通りである

一九三九年(開戦以後)

内 重爆

二、九二四
なし

中型及び輕爆撃機

一、〇七二

戦闘機、海軍練習機その他

四四七

一九四〇年

一五、〇四九

一九四一年

二〇、〇九三

一九四二年

二三、六七一

一九四三年

二六、二六三

一九四四年上半期

一四、六〇九

内 重爆

二、八八九

中型及び輕爆撃機

一、三九一

戦闘機

五、六六五

總計

一〇二、六〇九

内 海軍機

約六、二〇〇

重爆

一〇、〇〇〇

中型及び輕爆撃機

一七、〇〇〇

高性能戦闘機各種

三八、〇〇〇

冷蔵血液の空輸

(リスボン八日發) ワシントン來電 米陸軍軍醫部外科局長代將フレッド・W・ランキンは八日左の通り發表した

今回前線用の血液冷蔵裝置が完成された結果今後は米國から歐洲へ向けて毎日完全血液が空輸されることとならう、舊式裝置では血液が十六日しか輸血し得る状態を保たなかつたのに反し新冷蔵裝置は二十一日間の保存を可能ならしめる、ニューヨーク及びワシントンでは毎日千二百パイントの血液を集め、二四・五パイント入りの冷凍容器中に密封保存することにならう



英國戰時の勞働力

「エコノミスト」誌

三月十七日

△英本國の女子軍屬、民防護團及産業部門における勞働適齡者男女合計

一九四三年九月	二二、二六五、〇〇〇
一九四四年六月末	二二、九五六、〇〇〇
一九四四年十二月末	二二、七一三、〇〇〇

△遊休勞働力

一九四四年六月	一〇二、〇〇〇
一九四四年十二月	一三〇、〇〇〇

△軍關係勤務者

一九三九年	四七七、〇〇〇
一九四一年	三、三七四、〇〇〇
一九四四年六月末	四、九六九、〇〇〇
一九四四年十二月末	四、九八三、〇〇〇
男子	四、五二六、〇〇〇
女子	四、五七、〇〇〇

△就業勞働力

一九四二年六月末	一七、四九四、〇〇〇
一九四四年十二月末	一六、五一七、〇〇〇
男子	一〇、〇七二、〇〇〇
女子	六、四四五、〇〇〇

○軍需産業

一九四三年六月末	五、二三三、〇〇〇
一九四四年十二月末	四、七五八、〇〇〇

○基本的産業並に勤勞（農、鑛、運輸、航海業）

一九四三年六月末	五、六三二、〇〇〇
一九四四年六月末	五、六八四、〇〇〇
一九四四年十二月末	五、六八五、〇〇〇

○第二次の産業（建築、配給、民需消費物資製造業）

一九三九年	九、二七七、〇〇〇
-------	-----------

一九四四年六月末 六、〇〇八、〇〇〇
一九四四年十二月末 六、〇七四、〇〇〇

獨遊擊組織の活動振り

（チューリッヒ九日發）スイス通信社ベルリン特電はドイツの地下抗戰組織「人狼團」に關して六日左の通り報じてゐる

ドイツの「人狼團」放送局は反樞軸軍占領地區におけるドイツ國民に抗戰參加を鼓舞し、對敵協力者と目されるドイツ人に警告のため現在定期放送を行つてゐる、武裝親衛隊に参加してゐない親衛隊員及び狂熱的なヒトラー・ユーゲントを主力とするこの「人狼團」組織についてドイツ人は盛んに議論を闘はせてゐるが「人狼團」はドイツが崩壊した場合にもなほ數年に亘つて活動を續けるだらうと信ぜられてゐる、戰爭中にはその活動目標は主として反樞軸軍並に赤軍の補充部隊や占領地駐屯部隊に向けられ、また市長や裁判官として反樞軸軍當局の命令に従ひ敵に協力するドイツ人に對しても既に一九四四年十一月發表になつた黑色部隊として行動する、戦後は占領地駐屯軍隊、指揮官及び反樞軸思想を信奉する新聞雜誌の編輯者、記者等の「賣國ドイツ人」に對して地下戰爭が續行されよう

「人狼團」の内部組織に關する詳細がわからぬのは當然だが、ただこの秘密組織は專屬の司法組織を持つてゐるといはれる、かうした司法組織はこの法律外の團體を脱して戦後市民生活を送らうと望むやうな「人狼團」員取締りのために存在する「人狼團」は古來の組織によつてドイツの被占領地區で地下運動を行ふのであるが、婦女子をも團員とする「人狼團」は一部の空想家が考へるやうに洞穴中に潜むものではなく、商人、知識階級、給仕、雜役婦、賣笑婦、自動車運轉手、鐵道官吏等々普通のドイツ市民と何ら變らぬ状態で大抵は町や村に住むのである、以上のほかに迫跡されてゐる團員や特殊任務遂行のために完全な非法生活を送る者のため秘密の隠れ家もある

昭和二十年四月十九日(木)
第三三九六號

同盟通信

海外電報

(87)

ルーズヴェルトの死は戦ふ米國にとつて有能な

戦争指導者を喪つた意味で大きな損失には違ひないが、それにもまして打撃なのは老獪チャーチルと水のやうに現實的なスターリンにすくなくとも五格で對抗出来る人物を喪つたことだ、新大統領トルーマンはまだ未知數といふほかはないが、この未知數といふこと自體後者がおちることを意味する、特にルーズヴェルトがクリミア會談でスターリンと個人的に諒解を遂げた點が多々あると考へられるだけに、トルーマンの出陣はだれが見ても頼りない、トルーマンの大統領就任以來各方面の關心を集めてゐるのは米ソ關係だ、米國言論界もスターリンを中心としてトルーマンとルーズヴェルトを更めて比較してみたとき深刻な不安に襲はれた様子で、最近三頭會談を要望する聲が頻りに聞えて来る、トルーマンも



重慶をまじへた四頭會談を早急に開催することを希望してゐるが、これも彼の胸中に沸る不安を反映したものともないわけには行かない、特に米ソ兩國間の懸案はポーランド

問題だが、スターリンはモロトフを桑港會議に出席せしめて米國を喜ばせた後で、またぞろワルシヤワ政權を桑港會議に参加させろと強硬に要求した、かうした變轉常なき態度はスターリンの常套手段だが、米國政界がポーランド問題も早く片付くと考へてゐるにも拘らず、案外スターリンに鼻面を引廻されるやうな結果になるかも知れない、ルーズヴェルトが死んだので一番がっかりしたのはスターリンだらうといふのが定説だが、スターリンは深い沼のやうな肚の底でにやりと北叟笑んでゐるかも知れない、チャーチルにしてもさうだいままでルーズヴェルト様々と奉つて屬國扱ひに甘んじてゐたが、これからは牛を馬に乗り換へて米資本主義と一戦を交へる肚を極めないと誰が否定出来るだらう

【目次】

再びワルシヤワ政權の参加を要求……………一〇六四

四國首腦會談を希望……………〃

米大統領武器貸與聲明……………〃

反樞軸軍全線で進出……………〃

モーデル元帥死亡……………〃

【米 洲】

新大統領演說要旨……………一〇六五

ブラッセルOWI分局……………〃

【歐 洲】

亡命ポーランド仲間割れ……………一〇六六

アレキサンダー豪語……………〃

歐洲戰略爆撃終る……………〃

芬商相訪瑞……………〃

【軍事情報】

米超驅逐艦進水……………〃

米、大型新病院船……………〃

【特 輯】

中立條約廢棄の反響……………一〇六七

赤軍航空隊伯林を空襲

(チューリッヒ十七日發)前線報道によれば赤軍爆撃機隊は十六日夜ベルリンを空襲、同時に英空軍「モスキート」爆撃機隊もベルリンを攻撃したが、これに對しドイツ空軍制空部隊のフォッケ・ウルフ一九〇戦闘機隊は直ちに邀撃、ベルリン上空で熾烈な空中戦を交へたといはれる

再びワルシャワ政權の参加を要求

(リスボン十七日發) モスクワ來電によればソヴェト政府は十七日タス通信社を通じて重ねてワルシャワ政權の桑港會議出席を要求、次の聲明を正式に發表したといはれる

ソヴェト政府はポーランド假政府代表を桑港會議に出席せしめ、會議の書記の一員とすべきことをここに重ねて要求する、現下ポーランド新統合政府の樹立工作に當つてゐる米英ソ三國委員會がいまだ何等の成果をも擧げてゐない事實に鑑み、以上の措置は當然のことである

以上のソヴェト政府の再聲明はポーランド問題に關し一步も譲らぬ強硬な態度を示したものとみることが出来るが、モロトフ外務人民委員の桑港會議出席は米國に好感を與へた様子で、ソヴェト政府の聲明にも拘らず、ポーランド問題の解決も間近とする見解が擡頭してをり、ワシントンからのAP電報もかうした樂觀論を反映して次の通り述べてゐる

モロトフ外務人民委員のワシントン訪問により二ヶ年間に亘るポーランド紛争も漸く解決の緒につく見透しが拓かれるに至りワシントン政界筋ではポーランド新統合政府樹立に關するスターリン議長の反對點も一切解消したといふ噂が流布されてゐる、いづれにしてもモロトフ氏がワシントンに到着すれば、問題の雲行は一段と明確になるであらう

四國首腦會談を希望

(リスボン十七日發) ワシントン來電「新大統領トルーマンは十七日最初の新聞記者團會見を開き次の通り述べた

「余は最近のうちに反樞軸主要各國首腦と會見したいと思つてゐるが特にチャーチル、スターリン、蔣介石三者との會談を希望してゐる、しかしまだ四頭會談開催の具體的準備を開始したわけではない、一方フランスのド・ゴールとも彼が希望するならば會談しよう、桑港會議には余は依然として出席しない豫定だがラジオを通じて各國代表歡迎の演説を放送する計畫だ、モロトフソヴェト外

務人民委員とは彼がサンフランシスコに赴く途次ワシントンで會見することとなつてゐる

米大統領武器貸與聲明

(リスボン十七日發) ワシントン來電「大統領トルーマンは十七日第三次武器貸與法延長法案に署名、貸與法は明年六月三十一日まで延長することとなつた、トルーマンは右署名と同時に次の聲明を發表した

我々の標語は日獨兩國の無條件降服が然らずんば完全撃破である、歐洲の西部戦線では英、佛蘭、白その他の反樞軸諸軍が武器貸與法による武器をもつてドイツの心臓部に迫り、東部戦線ではこれまた赤軍が武器貸與の武器をもつてドイツの軍事力を破壊しつつある、一方太平洋戦線でも重慶、英、濠、ニュージールランド等の軍隊が武器貸與の援助を得て米國軍と共に今や東京の玄關を叩かんとしてゐる、武器貸與こそ最短期間に最少の犠牲をもつて反樞軸軍に完全な勝利を齎らす有効な道具である

反樞軸軍全線で進出

(ベルリン十七日發) 總統本營十七日發表「オランダにおいて敵はアルンヘム附近の侵入地域を西方に擴大、グロニンゲンでは激戦が続けられてゐる、フリーソイテとヴァイルデスハウゼンとの間の突出部においてドイツ落下傘部隊並びに擲弾兵隊は再び敵の突破企圖を阻止した、ヴェルデン東方及びウルツェン地區において有力な歩兵並びに戦團部隊をもつて攻撃中の敵は數個の都邑を占領更にリユーネブルガー荒地帯の東北部にまで進出した、ルールとラインとの中間のドイツ軍は二集團に分れそれぞれ非常に壓縮されてゐるが、依然優勢な敵と激戦を展開してゐる、デュッセルドルフ守備隊は敵の降伏勧告に對し敵戦車十七臺を撃破してこれに答へた

モーデル元帥死亡

(リスボン十七日發) ロイター前線報道によれば前ドイツ北部集團軍司令官モーデル元帥はルール

のポケット陣地内で死亡したといはれる

【米 洲】

新大統領演説要旨

(リスボン十六日發) ワシントン來電 上下兩院合同會議における新大統領トルーマンの演説要旨次の通り

△平和と自由を防衛

故ルーズヴェルトは決して過去を回顧しなかつた、ただ前方を望みひたすら前進した、故大統領が生命を捧げた理想のために既に多くの血が流された、われわれは勝利のための困難な戦いにおいて一瞬といへども手を休めてはならない、今日全世界は米國を平和と進歩へのよき指導者と見做してゐる、余はこの最高の理想を達成するため余を支持せしめられんことを全米國民にお願いする、余もまた全身全霊を捧げて平和と自由を防衛することを全米國民に誓ふ、これこそ余の義務である

日獨兩國は米國が最後の一片を破摧するまで戦ひ抜くことを疑ふ餘地はない、われわれの前途にまだ幾多の困難がある、併しわれわれの要求は常に唯一つ、即ち無條件降伏である、とへ地の涯まで追ひかけようとも戦争犯罪者を罰するわれわれの決意は微動だにしない、現在米國軍は勇敢な同盟諸國の軍隊と共に自由を防衛するために高價な犠牲を拂ひつつある、われわれは迅速な勝利を希望してゐる、一日平和の日が遅れる毎に尤大な死傷者を出すからである、反樞軸の大戦略は既に決定された、故ルーズヴェルトの考慮してゐたことは細目に至るまで餘すところなく實施されてゐるわれわれは米軍首腦の有効適切な指導下に大戦略におけるわれわれの分擔部分を遂行してゐる

余が就任の宣誓をしてから一時間後に余は桑港會議が遅滞なく開催されることを聲明した、われわれは戦争の諸問題に直面したと同じ勇氣をもつて平和の諸問題に直面しよう、單に平和を希求するだけでは不十分である、われわれは平和を確保するため額に汗して働かねばならず、必要とあれば戦はなければならぬ、堅固な國際組織を創設する事業は複雑且つ困難である、しかしながらかかる組織がなければ人類の權利を保護することは

不可能である、またかかる機構がなかつたならば全世界は一大軍營と恐るべき紛争は避けられない

△侵略者を粉砕せん

一部の人々は絶望にかられて戦争の避け得ぬことを確信するに至つた、彼等は悲劇的運命論をもつて戦争は必然であり、將來も戦争を絶滅することとは困難だと主張してゐる、恐るべき今次戦争の暗澹たる時期に各國民は勝利への道を指示する希望を固く抱いてゐた、しかしながら希望のみで戦争を回避することは不可能だ、われわれは希望するばかりでなく平和への信念を持たねばならない、希望は侵略者を抑へることが出来ない、平和を愛好する諸國民が一致團結して自らを防衛するときのみ侵略者を粉砕することが出来る、もしも將來の戦争が避けられるものとするならば各國民は一致團結して法の下に平和を維持する決意を固めねばならない、大國が平和の確保に特別の責任を負ふべきは言ふまでもないが、責任は大國も小國も共に負ふべきであり、法を守る以外國際關係において武力を行使することは正しくない、大國の責任は奉仕するにあり、世界を支配することではない筈だ

△世界最強の地位を確保

恒久の平和を基礎づけるためには盟邦諸國と協力しなければならぬが米國民の一致した支持をも必要とする、余は政黨、人種、信仰を問はず全國民が強力な國際組織の創設に支持を惜まぬことをお願いする、今日米國は世界の最強國となつた、われわれは今後もこの地位を確保しなければならぬ、われわれはわれわれの自由を防衛するため、他國民と力を合せて戦ふことを學んだ、今や相互の福祉のために他國民と仲良くすることを學ばねばならない、われわれは他國と交易し相互の利益のために全世界の生産を増大し、生活水準を上せしめることを學ばねばならない

ブラッセルOWI分局

(リスボン十四日發) ブラッセル來電 ブラッセルに滞在中の米國戰時情報局總裁エルマー・デーヴィスはブラッセル分局新設の準備工作を完了、十三日ブラッセルを出發した

【歐洲】

亡命ポーランド仲間割れ

(ストックホルム十六日發) ロンドン來電「前亡命ポーランド政權首相ミコライチクは十五日次の通り聲明した

ポーランド將來の政策の核心がソ聯との緊密な友好關係にあるに鑑み、余はクリミヤ方式による新ポーランド統合政權の樹立を全幅的に支持する

他方亡命ポーランド政權首相アルチシェフスキーはこれに對抗して反樞軸諸國との友好關係の枠内でソ聯と緊密な協力を維持することがポーランド將來の政策だと表明

クリミヤ決定を無條件で承認することはソ聯の駆引屋どもを有利にすると同時にポーランド各政派の要人を自發的に「行方不明」にさせポーランドの眞の利益を擁護することを著しく困難ならしめるものだ

とミコライチクを痛烈に攻撃した

アレキサンダー豪語

(チューリツヒ十五日發) ローマ來電「地中海方面軍最高司令官アレキサンダーはイタリア戦線の英第八軍が今回の攻勢を開始するに先立ち、記者團に對し左の通り聲明した

今や重大局面が展開しようとしてゐる、わが軍は既に最終戦闘の準備成つて横隊を組み了つたイタリア戦線のドイツ軍は正に破局に直面しつつあるのだ、早晚わが軍は赤軍との連繫を達成しよう、ドイツ軍はも早イタリア脱出を試みないであらうが事實ドイツ軍司令フイーディングホフ上級大將はドイツ軍の離脱を企圖しても實行し得ない状態にあるのだ、フイーディングホフ上級大將は破滅の淵に臨んでゐる、一體赤軍が春季大攻勢を開始した場合、ドイツ軍最高司令部はどうする決心なのであらうか、過去六ヶ月間地中海方面軍は反軸樞軍最高司令部の指令に従つて出来る限り多數のドイツ軍部隊を釘付けし、逐次これを破砕して行くことに努めた、目下チトー軍はドイツ軍十四ヶ師團を相手に活

潑な戦争を遂行してをり、ダーダネルス海峡は啓開されて赤軍は黒海から米英軍の補給を受けつつある

歐洲戰略爆撃終る

(リスボン十六日發) パリ來電「米軍歐洲戰略航空隊司令官カール・スパーツは十六日左の布告を發した

米軍戰略航空隊は以後地上部隊の作戰に協力するため、戰術航空隊と共同作戰を行ふであらう地上部隊が進出した結果米軍戰略航空隊が遂行して來た戰略航空戰は終了するに至つた

芬 商 相 訪 瑞

(ストックホルム十六日發) フィンランド商相ガルツは十六日ストックホルムに到着、數日間滞在の豫定である、フィンランドでは五月一日からパン及び砂糖の配給制が實施されることとなつてをり、同國の食糧事情が窮迫を告げてゐる折からガルツのスエーデン訪問は食糧問題を中心にスエーデン政府當局と種々協議するためとみられてゐる

【軍事情報】

米超驅逐艦進水

(リスボン十六日發) ワシントン來電「ニュー・ジャージー州カーニの造船所において十五日超驅逐艦オグレスoup號(一萬四千噸)及び戰車輸送船ジャイアット號が進水した

米、大型新病院船

(リスボン十五日發) ニューヨーク來電「米國政府は十三日次の通り發表した
二萬三千三百九十一噸の大型病院船「アルダ・リッツ」號は豫定よりも三週間早く試験航海を終へ、近日中に戰闘地域に向ふこととなつた、同號はフランス定期船「コロンビイ」號を改造陸軍航空隊所屬の一看護婦の名に因んで命名されたもので、十階建の病院と同じ大きさと設備を具へ、收容力は患者八百名、軍醫十八名、看護婦四十四名、その他助手百八十八名、合計一千五十名である

希望と現實

中立條約廢棄の反響

原子林二郎



△通告の根本動機

ソ聯の日ソ中立條約不延長通告は日本の當然豫期してゐたところであり、且つ十分の對策も既に樹立されてゐたと思ふが、それにも拘らずソ聯今回の措置が明白に日本にとつて一の打撃であり、大東亞戰爭における日本の地歩を一段と惡化させるものであることは、米英兩國の反響を俟つまでもなく蔽ひ得ぬ事實だ、この點でわれわれは空疎な強がりを言ふことを止めよう、それは反つて日本の立場を實際に惡化させるに役立つだけだ、約一ヶ年前からソ聯の言論界が日本の「帝國主義」を公然と攻撃し始めたこと、特に「ブラウダ」紙や「戰爭と勞働階級」誌などが日本通イェー・ジューコフや軍事評論家エム・トルチェノフ大佐を動員して日本の國內態勢の緊迫や太平洋戰における日本の地歩の惡化を定期的に説かせたこと、スターリンが昨年の革命記念演説で初めて公然と日本に「侵略者」のレッテルを貼つたこと、また最近ではトルコとの友好中立條約を廢棄して道を清めたこと等は、いづれも日本に對するソ聯今回の措置に導く必須の前提であつた、しかしソ聯が今回の措置を採るに至つた動機を規定するものは、なによりもまづ日ソ兩國間の力關係の急激な變化であり、ソ聯が日本の中立を必要としなくなつたと考へた點にある、即ちソ聯が日本と中立條約を締結した眞の理由は、ドイツが一九三九年八月ソ聯と不可侵條約を締結した動機と同様、二正面作戦を回避するにあつた、しかるに、ソ聯が歐洲戰の終結間近しと考へてゐる今日、ソ聯にとつて一應二正面作戦の危險は消滅したのであるから、特に日本との友好關係を希望してゐない限り、ソ聯にとつて日ソ中立條約を維持する必要はないわけだ、しかもソ聯が「特に」日本の友好的態度を希望する理由はどこにもない、これがソ聯が今回の措置をとるに至つた根本の動機であり、發條でも

ある

△西の爲に東をだし

しかしながら二正面作戦の危險が消滅したからといつて、ソ聯が日ソ兩國の力關係が著しく變化したと考へたからといつて、そればかりでいゝ急に日ソ中立條約の不延長をどうしても通告する必要は一向にない、すくなくとも日ソ中立條約が存在しても別に邪魔にならぬ筈だ、とすると他にも動機を求める必要が生じてくる、まづ第一に考へられるのは、クリミヤ會議以後における米英ソ三國の關係が激化してゐるのに對する鎮靜劑としての役割である、「ノイエ・チュリツビア・ツアイツング」紙のロンドン電報は四月七日ソヴェト政府の日ソ中立條約通告は

ポーランド問題に關する爭論、桑港會議に對するソ聯の氣乗薄の態度から生じた米英兩國の惡感情、その他政治上の意見齟齬による最近の米英ソ三國關係の緊張を一夜にして水に流させる底のものであつた

と觀測してゐる、具體的にいへば、ソ聯が桑港會議に子飼ひのワルシヤワ政權を參加させると横車を押して米英兩國政府に一蹴され、兩國の輿論を酷く刺戟したこと、クリミヤ會議の祕密協定で桑港會議における英聯邦の六票に對抗して米ソ兩國がそれぞれ三票を確保することに關引したことが明るみに出て、米英特に英國の輿論を憤激させたこと、ソ聯がルーマニアに獨自の政策を遂行して、クリミヤ會議の決定に違背すると米國の干涉の口火を切つたこと等々、最近における米英ソ三國關係は誰がみても「油のやうに滑か」ではなかつた、ソ聯は以上のソ聯の自主的政策による米英兩國の反感を「宣撫」する傍ら、目的を貫徹する必要に迫られて、以上の措置を採つたとみることが出来る、否、ソ聯のやうに何手か先を讀んでから石を打つことを常套手段とする國では、大いに考へられることだ、英紙「オブザーヴァ」のワシントン電報も四月八日

ソ聯の日ソ中立條約廢棄は桑港會議で三票の代表權を要求して失墜した米國輿論の好感を回復

しようといふ狙ひであることは明瞭だ、米國の消息筋は最近ルーズヴェルトがクリミヤ會談でスターリンに大きな譲歩をしてゐるのだから、スターリンも何か反對給付を約束したに相違ないと言張してゐたが、ソ聯今回の措置でスターリンの代償がなんであつたかはつきりしたわけだ

とといひてゐるが、春秋の筆法をもつてすればスターリンは歐洲問題で有利な地歩を占るために、東亞問題をだしに使つたといふことになる

△米は有難迷惑

「ノイエ・チューリツヒアー・ツアイツング」紙のロンドン電報によれば、英國の消息筋はソヴェト政府の日ソ中立條約廢棄は、クリミヤ會談の秘密協定によるものだといふことだが、外國記者の「ソ聯は今回の措置に先立つて英國政府に通告したか？」といふ質問に、英國政府のスポークスマンが否定もしなかつたが、はつきり肯定もしなかつたといふ點が、誰しも疑問を持つところだらう、從來かうした問題では米英兩國政府とも聞かれぬ前に「事前に通告があつた」と稱して三國間の完全な協調關係を誇示するのが常例だが、この場合には以上の「宣傳效果」を意識的に利用しなかつたことはどう考へても面妖だ、そこでソ聯は日ソ中立條約の廢棄を種に、米英兩國のあまり歓迎しないことを狙つてゐるのではないかといふ疑問が當然生じてくる、「オブザーヴァー」紙は四月八日

米國の消息筋はスターリン今回の措置が米英兩國の壓迫に譲つたものではなく、極東におけるソ聯自身の利害關係から出發して、極めて現實主義的動機から中立條約を廢棄したのではないかと觀測してゐるやうだ、すくなくとも米國の有力筋は第一にソ聯は極東においても自國の利益のみ追求するであらうから、第二に太平洋戰における米國の地歩は最近著しく改善された結果、米軍が獨力で戰線を日本々土の入口まで押し進めることが出来るやうになつたため、他國の援助を必要としなくなつたので、米國はソ聯の對日參戰を望んでゐない

と論じてゐるが、米國としてはソ聯が歐洲を引掻き廻すばかりでなく、東亞まで引掻き廻されてはやりきれないといふのは穿つた見方だ、多少われわれにとつては希望的觀測に墮すかも知れぬが、米國は自己の繩張りとして獨りぎめした東亞にソ聯の獨自の政策の手が伸びるのを、あまりこころよしとする筈はなからう

△極東で何を狙ふ？

この點について「オブザーヴァー」紙がどう觀測してゐるかきいてみよう、同紙は四月八日の社説で次の通り論じてゐる

ソ聯は新たな極東問題の解決に深甚な關心を寄せてゐる、ソ聯の志向するところはポーツマス條約以來ロシアの犠牲において日本が手に入れた陸上戰略地位の一切を日本から剝奪するにある、ソ聯の極東問題解決計畫は旅順港の還附、朝鮮を獨立せしめてソ聯の勢力圏内に含めること、東支鐵道の接收、樺太南部の獲得、滿洲を勢力圏内に含めると同時に獨立國家とし、外蒙古と内蒙古を統合せしめる等だ

勿論ソ聯が極東において何を希望してゐるかを知らずには、帝制ロシアの極東における帝國主義政策の歴史を一瞥すれば十分である、果してスターリンが現下の事態においてなにを狙つてゐるかは豫想の限りでない、しかしながらソ聯が歐洲において自國の國境の安全を保障するために「友好的な」ポーランド、チェコスロヴァキア、アバルカン諸國を必要とすると同様なことが、極東においても考へられはしないであらうか、この點で特に興味があるのは、昨春秋國立文藝出版所から出版されたセミヨノフの「旅順港」と題する大作だ、この作品は腐敗の極に達した帝制ロシア軍の兵士の旅順港における「英雄的」鬪争を詳細に敘述したものが、問題はこの作品そのものよりも寧ろ「ブラウダ」、「イズヴェスチヤ」兩紙に現はれた批評だ、たとへば「ブラウダ」は「旅順港はロシア本來の領土である」といひ「イズヴェスチヤ」は「ロシア人は旅順港を失つたことを今日に至るも哀しんでゐる」と稱してゐるとすれば

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

「オブザーヴァ」紙の觀測も既に常識と考へねばならぬのではなからうか

△重慶歡迎せず

茲で論理の必要上「オブザーヴァ」紙の觀測する如きことをソ聯が極東で希望してゐると「假定」しよう、これが米國の利益とどう衝突するかが問題となる、しかしこれとてA. Whitney Griswoldの“The Far Eastern Policy of the United States”とMorse MacNairの“The Far Eastern International Relation”あるひはカントロヴィツチの「支那制覇戦と太平洋」を一讀すれば十分だ、即ち米國が近代帝國主義の第一歩を踏み出してから直ちに着目したのは支那大陸の帝國主義的支配であり、それは具體的には滿洲においてロシアの帝國主義的野望と正面衝突せざるを得ない、そこで「オブザーヴァ」紙のいふソ聯の極東における志向と米國の利益との葛藤を理解するためには、支那を中心にして考へる必要がある、この點で「ノイエ・チュリッヒャー・ツァイツング」紙は四月十日の社説で次の通り論じてゐる

日本は從來たとへソ聯が中立條約を遵守してゐても、日本とともに米英兩國に對抗してアジアを飽くまでも守り抜かうと考へてゐるのではなく、中立條約を利用して米英兩國をして常にソ聯に讓歩させる傍ら、日本を瞞着しようと圖つてゐるのだとみてきた、日本はドイツの壓迫下にドイツ軍のクリミア占領當時か或ひはスターリングラードの危機に際しソ聯の背後を衝けば衝くことが出来た、しかるに日本はこの機會を逸し、爾來日増しに強力となるソ聯の好意を得ることのみに汲々としてきたのだ、ソ聯の主張によればソ滿國境紛争はソ聯の満足すべき解決をみてゐないといふ、従つてこの點でもソ聯は對日宣戰の口實をもつてゐるわけだ、米英新聞はソ聯が對日戰に参加すれば、樺太南部を要求するだらうとみてゐる、更に注目すべきはソ聯の中立條約廢棄が重慶に悲觀的な反響を喚び起してゐることだ、重慶政權はソ聯が日本に宣戰しようとしまいと、支那大陸における日本の領

土を要求するであらうとみてゐる、事實戰後滿洲が重慶に返還されるかソ聯に與へられるかは問題だ、もしもソ聯がソ滿國境の大掛りな改訂を要求すれば、重慶に残されるものはあまりあるまい、重慶が外蒙と旅順港及びそのヒンタールンドを要求してゐることは周知の事實だ、ソ聯が中立條約を遵守してゐる限り重慶はカイロ協定の枠内で自己の要求に對して米英兩國の支持を期待出来た、また米英兩國は最近ソ聯がシベリア國境線に日本の大軍を釘付けにしてゐたと稱してソ聯の日ソ中立條約維持に感謝した事實がある、しかしながらソ聯が公然と日本に宣戰し、米國がソ聯の空軍基地を借りることが出来るとすれば、米英兩國は重慶の犠牲においてソ聯に大きな讓歩を止むなしくしなければならぬ、してみればソ聯の中立條約廢棄は重慶のみならず、米英と重慶との間に極めて微妙で落着きのない多くの問題を發生せしめずば措かない

△微妙な米國の態度

米英兩國が重慶の犠牲においてソ聯に讓歩することは、米英兩國が「自分の皮を削いて」ソ聯に與へると同じことだ、すくなくとも米國は今次大戰では支那制覇戦で英國に勝を制した、米國は支那の植民地化において支那を尤大な帝國主義市場と化す見透しを拓いた、併しこの可能性が現實性に轉化するためには極東における米國の潛勢的な強敵ソ聯を止揚する必要がある、しかるにソ聯の中立條約廢棄は極東におけるソ聯の發言權を具體的なものとし、米國の潛勢的な強敵を現實の強敵と化す契機をつくつた、換言すれば支那を植民地化し、滿洲を市場と化さうとする米國の野望は、ソ聯の發言權獲得によつて制肘されるに至つたわけだ、「ニューヨーク・タイムズ」紙が四月六日の社説で「ソ聯の中立條約廢棄により桑港會議で極東問題が上提されることはもはや決定的事實となつた」と述べてゐるのも、米國の不安を代辯するものとみられぬこともない

そこで問題となるのはソ聯今後の出方だ、言葉を換へていへば、ソ聯が直ちに宣戰を布告することが極東に對するソ聯の發言權を強化するか、或ひは現狀を維持することが米國に對するソ聯の地歩を逆に強化するかの問題である、この點に關しては米國新聞界は政府檢閲當局の嚴重な制約を受

けて一切臆測を許されてゐないことをまづ留意する必要がある、即ち米國政府はソ聯の對日參戰に觸れて貰ひたくないのだ、そのことはまたソ聯の參戰が戰爭の終結を早めるといふ意味で一見米國に有利であるにも拘らず、そのことを表立つて宣傳したがるぬといふ甚だ微妙な空氣を暴露するものである

△參戰か現狀維持か

米國がいひたがらぬならば、ほかの國の反響を探つてみるほかはない、英紙「デーリー・メール」の外交記者は四月六日

今日までのところソ聯が宣戰する徴候は全然みられないが、近く行動に出ることは十分豫想される、恐らくソ聯の次の措置は外交關係の斷絶であり、ついで宣戰といふ段取りであらう、すくなくともソ聯は日本がドイツを積極的に援助したといふ一事で十分の口實を発見出来る筈だと論じて、參戰の近きを豫想してゐる、英紙「オブザーヴァー」も「デーリー・メール」と同じ見解で、まづ外交壓迫を加へ、しかる後宣戰といふ段取りと考へてゐる、中立筋では「ノイエ・チューリッヒアー・ツァイツング」紙も參戰の近きを豫想してゐるが、「タート」紙のストツクホルム電報は、四月八日「ソ聯は桑港會議以前の鬱陶しい雲圍氣を一掃するまでは參戰しまい」と觀測して歐洲問題におけるソ聯の主張が通るまでは、中立國として留まるであらうとみてゐる、「タート」紙の觀測を換言すれば、ソ聯の參戰は桑港會議の成行次第といふわけだ、「ガゼット・ローザンヌ」紙も四月六日の社説で

一、米國が對日戰で躍起となつてゐる間にソ聯は經濟的にも政治的にも極東に勢力を伸張するた

め
一、ソ聯は對獨戰が軍事的に疲勞してゐるから大なる關東軍に對抗することは事實上不可能だから

といふ主な二理由を擧げてソ聯の參戰を疑問視してゐる、更にスウェーデンの「ダーゲンス・ニユヘテル」紙は四月七日の社説で「ソ聯の參戰は米國に對する切札を出しきることを意味するから、ソ聯の參戰は、可能性のままに留めておく方が有

利だ」と觀測してゐる

△切札を使ふか？

スイスの「ヌーシヤテル」紙は四月九日の社説で興味ある觀測を行つてゐる

日ソ斷交が米英兩國の歡迎するところかどうかは大いに疑問だ、ソ聯の對日戰援助は軍事的には一應歡迎されてしかるべきだらうが、その後が悪い、ソ聯は代償として當然「勢力圏」を要求するであらうから事態は歐洲の再現とならうソ聯が參戰すれば北支はアジアのポーランドとなる、これは重慶は勿論、米國にとつて鳶に油揚げをさらはれるやうなもので、痛し痒しでは濟まなくなる、米英兩國が極東で失墜した威信の回復に努めようとするならば、對日戰を獨力で遂行することが望ましいわけだ

ソ聯の參戰が米國にとつて好ましくないならば、米國に對するソ聯の切札は切札でなくなることはいふまでもない、一步譲つてソ聯の參戰が切札であるとしても、ソ聯が棚曝しにしておけば、切札は切札でなくなる、ソ聯の極東に對する關心は歐洲に劣らぬ筈だ、特に歐洲においては英國に對抗し、英國の上手をゆく基礎は既に固められてゐるが、米國と直接對峙するのは極東においてでありその意味においてソ聯の極東に對する關心は歐洲以下といつても過言ではあるまい

以上述べてきたことは、われわれにとつて多少とも希望的觀測とみられぬ節がないでもない、しかしながら極東問題で米ソ兩國が組打ちをするのは、なにも希望的な觀測でなく嚴乎たる歴史的事實だ、くどいやうだが、極東における米ソ交渉史を回顧してみれば疑問の餘地はない筈だ、しかしながら希望的でないのはソ聯の今後の出方であるスターリンの如き冷靜な打算家が切札をしまひ込んで寶の持ち腐れをする筈はない、一九三九年ソ聯はドイツとの不可侵條約を利用してポーランド東部に侵寇して、強固な既成事實を作り上げた、一九四五年か四六年かは知らぬが、ソ聯が米國との同盟關係を利用して日本の背後に匕首をつきつけ、滿洲に兵を進めぬと誰が斷定出来るだらう、ソ聯がドイツとの戰爭で困憊し切つてゐるから、對日戰の餘裕などないかと考へることこそ、甘い希望に過ぎない、現實はもつと冷酷だ

昭和二十年 四月二十日(金)
第 三 三 九 七 號

同盟通信

海外電報

(88)

チャーチル首相は要するに戦争屋だ、H・G・

ウェルズの批判を俟つまでもなく、彼に哲人的賢慮を求め平和の建設を期待するのは北極で虎狩りするのと異ならない、英帝國を通じて透徹した見識を求めるならば、インドのマハトマとエールのジョージ・バーナード・ショウと南アフリカ聯邦のスマッツ元帥とに指を屈しなければならぬまい、スマッツ元帥は既に米國に到着、桑港會議に出席する豫定だが、ガンディー翁はワルダのアシユラムで相變らず紡ぎ車を回しながら、桑港會議でバベルの塔を築き上げようとする世界四十數ヶ國代表の茶番劇を白眼視して、意味深い微笑を浮べてゐるに違ひない



「印度に自由を與へないで何の世界安全保障機構だ」とはガンディー翁の信念だ、眞に世界平和を確

立しようとするならば、「日獨兩國に屈辱を與へてはならず、平和の果實は平等に分けられねばならぬ」とは、翁が桑港會議を前にのぼせ上つた聯合國代表に浴びせた三斗の冷水だ、ところがG・B・S

もロンドンで遙かにガンディー翁を呼應し「日獨兩國に屈辱を與へてはならぬ」といふマハトマの卓見には全幅賛成ぢや、日獨兩國は武装解除せねばならないが、休戦の形式をとつて貰ひ度いし、さらに兩國が世界安全保障機構の理事會に席を占めることを希望する」と述べてゐる

無條件降伏の方式はルーズヴェルト大統領がカサブランカ會談で提案し、チャーチル首相が鵜呑みにして以來の聯合國の表看板だが、少くとも英帝國の最も偉大な頭腦ガンディー翁とショール老とはかかる氣狂ひ染みた看板をせせら笑ひ、日獨兩國を無視して世界平和の殿堂が建たぬことを承知してゐる、戦局が長引いて米英兩國人の出血がはてしなく續けば、戦争屋の夢も段々醒めてゆくにちがひない

目次

ソ聯米に新たな要求……………一〇七二

米の對ソ疑惑再び濃化……………〃

米内閣改造豫想……………〃

米軍の新大將……………〃

スマッツ米國着……………〃

パーベン氏ランスに監禁……………〃

【米 洲】

海軍豫算案可決……………一〇七三

武備貸與法による援ソ狀況……………〃

【歐 洲】

伊戰線最高司令官の布告……………〃

【英 帝 國】

波問題の討論中止……………一〇七四

チャーチルの弔辭……………〃

市民損害十四萬を突破……………〃

【東 亞】

印度の解放こそ平和の前提……………〃

【特 輯】

英國總選舉戰の序曲(上)……………一〇七七

【資 料】

ワシントンにおけるハーレーの言明……………一〇七八

ソ聯米に新たな要求

(リスボン十八日發) ワシントン來電 米國務長官ステチニアスは十八日記者國會見において桑港會議を繞る諸問題につき次の通り言明した

一、余はソヴェト政府からポーランド問題に關する新たな覺書を受取つたが、内容は發表するところが出来ない

一、モロトフ外務人民委員のワシントン訪問に關し打合せを遂げるためモスクワ駐劄米國大使ハリマンをワシントンに喚び寄せることにした、これは大統領トルーマンの承諾を得てゐるが、ハリマンがモスクワに歸るかどうかは判らない

一、桑港會議招請國たる米英ソ重慶の四國會議を開催する豫定だがフランスを參加させる計畫はない、但しこれが四大國外相の合同會議となるかどうかは、一にモロトフ氏と宋子文が席を同じくすることに同意するか否かに懸つてゐる

一、信託統治制度及び委任統治制度の問題についてはまだ公式に打合せを遂げてゐないが、國務省は依然以上の問題を考慮してゐる

一、桑港會議への米國代表は豫備討議を終へたが主要な點では悉く意見の一致をみた

米の對ソ疑惑再び濃化

(リスボン十八日發) 米國務長官ステチニアスはスターリン議長からの覺書の内容を發表しなかつたが、ワシントンからのロイター電報は桑港會議にワルシヤワのポーランド假政府を參加させよと要求したものとみてをり、十七日ソヴェト政府がタス通信社を通じて以上のことを要求した事實と睨み合せるならば、ポーランド問題が再び桑港會議の癆となる氣配は頗る濃厚だ、米國はモロトフ委員の桑港會議出席で相當氣をよくしてゐたが、今になつて思ひ合せれば、スターリン議長がモロトフ委員をワシントンに送ることを決意したのは米國に讓歩したためでなく、寧ろ大物を派遣してポーランド問題その他に關するソ聯の要求を一氣に押し切らうと圖つてゐることは明瞭だ、米國政府も遂に當初の甘い觀測を一擲してモロトフ委員ワシントン乗り込みの眞の意圖を探らうと努めて

ゐる様子で、既にハリマンはワシントンへの途上にあるといはれるが、更にモスクワ駐劄英國大使カーも十八日夜ワシントンに到着する豫定と傳へられる

米内閣改造豫想

(リスボン十八日發) 米國新大統領トルーマンは近く前大統領から引繼いだ内閣を改造し、相當廣範な閣僚の入れ替へを行ふと豫想されるが、十八日の英國新聞「デーリー・エクスプレス」紙ニューヨーク電は右に關し次の通り報じてゐる

現在のところ豫想されるのは少くとも五名の閣僚の更迭である、先づ國務長官ステチニアスは桑港會議終了後駐英大使としてロンドンに轉出しよう、財務相モーゲンソーも辭職しようが、彼は辭職に先立ちブレトンウッズ會議で採擇された世界金融爲替協定案の成立を實現せんと努力しよう、その他内閣を去ると豫想される閣僚は内務長官イツキーズ、勞働長官パーキンス、陸軍長官スチムソン等である

一方大統領トルーマンはホワイト・ハウスにおける大統領側近者の更迭を行ひ、十八日大統領秘書官としてマシユー・コナリー(議會關係)ジェームス・ラインシュ(新聞情報關係)の二名を任命した

米軍の新大將

(リスボン十七日發) ワシントン來電 大統領トルーマンは十七日米第三軍司令官ジョージ・パットン並びに第一軍司令官コートニー・ホッジスをそれぞれ陸軍大將に任命した

スマッツ米國着

(リスボン十八日發) ニューヨーク來電 桑港會議南阿聯邦首席代表スマッツはその他の南阿代表と共に十六日夜空路ニューヨークに到着した

バーペン氏フランスに監禁

(リスボン十八日發) 前アンカラ駐劄ドイツ大使フォン・パーペン氏は去る十一日シュトゥットガルトで米軍により逮捕されたが、パリ來電によれば同氏は目下令息並びに女婿と共にフランス東部のランスに監禁されてゐるといはれる

【米 洲】

海軍豫算案可決

(リスボン十七日發) ワシントン來電 下院歳出委員會は、十七日一九四五、四六年度海軍豫算案を可決した、總額二百三十四億五十萬二千弗で本年度豫算に比し、六十九億三百五十六萬弗の減少である、委員會は豫算案可決と同時に海軍首腦が委員會で行つた證言の内容を發表した、その主なものの次の通り

△海軍作戦部長キング

米國海軍の主要戦場は太平洋にあり、米國軍は今や日本の内廓防衛線において戦つてゐる、過去一年間の太平洋における戦の結果、米國は最後の勝利に向つて大きな前進をとげた、しかし硫黄島の戦ひによつてもわかる如く今日における太平洋の戦ひは米國軍にとつて苦難に充ち充ちたものである、されば米國海軍は水上艦船たると潜水艦たるとを問はず、その全勢力を太平洋に集結して日本軍に當らねばならぬ

△海軍長官フォレストル

米國海軍は現在までに日本海軍に損害を與へたことは事實だが、日本艦隊は依然強力であり、われわれが用意を怠るならば、日本海軍の一撃を喰つて損害を蒙る可能性は十分にある

△海軍省艦船局長コクレイン

海軍の建艦計畫が最高頂に達したのは一九四四年で同年中の建艦高はあらゆる艦艇を含み四萬五千四百二十六隻、その噸數は五百四十九萬六千六百六十噸だつた

武器貸與法による援ソ状況

(リスボン十七日發) ワシントン來電 外國經濟院總裁クロリーは援ソ状況に關し十七日次の通り發表した

「一九四五年二月末までのソ聯への武器貸與は米國が反樞軸各國に供給した援助物資の約三十二パーセントに當る、即ち一九四一年二月までに千六百二十萬噸以上の軍需品工業資材及び裝備、食糧その他の農産物をソ聯に送つたが、これには自力でソ聯へ飛んで行つた數千機の武器貸與飛行機は含まれてゐない、以上の援ソ物資は金額にすると八百二十二萬五千弗に上る、また武器貸與法に基

きソ聯に供給した飛行機は一萬三千機だが、これは反樞軸諸國に對する飛行機供給機數では最高である」

【歐 洲】

伊戰線最高司令官の布告

(チニリツビ十六日發) ローマ來電 地中海方面軍最高司令官アレクサンダー及び第十五集團軍司令官クラークは十六日、イタリア戦線における反樞軸軍の春季攻勢開始に際し、麾下全軍に對してそれぞれ次の布告を發した

△クラーク

第十五集團軍は敵對するドイツ軍撃破の目的をもつて攻勢を再開した、過去一年間米第五軍及び英第八軍はローマを占領し、ゴシック線を突破してドイツ軍を北方に驅逐した、反樞軸軍の前進が停止したのは山岳地帯と河川とによる障礙に冬季の惡天候が加はつたために過ぎない、今やわが軍はドイツ軍に決定的打撃を加へる空前の好機會を掴んだのである、司令官の熱望するところは今次の攻勢が第十五集團軍による最終の大攻勢とならんことである、しかして最終攻勢となるか否かは一にわが軍の奮闘に懸つてゐる、もしわが軍が獅子奮迅の勢をもつて寸毫の假借なく徹底的な攻撃を行ひ、ドイツ軍を退却、降伏または死滅するの餘儀なきに至らしめるならば、爾後の大作戦が不要になるやうにとの司令官並びに將兵諸子の希望は實現されるであらう、全力を振つてドイツ軍を撃て、かくすれば神助をえてわが軍は決定的なしかしておそらく最終の勝利を獲得しうるであらう

△アレクサンダー

最後の勝利は近づいた、今やドイツ軍は全くのグロツキーとなつてをり、猛烈なパンチを一發加へさへすれば完全にノック・アウトしてしまへるのである、今や歐洲での戦争を終了させる最後の決戦に向つて出陣すべき時が來た、諸子はわが戰友が西方及び東方の戦場で何をしてゐるかをよく承知してゐるやうに今やわが軍が決定的な役割を演ずる番になつたのだ、この役割は決して生易しい勝利とはならぬだらう、致命傷を負つた野獸は依然として最も恐るべき相手だからである、諸子は惡戰苦闘の覺悟で戦に臨まねばならぬ、しかし戦争の終局は確實で一點疑問の餘地もない、連戦連勝の諸子は今やこの最終戦に臨まうとしてゐる前進！戦争完遂の自信と信念と決意とをもつて戦場に進め！

【英 帝 國】

波問題の討論中止

(ストックホルム十七日發) ロンドン來電「下院は来る十九日ポーランド問題及び一般戦局に關し首相チャーチルの報告を聴取した後討論を行ふ豫定であつたが、チャーチルは十七日下院で次の通り聲明した

「ポーランド問題及び一般戦局に關しては世界情勢が急激に變化したため、今討論を行ふことは時機を失してゐるやうに思ふ、それにクリミア會談以來最も必要とされてゐた三國外相會談もワシントンで開催される機會を得たし、クリミア會談の成果がまだ具體的に表れぬ裡に討論を行ふことは事態の改善を損ふばかりだから中止する」

チャーチルの弔辭

(ストックホルム十七日發) ロンドン來電「英國首相チャーチルは十七日下院においてルーズヴェルトの死を哀悼して次の通り述べた

「余はクリミア會談で大統領が病んでゐることに氣付いた、大統領獨得の魅力に富んだ笑、快活な態度は一瞬といへどもさらなかつたが、顔を見ると透き通るほど蒼白く時々夢みるやうな眼差がみられた、余はアレキサンドリアで大統領と袂を分つたとき彼の氣力と健康が衰へてゐることに深い恐怖を覺えた、しかし彼は最後まで任務を遂行した、大統領の仕事といへば一日百か二百の公文書に署名することだが、大統領が突如死の手に奪はれるまで嚴格に續けられたのである、彼はいはゆる執務中に仆れたわけだが、いはば米國の陸海空軍將兵と同じやうに軍務に仆れたともいふことが出来る、義望に價する死ではなからうか」

市民損害十四萬を突破

(リスボン十六日發) ロンドン來電「政府當局は歐洲戦開始以來二月二十八日までの市民及び商船乗組員損害を次の通り發表した

△ドイツ軍の英本土攻撃による市民損害

總計

死者(行方不明を含む)

一四四、五四二名

五九、七九三名

八四、七四九名

△商船乗組員損害

總計

三四、一六一名

死者(行方不明を含む)

三〇、一七九名

抑留者

三、九八二名

【東 亞】

印度の解放こそ平和の前提

「ガンジー翁聲明」

(リスボン十七日發) ボンベイ來電「ガンジー翁は十七日桑港會議の前に聲明を發し、インドの完全獨立を要望すると共に反樞軸國の意圖する世界安全保障機構を非難した、聲明の要旨次の通り

「戦争が有效であるとの信念を捨てあらゆる國家並びに民族の平等自由を基礎とする眞の平和を作り出すやう決意するにあらざれば、反樞軸國乃至は世界にとつて平和はあり得ない、インドがあらゆる外國勢力の支配から脱し、完全な自由を得ることこそ平和への缺く可らざる前提である、印度の自由獲得はあらゆる被搾取民族に對し彼らの自由が極めて近い將來にあることを、また今後彼らが搾取されるやうなことはないといふことを明示するであらう、平和は決して懲罰的であつてはならず、日本並びにドイツに對して屈辱を與へてはならない、將來は平等に分ち與へられなければならない、日本とドイツを友人とするやうに努力する必要がある、反樞軸各國がそれ以外の方法で民主主義を實現することは不可能だ、以上の點からして強制的武装解除を強要する武装せる平和は許されない、國際武装警察力の保持は人間の弱點に對する讓歩であり、平和の象徴を意味するものではない、印度は桑港會議に對して印度自身を選んで代表を送るか、もしくは全然代表を派遣しないかのいづれかを選ぶべきだ、印度の獨立要求は決して利己的ではなく、印度の國家主義は國際主義を意味する」



英國總選舉戰の序曲(上)

長谷川才次

△戰勝氣分漲るロンドン

英國議會が一週間の復活祭休暇に入る際にチャールズ首相は特に閣僚に對し、各省との聯絡を十分緊密にするやう要請し、必要な場合には何時でも議會を再開出来るやう手配したといふが、ロンドンを中心として英國全體が全く戰勝氣分で有頂天になつてゐることは確だ、五ヶ年あまりロンドンの街上に立つてゐた街上防空壁もラドブローック・テンスとホランド・パーク・アヴェニューの一角から取り片付けが始まり、市内の酒場にはVデー(勝利の日)に備へて一ヶ月分のスコッチ・ジンが特配され、お巡りさん達は一時間の豫告で何時でも出勤出来るやう指令を受けてゐるといふ、四月五日には勞働省が「解除隊と復業」(Release and Resettlement)といふ小冊子五百萬冊を作つて前線の兵士に配布を始め勞働相サー・アーネスト・ベヴィンがアレクザンダー海相とともに記者團に大要を説明した、勞働相は曰く

小冊子の配布は東亞戦線の兵士から始める、國內の兵士に對しては五月に配布する豫定だ、東亞の戦争が最終的に片づくまではいささかも戦争努力を緩めることは出来ないが、同時に東亞戦線の兵士に對しては各人の權益が十分保障されるとの安心をあたへねばならない、解除の計畫を圓滑に推進するためには、規律と秩序とが維持されねばならない、決して誇大な報道をしてくれぬやう

△尖銳化する船腹不足と食糧難

歐洲戦争が、果して英國人の皮算用のやうに簡單に片付くかどうかは事實の判斷に俟たう、しかし勝利の皮算用の背後に船腹の不足と食糧難とが潜在してゐることはロンドン各紙の報道に徴しても明かだ、「サンデー・タイムズ」紙は三月十八日付で次の通り報道してゐる

太平洋戦争の擴大に伴ひ船腹の不足は益々尖銳

化し、印度から英國向けの旅客に對しては今後數ヶ月間優先旅客だけが乗船を許されるとの通達が出てゐる、また南阿のウォーターソン商相は英國における船腹の不足に鑑み、南阿政廳において今後數ヶ月海運を少からず制限し、是非必要な場合だけに限定せねばならないと述べてゐる

△各紙食糧相の訪米を期待

また食糧問題については「タイムズ」紙が三月二十一日の紙上で曰く

「食糧相と生産相とが食糧供給について討議するため米國を訪問するに決定したといふ報道は寔に結構なことだ、國內並びに國外において現在のやうに噂や悪口を繰込してゐたのでは百害あつて一利なく、米英兩國の立場に關し全く出鱈目の言明が頻りに出る現状では、判つきりした當局の聲明が特に必要だ、現在の難關の主要な原因は聯合軍の兵力増強とともに食糧に對する所要が増大し、「解放され」荒廢に歸した歐洲では輸送機關並びに農業が破壊に瀕して窮乏益々甚しく、世界戦争の推移に伴ひ船腹に對する要求が大きくなつた點にあり、去年は米國でも各聯合國でも食糧の實際消費について多少樂觀してゐた、聯合國のうちでも英國ぐらゐる長期間に亘り食糧配給制に慣れてゐる國はなく、英國民ほど食糧割當の切り下げに直に應ずる國民はない、しかし英國の食糧貯藏は既に效果的な食糧配給を維持するに必要な最少限破に減少してつた、從來英國政府は船舶の撃沈波乃至爆撃に備へて付加的食糧餘力を残してゐたが今や解放された歐洲各國に對し安全保障の見地から貯藏してゐた食糧を悉く供出してつた、食糧相リユーリン大佐は以上の事實を下院で發表したが、もつと前に發表されたゐたら色々馬鹿な話も出ずに済んだかも知れない

いづれにせよ英國の食糧割當は更に削減せねばならないかも知れない、主に不足してゐるのは肉類、乳製品、油脂類等で、これら品目についても米國內における消費は依然として高い、ほかに砂糖があるが、これらの品目については軍事上並び

に歐洲各國からの要求は益々急だが、ワシントン會談以前には英國でも割當の切下げはない豫定だ以上の品目の内肉類が最も窮迫し、しかも特例だ、英國における肉類割當週一志二片のうち、五片は國內産、四片半はラテン米洲、二片は自治領二片が米國、残り半片がカナダ産である、今回米國で肉類の割當量を切下げればほぼ英國の水準に近づくが代用品は英國國におけるよりもずつと多い、早魃や家畜の病氣でラテン米洲並びに濠洲からの肉類輸入は減るかも知れない、しかし聯合國全體のためにどうしても必要だといふ事實が判つきりすれば既に少い毎週の肉類割當量を更に削減されるとも、英國人は敢て不平をこぼさない、但し鶏卵とか豚肉とかの國內生産を増大する必要が判つきり認識されねばならない」

「デリー・メール」紙も三月二十日の紙上で生産相サー・オリヴァー・リトルトン、リユーリン食糧相がワシントンに赴くことを報道し、次のごとくべてゐる

「兩相は英國の食糧事情に關する數字に身をかためてワシントンに赴くが、必要とあらば米國政府に對して英國、は常に食糧輸入國であり、従つて他國より食糧の貯藏に依存することが大きい事實を説明説得する豫定だ、英國には一定の食糧餘剩限度があり、いかなる内閣といへども以上一定の水準を制することを容認出来ない、英國は出来るかぎり「解放された」歐洲を援助したいが、援助には自ら限度があらう」

△農村は食糧増産に根こそぎ動員

食糧難救済のためにハドソン農相が相變らず食糧増産運動に大奮だが「デリー・ヘラルド」紙は四月二日附で次の通り報道してゐる

「過去二ヶ月非常に天候がよかつたので幾多の農場で麥時は既に完了し、甜菜の種時かなりの耕地に亘つてすすめられてゐる、ハドソン農相は四月一日農村の根こそぎ動員を提唱し、少くとも二十萬人の大人と十萬人の學童がこの際すんで農業義勇隊として参加して貰ひたいとのべてゐる、農民だけでも種時は出来るが、義勇隊の援助なしには收穫は出来ないといふ有様だ、去年も農民義

勇隊の数は到底必要な員數に満たなかつたが、今年には農園の近くに當局が約一千の休暇用キャンプを開設したにも拘らず、歐洲戦争がもう片附くといふ見通しの下に去年は一時間一志で農耕のために休暇を斷念した數萬の義勇隊も、今年は海邊に休養をとつてゐる有様だ」

石炭の不足も依然として緩和されない「デリー・テレグラフ」紙の報道によれば、各鐵道會社では石炭の不足に鑑み從來家庭でつかつてゐる低値の石炭を使ふ他ないため、機關の消耗が甚だしく、且つ長距離には十分牽引力が出ないといふ有様だ

△糧神病患者も激增

歐洲戦争が始つてから五年有半、聯合軍の第一線として直接ドイツ軍の攻撃をうけて來た英國人が精神的にも少からぬ打撃をうけてゐることは想像に難くないが、三月十五日附の「ニューズ・レビュー」紙は次のやうな記事を掲載してゐる

「スコットランドの精神病學者デヴィッド・ヘンダーソン教授の研究によれば、戦争の重壓で英國人の精神的健康は少からぬ影響をうけてをり、とくに家事をやりくりしながら戦争勞務に従事してゐる女性がうけた打撃は深刻だ、ロンドン市民二百人のうち一人は精神病院の患者であり、二百七十四人のうち一人は精神的に缺陷をもつてゐる、頭が變なで絶えず醫療を必要とするのはスコットランドで二萬六千人、イングランド及びウェールスでは十四萬七千五百五十七人、うち八萬四千五百三人は女である」

以上のやうな物心兩面にわたる英國の社會相を背景として、初めて英國政界最近の動向が肯けるのではないかと思ふ、勿論政争が漸く表面化する形勢を示してゐるのは歐洲戦争の終局が間近といふ見透しに立つてゐるが、勞働相サー・アーネスト・ベヴィンが四月八日ニュー・カースル・オン・タインでの演説で述べてゐる通り英國は經濟機構並びに社會政策の部面においても「正に追ひ

分けに立つてをり、國民總意の裁斷によつて」今後の動向を決定せねばならぬわけだ

△宙に浮く聯立内閣案

いはゆる舉國一致内閣を構成してゐる保守黨と勞働黨とが、漸く對立抗争の徴候を示し出したのは、既に半歳以前に遡るし、ソ波兩國間の紛争解決案やギリシヤ内亂等を繞りエマヌエル、シンウエル、アヌーリン、ベヴァンらを中心とする勞働黨左翼は、事毎にチャーチル首相を論難攻撃し、英國下院において相當辛辣な論戰を展開してゐるが、黨として保守勞働兩黨が明確に抗争を開始するに至つたのは、保守黨大會におけるチャーチル首相の演説が契機となつたとみて差支へあるまい

右演説でチャーチル首相は總選舉後における聯立内閣を豫想してゐるが、かかる提案は勞働黨の見解によれば勞働黨の内部攪亂を狙つた政治工作に他ならぬといはれ、更に首相が企業の國營に反對したのは勞働黨年來の政策に挑戦して政争の端緒を開いたのだと見られてゐる、中間的聯立内閣即ち歐洲戦争の一段落後太平洋戦争の終結に至る期間の聯立内閣案に對しては、勞働黨も自由黨も悉く反對だ、特に勞働黨は歸還兵士が社會民主主義的傾向が強いといふ見透しの下に、總選舉における自黨の勝利を豫想してゐるから、聯立内閣案には見向きもしない

首相の提案に對する英國政界の反響を測定するため次にロンドンからの報道を列挙しよう

「スヴェンスカ・ダグブラデツド」紙ロンドン特電三月十日

「勞働總會評議會が一九二七年の勞働争議法の修正を要求したのに對しチャーチル首相が拒否の態度を示したのは、來るべき總選舉戰の興味ある一斑である、首相が聯立内閣の存続を提唱したのは反對派を混亂に陥れやうとの企圖に他ならない、勞働黨も必ずや反撃に出て總選舉戰に備へるだらう、勞働黨としては、勞働争議法の修正はチェンバレーン前首相が歐洲戦争の開始に當り勞働黨の協力を求めた際既に公約したところであり、今や戦局好轉とみて保守黨は公約を破棄しようとしてゐると主張するに違ひない、勞働運動の指導層は

今週會議を開催して、勞働組合に對するチャーチル首相の高壓的態度に對する全國的抗議の具體案を協議する豫定だ、勞働組合は争議法の停止を要求してゐるのではなく、官公吏の組織が勞働組合に参加するのを禁止してゐる條項の修正を主張してゐるに過ぎない」

「ニューズ・クロニクル」紙社説三月十六日

「保守黨大會におけるチャーチル首相の演説は正に選舉演説である、歐洲戦争が片づいても世界戦争が終了したのでないとの議論が、舉國一致内閣存続の有力な論據となつてをり、苟もチャーチル首相の内閣に反對すれば左翼の不逞分子と非難され、苟くも保守黨の政策に異論を挾めば「政争」に耽けると斷ぜられる、獨り保守黨だけが政争の圈外に超然としてゐるといふわけだ」

「デーリー・ヘラルド」紙社説三月十六日

「勞働黨は保守黨に對するチャーチル首相の指令を深甚な興味をもつて讀んだに違ひない、これは保守主義が來るべき總選舉を戦ふ作戦計畫を見出したからである、右演説を讀んで勞働黨員は早くも總選舉の結果を樂觀せざるを得ない、勞働黨の理念が前進するのに對し、積極的な力をもつて抗争することは無駄だと保守黨は考へてゐるらしい」

ルーズヴェルトの遺産の行方

(リスボン十六日發) ニューヨーク來電「故ルーズヴェルト大統領の遺言が十六日ニューヨークで發表されたが内容は次の通り

- 一、大統領未亡人には、望む限りの私有物をすべて所有し、一生涯使用する權利を與へる
- 一、五人の子供には殘餘の五分の一づつを選択する權利を與へる
- 一、以上の選擇後あまつた分は指定遺言執行人を通じて記念として米國政府に贈り、ハイド・パークのルーズヴェルト・ライブラリーに陳列する
- 一、ウオーム・スプリングズの小兒麻痺病院、ハイド・パーク教會、その他使用人、出入りの者にも遺産を頒つ
- 一、遺産はすべて公證人の管理下におき、全収入は未亡人の所有とする



米國は中共の武装を承認せず

ハレーの言明

重慶駐劄大使ハレーは歸米中二月二日ワシントンにおける記者團會見で、渝延問題に言及し、延安に武器を貸與しない方針を闡明すると共に、米國政府が重慶政權を支那唯一の正統政權として認める一方、延安を支那の一派と見做し、従つてこの政黨を武装せしめることは米國の政策でない旨明かにして注目を惹いた、ワシントンよりの重慶中央社電はハレーの記者團に對する言明の詳細を次の通り報道してゐる

問ハ支那にはどんな武装政派または軍閥があるか
答ハ中國共產黨及び南支の一部軍閥だ、(ここでハレーは共產軍の兵力の概算を述べることは避け、またさきに米軍が日本軍から鹵獲した武器並びに裝備を共產軍の對日戦に使用させることを中共が要求したとの報道を確認することを避けたが)中國共產黨は米國が彼らを一政黨として、これに武器を提供することを要求した、一政黨に武器を與へることは一交戰國に武器を提供するのと同じである、米國は國民政府(重慶)を支那の政府と認め、一九四一年十一月二十六日の日本代表に對するハルの覺書以來、經濟、軍事、政治的に同政府を着實に支持した、この政策は重慶との盟約ならびに國務省が政策について表明した各種の表現中に堅持されてゐる、米國は如何なる武装諸政黨も軍閥も承認しない

問ハ北支の共產地區においてモスクワは如何なる役割を演じてゐるか

答ハそのことはソ聯政府に自ら語らせたがよいと思ふ、余が重慶赴任の途次モスクワを訪問した際、ソ聯の支那に對する態度は一般に公平であつた、ソ聯は支那との緊密かつ協調的な關係への希望を表明してゐた、支那の共產黨が孫文の三民主義を支持し、中共の要求のすべてが民主主義的基礎に立つてゐたことは周知の事實だ

このことは中共が實は本物の共產黨でないとの確信に導いた、事實、支那の中共は重慶國民政府が體系化したと同じ主義を支持してゐる、國共兩黨間の紛争點は、例へば民主主義的な方向と手續きによる權力の地方分散のごときにあるのではなくて、それが達成され得るやうな方法の問題にある、中共は重慶國民政府が一定の諸改革を直ちに實施することを望み、國共聯合政府を提唱した、一方、重慶は同政權の計畫が孫文によつて輪廓を定められたものであり、これによつて支那の政權は諸政黨に對してではなくて、憲法の下にある人民に對して返還されねばならないと聲明した、國民黨は五月五日に全國大會を開くが、同大會は人民への政權返還を決定するだらう、重慶國民政府が政權を如何なる團體、政黨政派または政治家の聯合に手渡すことも正當とは看做されまい、政權を人民に返還し、人民をして彼ら自らの指導者達を選ばしめることを重慶政府の義務である

問ハ近い將來、支那に事態の好ましい發展があることを大使は期待してゐるか

答ハ支那と米國との幾多の摩擦は既に芟除された支那の武装諸政黨は米國に對して一層接近してをり、また政府に挑戰する強さを持つた武装軍隊が政府以外に存在する限り、支那が自由強力にして統一した民主主義支那となりえないことはたれも承知してゐる、余は一夜にして支那に樂園が生れるとは期待してゐない、支那の情勢は依然として深刻だが、日本撃破のため軍隊の統一に向つて努力してをり、これが結局は支那の政治的統一に寄與することにならう、中共代表が桑港會議への支那代表團の一員に任命されたことは喜ばしい、右は重慶が中國共產黨を承認したもので、正しい方向への一步であり、軍事的、政治的に對立する兩政黨が統一結束する可能性を示唆するものである

問ハ桑港會議前に政治的統一が達成されるか

答ハ余は何處からも協調を期待しない、國共兩黨間の諸難題は續くだらう、かつては支那を過度に稱揚した米國輿論が今では支那に見るあらゆる事象を非難してゐるのは嘆はしいことだ

昭和二十年四月廿一日(土)
第三三九八號

同盟通信

海外電報

(89)

チャーチル首相は木曜日に豫定されてゐたポーランド問題についての報告演説を遂に無期延期するに至つた、理由は、この際の發言が事態の解決を一層困難ならしめるといふのである、正に事態は困難に相違なく、モスクワの再度の、ルブリン政權桑港會議參加要請の覺書發出と前後して、駐ソ米大使ハリマン、英大使カーの兩人は急遽ワシントンに召喚乃至派遣された、ソ聯の再度の要求は「クリミア決定の通り、舉國一致の新ポーランド臨時政府が出来る」までは承認し得ないとステチニアスは拒絕したが、この拒絕で引つ込んでモロトフ外相が、俄かに腰をあげて米國に乘込む決意をまでしたソ聯の面子は立たない



モロトフ外相が何の故に急にサンフランシスコに乘込む決意をしたか、その裏の肚は分明でないが、米國が是非にといひ、それでは、と受けたといふ程度の單純なものでないことはわかつてゐる、ワシントンではステチニアス、ハリマン、カーが額を合せて、モロトフを迎へる作戰計畫を練つてゐる

が、彼は悠々と後から乗り込んで行くゆとりを見せてゐる、元來、ポーランド問題はソ聯の見方では米英の威信の問題を除いては事實上すでに解決済みで、今更亡命政權にこだわる米英の態度は悪るあがきでしかない、歐洲の絶對の最優位者であるソ聯に睨まれて、一介の亡命政權などが立ち行くはずはなく、弱少英國や米國の遠吠えなど蚊のなくほどにもソ聯は考へてゐないのである、己れの實力を知らずに出てはあげ足をすくはれて來たのがポーランド問題に關しての米英の、今までの歴史である、クリミアでの約束をけろりと忘れて一度ならず二度までも同じ要求を突つけるソ聯はまるで米英を子供あしらひにしてゐるといつてよい、新大統領トルーマンにとつてはよい藥だ

目次

ルブリン政權招請を拒否	一〇八〇
宋子文トルーマンと會見	〃
米英ソ外相會談開かれん	〃
駐洪外交官に退去命令	〃
米陸軍兵力八百五萬	〃
死傷遂に九十萬突破	〃
特攻隊の猛攻を認む	〃
【英帝國】	
ソ聯の獨斷を默認	一〇八一
濠洲軍裝備問題表面化	〃
濠の對米逆貸與高	〃
カナダ動員兵力	〃
【米洲】	
聯邦融資局長官後任	〃
コロンビア議會選舉	〃
【反樞軸陣營】	
オーストリアに反樞軸委員會設置	一〇八二
反樞軸船腹ブールを繼續	〃
【歐洲】	
芬新内閣成立	〃
法王平和を祈念	〃
伊傀儡軍參謀長罷免	〃
パリ取引所閉鎖	〃
砂漠地帯大灌漑計畫	〃
【特輯】	
英國總選舉戰の序曲(下)	一〇八三
【資料】	
ソ聯の現勢	一〇八五
米國戰時食糧政策の原則	一〇八六

ルブリン政權招請案を拒否

(リスボン十九日發) ワシントン來電 桑港會議を前にソヴェト政府は再び米國政府に對しルブリン政權を會議に招請するやう要求したが、果然米國政府は右要請を拒否した。國務省は以上の決定につき十九日次の通り發表した

ソヴェト政府から接受した通牒はポーランドが聯合國の一員であり桑港會議に参加する權利あるが故に現在ワルシャワにおいて機能してゐる臨時政權に對し、桑港會議に代表を派遣するやう招請すべき旨を繰返してゐる、しかし米國政府の見解は依然ポーランドに對する招請はクリミヤ協定に遵據して結成さるべき新たな舉國一致臨時政權に對してのみ發せらるべきだといふにあり、以上の要旨を拒否した

宋子文トルーマンと會見

(リスボン十九日發) ワシントン來電 重慶政權の外交部長宋子文は十九日ホワイ・ハウスに米國大統領ハリ・トルーマンを訪問、重慶の經濟情勢を説明して今後の援助を要請したが、會見後宋子文は次の通り語つた

重慶政權は今深刻なインフレーションに當面してゐるが決して打開策がないわけではない、余はトルーマン大統領に對し重慶の經濟情勢を説明したが大統領は極めて同情的で、出来る限りの援助を與へる旨公約した

宋子文は近くロンドンを出發、サンフランシスコに赴く豫定である

米英ソ外相會談開かれん

(リスボン十九日發) ワシントン來電 莫斯科ワ駐劄米國大使ハリマン及び英國大使クラーク・カーの兩名は十九日ワシントンに到着した、彼等はワシントンで開催されることとなつた米英ソ三國會談に出席する筈だが、英國外相イーデンは既にワシントンにあり、またモロトフソ聯外務人民委員も一兩日中にワシントンに到着することとなつてゐるので米英ソ會談は三國外相出席の下に來週中に開催される段取りとならう

駐洪外交官に退去命令

(チューリッヒ十八日發) 「ジュルナル・ド・ジュネーヴ」紙のアンカラ電報によれば、ハンガリー駐屯赤軍當局はトルコを含めてハンガリー駐劄外交使臣を悉く國外へ退去せしめたといはれる

米陸軍兵力八百五萬

(リスボン十九日發) ワシントン來電 米國陸軍省は十九日次の通り發表した

一九四四年十二月三十一日現在における陸軍の全兵力は八百五萬で一九四〇年十二月三十一日には五十一萬三千四百十名であつた、一九四〇年十一月一日から一九四四年十二月三十一日までには總編入兵力は九百四十四萬四千二百八十三名であり同期間兵役を離れたものは百九十萬七千六百八十二名である

死傷遂に九十萬突破

(リスボン十九日發) ワシントン來電 陸軍長官スチムソンは十九日次の通り發表した

眞珠灣以來米國武裝軍の損害は九十一萬二千四百七十八名となつた、更にフランス侵攻以來三月末までに西部戰線において米軍の地上部隊が蒙つた損害は四十七萬三千二百十五名で、ライン攻防戰並びに同渡河戰で陸軍部隊が蒙つた損害は四萬七千二十三名である

特攻隊の猛攻を認む

(リスボン十九日發) 太平洋艦隊司令部は十九日沖繩作戰における米軍の死傷者數を七千九百八十八名と發表したが、グアム島からのAP電によれば右のうち四千七百名は海軍部隊將兵で、太平洋戰の一作戰において海軍將兵の死傷が陸軍並びに海兵隊のそれを凌駕したのは今回が始めてだといはれ、以上はわが特攻隊その他の猛攻により敵の艦船に大損害を與へてゐる事實を裏書するものである、更に特派員トブキンの報道によれば、合計千四百隻に上る米軍侵攻艦隊は過去數日間わが神風特攻隊をはじめ日本航空部隊の猛烈な攻撃をうけたといはれる

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

【英 帝 國】

ソ聯の獨斷を默認

(ストツクホルム十八日發) ロンドン來電「ポーランド要人の謎の行方不明はその後調査の結果、ソヴェト政府單獨の發議でモスクワにおいて新政權樹立の打合せに參畫してゐることが判明、クリミヤ決定の違背として米英側は論難してゐるが、英國外相代理リチャード・ローは十八日下院において初めて英國政府の態度を明かにして次の通り言明した

亡命ポーランド政權副首相及びポーランド地下組織指導部とソヴェト政府との間の交渉はクリミヤ會談における決定では考慮されてゐなかつたが、もしもクリミヤ決定の主な目的を達成するに役立つならば反對する理由はない

ポーランドに關するクリミヤ決定の主な目的は本國並びに外國におけるポーランド民主主義指導者を含め一段と廣い民主主義的基礎に立脚して現存のポーランド假政府を改組して新たな統合假政府を樹立するにある

濠洲軍裝備問題表面化

(リスボン十六日發) シドニー來電「濠洲軍總司令官ブレミーは陸空軍に對する非難を駁論する放送演説を行なひ政治的混亂を惹起した、濠洲軍がこれに適應する裝備に不足してゐる問題は前陸相スベンダー等がとりあげ、議會討論に對する政府側の答辯中にも現はれ、當時某議員の如きはブレミーの辭職を要求した程である、この結果ブレミーは戰鬪地域の視察旅行に赴き、首相カーチンに報告を提出、その後カーチンは「陸相代理フレージャーが首相の傳言を部隊に傳達し、部隊はフレージャーに對し自由に語ることが出来る」旨言明した

濠の對米逆貸與高

(リスボン十七日發) キャンベラ來電「濠洲首相ジョン・カーチンは十七日の閣議で米濠武器貸與狀況に關する藏相チーフリーの報告を發表したが對米逆貸與については左の通り述べてゐる

濠洲が米軍に對して一九四五年二月二十八日までに行つた逆貸與額は二億三千七百萬濠洲磅に達し、うち一九四四年七月一日以後の分は六千八百五十萬濠洲磅であつた、太平洋を北上する米軍及び太平洋全域で作戰中の勢力を増大した米軍に對する濠洲からの補給高は直接本土へ送られた補給物資高に比して減少し、米國の總需要に對する逆貸與高中で占める割合は著しく低下した、しかし米軍に對する食糧補給量は依然高位を保つてをり、米軍は今後も濠洲の供給能力が許す限り主要食糧品の配當を要求するだらう

カナダ動員兵力

(リスボン十八日發) オツタワ來電「カナダ國防省政務次官ダグラス、アボットは次の通り發表した

「參戰以來召集されたカナダ兵員總數は七十萬名を超え、うち二萬名は女子である、海外出征兵の數は昨年中に二十四萬名から二十八萬五千名に増加した、因みに前大戰中の召集兵員數は六十二萬九千名であつた」

【米 洲】

聯邦融資局長官後任

(リスボン十七日發) ワシントン來電「米大統領トルーマンは十七日セント・ルイス第一ナショナル銀行副頭取ジョン・W・スナイダーを聯邦融資局長官に任命した、スナイダーは戰時動員局兼産業再轉換局長官に就任したフレッド・ヴァインソンの後任で第一次大戰從軍後銀行界に入り復興金融會社副社長、國防工場建設會社社長等を歴任した

コロンビア議會選舉

(リスボン十八日發) ボゴタ來電「コロンビア政府は去る三月十八日行はれた總選舉の結果を十八日次の通り發表した、括弧内は選舉前の議席
自由黨八〇(八五) 保守黨四六(四四) 共產黨五(一一)

【反樞軸陣營】

オーストリアに反樞軸委員會設置

(ストックホルム十八日發) ロンドン來電 英國外相代理リチャード・ローは十八日下院においてオーストリア民衆に公約した獨立案を履行するためオーストリアに反樞軸委員會を設置する旨言明した、オーストリアの獨立は一昨年のモスクワ三國外相會議において決定をみたものである

反樞軸船腹ブールを繼續

(リスボン十七日發) 反樞軸各國は東西兩戰線における大きな船腹量の必要に鑑み船舶の共同運營を行つてゐるが、ロンドン來電によれば歐洲戰終了後も相當期間共同運營を繼續する豫定といはれる、更に英軍當局では歐洲戰が終れば作戰上必要な船腹量は十六%方減少するものと見込んでゐる様子だ

【歐 洲】

芬新内閣成立

(ストックホルム十八日發) ヘルシンキ來電 再組閣を委嘱されたパーシグイ博士は去る十二日以来組閣に努めてゐたが、漸く十八日に至つて新内閣が成立した、閣僚の顔觸れは未だ正式に發表されてゐないが、社會民主黨員六名、人民民主黨員四名、農民黨四名、自由黨員一名、スエーデン人民黨員一名、無所屬二名となつてゐる、但し議會に席を有する閣僚は一名もない

法王平和を祈念

(リスボン十八日發) ヴァチカン市來電 羅馬法王ピオ十二世は十八日回章を發し、平和に盡悴する人々のためマリアの月たる五月中に特別に祈禱を行ふやう要請した、回章の要旨次の通り
人々の心情は基督教の教理に啓發更新されて民衆間大陸間の恐るべき戰爭の終焉を希望し、各階層の市民は友情の絆に再び結ばれて、正義と公正の大旗の下に廣大な廢墟の上に壯麗な人類

の高樓の再建に着手してゐるが國民のみならず全人類と未來の世代の運命を左右するすべての人々には特に神の聖なる指導を必要とする、これらの人々に正義とか公正の域を一步踏みはずすや、遅かれ早かれ必ず戰敗者のみならず勝利者の上にも大きな損害が齎らされるであらうことを反省せしめねばならない、蓋し新たな戰爭の種子は特にかかることに胚胎してゐるからである、人々の胸中に復讐の感情が沸り立つてゐる限り、平和を確保するは決して容易でない

伊傀儡軍參謀長罷免

(リスボン十七日發) ローマ來電 反樞軸軍のイタリア上陸以來、反樞軸軍側へ参加した裏切りイタリア軍の參謀總長となつた元帥ジオヴァンニ・メツセは最近突然免職され、後任には極く最近まで米國の捕虜收容所に收容されてゐたクロードイオ・トレツツァニが任命された、メツセ免職の理由は明らかにされてゐない

パリ取引所閉鎖

(ストックホルム十八日發) ロンドン來電 パリ株式取引所従業員は給料引上げ要求が拒否されたため十八日罷業を開始し、ために立會は停止されるに至つた、勞働省は爭議の調停に盡力してゐるが未だ調停に成功してゐない

【ソ 聯】

砂漠地帯大灌漑計畫

(モスクワ十八日發) ソヴェト聯邦農業科學アカデミーが十八日發表したところによればムルガド地方における棉花栽培面積を七倍に増加するためトルクメンの沙漠灌漑計畫が立案されてゐるといはれる

ソ聯の一九四四年度の棉花收穫量は大體五百五十萬捆と推定されてゐるが、これは戰爭直前の平均量の略々二倍に相當し、ソ聯は既に世界第二の棉花栽培國の地位を占めてゐる、以上の計畫はソ聯が戰後において更に棉花栽培を擴大する意圖を示すものとみられる



英國總選舉戰の序曲(下)
長谷川才次

△泥試合に導く下院

中間的聯立内閣案に労働黨が反対なのは既に明らかであつたが労働相サー・アーネスト・ベヴィンだけは恐らくチャーチル首相の陣營に踏み留るだらうとみられてゐただけに、四月七日リーズ市における演説で労働相が總選舉戰の口火を切り旗幟を闡明にしたのは、英國政界に二重の衝撃を與へたに違ひない、サー・アーネストの演説に對しチャーチル首相の腰巾著たる情報相ブレンダン・ブラツケンが直ちに反駁を加へ、さらに労働黨首領アーサー・グリーンウッドが四月九日英國下院で次の通り述べてゐる

政争の口火を切つたのはチャーチル首相自身である、余は首相を偉大な指導者として尊敬するが明日の世界を建設する偉大な建築家とは看做さない、敢て首相に告げるが將來を労働黨に託するのが賢明であらう

更に十日の下院では労働黨領袖シンウエル等が情報相を攻撃し、英國各紙の政治記者は筆を揃へて、何時労働黨出身の閣僚が聯立内閣から脱去するかも知れず聯立内閣の解體は最早時間の問題だと書き立てた位だが、四月十一日のロイター電報によれば一應保守黨と労働黨との間に話合ひが出来た様子で、少くとも兩黨出身の閣僚同志は泥試合を慎むことになつたらしい

△追分け上になつ政界

かかる彌縫策が果して何時まで續くかは勿論疑問だが、今回の泥試合を通じて英國政界の動きを検討すれば次の諸點を擧げることが出来るよう

一、「ナチヨナール・ツアイツング」紙ロンドン特電 今回の事件で労働黨が總選舉に希望を繋いでゐると同様、保守黨もまた總選舉を恐れてゐないことが明らかになつた、労働相サー・アーネスト・ベヴィン今回の演説で今回の聯立内閣が圓滿に解體する望みはなく、恐らく住宅問題に關する労働黨の不信認投票で聯立内閣が突然爆發するに違ひない、住宅問題こそは来るべ

き總選舉における労働黨にとつての絶好の題目である、労働相はチャーチル首相の女婿ダンカン・サンデイスの住宅對策に不満で最近下院においてずつと沈黙をまもつてゐる、英國の社會相が現在飽和状態にあるために住宅政策に關する保守黨の近視眼的施策は二重に危険なわけだ

一、「ガゼット・ローザンヌ」紙ロンドン特電

今回の事件を契期として共產黨を除外した左翼共同戦線の結成が頻りに論議されるに至り、幾多左翼の下院議員は總選舉にのぞむ戦術としても共同戦線の結成を提唱してゐる、獨立労働黨が労働黨に合流したことは一段と以上の傾向に拍車をかけるに至つた、聯邦黨が労働黨との合流を再三提案してゐることはいふまでもない 今回の事件に關聯してビーヴァー・ブルツク卿の「デーリー・エクスプレス」紙並びに故ロザミヤ卿の「デーリー・メール」紙等は頻りに聯立内閣の解體を主張してゐるが、「タイムズ」紙は十日の紙上において依然聯立内閣の存続を提唱し聯立内閣は戦争遂行のために組織されたのだが戦争の遂行と平和の組織とは不可分のだから聯立内閣はさらに平和の組織を用意しなければならぬ

とのべてゐる

来るべき總選舉の題目は住宅問題をはじめ枚舉にいとまもない位だが、特に戦時における非常大權法に基く産業の統制をどの程度まで緩和するかが最大の問題であり、労働相サー・アーネスト・ベヴィンが「英國は今追分けになつてゐる」とのべた通り、保守黨の主張する企業に自由に立返るかそれとも労働黨の提唱する通り炭坑、電気事業並びに運輸事業の國營を斷行するか、英國民はマグナカルタ以來の重大決定をもとめられることとならう

最後に英國政界の動向と来るべき總選舉の題目をうかがふ資料として三月十九日附の「タイムズ」紙の社説をかかげよう

△住宅問題を盾に各派出馬

「總選舉は決して日本との感情を片づけ、且つ内政外交の兩分野に亘り平和的努力をかたむけて軍

事上の勝利に有終の美を添へようとの英國民の決意が弱められる事を意味しない、一九三五年に出された議會を更新するのは政治的賢慮の要求するところであり、英國の選舉民に對し候補者と政策とを自由に選擇されるのは政治的現實の要請である、クリミヤ綱領については英國民が壓倒的支持を與へてゐるので、總選舉は本質的には國內再建の諸問題に關して戰はれるであらう、すべての人に職業を、すべての人に家庭を且つ衣類と家具とを添へてといふのが二つの最も大きな要求である、就業政策に關する白書は議會の當面する目前の任務が失業者に仕事をみつけてやつて經濟的不況の對策を講ずることには存せず、消費の擴充を求める必然的な壓迫を抑制し、破局的インフレーションを阻止するにあることを實證した點で全國民一致の支持を博した

しかしながら更に急迫してゐる住宅問題については三政黨の領袖が聯立内閣の閣僚としては歐洲における平和の克服後最初の二ケ年間に永久的並びに假住宅五十萬戸以上を建設することは出来ないといふ事實を認めながら各政黨が夫々かかる住宅計畫は不充分だと主張してゐるのを見て選舉民は微笑を禁じ得まい、チャーチル首相とその一黨は恐らく四ケ年計畫を提げて國民の支持を要請するだらうが、反對黨もまた都市計畫乃至地方行政等に關する全く同様の主張を掲げて選舉戰に臨むであらう、土地の支配に關する白書の如く各黨派が意見一致出来ないことを率直に告白してゐる施策も少くないが、教育法案から社會保險計畫、住宅並びに建築に關する技術的準備から、醫療政策に關する白書等既に出來上つた諸提案については、假に各政黨が獨自の變種の提案をしようとも國民としてはこれら提案の根本原則から離れた案には絶対に同意しないであらう、しかしながら各政黨間に純粹且つ建設的な競争の基礎がないと斷定するのは早斷だ

△對策立たぬ未知の数々

聯立内閣の政綱は右政綱に掲げられた諸項目についてよりも政綱に掲げられてゐない項目について意味が深長だともいへよう、戦後、國民の富を

増加する手段については意見は一致しないが、國富の分割については意見がまとまつてをり、どこに住宅をたてるかは決らないが、住宅を建てるといふことが重要だといふことは異議がなく、一切の社會政策の基調となるべき基本諸産業の技術的革命促進の手段は決つてゐないが、教育と醫療政策の表面的變更については是非必要だといふことに意見が一致してゐるがごときだ、住宅政策の資金をどこに求めるかは全然未知數であり、聚洛の再建計畫についてもまだ何等政策がきまつてゐない、勿論生産の擴充、工業の再組織に關する建設的な對案などはいまだにその片鱗すらも窺ふことが出来ない、炭坑業、燃料並びに電力、輸送乃至基本的な産業諸部門について聯立内閣がいまだ明確な政策を示さないことによつても事態を察するに難くない、各政黨が夫々の方針に基き解答しなければならぬ、主要な諸懸案は

一、英國の資源を如何に活用するか、何れを優先的に扱ふか
一、經濟統制策に出るか、それとも統制を緩和するか、生産施設の公有か、民間の處理をみつめるか
といふことである

米國印度救濟計畫

(リスボン十七日發) ニューヨーク來電「前印度特使ウイリアム・フリップスは十七日「米國印度救濟協會」の午餐會に臨み、ベンガル州その他印度諸州に米國の飢饉救濟事業を擴張する計畫を發表、資金百二十萬弗の募集を開始した、席上フリップスは右救濟事業に關して左のとほり述べた

印度の窮狀は直接戰爭によつて惹き起されたのであるから、印度人の困苦を軽減することに助力するのは米國民に相應しい行爲である、さらに印度には數千名の米軍兵士が駐屯してをり、米國は印度の救濟を拒否するわけには行かない



ソ聯の現勢

△農工業の損害

「タイムズ」紙掲載「ソ聯訪問記」より

報ぜられるところによればソ聯は前線で八百萬人を喪ひさらに少くとも五六百萬人を獨軍治下で失つたので、これが大變深刻な影響を農業に及ぼしてをり、一時獨軍に占領されてゐたところなど勞働人口の僅か一割だけが男子だといふ有様であるさらにソ聯農業の蒙つてゐる戦争による影響はトラクターの激減で、現在トラクター保有数はまづ十年乃至十五年以前よりも下廻つてゐるとみるべく、戦前の水準までこれを引戻さうとすれば、どんなにしてもまづ四年はかかるだらうと思はれる都市と工業地區の荒廢と來たらこれまた農村以上である、だからその復興に百パーセントの努力を續けるとしてもまづ十年はたつぷりかからうといふものである

さればこそソ聯はこの損害賠償につきドイツに對し嚴酷なる要求をなすものと思はれ殊に機械類並びに工業製品の引渡についての要求は嚴重を極めるものと豫想される、ソ聯はまた聯合諸國との貿易を更に強化しようと考えてゐるらしい、素よりソ聯は外部の援助に依存しようなどとは考へてはゐないやうだが、少くともこの深刻な戦争の數年をくぐつてきたあと、一時的には居住面積をも少し廣くが、衣服、食料をも少し豊富にかいふ點につき物質的な援助を受けることを希望してゐるやうである

△共產黨問題

共產黨自體の問題もまた極めて重大となつてきてゐる、一九三九年以來入黨に關する制約が相當緩和されたため、黨員は一九四五年一月現在までに一躍百六十萬人から四百七十萬と増加した、但し目下はまたこの寛大な方法が改められて、スターリン指導下における黨の主動的役割即ち國內の主要領導力としその役割に大いに重點がおかれるようになつてゐる、ソ聯内部のみならず海外諸國

からも興味の目をもつてみられてゐるのは、この戦争がソ聯に齎した内部革命、就中、新特權上流階級の確立に關してである、この變化は確に相當なものではあるがさりとて決して根本的なものではない、如何に勳章を澤山貰はうが、スターリンの感狀を山程戴いてゐやうがもし當人があまり呑氣に無頓着にやつてゐるとボンと蹴出されてしまふ、國家はまだ最下級官吏と雖も一舉に簡拔重用するといふ手で大部分の高級行政官吏を押へてゐるのである

この共產黨への權力集中から二つの結果が生れて來てゐる、その一つは凡ゆる主要問題の主動性がスターリン自身を中心とする中核部に握られてゐるといふこと、その二は前項のことから自ら出て來ることだがソ聯の傳統的な祕密性を更に尖鋭ならしめたといふことで、これこそモスクワがどうしてあんなに端倪を許さざる政略をとり得るかといふことを説明するものである

△ソ聯の對獨對歐態度

ヤルタ協定のうちの如何なる部分といへども、そのドイツの將來に關する決定ほどソ聯で歡迎されたものはない、ヤルタ協定は明白にドイツ國民が今後苦難の長年月を過すべきこと且つドイツ國民が歐洲諸國の一員として復歸することを許されるまでには十分な賠償のなされるべきことを宣言してゐるのだ、そしてソ聯の新聞が猛烈に攻撃を加へたのが聯合國及び中立諸國のいはゆる同情的見解を代表するものであつたこと、そしてソ聯新聞がしばしば引用したところが外國の名もなき者のいふところでもそれが不幸にも讀者をして英、米は本當に新らしく作られたる秩序を維持せんとするものなりや否やを問はせる底のものであつたことは、ソ聯の方向を自ら知らしめるであらう

ドイツをして新なる攻撃を開始せしめる如何なる可能性をも獲得せしめず、如何なる他の國よりも援助乃至同情を得さしめずとの決定は、ソ聯の對歐政策をよく説明するものである、しかしてこの強力なる一本槍の政策は現實の分析についても行動においても常に妥協半端を避けるこの國において極めて明確に具體化されてゐるのである

他方東歐における親ソ政権については如何、ソ聯をしていはしむれば、親ソ政権なるものは單に當該政府の政策闡明だけでは駄目で、現實に證據がなければいけないといふのである、しかもその證據といふのは、今次戦争中乃至戦前において曖昧なる役割を演じてゐたすべての團體乃至經濟的グループが、あらゆる權力的地位から追出され、大地主が小農におき換へられ、且つ國家の經濟的、政治的基盤に政治的安定の保障がつけられねば駄目だといふのである

ソ聯側の意見によれば民主主義とは左翼民主主義のいはれである、一例として筆者はルーマニア旅行中夜を徹して多くのソ聯人と談じたがその際彼らは歐洲諸國に彼等のいはゆる新民主主義を確立した方がソ聯のためにも英國のためにもなるのではないかと語つてゐた、この新民主主義といふのは、いはばソヴェト・ロシアと資本主義的個人主義的組織の中間的政權を各國につくらんとするもので、社會の安全保障を鞏固にし、重要工業の國家管理、農業改革を行ひ、政府自體は右翼を排除し、中央黨と共產黨を含めての左翼とをもつて組織せんとするものである

米國戰時食糧政策の基本原則

A P 通信オーヴィド・マーチン

米國政府は補給物資を英國とソ聯に送ることが立派な軍略上の措置だと信じてゐる、英ソ兩國は從來自國軍隊の戰鬪を繼續させるに足るだけの物資を生産しなかつた、そこで米國政府は米國の補給物資が英ソ兩國兵士の戰鬪繼續を援助してゐると信じてゐるのである

米國政府が外國の食糧事情を救済せねばならぬ理由は三つある、第一に米國政府は既に食糧を送る約束をした、第二に人道的にいつても食糧を送つてやらねばならぬ、第三に米國は自國の利益を圖るためにも外國を救済せねばならぬ

食糧救済の約束は米國の戰時食糧政策の基本方針から生れたもので軍事的な意味を持つてをり、抗戰精神を維持すると共に敵軍後方の攪亂を鼓舞するやう圖られたものである

人道上の理由で食糧補給を行ふことは故大統領

ルーズヴェルトが米國民に更に一層帶革を引き締めるやう要請して特に強調したところである
政府當局は歐洲の飢饉を防止するためには今後十二乃至十八ヶ月の間莫大な量に上る食糧と農具とが必要だと考へてゐる

平和時にあつても歐洲大陸は自身を養ふに足るだけの食糧を生産せず、通常その食糧原料品の十乃至二十％を輸入してゐたのであるが、右の生産不足量は現在ではさらに増大した、歐洲が戦前の食糧生産高を取戻すには二、三年かかるだらうと考へる専門家もゐる有様である

米國自國の利益のために食糧補給を行ふことは多數の意見では最も重要な點だと見做されてゐる政府當局は空腹を抱えた人民が思慮を失ひ勝ちとなり、感情を鎮めることも困難であることをよく承知してゐる、かうした人民が永續的な政治機關を組織したり將來に備へて健全な策を立てる等することはあるまい、斯くして歐洲大陸が混亂と飢餓とで沸き返るならば米國の將來も危くならうといふわけだ、當局はさらに左の通り説明してゐる
病氣、傳染病、惡疫等は屢々飢饉に踵を接して發生するものだ、かうした病氣は容易に占領地の米軍兵士間に蔓延し、さらに米國にまでも擴がるに至るだらう

米國政府は食糧救済に着手した、問題は唯一つ米國の救済力である、食糧の大半は世界的に不足状態にあり、また軍需要が増大しつゝあるため米國の救済力では今年冬期の飢饉による困苦を防ぐことは出来ないであらう

俘虜給養の問題に關しては、ジュネーヴ規約で敵國の俘虜には自國の基地駐屯部隊に支給する食物と量的にも質的にも等しい給養を行ふことが要求されてゐる、この規約は不足食糧品の代用を認めてゐる、例へば俘虜に與へる肉を自國軍隊への給養量より減らし、代りに魚類の給養量を増すとかバタの代りにマーガリンを與へる等の措置である、米國政府は敵國が米軍俘虜に餓死的な給養をしてゐるとの理由で敵國の俘虜を同様に取扱ふことは不正と考へてゐる、このやうな措置に出ると米國は條約不履行國となつて敵國と同等の水準に墮することになると米政府當局はいふのである

昭和二十年 四月廿三日(月)
第 三 四 〇 〇 號

同盟通信

海外電報

(90)

米國下院歳入委員會は目下通商協定法の延長に關聯して關稅引下げ法案を審議中だが米國からの情報によると共和黨委員から猛烈な反對が起り法案の前途が極めてあやぶまれるに至つたといはれる、この法案は元來故大統領ルーズヴェルトによつて議會に勸告されたものであり、たとへこれが議會によつて否決されようとも新大統領トルーマンの沽券にかかはることはないといへばそれまでだが、面白いのは共和黨陣營の同法案に對する反對が大統領の代つたのをきつかけとして俄然猛烈となつたことで米國の新聞通信もこの事實に注目し「新大統領と議會との最初の戦ひ」であるとし或ひはまた「國內政治における新大統領の試金石ともならう」と報道してゐる



故大統領に對する毀譽褒貶はともかくとして、ルーズヴェルトとトルーマンを較べてみると後者が遙かに見劣りすることは衆目の一致するところだ、就中外交問題では全くの素人であり、新大統領に對する米國民の危惧はトルーマンが果してチャーチルやスターリンなどの海千山千を相手としてよく米國の戦時外交を大過なく指導してゆけるかどうかの點におかれてゐるやうだが驕つて國內問題についても米國民は果してルーズヴェルトに與へたやうな信頼をトルーマンに與へることが出来るであらうか

ルーズヴェルトが死んだとたんに共和黨員が急に關稅引下げ法案について騒ぎ出したことを米國の新聞が重大視するのも一つでもある、共和黨員は新大統領を見縊つたのであり、更にこれはひろく米國民全體の新大統領に對する感じを代表したものとさへ云へる、ルーズヴェルトの死はたしかに米國にとつては痛手であつた、特に彼が事實上の獨裁者として米國を思ひのままに引ずつてゐただけに彼の急死の與へる影響は深刻といはなければなるまい

【目 次】

大柏林地區東部に迫る.....	一〇八八
赤軍巨砲柏林市内に落下.....	〃
米軍に獨ソ戰車識別令.....	〃
佛外相米大統領と會見.....	〃
印度代表桑港會議へ.....	〃
反樞軸司法會議終る.....	〃
米紡績工資銀引上げ.....	〃
【米 洲】	
太平洋島嶼領有案下院を支配.....	一〇八九
日本に媾和を許すな.....	〃
米大統領、參謀總長會談.....	〃
餘剩資産局商務省に移管.....	〃
米駐亞大使任命.....	〃
【歐 洲】	
瑞、獨難民の入國禁止.....	一〇九〇
米歐洲艦隊參謀長.....	〃
【ド イ ツ】	
フレンセン死去.....	〃
【英 帝 國】	
加内閣改造.....	〃
英國燈火管制を緩和.....	〃
【西 亞】	
イラン内閣總辭職.....	〃
【東 亞】	
米軍死傷七千九百八十八.....	〃
【特 輯】	
佛總選舉の前夜.....	一一九一
【資 料】	
七十億弗の戦友.....	一一九三

大柏林地區東部に迫る

(ベルリン二十日發) ドイツ軍當局二十日言明、赤軍はベルリン東方においてドイツ軍陣地に深く突破した後、二十日午後大ベルリン地區の境界線間近かに迫つてをり事態は急迫を告げてゐるが、赤軍はまだ全力を出し切つてをらず、ドイツ軍は更に赤軍の壓迫が加重されることを覺悟しなければならぬ

赤軍巨砲柏林市内に落下

(ストックホルム二十四日發) ドイツ前線報道によればソコロフスキー麾下の第一白露戦線軍は大ベルリン地區東北方の平原においてドイツ機甲兵力と激戦を展開した後、二十日二十七軒に亘つてドイツ軍陣地を突破、ウリーツェンからプレツェルを経て大ベルリン地區東北方僅か十一軒のブッフホルツに達したが、ベルリン市自身は同日午後赤軍長距離砲の射程圏内に入り、殷々たる砲聲とともに市街地區に赤軍の巨砲が落下し初めたといはれる、ドイツ中央軍の豫備兵力は朝來トラツクを連ねて前線に續々繰り出してゐるが、何分にも赤軍の壓迫は強烈を極め、既に赤軍先鋒はベルリン東北方二十軒のベルナウから十五軒のウエルノイヘンに到達、さらに東方二十五軒のシュトラウスベルグから四十軒のミュンヘベルグに殺到、馬蹄形の戦線にひた押しの重壓を加へてをり、戦闘はいまだ曾つてないほど凄惨且つ血腥いものと化しつつある

米軍に獨ソ戦車識別令

(チューリッヒ十九日發) 米軍と赤軍の間隔は漸次狭まり、コーネフ軍と米第三軍とは百四十軒程度で、さらにその北方においてはコーネフ軍と米第一軍とは八十軒餘りといはれるが、AP前線報道によれば西部戦線の全米軍は十九日赤軍戦車の影繪及び寫眞を掲げたポスターについてソ聯戦車の特徴を検討しておくやう命令されたといはれるこれはドイツ軍戦車と間違つてソ聯戦車を撃たないため、右のポスターには特にドイツ軍の戦車

に酷似した幾種類かのソ聯戦車が寫されてをり、さらに米軍將兵は發射する前に目標の戦車を二度見るやうとの命令を受けてゐるといはれる

佛外相米大統領と會見

(リスボン二十日發) ワシントン來電、桑港會議フランス代表外相ビドーは二十日大統領トルーマンを訪問、長時間に亘り會談を遂げた

印度代表桑港會議へ

(リスボン二十日發) ロンドン來電、桑港會議印度代表ラマスワム・ムダリア、フィロツ・カーン・ヌーン及びクリシュナマチャリアーはロンドンにおける英聯邦會議に出席した後、サンフランシスコに向ひ二十日空路ロンドンを出發した

反樞軸司法會議終る

(リスボン二十日發) ワシントン來電、反樞軸三十八ヶ國の司法代表は過去九日間にわたり新國際安全保障機構の一部をなす國際司法制度につき審議をつづけてゐたが、二十日をもつて議事を終了し、國務省は同日次の通り發表

反樞軸國際司法會議は國際司法組織案を決定しこの案は明二十日参加各國代表によつて調印されやう、案の内容は大體ダンバートン・オークス案の線に沿つたものだが、きたるべき桑港會議に國際安全保障機構案の一部として附議されることとならう

米紡績工資引上げ

(リスボン二十日發) ワシントン來電、米國經濟安定局長官ウイリアム・デーヴィスは二十日紡績工の賃銀引上げ並びに織物價格引下げに關する新規定をそれぞれ次の通り發表した、右規定は本年六月から實施される

- 一、北部及び南部における五十四紡績工場の工員五萬名に對し最低賃銀を一日五十五仙と規定し一時間につき總體的に五仙の増額を認める
- 二、衣類製造業者は生産費を一九四三年の水準に引下げ、かくして小賣價格を約六方引下げる

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

【米 洲】

太平洋島嶼領有案下院を支配

(リスボン十九日發) ワシントン來電 米下院は十九日海軍豫算案を可決上院に廻附したが、同豫算案の討議をきつかけに米國は戦後も太平洋諸島嶼を保有すべしとする要求が再び擡頭、殆んど下院全體を支配するに至つた、ニューヨーク選出共和黨議員ワヅワースは

硫黄島、サイパン、マリアナ、カロリンの諸島は米軍が血と汗を搾つて占領したのだから米國は當然以上の諸島を確保する權利がある
と述べたが、モンタナ選出民主黨議員マンスフィールドも

太平洋における米國の安全を確保するため日本の委任統治諸島を米國領に編入しても一向に差支へない
と言明して去る九日マホン議員が提出した右問題に關する決議案を全的に支持した、豫算委員會も下院の空氣に鑑み、太平洋諸島領有案を法案に具體化して下院の討議にかけるべく決意した模様である

日本に媾和を許すな

(リスボン十九日發) 米國太平洋第三艦隊司令長官ハルゼーは日本の完全抹殺論者の急先鋒として知られ、また無責任な放言をもつて有名だが、十九日ニューヨーク來電によれば彼は最近發行の「コリアー」誌に署名論文を寄稿、日本人に對する憎惡にみちた筆致をもつて次の通り論じたいはれる

米國は日本に對して正式な媾和條約を許すべきでない、媾和條約に代り米國は日本を長期間に亘り「休戰」の状態に止めておくべきだ、戦争犯罪を犯したあらゆる日本人に對しては嚴罰主義をもつて臨むべく、戦争犯罪者たる日本人が如何なる地位にあり位階を持たうとも、これに對して何らの顧慮をも拂ふべきでない

日本軍が太平洋で「殺戮した」米國兵の處理に對し日本軍將校を死刑に處するのその一方法

であらう、日本人に對して限りなき憎惡を感じてゐるのは自分一人でなく余の麾下將兵も同様の憎惡感を抱いてゐる、米國は日本民族を無力化すべく、しかも長期に亘つて無力の状態におかなければならない、これがためには次の諸措置が必要であらう

一、反樞軸國の承認なくして日本は一隻の船舶も動かし得ない

一、あらゆる日本人から武器を剝奪する
一、殆んどすべての工業資材を日本から剝奪する

米大統領・參謀總長會談

(リスボン十九日發) ワシントン來電 大統領トルーマンは十九日陸軍參謀總長ジョージ・マーシャルをホワイト・ハウスに招致し會談を遂げた、會談の内容は發表されてゐない

餘剩資産局商務省に移管

(リスボン十八日發) ワシントン來電 戰時動員局長官フレッド・ヴィンソンは十八日夜、餘剩資産局が近く現在の財務省から商務省に移管されることとなつた旨發表した

財務長官モーゲンソーは昨秋來、同局が仕事の性質上財務省から分離さるべき旨を提唱してゐたが、今回これが實現を見るに至つたもので、移管完了と同時に商務省は主として自動車、トラック衣類、金物類、農具、醫療施設、機械類等の餘剩消費財を取扱ふ筈である

米駐亞大使任命

(リスボン十九日發) ワシントン來電 米國政府は最近アルゼンチンのフアレ政權を承認したが米國大統領トルーマンは十九日キューバ駐劄米國大使スプリュール・ブレードンをアルゼンチン駐劄大使に任命した

【歐洲】

瑞、獨難民の令國禁止

(チューリッヒ十九日發) スイス政府はドイツ避難民の殺到に鑑み十九日東北部國境の即時閉鎖を發令した

米歐洲艦隊參謀長

(リスボン十九日發) ロンドン來電 米國歐洲水域艦隊司令官は海軍少將ローレンス・デボースが艦隊參謀長に任命され、ロンドン駐米大使館附海軍武官をも兼任することとなつた旨十九日發表した、デボースは海軍少將ジョージ・ウイルソンの後任として任命されたもので、最近まで太平洋巡洋艦隊司令であつた

【ドイツ】

フレンセン死去

(ベルリン十九日發) ドイツの著名作家グスタフ・フレンセン氏は十九日北ドイツ、ホルシュタインの一村落バルトで死去した、享年八十二、同氏は一八六三年バルトに生れ、農民生活を主題とした處女作「イエールン・ウール」を振出しに、ドイツ有数の寫實派作家として認められてゐた、「ヒリゲレイライ」、「ペーター・ムアの西南旅行記」など是有名な作である

【英國】

加内閣改造

(リスボン十八日發) オッタワ來電 カナダ首相キングは十八日次の通り内閣改造を發表した
鑛山資源相 トーマス・クレアラ、交通相 ジョセフ・ミンヨード、内相 ソーマン・ミラテイ、海相 アンガス・マクドナルド、陸相 ラフレツシュの五名は十八日辭職し、後任は次の通り決定した
鑛山資源相 ジョセフ・ジヤン
交通相 マーチン
内相 ダグラス・アボット
海相 ムカン博士

今回の内閣改造は六月十一日行はれる總選舉を前

に辭意を表明した閣僚を辭めさせてキング内閣の強化を計るための措地とみられてゐる

英國燈火管制を緩和

(ストックホルム十九日) ロンドン來電 英國内相ハーバート・モリソンは十九日下院において燈火管制の緩和について次の通り言明した
一、四月二十三日以降海岸地帯を除き英國内における建物の燈火制限を撤廢する

一、但し海岸地帯五哩で依然燈火管制が實施されてゐる地域においては完全な燈火管制(ブラツグ・アウト)を引續き施行する、その他の海岸地帯においては一部管制(デム・アウト)を施行し、ドイツ潜水艦その他の艦艇による英國艦攻撃に援助を與へることがないやう注意すること

一、今後住宅並びに工場から出る燈火量が増大するから、住民は警報發令とともに暗幕をひき乃至出來れば消燈すること

一、但し街燈に關しては燃料節約のため五月一日以降二重夏期時間の期間消燈することとなつてゐるから差當り何等の變更はない、もつとも右期間内に準備して七月十五日以降十分街燈を點する豫定である

【西亞】

イラン内閣總辭職

(リスボン十九日發) テヘラン來電 伊ラン内閣は十九日總辭職した、原因は明かにされてゐない

【東亞】

米軍死傷七千九百八十八

(リスボン十九日發) グラム島基地來電 太平洋艦隊司令長官チェスター・ニミッツは沖繩侵攻戰における米國陸海軍並びに海兵隊の死傷者數が合計七千九百八十八名に達した旨十九日發表した、右の内譯は戦死千四百八十二名、負傷者四千七百五十名、行方不明千七百五十六名となつてゐる



佛總選舉の前夜

井上 勇

△また延びる可能性

二月末に行はれるといはれたフランスの地方選挙は到頭豫測通り延びて本月二十四日となり、それがまた延期されさうな形勢である、選挙といふものは風雲を伴ひがちなもので、政界もまた不穩である、黒雲の中心に、それとは名指されてゐないが一大臣がある、政府所有のガソリンを闇に流して巨利を得たといふのだ、新聞報によれば牛乳罐五萬個を闇市場に出して儲けたといふ大臣もあるさうだ、「エコノミスト」ではないが「ド・ゴール」はいいが、取巻きが悪い「」といはれても仕方がない、大臣がぐらがり商賣をやれば、政敵も闇夜稼ぎにのり出して、ド・ゴール暗殺計畫が暴露したとかしないとか傳へられてゐる、十日の夜パリ郊外サン・シールで空軍將校二名が、公用自動車で疾走中を捕へられた、車の中には機關銃その他の武器がかくされてゐた、彼らは高官を暗殺する陰謀團の一味で、そのほかに月初めからかけて十名以上のものが某陰謀事件にからんで捕縛されたといふのが、ド・ゴール暗殺計畫だといふのだ、ロマンの好きなフランス人はすぐこれに脚色する、捕つた連中はジグマリンドンの古城に連絡のあるドリオ黨で、カグラール(戦争直前エトアル廣場の爆破事件の背後といはれた右翼秘密結社)の殘黨だ、パリ中に網を張つてゐて、特に空軍内部に根を下ろしてゐる、空相の共產黨員シャル・ティロンは早くからそれに氣付いて、目下極秘裡に空軍の肅清に着手した等々の噂がこれである

△選挙戦の算盤勘定

かうした風塵の中で、政府と各政黨は、さて選挙をやつたが得か、やれば損にはなるまいと戸惑ひしてゐる、延ばすには尤もらしい口實がある、ドイツに行つてゐた數百萬人の捕虜、勞働者がまだ歸つて來てゐないといふ理由だ、抗戰會議派は元來、政治的地盤を持つてゐないので一番選挙の

結果を危惧してゐる、共產黨も社會黨も妥協するが如くせざるが如く、相手の隙につけ入らうとして時期尚早の結論のやうだ、勞働總同盟は六百萬の會員を有するとは名のみで、再建されて間がなく自信も何もない、新生の共和聯合はうつかりすると右翼に喰はれるかも知れぬと考へ、急進社會黨はわれこそ平均フランス人の黨だと威張つてみても、中心人物がゐない、黨は平均フランス人にしても、指導者は平均フランス人では困るわけだこの八方ふさがりに加へて、政府がまた選挙にあまり乗り氣でない、獨裁者の共通の心理である、かう條件が揃へば、選挙がのびても不思議はない民意に問ふ、民意に問ふは看板で、お互ひに怖いものの蓋をあけるのは氣がすまないのである

△在獨捕虜の始末

そこでドイツにゐるフランス人の話であるが、「ガゼット・ド・ローザンヌ」のパリ電はこの營養不良の、疲勞困憊した數百萬人の人間が、これまた飢ゑのどん底にあるフランス本國に、いきなり持ち込まれることは重大な社會問題を提起するだらうと報じてゐる、捕虜、勞働者の立場からいへば、長い囚はれの身體が漸く自由になつた今日唯一の希望は一日も早く本國に歸ることである、家族の安否を自分の眼で確かめたいことだ、本國にゐる者からいへばまた自分の夫、父、倅の姿を一瞬でも早く見度いといふのが人情であらう、しかし戦争は人情ではないので困る、第一に軍事上の必要は、これ等フランス人を本國にかへす前に一應身元を調査し、記録して「第五部隊」の潜入を防止しなくてはならない、また一時にどつと押寄せられては軍事輸送に支障を生ずる、衛生上の見地からは一應、檢疫もせねばならない、いまのままでさへ飢ゑかけてゐる本國に、この上數百萬人の人間を入れるためには食糧も心配しておかねばならぬ、住む家も用意してやらないと家のなくなつた者も相當數にのぼると推定されてゐる、そこでアイゼンハワー司令部和フランス政府は相談して、急激な人口移動を防止するため、捕虜にしる勞働者にしろ許可のあるまでは現在位置から動かぬやうに命令を出した

國內にも收容所内にも不平が起つたのはいふまでもない、解放された筈の人間が、依然として毛蟲針金の柵の中で、これから何日と豫定もつかず暮さねばならないといふのだから捕虜たちは腐るはずである、家族でみれば歸るはずの愛する人間が何時かへるか判らないとあつては失望せざるを得ない、大體二百萬人と概算される捕虜、労働者の内、今日まですでにフランスに歸つてきたのは五萬人といはれてゐるが、その五萬人も、運輸の都合その他で直ぐに家にかへすわけには行かず、今度はフランス國內で、フランス人のために捕虜になつてゐる始末で、二百萬人がひと通り、故郷に檻を飾るのを待つてゐたのでは選舉は何時のことになるか見當もつかない

△失業と産業復興

失業者数は多少減少したやうで二月十五日現在で四十萬五千といはれるが三月一日現在では三十八萬人と發表されてゐる、大體失業者がふえてゐるのは紡織部門だけで、他の生産部門では少しづつなりは改善してゐるやうだ、鋼鐵業など設備は殆んど破壊されずをつくりそのままフランスの手に回復されて、これは大いにドイツに感謝して然るべきことだが、戦前の生産月額五十萬トンは、この一月五萬五千噸、三月の豫定は六萬五千、四月は十萬噸となつてをり、まだまだ前途は遠いが鰻のぼりしてゐることは事實のやうだ、しかし、これに三百萬人の「歸つてきた人々」を迎へることは再び失業問題を深刻化させざるを得ないだらう、家の問題にしても三月二十日復興相の報告によると目下家なし人口は五百萬人に達してをり、破壊された家屋は前大戰以上の數にのぼるといはれてゐる、捕虜が歸つてくればこの問題も一層切實になるわけで、かたがた政府は、彼らが早急に歸れないことは何かにつけて都合だといふことになるらしい、しかし、何れにしても歸るべきものは遅かれ早やかれかへさなくてはならないので都合がつき次第歸國はさしてゐるやうで四月十四日には政治犯として、ドイツに連れて行かれてゐた百十七名の婦人がラーヴェンスブリュックの婦人捕虜收容所から解放されてパリに歸つて來た、ド・ゴールもわざわざ驛まで出迎へて一人一人に

握手してゐるところ、女ならではの夜の明けぬ國は向ふ方にもあるらしい、ラーヴェンスブリュックにはまだ七千五百名のフランス婦人がゐる筈で、これに一々握手して兩頬にキッスすることになるとド・ゴールは一躍世界中で一番多くの女にキッスした男といふことになるだらう

△酒で買ふ密藏武器

ド・ゴール暗殺計畫の噂に關聯してかどうか、マルセイユ警察では武器隠匿を密告した者には小銃一挺一リツトル、小銃彈五百發で五リツトル、彈丸付機關銃一挺なら五十リツトルの割合で葡萄酒を賞品に出す布告をしたところ成績は豫想外に良好であるとのことだ、マルセイユといへば、獨佛休戰後同地の軍管區司令官だつたフェルナン・ダンツ將軍は、エステヴァ將軍に引續き三月末日から「貴族裁判」の第二陣を承つてパリ特別法廷に引出されてゐる、シリア總督時代、反樞軸軍相手に一戰試みた罪である、エステヴァ將軍公判の檢事だつたアンドレ・モルネーはダンツにも死刑を求刑すると豫告してゐる、元ヴィシー政府の特高課長だつたリュシアン・アンリ・ロツテーは、四千人以上のフランス「愛國者」を捕縛した廉で四月十一日パリで死刑を宣告された、その前には一九四三年「ラ・デペーシユ・ド・ツールーズ」の持ち主兼主筆で、急進社會黨の領袖モリス・サロー（アルベールの弟）を暗殺した犯人、これまた「ヴィシーの走狗」九名がツールーズで死刑を宣せられてゐる、旅立つ人、歸る人でフランスも仲々にぎやかだがド・ゴールの政敵アンリ・ジロー將軍の女房子供は昨年の四月以來、ドイツに拉致されてゐたのだが、米英軍の進撃で釋放されたことがわかつた、三人の娘のうち一人は客死してゐたが、残りは丈夫で歸つてくる、老將軍はスイス邊りにまで女房娘の命乞ひに出掛けてド・ゴール派から、少々は痛い腹を探られてゐたが、これで一安心のかたちである、政界の暗雲は肅清の嵐、歸還捕虜の泥濘を加へてフランスの春を益々憂鬱にしてゐるわけだ、呑氣なのは四季の移りかはりだけでマロニエは既に咲き誇り、パリ市内は休暇の兵で満ち溢れ、もうもう戦争はいやだの脱走兵が續出してゐるといふ



七十億弗の戦友

「タイム」誌三月十九日號

△經濟問題

ワシントンでは第四次米ソ武器貸與協定が生れようとしてゐる、現在迄ソ聯に送られてゐた物資の殆ど總ては即刻消費されるやうなもの——飛行機、トラック、食糧等だつたが今や重點は移行しつつある、非公式の報告によると現在の交渉の重點は戦後まで持つやうな物資——鐵道資材や機械類——の貸與におかれてをり、右の諸物資は貸與されるのでなく、新米佛貸與協定の條項と同様、「二パーセント八分三の利子附三十年拂」で賣却されることになるといふことだ、下院外交委員會の共和黨委員五名は先週「三月十二日の羈絆」と稱される米佛貸與協定に關して憤懣の語調も強い少數派代表報告を發表した、彼等は「米佛貸與協定の條項をみるに全く戦後協定に外ならない」と述べてゐる

貸與協定の新方式は經濟政策として立派に辯護し得る、即ち戦時下にあつては、反樞軸諸國に工具を送り各國の人的資源を動員して必要な補給物資を製作させることによつて船腹及び國內戦線における人的資源を節約することが出来る、また平和が回復すれば貸與物資に對して支拂ひを受ける方が、有用な人的資源を遊ばせておいたり、貸與物資の帳消し、取戻し等をして米國の門口に山積する餘剩資材を更に増すことよりもましであらうしかし以上のやうなクレジットは特にソ聯の場合、さらに大きな問題を提起する、ソ聯は、傳へられるところによれば七十億弗に上る戦後の長期クレジットを要求してゐるといふことだが、ソ聯の提案は左の二問題を同時に提起する

一、如何なる國よりも大なる資源を持ち、自己の契約した借款に對しては從來優秀な支拂成績を示して來た注文主ソ聯から米國に對して米國としても會て應じたことのないやうな大量の單一注文が發せられる機會が生ずること

二、會て餘り外國貿易を行つたことのない國が要求してゐるこの長期のクレジットは一九三五年以前の平和時における米國の最大豫算額より多額に上つてをり、米國はこの借款に應ずることによりニューデイル當時の年支出額を超過する巨費を一國との貿易擴張のために賭けようとしてゐること

△ソ聯には時間

米國がクレジットを拒否すればソ聯の復興と成長を遅らせることならう、ソ聯は第一次大戦から第二次大戦に至る二十年間「建物と工業機械との充實」を叫びつつさらでだに貧弱な生活水準を切詰めて努力したのだつた、今やソ聯努力の結晶も大半は破壊され謂はば焦土の上に再建されねばならぬ有様だ、ソ聯は彈を締め直せば米國から買はうとしてゐるものをいづれは自分で作ることも他から手に入れることも出来よう、例へばドエプロストロイ・ダムの發電機五對はソ聯の工場で作して十年間かかつた、今度ドニエプロストロイを再建するに當つてはソ聯工場は發電機九對の全部を前回よりも迅速に製作し得たであらう、しかしソ聯は以上九對を總て米國のジェネラル・エレクトリック會社に注文したのである

△ドイツには機會

ソ聯はドイツに重工業の賠償をさせる意向で、その旨主張してゐる、もしソ聯が再建用輸入物資を殆どすべてドイツから仰がねばならぬことになる、ドイツ工業は對ソ賠償のために大活況を呈することならう、これがドイツ國民の繁榮を意味するか否かは別として、ドイツ工業力の急速な復活となり、ドイツが世界の平和を脅かす新たな契機とはならう、もしドイツに斯かる好機を掴ませないためソ聯がドイツを完全な政治的支配下に置かうといふ氣を起せば米英兩國は同盟國ソ聯から袖にされ、ドイツには新たな同盟の機會が生ずることとなるかも知れぬ

△米國には二者擇一

かくて工業力といふ觀點からすれば米國がソ聯の再建に大々的な支援を與へるか否かといふ問題は、ソ聯の急速な回復を促進するか又はドイツの迅速な復活を助長するかの二者擇一に歸する

ソ聯は米國の全的な支援を得れば三年乃至五年のうちに一九三九年當時の生産力を取戻すであらう、しかし米國の生産水準に近づくには數十年かかると思はれる、だが米國とソ聯とドイツの工業力は何にも増して米國の繁榮に左右されるやうだし、しかも米國の繁榮は全くソ聯への輸出を含む輸出全般の盛衰に左右される、機械と人間とが遊休状態にあることは米國の社會的、政治的及び工業的衰退を促進するに違ひない、多分最も重要な點はもし米國がソ聯再建事業の大半を引受けるならば工業力に限らず技術その他の能力においてもソ聯ドイツ兩國に對して確實に優位を保ち得るといふことである

「七十億弗とはまた恐しく高價ではないか」といふのが大クレヂットに關する一部の實業家並びに政府の専門家達の議論の主流となつてゐる、一方米國の商人はソ聯といふ顧客を誘引する準備として既に殆ど二十五萬弗を費して廣告面を手に入れ來年のモスクワ貿易博覽會を前にして目下陳列場の獲得戰を演じてゐる

將來の對ソ貿易に關し最も安易で樂天的な見方をする連中は「ソ聯の資源と既存の爲替率を基礎として」ソ聯が返済を行ふものと想定し、つぎにソ聯の需要を測る、かうした態度の一部専門家はウクライナ地方の荒廢に歸した製鋼所や炭坑、白ロシアの焼け碎かれた都市等を眺め、またソ聯國民がソ聯の運命について抱いてゐる限りない信念に接して、「米國は年五十億弗の輸出を二三年間続け、漸次二十億弗にまで減少して行くべきである」と説いてゐる、この貿易法ならば七十億弗若しくはそれ以上に上るクレヂットも決して無理ではあるまいといふのだ

一方別の専門家達は米國が戦後ソ聯の要求するやうな五十億弗に上る各種商品を生産し得るかどうかが疑問だと考へてゐる、「計算に際して十分な確實性を持つ唯一の數字」である米國の戦時生産高を基礎として先づ國內需要の豫想量を引き去りさらに諸外國顧客の豫想要求量を引く、その結果彼等の推定では米國はソ聯にたいして年約二十億弗しか輸出出來ぬといふことになる

さらに現實的な基礎に立つ推定がある、即ち、

「ソ聯は即時拂ひではなくソ聯國產品の輸出によつて結局のところ何れ程の支拂が出來るか」といふのである、ソ聯の戦前輸出額は平均して僅かにソ聯全生産額の二・五パーセントに過ぎなかつた有様だから、七十億弗借款の手數料にもなるまいといふ

しかしこれはソ聯が工場を土臺石から築き始めてゐた頃の輸出額であつて、もしあのまゝ三年以上経過すればその輸出額も増大したであらうことは疑へない、米政府當局では戦後五年間におけるソ聯の諸外國向け輸出額が年五億弗に達すると推定してゐる、米國は曾てソ聯輸出品の五パーセントを受け入れたことすらなかつたが、將來は四十パーセント、金額にして二億弗に上る石炭、金屬石油、木材製品、特にバルブ等を輸入することとならう、しかし右は「もし米國の關稅が低ければ」といふ假定に立つ極めて危なげな推定だ、ソ聯が諸外國に向け輸出し、諸外國がまた米國に輸出するといふ方法で二億弗といふ數字を超える場合があり得ることは確かだ、しかしソ聯が米國への直接間接の輸出により米國の鋼鐵、機械工具、電氣並びに輸送資材等々の支拂ひをするとしてもそれは殆ど年十億弗を超過することはないと思はれる

△米英の切札

ソ聯がクレヂットを必要としてゐることが政治的な掛引に米英の利用し得る最大の武器だといふことは、今まであまりいはれないが決して忘却されてゐるのではない、西歐諸國とソ聯との論争の的となつてゐる地域はソ聯の優勢な地上兵力に餘りにも近い、だがクレヂットは平和會議の席上、米英兩國の發言權を増大するだらう、しかしまたソ聯はクレヂットを得られなかつた場合これに替へるに更に十年間の刻苦窮乏をもつてすることが出來るのだ、ソ聯の人民は工場建設のために全國力を結集し少々の生活水準は犠牲にすることが出來るのである、戦前からソ聯國民を間斷なく働かせることが出來たことを考へれば、現在一層強力な戦勝將軍となつたスターリン元帥は、必要とあればまた同じことを斷行するにちがひない、一九四五年末頃には世界通商會議が開催される模様であるが世界各國はこの席上で始めて明日の相貌を瞥見し得るであらう

昭和二十年 四月廿四日(火)
第三四〇一號

同盟通信

海外電報

91

【目次】

米軍伯林へ突入……………一〇九六

ソ聯も突入を發表……………〃

早くも環狀線を突破……………〃

伯林市民に降服なし……………〃

米、チエツコとの民政協定を急ぐ……………〃

【反樞軸陣營】……………〃

米英外相會談……………一〇九七

顧維鈞桑港會議を語る……………〃

米英加ソ貸與協定調印……………〃

佛も獨勞動力を要求……………〃

【歐 洲】……………〃

イタリアの領土分離問題……………一〇九八

フアシスト青年團復活……………〃

ダンツ將軍死刑……………〃

ソ聯友好條約成立……………〃

瑞、獨船二隻を拿捕……………〃

米歐洲艦隊參謀長……………〃

スターリン元帥自ら前戰指揮か……………一〇九九

伯林攻撃は赤軍の擔當……………〃

包圍軍十六ヶ軍團百五十萬……………〃

ノルウエーも堅忍持久……………〃

【ドイ ツ】……………〃

ベルリンの食糧と水……………〃

【米 洲】……………〃

太平洋作戦再檢討か……………一一〇〇

海軍の損害十萬……………〃

ドイツ軍行爲査察團を派遣……………〃

獨工業處分案の輿論……………〃

新トルコ大使親任狀提出……………〃

【軍事情報】……………〃

米海軍に「化學魚雷」……………〃

【特 輯】……………〃

英佛同盟の前途……………一一〇一

ウエーヴェルの歸國……………一一〇五

【資 料】……………〃

英國放送組織の前途(上)……………一一〇七



けて中央兵力を集結し、南獨山嶽地帯ではイタリア戦線の大兵力を主力として敵に一泡ふかせる。その方が確かに賢明な策だ、ベルリンの形勢に關しては最後の新聞電報が市民の最大關心は食糧と水にあると傳へてゐるが、これはさもあるべきで、腹が減つては戦争は出来ない

これはゲリラ戦においても最も大きな問題だ、通常ゲリラ戦といへば一般民から食糧情報等の協力を得て戦ふが、そのためには一般民が表面敵と妥協しなければならぬ、もし一般民が軍隊と共に山嶽に立て籠つたりすれば、食糧はどこから得るのか、山地で軍民双方の食糧を作ることと思ひもよらぬ、もちろんドイツ軍當局は早くから豫定の據點に相當多量の食糧を備蓄してゐると考へられるが、坐して喰へば山も空しで、パンの切れ目が戦鬪力の最後になつては何にもなるまい

この意味においてドイツ軍今後の抗戦はゲリラ戦ではなく、やはりノルウエー或ひは南獨に立籠る地域確保でなければならぬ

赤軍伯林へ突入

(チューリッヒ二十二日發) ベルリン放送によれば總統本營は二十二日の戦況公報において

目下、ウンター・デン・リンデンから六・四軒

(四哩)の距離にあるベルリン市街地區において激戦が展開されてゐる

旨發表赤軍が既にベルリン市内に突入した事實を認めたといはれる右公報によれば赤軍先鋒の現在位置はベルリン市の中心から六軒餘のリヒテンベルグ並びに八軒のニードルシーエンハウゼンに到達してゐると傳へられる

ソ聯も突入を發表

(ストツクホルム二十二日發至急報) モスクワ來電「ソヴェト情報局は二十二日夜の公報において

赤軍はベルリン郊外の十四地區を占領した後ベルリン市街に突入した

旨發表した

早くも環狀線を突破

(チューリッヒ二十二日發) ロイターモスクワ特派員ダンカン・フーパーの報道によればベルリン市内に突入した赤軍は東北方からベルリン市街中心部のウンター・デン・リンデンの大通りに向つて殺到してゐる様子で既に先鋒は官廳街の周邊に圍繞する環狀鐵道を越へたといはれる

伯林市民に降服なし

(チューリッヒ二十二日發) 赤軍は遂に二十二日ベルリン市の一郭に突入するに至つたがベルリン放送によればドイツ宣傳相ゲツベルス博士は二十二日重ねてベルリン市の有線放送網を通じてベルリン市民に呼びかけ左の如き悲痛なる言葉を以てベルリンの斷乎死守を宣言した

ベルリン市民にして此の期に及び白旗を掲げたり或は卑怯なる態度を以て市民の抗戦に動搖を起させ乃至は不安の念をばら撒くやうなものがあつたならば、かかる犯罪者に對しては最も峻烈な處罰が加へられるであらう、ドイツ當局はかかるものを發見した場合には直ちにこれを逮捕してその策動の道を封ずるであらう、あらゆるベルリン市

民は各自の住宅を防衛する責任があるいかなる個人の住宅であれ、白旗の如きが掲げられた場合はその住宅は既にドイツ國民としての保護を要求する權利なく、かかる卑怯者はそれ相應の報を受けるであらう、ベルリンの一般市民はドイツ當局の指令に従はなければならない、ドイツ軍隊及び國民突撃隊の行動には何等の支障も與へられてはならず、これがためには嚴重な交通規則が實施され一般の徒步者、子供の如きは街頭を紊りに歩いてはならない、又軍需工場並びに公共機關の従業員もよくその職責を果し、最後まで仕事を續けなければならぬ、工場監視員は工場の内部及び外部の安全維持に萬全を期せよ、余並びに余の同僚はあくまでベルリンに踏みとまるであらう、余の妻子もまた最後までベルリンに踏みとまつてゐる、過去數週間に亘る防禦工事によつてベルリンの防備は大いに強化された、この防禦工事はベルリンの郊外からその中心部までに及んでゐる、ベルリンの周圍には數千に上る戰車防禦、バリケード、道路防禦、地下工事等が完成され、ベルリンは今や最も準備の出來た要塞都市となつた

米、チエコとの民政協定を急ぐ

(リスボン二十一日發) ワシントン來電によれば米國國務省は米軍のステートン(舊チエツコ領)突入に伴ひ、目下本據をスロヴァキア南部のコジツエに移してゐるチエツコスロヴァキア亡命政權との間に民政協定を締結しようとして大急ぎといはれる、チエツコ亡命政權は昨年初めソヴェトとの間に赤軍が同國領内に侵入した場合における民政協定を締結したが、その際亡命政權から米英兩國に對しても同様の協定を締結しようとの申出があつたのに對し、米英兩國ではそれぞれ自國の軍隊がチエツコ領内に侵入することを豫想せず右の申出に應じなかつたのである、然るに今回東からする赤軍の侵入と呼應して米第三軍がズデーテンへ侵入することになり、早くも赤軍並びにチエツコ亡命政權との間に占領地の民政に關し協同政策をとらざるを得なくなつたわけで、ここでも米英兩國は完全にソヴェトに出し抜かれた形である

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

【反樞軸陣營】

米英外相會談

(リスボン二十一日發) ワシントン來電「モロトフ外務人民委員は二十一日遅くワシントンに到着する豫定だが、三國外相會議の開催に先立ち英國外相イーデンは同日米國務長官ステチニアスと會見、主としてポーランド問題を中心に種々意見を交換した、イーデンは會見後「あらゆる問題につき米英兩國は完全な意見の一致をみた」と言明したが、これによりイーデン、ステチニアスが共同戦線を張つてモロトフ氏に對抗する意圖は明瞭となつた、他方反樞軸各國代表は漸くサンフランシスコに乗り込み始めたが、桑港會議第一日目の夜には米大統領トルーマンがホワイト・ハウスから十分間演説を放送することに決定した

顧維鈞、桑港會議を語る

(リスボン二十日發) ワシントン來電「ロンドン駐劄重慶大使顧維鈞は桑港會議に参加の途次目下ワシントンに滞在中であるが、十九日太平洋問題調査會の午餐會に臨み、要旨左の演説を行つた
桑港會議における諸問題は多數に上り、その解決は必ずしも容易ではないが、参加代表者は各々努力して目的を完遂すると確信してゐる、重慶政府としては平和を愛好する諸國によるとの空前の集會がその任務を達成するやう熱烈に希望し、會議を大成功に導くためには全力を盡して参加諸國と協力する積りである
世界平和の保障に對して警戒を怠らないと同時に效果的でもあるやうな國際機構が可及的速かに成立することは重慶の熱望するところであつた、過去二世紀間、大西洋は全世界の中心となつてゐたが、太平洋問題が將來、爲政者並びに政治家達にとつて益々深い關心の標となることは間違ひない、アジア大陸は他のどの大陸にも増して種々の民族、宗教及び利害が交錯するところである、アジアは機械類と完成商品類の巨大な市場であると同時に龐大な人的資源と原料との倉庫でもある
重慶政權こそ暴政と侵略に對する共同陣營の古參者である、過古八年間一貫した戦争努力の結果、重慶はいささか疲勞するに至つたが、戦意

は依然旺盛だ、反樞軸陣營の主張が正しいといふ信念は戰鬪の全期間を通じて重慶政府を力づけてくれた、今や重慶政府は反樞軸各國と共同しての最終攻勢の準備を進めてゐるが、これこそ各國の重慶に對する信頼に答へるものであることを確信して疑はない、しかし重慶の協力は勝利の獲得と共に終りはせず、さらに平和建設の任務をも分擔するであらう
重慶は平和時においても戦時においても東亞の主要な反樞軸國として精神的、物質的資源を自由に驅使し得る立場にあり、アジア並びに太平洋地方が世界において自己に相應しい地位を獲得する日が一日も早く到來するやう努力する決心である

米英加ソ貨與協定調印

(リスボン二十日發) ワシントン來電「國務省は二十日次の通り發表した
米國、英國、カナダ、ソヴェト聯邦四國代表は十七日カナダのオッタワにおいてソ聯の戦力強化のため同國に供給すべき物資に關する第四回目的議定書に調印した、今回成立した協定の有効期間は一九四四年七月一日以降一九四五年六月三十日までが、既にこの協定の趣旨たる對ソ武器貸與は舊議定書の期限が満了した昨年六月三十日以來實施されてゐたところである、新議定書においてソ聯は再び米英加三國からの援助に對しソ聯も右三國が戦争遂行に必要な物資、勞務を供給すべく確約した

因みに右議定書は通稱米英加ソ武器貸與協定と呼ばれてゐるものだが、この協定は昨年六月滿期失効したにも拘らず、主として米ソ兩國間の意見不一致により新協定の成立をみるに至らず今日に至り漸く成立したものである

佛も獨勞働力を要求

(リスボン二十一日發) パリ來電「ド・ゴール政權藏相ルネ・ブルヴァンは二十一日次の通り聲明した
フランスは戦後ドイツから三百萬の勞働力を確保するやう努める積りだ、右は一種の「現物による賠償」ともいふべきもので、ドイツ強制勞働力の配置は農民に優先權を與へる

【歐洲】

イタリア領土分離問題

(チューリッヒ十九日發)「ノイエ・チューリッヒヤ・ツァイツング」紙ローマ電報は十九日ボノミ政権下のイタリアが當面してゐる領土問題に關し左の通り報じてゐる

チトーは明らかにトリエスト進軍の意圖を持つてゐると見られ、彼に對する關心は深まるばかりだ、チトーはトリエストとその後背地とをクロアチアに合併してユーゴスラヴィア聯邦の一部たらしめようと望んでをり、四大國は桑港會議の席で複雑なトリエスト問題に關し根本的な決定を行ふ見込みだが、かかる情況を考慮に入れるとイタリアが桑港會議に参加出来ないことは政權に特別な不利益を齎すと思はれる

一方シチリア島の分離を主張する一派の領袖は「余はシチリア島がイタリアから分離すべきことを要求して覺書を桑港會議に送つた、但し分離形式は未定である」と述べてゐるやうにこの方面からもイタリアは脅かされてゐる

さらに東阿、北阿諸地方、その他の地中海諸島等の將來に關する問題がある、イタリアはシチリア島やイストリアを放棄することよりは將來の植民地について論議する方に氣が向いてゐるやうだ、イタリア政府が傳統的にシチリア島に無關心であつたことが激しい非難を生んでゐることとまた北東イタリアにおける少數派の處遇についてはフアシスト政府が大して成功を収めてゐなかつたことは消息筋がしばしば認めてゐたところであるが従つて彼等はこのやうな廣範圍に亘る領土の分離問題はまづ全然掣肘を受けない人民投票を行つた上でなくては簡單な交渉で取決めることは出来ないと確信してゐる

フアシスト青年團復活

(チューリッヒ二十一日發)ミラノ來電「正統イタリアのフアシスト青年團「オペラ・バリラ」は復活後團員二十六萬を算するに至つてゐるが、目下盛に軍事教練を受けてをり、全員十四歳未満の年少者であるにもかかはらず、現在までに百四十

七名以上が既に戦死した、うち六十六名は市街戦で仆れてゐる

ダンツ將軍死刑

(チューリッヒ二十日發)元シリア駐在フランス高等辯務官アンリ・ダンツ將軍は、一九四一年英軍のシリア侵攻に際しこれに抵抗したる廉により特別法廷において叛逆罪で審議中だつたが、二十日死刑を宣告され、位階勳等剝奪の上軍籍から除かれた

ソ波友好援助條約成立

(ストックホルム二十一日發)モスクワ來電「ソヴェト政府はポーランド假政府との間に友好相互援助條約を締結、二十一日夜モスクワにおいて調印した、内容は未だ發表されない

瑞、獨艦二隻を拿捕

(ストックホルム二十日發)ノルウェー魚雷艇「M三十一」號はドイツ下級士官二名、水兵十二名に指揮されノルウェー南部のフレドリクスタツドを出航、沿岸哨戒の任に當つてゐたが、航海中ノルウェー人乗組員はドイツ將兵に反抗し、去る十六日右魚雷艇をスエーデン領海に乗り入れたため、スエーデン政府はこれを抑留處分に附した、これと時を同じくしてドイツ掃海艇「KFK二百九十八」號がスエーデン領海に侵入、同様抑留された、右掃海艇は東プロイセンのピラウを出航後スエーデン南端のカルスクローナ港を隔る數軒のランゴレンに到着したところを抑へられたもので、スエーデン南方海域で抑留された最初のドイツ艦艇である

米歐洲艦隊參謀長

(リスボン二十一日發)ロンドン來電「米國歐洲水域艦隊司令官は海軍少將ローレンス・デボースが艦隊參謀長に任命され、ロンドン駐劄米大使館附海軍武官をも兼任することとなつた旨發表したデボースは海軍少將ジョージ・ウイルソンの後任として任命されたもので、最近まで太平洋巡洋艦戰隊司令であつた

スターリン元帥自ら前線指揮か

(チューリッヒ二十一日發) ロイター通信記者二十一日の報道によれば、スターリン元帥は自ら野戰司令部にあつてベルリン戦線の全赤軍の指揮をとつてゐるのではないかといはれ、同記者はスターリン元帥の前線出現をもつて赤軍と西部戦線の反樞軸軍との連絡が目睫に迫つてゐる現在、兩軍の合流によつて豫想される複雑微妙な問題を元帥自ら現地で處理するためとみてゐる、また、ドイツ側報道は、さきにジューコフ元帥に代つて今までコーネフ軍の參謀長であつたソコロフスキー將軍が第一ウクライナ戦線軍の指揮をとつてゐると報じたが、右に關聯し更に同記者は

かかる異動の行はれたか否かは明かでないが、赤軍當局がベルリン戦の赤軍を「中央集團軍」と呼んで第一ウクライナ戦線軍の名稱に觸れない事實は、歐洲戦の最終段階に當りスターリン元帥が赤軍の徹底的再編を行つたことを示唆するもので、その意義は單に通リ一遍の改組といつては濟まされないものであらうと報じてゐる

伯林攻撃は赤軍の擔當

(リスボン二十二日發) パリからのエキステーション電報によれば、米英ソ三國司令部はドイツにおける各軍の作戦境界線について完全に意見の一致をみ、ベルリン攻撃は赤軍が擔當することに既に決定されてゐたといはれる

包圍軍十六ヶ軍團百五十萬

(チューリッヒ二十一日發) ドイツ側報道によれば半月形の包圍の鐵環をもつてベルリン要塞に迫つてゐる赤軍の兵力は、戦車四ヶ軍團を含む十六ヶ軍團約百五十萬の大軍から成るといはれ、一説によれば東北方からベルリンに向つた赤軍の戦車先鋒は二十一日夜ドイツ軍の熾烈極まる抵抗を冒して都心を去る東北方僅かに五軒のパンコウ・ワイゼンゼーに到達したといはれるが確報ではないドイツ前線報道が激戦を傳へてゐるケーニヒスヴスターハウゼンはベルリンの東南方郊外でドイツ

長波放送局の所在地である、一方シュプレー河の上流を越えてザクセン國境に殺到したコーネフ軍は、二十一日ドレスデン東北方三十三軒のカメンツェンに到達したといはれる

ノルウエーも堅忍持久

(ストックホルム二十一日發) オスロ來電「ドイツのノルウエー占領地民政長官ヨーゼフ・テルボンフェン氏は二十一日多數將官を招請各方面の堅忍持久を要望したといはれる

【ドイツ】

ベルリンの食糧と水

(ベルリン二十一日發) ベルリン市民の最大の關心は食糧だ、首都が猛砲撃に曝されるであらうことは當然豫想されたところであり、市民は砲弾がベルリンに落下しても戦火が愈々市内に迫つたと感ずる程度だ、地下室に入つてさへおれば砲撃は爆弾ほど威力はないだらうと語り合つてゐる、しかし首都の門戸が一切閉ざれた曉、食糧は市民にとつて眞剣な問題だが、政府當局はベルリン市内の食糧の貯藏は十分でかなりの期間包圍に堪へ得ると言明してゐる、ベルリンの各廣場には既に野外炊事場が設けられ大量の給食に備へてゐる、ベルリン人の第二の問題は水だ、もし電力が停つた場合給水を絶たれることは必至だからだ、ベルリンを貫流するシュプレー河畔には、煮沸せねば河の水を呑んではいけないと注意のポスターが貼られてゐる、二十一日にはまたベルリン市内には嚴重な交通の制限令が出され、赤い紙の許可證がなければ市内の交通機關を利用出来なくなつた、この許可證は最少限度の要員に限られ、このため市民は歩ける範圍以外は用達も出来ないことは勿論各職場においても人員を減らさねばならなくなつた、この交通制限によつて職場へも通へなくなつた男女は、ベルリン防衛委員部からの命令によつて他の緊急要務につくため直ちに申出なければならぬが、これらの人々は戦車防塞や塹壕の構築に働く筈だ

太平洋作戦再検討か

(リスボン二十日發) 米國新大統領トルーマンの行政官としての手腕は依然未知數だが、一方陸海軍最高司令官としても果してルーズヴェルトの後を繼ぐに足るか否か頗る疑問とされてゐる折柄、AP通信ワシントン特派員はトルーマンが最高司令官としての本領を發揮し得る機會は太平洋作戦にありとし、二十日次の通り報道してゐる

トルーマンが反樞軸の最高軍事政策においてルーズヴェルトの政策を慎重に踏襲しようとしてゐるのは事實だが、ヤルタにおいてスターリンはいざ知らず、少くともルーズヴェルト、チャーチル兩者間には確かに討議された筈の對日戰略に關し、トルーマンが對獨戰終了以前にこの再検討を要請されることは考へられる、以上に關しトルーマンが太平洋方面陸海軍最高指揮官マッカーサーおよびニミッツを最後の對日總攻撃作戦開始前にワシントンに招致し懇談を遂げるとしても敢て異とするに當らない、しかし問題は對日戰略に關し現在ワシントンで支配的な二通りの見解、即ち日本本土に對する直接的且つ全面的攻撃を提唱するものと、支那沿岸に上陸作戦を敢行し日本を封鎖すると同時に日本の諸都市並びに工場を爆撃によつて廢墟と化することを主張するものとの間に立つてトルーマンが如何に對處するかといふことであり、この點こそ彼が最高司令官としての貫録の見せどころであらう

海軍の損害十萬

(リスボン二十一日發) ワシントン來電 米國海軍省は二十一日開戦以來の米海軍海兵隊並びに沿岸警備隊兵員の損害が總數九萬八千三百三十名に達した旨發表した

ドイツ軍行爲査察團を派遣

(リスボン二十一日發) ワシントン來電 米國陸軍省は二十一日次の通り發表した

上院民主黨總務パークレーはドイツ軍の行爲を調査するため近く査察團を引率、空路ドイツに赴く
右査察團は米國議會人、新聞人等から成るとみられるが英國議會では既に査察團を派遣してゐるともいはれ、これら査察團の報告は桑港會議に提出されると傳へられる

獨工業處分案の輿論

(リスボン二十日發) ワシントン來電 米國ギヤラップ輿論調査所は戦後のドイツ工業處理に關し全國に亘つて調査した結果、次の回答を得た旨二十日發表した

ドイツ工業は戦後反樞軸により嚴重監視乃至統制せよといふもの 五十六%
ドイツ工業は戦後破壊するか乃至は反樞軸國の手に接收すべしといふもの 二十三%

新トルコ大使親任狀提出

(リスボン十九日發) ワシントン來電 新任ワシントン駐劄トルコ大使フツセイ・ラギブ・バイドウルおよび新任ワシントン駐劄レバノン公使チャールス・マリクは十九日大統領トルーマンに親任狀を提出した

【軍事情報】

米海軍に「化學魚雷」

(リスボン二十日發) ワシントン來電 米國海軍當局は十九日現在米海軍兵器廠に最新極秘の化學魚雷が在る旨發表した、但し兵器の詳細に關する質問は「それは秘密だ」といふ以外の返答を得ることが出来なかつた、公にされた印刷物の範圍では「化學」といふ形容詞の意味がはつきりしてゐないが、とにかく舊來の型のものとは推進方法など全く變つてゐるだらうことは確實だ、さうした臆測の基礎と考へられることに現在魚雷を發射試験を再組立する爲に設備されてゐる海軍の施設が今後同じ作業を續けるだらうと見られてゐる事實がある



英佛同盟の前途

井上勇

△孤立した外交の嘆き

三月十七日「エコノミスト」は「フランスの孤立」といふ論説を掲げてゐるが要旨はかうである。「健全なフランス人はド・ゴール外交政策の「冒險性」がフランスを追込んだ孤立的地位にたいして次第に不安を感じ出したらしいがもつとも千萬である、過去において、特に米英兩國との折衝に當つてド・ゴールは隻手拳骨を振ふことによつて多くの場合點數を稼ぐに成功したことは事實である、ところがソ聯にたいして同じ手を用ひることは決して生易しい業ではないことが明らかになつた前の週、モスクワ電は、佛ソ條約はヤルタ決定に較べれば二義的なもの乃至はその附帶的なものであると宣してパリを驚かせ、面喰はせた、この電報はとにかくフランスが桑港會議の發起人國たることを受諾する以前に、保障協定と採決方式との關係を説明することを要求して駄々をこねようとしたフランス外務省の企圖に眞向ふから水をあびせたものである、ソ聯の眞意が果して佛ソ同盟條約の採作を米英の同意の下に行ふことを欲してゐるか否かは明白でないが、すくなくとも現在のところ桑港會議における三大國の協調的足並みをわづかでも亂すが如き解釋を與へまいとしてゐるらしいことだけはいつてよからう、ソ聯のかかる態度をみたフランスの輿論はソ聯以外の他の諸大國とも一層密接な諒解に達しておく方が賢明だと考へ始めたようである、パリ・ラジオの解説者ピエール・ブルードンは「モスクワのCOMMUNIQUEは、フランスが西歐に據點を所有してゐないことは佛ソ條約をソ聯の眞に一層意義あらしめるどころか、反つて條約の實際的價值を低下せしめるものであることを吾々に相起せしめるに役立つた」と述べてゐる、このやうな意見が擡頭の結果は英佛同盟の主張の再燃がみられ始めた、しかし、かかる反響の中には、如何にも機會主義の陰影が觀取されて餘り愉快とは申しがたい、英佛同盟の價

値がモスクワの顔色で左右されるものとすれば、眞實の基礎はないといつて差支へない、英佛同盟の主張の中には眞に重要堅實なフランスの利害が含まれてゐるのであるがド・ゴールの外交政策の動向はこの利害を埋没し去つて來たのである、フランスの孤立外交は國際的にのみならず、國內戦線でも、一時的とはいへ不幸な結果を及ぼしてゐるド・ゴールの行過ぎ機會主義にたいして、共產黨書記長モリス・トレーズは政府と共產黨とのひと夜さの契りはひと夜さ切りで縁切れになつた旨の三下り半を突き付けようとしてゐる形勢がみえる、前週トレーズは民衆大會の席上で、ド・ゴール政府の外交政策を攻撃し、一時、國內統一を理由として棚に上げてゐた抗戰運動と産業國營化の問題をば再び持ち出して來てゐる、ソ聯がフランスのスクリウムを締上げてゐるのは單にモスクワからばかりではないわけだ」

△英佛同盟の一步前進

「エコノミスト」の論説には、ざまをみろ氣分が横溢して、西歐聯合は破綻以來の鬱憤が一時に奔出したかたちであるが、指摘して事實は正にその通りで、氣の早い連中は、英佛軍事協定成立近しと報じ、駐英大使マングリがパリにねばつて連日關係方面と打合せてゐるのもそのためだと説いてゐる、しかし、英佛軍事協定にしろ、同盟にしろひと通り双方に氣があり、それ自體として觀念的または感覺的な範疇で氣運が熟しつつあるのは事實としても、これを實現するための現實的先決條件の内に數へられる、例へばシリア問題、ルール問題は解決への何等の進展も示さず依然として同じ一線のこなたで論議の空轉をつづけてゐるのが實情である、ルール問題を取上げてみても、フランスは果してルール、ラインランドの何れの地域の軍事占領を許容されるのか、如何なる條件においてか等については何等約束されてゐない英國が意圖してゐると傳へられるルール獨立に對してはフランスは條件によつては反對であるが、英國案自體も多くの矛盾を包含して、今直ちにルールは獨立せしむべしとは主張し切れない立場にある、經濟的分野では三月二十七日正に英佛經濟協定は成立した、その内容は

一、英國はボンド領域の對佛輸出超過に對して、

一億磅までの貿易信用を二百億フラン替へで設定する

一、フランスが磅領域に對し輸出超過となる場合はフランス銀行は一億磅までの貿易信用を認める

一、英國はフランスに對して武器、工業機械、及び原料品を供給する、その一部にはフランスが一九四〇年六月以前（即ち獨佛休戦以前）米國に發注済みのものを含む

一、兩國は相互國內における相手國人の資産に關して情報を交換する

一、本協定成立と共に一九三九年の英佛協定を廢棄する、（戦費を英六割、佛四割の率で分擔することを定めた通稱サイモン・レイノー協定）

といふのが大綱であり、その大略は佛白、佛蘭、佛瑞等の諸協定とほぼ同じで一應の英佛經濟連繫は出來たが、これが政治分野での結び付きを一步促進したことは疑へないにしても、それはただ一步の前進にすぎず、前途には尙幾多の暗礁がある、その一つルールの處分に關しての英國側の自問自答をきいてみよう、その裏にフランスの意圖に對する英國の間接の回答を發見し得るものは英佛同盟の前途が必ずしも容易でないことを觀取し得る筈だ、三月中、七日の同じく「エコノミスト」誌の「ラインランド獨立への質疑」と題する論文がそれだ

△ラインの獨立問題

「ドイツはルールとラインランドの支配なくしては侵略戦争を戦ひ得なかつたはずだ、故にルール、ラインランドに獨立國を創れば平和は安定するとの論が行はれてゐる、ルール、ラインランドを差引いた残存ドイツは勿論、かかる解決を容認し得ないだらうが、この解決に反對する實力は有しないであらう、しかし、それには斷乎たる聯合國の決意を必要とし、ルール、ラインランドが残存ドイツと合併乃至は合邦をば非合意的になすことのないやう處置しなくてはならぬ、英國にしろ、米國にしろ、又は大陸の多くの自由主義的要素にしろ、一國家の領域の分斷といふことは良心の一部苛責なくしては容易に爲し得ないところである、一九三一年の獨逸關稅同盟の提案に對して反對したフランスの態度に苛烈な批難を送つたのは他ならぬ英國で

あつた、ラインランド獨立政策は、故にこれが十分に成功するといふ見透しなくしては輕々に試みるべき筋合ひのものではない、若し成功しない場合は全然、かかる企てを試みなかつた場合よりも一層事態を惡化せしめるであらう、數年の後再びドイツとの合併を許容するの止むなきに至るやうなことであればその結果は破局的である

ラインランド獨立が一度實施されて然して後失敗に終れば、他の凡ての對獨制約はその根本たる武装解除條項までも含めて動搖し始め、ドイツをして聯合國組し易く朝に一城、夕べに一城を抜いて廳て桎梏の凡てを斷ち切ることの容易さを信じさせるに至るに相違ない、また、この失敗は同時に主なる聯合國間に不一致と不信を招來し、双方とも他の非を擧げて論難攻撃し收拾不可能になる危難がある、ヴェルサイユ條約に關して惹起した事態の再現である、故にラインランド獨立の政策は、より一層の成功の見透しなくしては採用し得ない、現在の段階でラインランド獨立といふ解決が實行不可能であるといふ結論を出すのは間違つてゐるが、同時に、その實施細目に入るに先立つて、この獨立が維持されるためには或る程度のラインランド住民の自發的受諾が根本的條件であることを主張するのは正しい考へ方である、住民が積極的に法案に敵意を持つてゐたり、本案の實施が歐洲で最も富有なこの地域を根本的に窮乏化せしめるやうなことであれば、獨立は永續することは出來ない、残存ドイツが獨立に反對であることは、困難を加増する要素には相違ないが、だから獨立に致命的な障礙であるとはいひ得ない、しかし、住民が反對であるといふことはこれは致命的であり、獨立永續のためには最少限、住民の消極的受諾を必要とする、それは聯合國の軍隊を駐屯せしめると否とは係りのない問題である、そこで問題は如何にすれば、住民のある程度の同意が獲得し得るかといふ問題になる、この點について樂觀論を持つことは六ヶ敷い、前大戦後のオーストリア、一九三五年のザールの前例はラインランドの急速な政治的安定の前途に多くの希望を與へるものでは決してない

△進退兩難の前途

「明らかに問題の多くは經濟的措置如何にかかつ

てゐる、勿論經濟的に繁榮で、政治的に不平である國もあり得るには相違ないが、破産した國が政治的に一層苛烈な不平を抱くといふことは絶對的に確かである、ラインランドの場合ではドイツから分離した場合、その經濟的發展の機會が特に至難である、公式推定によればケルン、デュセルドルフは六割、エッセンは五割、ポツダムは八割が破壊されてゐる、その上に耕地は洪水戰術に荒蕪し、炭坑は爆破されてゐるといふ、數十萬の勞働者はドイツ中部に移住せしめられてゐる、また多くの住民はドイツ軍と共に撤退して行つてしまつた、聯合軍が占領したルールはいはば抜け殻のルールなのだ、この破壊し盡くされたルール、ラインランヤの復興は、他の地域以上の優先權を與へ住民に住む家と生きる食糧をまづ確保してやることに出来れば、西ドイツのドイツ國民に獨立受諾の氣運を醸成し得るばかりでなく、この獨立地域への人口移住さへ促進するであらう、ルール、ラインランドの復興は住民のためのみならず、聯合國にとつても直接的利益がある、歐洲の石炭飢饉は極めて深刻で、今年の冬は昨年の冬以上に困難であらうことが想像される、この際、無盡藏のルールの炭坑を一日も早く復舊することが急務である、炭坑の回復はラインランドを經濟的に魅力ある地方として政治的にも好結果を生むに違ひないしかし、一部の復興計畫が、直ちに獨立國家の恒久的基礎を供與するなどとは考へられない、速急に必要な炭坑の復舊のほかに、どの程度までにラインランドの産業組織を復舊せしめるか、何時までに復舊するか、市場をどこに求めるかが問題になつてくる、ラインランドに戰前程度の人口密度を再現させようとすれば、強度の産業活動を興すよりほかはないが、歐洲の何れの地域も産業復興に一齊に邁進するであらうし、復興のための物的資材といふものは極端に缺乏を訴へるに相違ない、その場合、ソ聯は物資、金融兩部門ともに最高の優先權を要求するだらうし、佛白蘭などの西歐諸國の要求も極めて切實なものがあるだらう

かかる事態に當面して、ルール、ラインランドの順位がどこに位するか、それどころではない、聯合國側の援助が果して、この地方に與へられ得

るか否かさへ問題になる、援助どころか、クリミヤ協定は賠償をさへ要求せんとしてゐるのであるこの賠償の一部をルール、ラインランドに賦課するかしないのか、これもまた問題だ、もし賦課するとすれば、ラインランド住民の生活を相當程度に維持して、その賦課の分け前をば受動的にでも承認する氣持ちにまで持つて行くことが果して可能かどうかといふ問題も生ずる

△西歐聯合の蒸返し

以上の諸問題が一應解決されたとして、ルールライン國家が、例へばほゞ戰前の生産力を回復したと假定した場合、次にはこれまた極めて困難な經濟的問題が起つてくる、戰前はドイツ領土内で消化されてゐた石炭、鋼鐵、化學製品の刷け口をどこに求めるかが當面の急務となつてくる、殘存ドイツは戰前通りの市場とはなり得ないものと斷定してよろしい、元來ルールライン國家を創設する案そのものが、この地域とドイツとの結帶を切断することを目的として案出されたものなのである、少々は高價になつても、依然として、ルールラインランドの重工業製品の、中部ドイツへの供給がつけられるとすれば、ドイツの歐洲における經濟支配には何等の變化もないといふことになる、ラインランドの生産品が殘存ドイツに流出しないやうにするためには、新しい市場を發見しなくてはならないが、かかる市場は果しては何處に求めたらよいのか

かう考へる時、想像し得る唯一の解決法はラインランドを歐洲の、少くとも西歐洲の組織の中に合體せしめて、物と人との交流の自由を相當思ひ切つて許容し、しかも、その國境では國家主權を相當程度に集結せしめるやうにすることである、安全保障、外交等の重要案件を超國家的機關に委ねさへすれば、ラインランド住民には廣汎な政治的自治を許しても何等危険はない要するに西歐洲を政治的に、經濟的に打つて一丸とし、これに獨立ルールライン國家を合體せしめることが出来れば、ラインランドを獨立せしめるそもその目的にややかなうことができ

らう、住民は政治的自由と經濟的繁榮をばある程度享受して、この地域の再建にいそしむことが出來、ドイツに所屬してゐた時代の戰爭經濟プロシアニズムよりも一層の魅力を感じるやうになるだらう

△いつれは相合ふ英と佛

「エコノミスト」の主張は嘗つての西歐聯合案をラインランド獨立にからませて、化粧直しをして持出したものであるが、フランスは、新ルールライン國家の産業復興が、自國の競争相手として出現し、聯合の名目の下に自國の植民地市場の分け前を要求するに至ることを一應恐れなくてはならない、西歐聯合の利益は十分に味つてもよいが元來が己れに屬する佳肴だけは一人で味ひ度いのである、安全保障の立場から見ても、西歐聯合國軍によるルール、ラインランドの共同駐兵には原則的には反對しないが、その駐兵が十分にフランスの安全を保障するに足りるといふ條件の確保をしたいと考へてゐる、最も安全な方法はフランスが自ら十分と信ずる兵力を、自分一人で駐兵させることにあると考へてゐる、ザール占領の苦い味を改めて味ひ度くないといふ氣持が濃厚である、寄り合ひ世帯では、どうしても仲間割れがする、水入らずにしたいといふのであるが、軍事的支配は、必然に政治的、經濟的支配を伴ひ、この歐洲で最も富な地域をフランスが一人占めにすることは英國はもとより、白蘭兩國も承認し得ないだらう、獨立、しかして共同管理はフランスとしては嫌々ながらにでも承認せざるを得ない破目に次第に引曳りこまれて行くものとみてよい、そこで問題になるのは、ふたたび世界の安全保障制度と地域的安全保障制度のかね合ひであり、フランスとしては是が非でも桑港會議で、この點を明らかにし、地域的安全保障の公認を獲得して、そこではじめて西歐聯合案もまた英佛同盟案をも再検討にかからうといふのが肚であらう、この問題に較べればシリア、レバノンの問題は第二義的で、今問題化してゐる土民軍の移管の如きは、條件次第で讓歩してもよい位に考へてゐるとみるのが正し

いだらう、シリア問題の歸趨は、フランスに論理的根據が薄弱なことは自らも認めてゐる筈で、これを固執して牛を賣り損ふことは賢明なことを自負するフランスのとらなないところだ、フランスがシリアに要求するところは決して絶體的優位でなく、既得權益の維持、出來るだけ多くの救ひ得るものを救ふ意圖以外にない、英國としてもことを荒立てて英佛國交の根柢に齟齬を生ぜしめる意志はないので、フランス以上の特殊地位をシリアに占めたいとは考へてゐないやうである、かうみることが正しいとすれば、シリア問題は互讓によつて解決の可能性は多分にあり、恐らくはフランスはその軍事權を放棄する代償に、經濟的文化的既得權益をルヴァン諸國をして再確認せしめて手を打つ公算が濃い、この問題が解決すれば、英佛同盟の一つの暗礁は除去されるわけだ

△結局は大勢に順應か

かう見てくるとき、フランスが孤立外交の損を漸く自覺し始めたことと相俟つて、外部的條件も内部的條件も、英佛の合作を促がす氣運に向ひつつあることは確かだ、この條件は桑港會議の成行如何であるといふ見方も成立する、しかしながら一方桑港會議におけるフランスの動向は、その目的がこれによりて、自國の立場を強固にしたいことに重點があるのは勿論として、そのこと強くを主張することによつて、會議自體を破壊しひいては目的とする自己の立場の擁護をゼロにする等の愚はフランスとしては採らないと見るのが至當で、一應はすねて見せて、大國の威勢を示し、結局は大勢に順應するのが落ちであるだらう、ソ聯は地域的安全保障に相當以上の關心を有してをり米國自身も、會議の決裂を覺悟してまで、地域的制度を排撃する理由は有してゐないので、この問題も各人が面子を失はない範圍で妥協出來ると見るべきだ、すれば英佛同盟の前途の暗礁も、困難ではあるが、漸次除去されて、やがて結實するに至るだらう、ただそれが一部の説の如く今日あしに片付く問題でないといふだけだ

ウエーヴェルの歸國以後

奥畑 稔

印度總督ウエーヴェル卿の歸國と桑港會議の接
迫により印度問題が再び世界の焦點に浮び上るに
至つた、クリミア會議の直後、米英兩國の對外政
策を論難したガンジー翁は四月十七日桑港會議を
前にして再び聲明を發し、印度の完全な獨立こそ
世界平和への缺く可らざる前提であると述べ、反
樞軸主要各國の痛烈な反省を求めてゐるが、今や
印度問題の解決が單に英國にとつてのみならず全
世界にとつて平和樹立への重要な試金石となつて
來た感がある

△ウエーヴェル總督の歸國

一九四一年八月以來幾度か躓きの石を経験し
て來た印度の内部においても獨立少くも自治領の
地位獲得へ向つて漸く民族意志が統一結晶されて
來たことは争へず、支配者である英本國內におい
てもまた印度問題處理について當局の無爲無策を
非難する聲が高まつて來たことは蔽ふべくもない
桑港會議の前後に印度の地位に對して何らかの規
定を與へなければといふ空氣は毎日の電報を通じ
ても明瞭に感取される、三月二十三日實に突如と
して英本國政府の招請に基き總督ウエーヴェル卿
がロンドンへ歸還したのも、以上の如き雰圍氣を
背景にしたものと思はれる、勿論英國各紙が指摘
してゐるやうにウエーヴェル卿の歸國理由が單に
政治問題處理にのみあるとは思へずまた總督就任
以來十八ヶ月ぶりの歸國によつて英國政府の對印
度政策に急激な變化が生ずると豫想するのは些か
見當違ひであらう、しかし總督の歸國の主目的が
最早退引ならぬところまで來てゐる印度政情の行
詰りを打開するためであることは——英當局が好
んでいふところの對日戰の效果的遂行の基礎を確
立する意味において——一點疑問の餘地もない、
例へばウエーヴェル卿夫妻がロンドンへ到着した
三月二十三日「マンチエスター・ガーディアン」
紙は

「總督歸國の主要目的は軍事問題にあるが同時に
政治的な新しい解決にとつても都合の良い機會と
いはねばならない、軍事問題が總督の心中第一に
ある問題だといふことは極めて明瞭だ、歐洲戰が
終了した曉、戰爭の重力は東方に向けられ印度は
對日侵攻の重要な基地の一つとならう、補給問題
その他は印度の新しい戰略的役割に適應するやう
に調整されねばならない、しかしながら以上の點
と同時に政治問題も現在解決を要求されてゐるの
だ、總督は治安維持のため依然印度政界の領袖を
抑留し、多くの州において政治活動の嚴重な統制
が必要であるかどうか決定しなければならぬ、
印度各派間に意見の一致を齎すべき機會がある
かないか、又政情の行詰りを打開しようとする新
しい英國の試みを行ふ見込みがあるかどうかにつ
いての彼の意見は重要な影響を與へるに違ひない
最近英國を訪れた印度人の一人が示した示唆が一
般の同情的議論を惹起してゐる事實は英當局とは
別個に英國民の間に印度の政治問題解決を熱心に
希望してゐる空氣が強いことを示すものといはね
ばならない、解決への躓きの石は依然横はつてゐ
るとはいへ今回の大きな機會は新たな努力にと
つて好都合なものであり、若しウエーヴェル卿が
解決への方法を見出すならば英國民はすべて彼を
援助するに吝かでない」
と述べ、さらに勞働黨の領袖アーサー・グリーン
ウッドも「ウエーヴェル總督の歸國は彼の滯英中
印度の政治情勢について再び検討が加へられる好
ましい兆候と解される」としてウエーヴェル卿に
大きな期待を寄せると共に英國民の關心が奈邊に
あるかを卒直に表明してゐる

△クリップス案は生きてゐる

かかる英國民一般の印度問題解決に寄せる熱情
にも拘らず英國政府が依然何らの動きも示さず、
少くも表向においては舊態依然たる態度をとつて
ゐることは注目し値する、ウエーヴェル卿の歸國
當日印度相アメリカが記者團と會見して
「ウエーヴェル總督の英國滯在中、印度の憲法並
びに政治的將來の問題が討議されることはいふま
でもない、しかし一九四二年三月の宣言草案一ク

リップス提案において政府が發表し更に爾後の幾つかの發表において確認した政策は依然生きてゐる、しかるに印度における主要な政治的黨派の間にいまだに意見の一致を齎らすために必要な手段が見出されさうもないことは遺憾千萬といはざるを得ない、總督並びに英國政府は物の解つたすべての人と同様に印度政情の行詰りに終止符がうたれることを待望してゐるのであり、心中常に以上の考へが横はつてゐたのである、またわれわれはサー・デジ・バハドール・サプルーの主宰する委員會の努力については同情の念をもつてこれを注視してをり、その成果を關心をもつて期待してゐるのである、總督の英國訪問に續いて迅速にして且つ廣範圍に亘る決定が齎されるだらうと想像するのは間違ひであるが過去十八ヶ月間には多くの事件が生起してをり、その間ウエーヴェル卿は幾つもの経験として印度において事件を身近かに経験して來たのである、従つてこのウエーヴェル卿と共に印度の情勢を全面的に検討しうることは予にとりまた閣内における同僚にとり極めて價値あることといはねばならない」

と言明、わづかに英國の印度政策に現地の空氣を幾分か加味しようといふ心構へを見せてゐるに過ぎない、クリップス提案は依然效力を失はないといふ英國政府の意圖は何處にあるか、英國勞働黨切つての智識といはれるハロルド・ラスキ教授の言葉を借りれば「アメリカに依つて些かでも印度問題が改善されたと考へるのは間違ひである、アメリカの述べてゐるのはクリップス提案は依然生きてゐるといふ事實の繰り返しに過ぎない、英國政府の戦略はクリップス提案を遮蔽幕として利用することでありその幕の蔭で回教徒聯盟總裁のジンナーは印度の地圖の上に理想郷を劃さうといふ所謂パキスタンを夢み、幻想的利己主義に耽けるのを慫慂されてゐるのだ」といふ

△サプルー提案について

昨年十二月設置された無黨派領袖會議の調停委員會委員長バハドール・サプルーが四月五日滯英中のウエーヴェル總督に對して印度問題解決のための一提案をなしたのも總督のロンドン到着以來

漸く表面化して來た英國内における政情打開に對する空氣を考慮に入れ、クリップス案に憑かれた英國政府に何らか新たな態度を表明させようとしたものと見られる、右提案の内容は既に紹介済みであるが先づサプルーは一切の政府犯および拘禁されてゐる政客を釋放し印度を他の自治領と同様な獨立國ならしめることを勸告してゐる、從來安寧秩序の維持に差支へない限り抑留者を釋放する旨屢次に亘つて聲明しながら、いまだにネールその他の政情の行詰り打開に影響を與へるとみられる政界の領袖の釋放を肯んじない英國政府印度政廳が果してサプルーの提案に動かされるであらうかロイタイの政治記者クレイザー・ワイトンによれば當局ではサプルー提案に對する批評を一切避けてゐるが、ウエーヴェル卿のロンドン到着に際し「印度政情の行詰りに終止符がうたれるのを希望しましたサプルー委員會の努力に對しては同情の念をもつてこれを注視しその成果を期待してゐる」と述べた印度相アメリカの言葉からして、サプルー今回の提案がアメリカをはじめウエーヴェル卿並びに英國政府の最も慎重な考慮を煩はすことになると思像するのは些かも不自然ではないといはれる、さらに續いてワイトンは四月九日一切は英國政府の態度如何に懸つてゐるとして次の通り述べてゐる

「英國民はサプルーの努力に對して非常な關心を示してゐる、しかしながらかくの如き提案の將來は全く英國政府の出方如何に依存してゐるのである、なかんづく政治犯の釋放は一切の先決條件である、またサプルー委員會が英國議會並びに英國の輿論に對して印度將來の計畫案を齎らすためその代表をロンドンへ派遣するだらうといふ示唆が今日、在英會議派委員長ブリン・シールから記者に與へられた、更にシールは「サプルー委員會の計畫案が印度政情の行詰りを打開し得るかも知れない討議の基礎を與へるものと考へる、サプルーの主宰する無黨派委員會は印度における自由派並びに會議派以外の代表から成つてゐるのだがその考へは會議派所屬のものとして、若し二つの根本的條件即ち政治犯の釋放と幾つかの州議會の復活が實現されるならば、或る段階において共に政治的討議に参加せしめることを可能にするであらう」との信念を披瀝した」



英國放送組織の前途(上)

「エコノミスト」誌

十月二十八日號

第一節

放送といふものが世の中に現れてからまだ二十五年にもならぬのだがもうそんなことを憶えてゐる人もたんとはあるまい、ラジオはいつの間にか人間の生活になくてならぬやうになり、今では受信機のスキツチを入れるのも日常茶飯事なので、これがついてこの間發明されたばかりなことが忘れられ勝ちなのも無理はない、前大戰當時は何處の國にも放送なるものはなかつた、ニュースも宣傳も空中を通じては送られず、「士氣の振興」は地面傳ひの方法で行はれた、英國政府が任命した公式委員會が、無線電話による報道と娯樂の放送は少數の者の遊び道具以上のものにはなるまいと報告したのもつひ二十年ばかり前のことであつた、しかし、この二十年間に放送技術は、電波送信と放送内容との兩方面とも目覺しい進歩を遂げた、この間蓄積された經驗は可成りの量に達した、それでもない、新しい社會現象の直接の効果が十分現れるまでには多くの時日を要するのだ、それ故すべての結論が極めて暫定的な性格を帯びてゐるのもまた止むを得ない

△舊態依然の放送二制度

寧ろ意外とすべきはこのまだ年若い放送が或る一點では硬化して來てゐることだ、その一點とは放送經營の根本組織である

放送事業を組織し經營するには二つの方法しかないといふ見解が非常に廣く行き渡つてゐる、一は英國その他事實上全歐の各國で行はれてゐる制度すなはち放送を國家の獨占とし、經營費は受信機所有者に對する聴取許可税から賄ふ方法であり他は米國で行はれてゐるやうに對立競争する商業放送會社が廣告に「時間を切賣りして」經營費を稼いで行く遣り方である、もつともある國々例へば濠洲、カナダなどでは兩制度をつき混ぜてゐるが結局その場合でも本質は聴取税で賄はれる獨占

事業と廣告費で經營される自由競争會社の範圍を出でない

英國放送組織は現在再檢討を加へられてをり、その結果として近く下される結論は恐らく永續的なものになるか、或ひは尠くとも容易に動かし難いものとならう、ところでこの際放送事業經營の方法が前記の二種に限られてをり、問題は單に兩制度の優劣を比較検討し、議論を闘はした後何れかに軍配を擧げるにあると考へられる可能性が十分あるのだ、だが選擇の範圍をさう狭くする理由は毛頭ない、人間はそんなに智慧のないものではないし社會を組織する技術もそんなに窮屈ではない

本節並びに以下の各節(どの節も全然國內放送のみを論じたもので國外放送といふ別個の問題には殆んど觸れてゐない)においてわれわれは放送事業に關しもつと進歩した、もつと大膽な實驗を要請せんとするものである、現在の兩制度は兩つながら明らかな缺陷をもつてゐる、國家の獨占は獨占事業に伴ひ勝ちならぬる缺點、即ち孤疑逡巡、保守退嬰、無味乾燥等の弱點を生んでゐるが一方廣告による制度もまた輕佻浮薄、社會的責任の缺除といつた短所を備へてゐることは明白だ、われわれはこのいづれかにやり直しの出來ぬ程しつかり結びつかねばならぬのであらうか、何故われわれはもつと頭を働かして、現存の兩制度よりも放送本來の目的によく適ふ方法を考へ出さうとしないのであらうか

△放送者の責任

ところで「放送本來の目的」とは一體何であらうか、放送をする者は教育及び文化に影響を與へる機會を持つのであるから國民の品位向上について重大な責任を有するといふことをわれわれは度々聞かされて來た、放送は人心を左右する偉大な實力を有つ故に、これが恐しい政治上の目的に使用されるのを避けるためには、この力を保管する者は無色透明でなければならぬといふこともよく言はれた、放送が戦争の武器である所以についてもうるさい程聞かされた、以上すべての議論は角度こそ違へ教化の手段としての放送しか見てゐない、すべては知識人だけが關心を抱いてゐる問題だ、これらの議論は一つ残らず放送についての根本的事實を忘れてゐる

放送といふものは面白くなければ何にもならないのだ、電話は聴取者がきかうとしなければ空中に浪費されるばかりだ、聴取は自發的行爲である、ドイツのゲツベルスですら國民に聴取を強請は出来なかつた、高々受信機のスィッチを入れておかせるのが關の山だがこれでは目的を達したとはいへない、従つて放送は何よりも先づ面白くなければならず教化を云々するのはそれからだといふことになる、放送は生徒の出席を命令し得る學校ではなく、觀客を呼び集める劇場の方にすつと近いのだ

△番組の問題

さて、何事にせよ面白くするためには變化を與へるのが常道である、人間は幸ひなことに全部同じではなく同一の人間も常に同一の心境に在るとはかぎらぬ、面白い放送を作らうとすれば何よりも先に變化を求めねばならぬ、勿論どんな放送番組でも相當變化に富んでゐるのが普通で、一般放送番組が二つしかない戦時下の英國ですら番組内容は極めて多種多様である、しかしそれだけでは本當の變化とは言へない、日曜の午前には説教があり土曜の晩には音楽放送があるといふだけでは足りない、説教や音楽放送そのものに變化があるべきだ、興味は比較的なものであるから或る番組が本當に聴取者の心を掴んでゐるかどうかは、比較對照すべきものがなくては判らない、選擇なきところに變化なしといふわけだ

そこで面白い放送は廣般に亘る選擇——同時選擇——を許すものでなくてはならぬ、つまり或る一定の時に或る一定の聴取者に對し一つや二つでなく、それ以上の番組を提供する必要があるのかうして始めてその聴取者が何か面白いものを聴けることがほぼ確實になる理屈だ、この議論をもつと進めれば大體現在の番組そのものが可笑なものだといふことになる、新聞の中一番購讀者の多いものでも三人のうち一人に面白く読んで貰ふ以上のことを望んでゐまいし、定期刊行物に至つては十人のうち一人に興味を湧かせようとするだけでも單に多數の企畫では足りず、多數の異つた企畫を盛りねば駄目だ、企畫のうちあるものは高尚な人々を、あるものは大衆を、あるものはそ

の中間の階級を、あるものはためになることを讀みたがつてゐる熱心な讀者を、他のものは同様に熱心に肩の凝らない讀物を求めてゐる讀者を狙はねばならない、従つて一國の放送制度は最大量の興味を平均に喚起した時に始めて完全と言ひ得るのだが、それには番組の廣さと深さの變化、つまり數種の異つた番組の數種の異つた版を必要とするのだ

△社會の公僕——放送

この方法はさらに民主主義的方法を墮落させてないといふ放送の主要な政治的目的と實によく合致する、ラヂオの提供する知識教養と精神指導の機會——これはこれまで發見された如何なる手段とも尠くとも拮抗し得るものだが——を十分利用するのは誠に當然なことだ、しかしこの偉大な力が獨占の手中に、如何程高潔な心と公共に奉仕する精神を所有してゐるにせよとにかく一個の獨占の手中に委ねられるのが、どれだけの危険であるかはあまりにも明白である、かかる事態が自由を愛好する社會に起つたのはほかでもない、要するにうつかりぼんやりしてゐたためである、もし國民が一寸立停つて彼らの陥つてゐる事態を省みたなら、前途を望んで慄膚に粟を生ずるであらう、人類史上社會的見地からいつてラヂオの發明に比肩し得るのは印刷術の發明だけだ、印刷術が發明の當初から、如何に善意で義務に忠實にせよ一個の公共會社の獨占するところとなつてゐたらわれわれの自由、いやわれわれの知性さへもどんな風になつてゐたか判らない、新聞の力を政府當局が壟斷するやうな暗愚な國は輕蔑し、政治的束縛のみならず檢閲の必然的產物たる無智と遅れた知識と技術の貧困の故にその國を憐れむのが、西洋民主主義諸國の間一般の風習であつた、この原則は事出版に關する限りこれまで極めて忠實に堅持されほんの些細な違反でも猛烈な非難攻撃を蒙るのが常であつた、それにも拘らず將來文筆よりも更に強力となるかも知れぬ電波についてはこの原則が完全に無視されてゐるのに誰も氣にも掛けてゐない

この間違ひを修正するのは今からでも遅くはないがもう殆んど遅くなり掛つてゐる、放送は社會の公僕であるべきで、社會の暗殺者であつてはならぬ、それ故放送は出版の切り拓いた途を進み公

の意志疏通の手段としての任務を自覺し、名譽毀損および風俗壞亂で法律に觸れぬ限り、差出されたあらゆるものを受入れる用意がなければならぬ。かくして始めてラヂオは人間精神の牢獄でなくなるのだ、文化的影響と知性的指導を發揮するのは結構だが誰でもが平等な機會を與へられたと感ずるやうにしなければならぬ、どんな放送でも許可などは要せずやれるやうにすることが必要だ、相當數の聴取者の興味を惹くに足るかどうかの點以外を問題とすべきでない、以上は絶対至上の命令である、しかもさうするためにはそれぞれ獨立して放送される多數の番組の中から自由に選擇出来なければならぬ。

以上のことから單一放送協會の制度は駄目だといふ結論が生れる、興味は變化なしでは起らず、變化はまた競争を必要とする、放送機構の所屬と經營に——これについては後に論ずるがどんな制度が採用されようとも根本原則は獨占の否定でなければならぬ。

△獨占の長所短所

前節では主として二つの點を解明した

一、放送といふものが初まつてから未だ二十五年足らずで、放送は現在なほ實驗の段階にある、これだけの短い經驗を基礎にして放送事業の經營には二つの方法——英國で行はれてゐるやに受信機所有者からの聴取税で經營費を賄ふ獨占的方法或ひは放送を民間事業として廣告に「時間を切賣りして」經營費を稼ぐ米國式方法——しかないと考へるのは性急に失する、以上の兩制度は双方とも明白な缺陷を有してゐるからこれらの缺陷を回避する方法を發見する目的をもつて今後も實驗、繼續せねばならぬ。

一、將來どんな制度の採用をみるにしても獨占は斷乎排撃すべきである、放送の獨占は出版の獨占と同様危険且つ無味になる可能性がある。

ここに注意しておきたいが、以上の原則を主張する主要な理由は獨占といふものは非常に強力だから危険だといふのではない、人智に關係あるあらゆる物の例に漏れず、獨占もまた長所と弱點をあはせ備へてゐるが、全體からいふと短所の方がずっと大きいのである、獨占は弱い人間には強い

が強い人々には弱い、例へば獨占放送協會は聴取者に對して極めて強硬な方針をとることが出来るベラ・バルトツクの音楽や性教育の講演は電波に乗せるべきでないと思へば禁止することも出来る聴取者は不平たらたらずで抗議し、投書しストツクホルムやルクセンブルグの放送にスキツチを切換へるかも知れない、だが聴取者が受信機を持つてゐようとする限りは、獨占的放送協會の政策を左右したり、またはその經營への協力を拒否することは出来ない、この表現を誇張だと考へる人には英國放送協會がどれだけ長い間日曜放送に關するリース卿の考へを固執したかを思ひ起して頂きたい、獨占は聴取者を鐵の筭で支配し得る。

他面獨占は、何等かの形で公共の統制を受けるかぎり他人の聴く番組を左右しようとする人々の前には微力である、英國放送協會のやうな地位にある放送協會は、公共の壓力を加へ得る人々、言ひ換へれば聴取者以外の殆んどすべての人々に對しては非常に腰が弱い、胸に一物ある人々の忠告や勸告はすべて容れぬわけに行かない、無視すれば議會で攻撃されるからだ、かくて放送協會はあらゆる方面から壓力を加へられ、しかもそれに應じなければならぬ、放送協會が面白くない番組は誰も聴かないといふ放送の金科玉條を死守しようとするとならば莫大の壓力を加へて来る人々やおせつかい人々や番組が面白いかどうかなどはてんで問題にしてゐない、はつきりいふと保守黨は反對派である労働黨の黨員に放送をさせるのは不偏不倚の建前からいつて己を得ないにしても放送の内容がなるべく興味を惹かないやうに希望してゐる、さういふわけで、獨占放送局は出来るだけ多くの人々に満足を與へるといふ放送本來の目的に全力を傾注出来ない、寧ろ却つて正にその反對即ち出来るだけ多くの人の氣を損ねまいとすることに努めざるを得ない、従つてその放送は臆病で、平凡で、面白くないに決つてゐる、明るい色は必ず誰か嫌ひな人があるから勢ひ灰色だけしか使へない、高熱と低溫は激しい憤怒か冷い非難を齎らすから結局煮え切らぬことになる、左の足を右の足の前に出すことも出来ない、右の足を左足の前に出すことも出来ないといふれば立停つてゐるより仕方がない、ラヂオで有名になれば必らず敵

も出来るから、あの人の放送は面白いといふ評判になりさうな人物は放送を止めさせねばならぬ、一般に受けの良い番組は必ず横槍が出て来るから、評判が良くならないやうに氣を付ける必要がある

△競争制度の利益

ところが一方競争制度はこれらすべての壓迫に對して常にそつのない返答を用意してゐる、「當社の方針がお氣に召さないなら、何處なりと他處へいらして頂きます」開業醫が自己の判斷の自由を保持するために用ゐる方法と同じである、競争相手の有る者はある人々の氣嫌を損ねても一般の人々の氣に入るやうに努めなくてはならない、さらにもつと大切なことは競争を行つてゐる者はさうする自由があるといふことである、競争する放送會社は聴取者には弱い、それだけ他の壓力に對して自己の判斷を主張する點では強いのである、獨占者は過失を避けることに汲々としてゐるが、競争者は進んで成功を得ようとする

一寸ここではつきりして置く必要があると思ふが、以上は決して英國放送協會の社員の精力、知性、忠實さについて批評したものではない、寧ろわれわれはかかる缺陷ある制度の下に在つて英國放送協會が現在の水準を保つて來たことに感歎の眼を瞠つてゐる位だ

第二節

△將來は有線か短波か

さて問題は氣障で面白くない獨占到代ふるに變化と競争をもつてし、しかもその際廣告制度に伴ふ別の缺點は避けるやうな方法を案出することだが、どんな經營機構でも技術の制限は越えられないから放送經營の問題を論ずる前に、放送技術に今後起るべき發達を慎重に研究せねばならぬ、現在放送技術上最も重要な事實は電波の輻輳である、特に西歐のやうに人口稠密で、數箇國が各々その國語を使用して完全な放送番組を提供しようとしてゐる地域ではその状態が甚しい、ジュネーヴ協定による波長割當はすでに戦前から不當に制限を加へてゐると考へられてゐたが、戦後放送以外の目的に使用されるラヂオの數が増加すれば事

態は更に惡化しよう、もし將來放送番組の數が増加するとすれば——聴取者の選擇範圍を擴げるためには増加する必要があるが——或ひは假りに増加しないにしても、放送電波の輻輳の緩和に何らかの手段が講じられねばならない

若干の技術専門家は以上の事態の結果、特に都市地域では、有線放送が發達するだらうといふ見解を抱いてゐる、これは現在の中繼制度の擴大を意味するのではない、現在の中繼制度は空中放送によつていはば番組の卸賣を受け、これを有線放送で小賣りするやうなものだが、ここにわれわれが提唱するのは、放送室から擴聲器に至る全放送組織を有線にすることである、一つの線に同時に多數の番組が乗せられるから、聴取者は好きな番組を選べばよい、聴取者の側からいへば有線も無線も効果は全く同一で、有線の方が聴取し易いだけである、同一受信機を使用して、國內放送は有線で受け、國際放送は無線で受けられる、有線放送の設備には相當の費用を要しようが、この制度が電波の輻輳の緩和に多大の貢獻をなすことは確實である、さらに今一つ放送技術上豫想される發展は現在よりずつと短い電波の使用である、現在既にこれは米國で周波變調の形で實驗に供されてゐるが、聴取が非常に良好だといふ大きな特點がある周波變調面は周邊僅々數哩しか電波が届かない、それ故さういふ放送局を無數に設けても電波の輻輳を來す惧れがない、さらに經費の點でも英國のやうに狭い國なら建設費が到底賄へないぐらゐる老大となることはないであらう

△中繼放送制の採用

以上孰れの方法によつても波長問題は解決される、周波變調局を多數設置する制度を採用すれば同一の全國的番組、或ひは數種の全國的番組を全國的に放送出来るし、有線放送にしてもこの事實に變りはない、だが、この兩制度の孰れを用ゐても、さらに地方番組に變化をつけることが可能である、もつとはつきり言ふと、兩制度の孰れを用ゐても、米國式の「中繼放送網」を作り上げ、各地方に一個乃至三個の放送局のチェーンを設置した上各放送局の放送番組の大部分は全國的放送局からの中繼によるが爾餘は地方的なものを組込み得るのだ、ここでもまた放送内容の變化が問題となる

昭和二十年 四月廿五日(水)
第三四〇二號

同盟通信

海外電報

(92)

ヒトラー總統ベルリンにあり！

おなじく敢然とベルリンに踏み留まつてゐるゲッベルス宣傳相のこの歴史的聲明は、ベルリンの心臓部で赤軍と闘ふドイツ國民をいかばかり感奮興起せしめたであらうか、總統は親しく陣頭に立つて、決死隊の反撃を指揮してゐるのだ、ベルリンは二度ロシア軍によつて侵入された、併しながら今回のベルリンの戦ひは單なる一首都の攻防戦ではなく、實に第二次歐洲戦におけるドイツの運命を決するべき決定的性質のものである、何故か萬一ベルリンが陥落したとせよ、ドイツ軍の組織的抵抗は不可能となるからだ、エルベ河畔まで迫つた西部戦線の反樞軸軍は目下ベルリン攻防戦の趨勢を凝視しつつ攻撃開始の機を狙つてゐるが、もしもベルリンが赤軍の手中に歸したならば全面的な攻撃の火蓋を切るは明瞭だ、してみるとドイツ北部のメクレンブルグ地方、ノルウェー、デンマークの占領地域バヴァリアの山嶽地帯等におけるポケット陣地でドイツは抗戦を繼續せざるを得ない、もとよりドイツ軍司令部は以上三個所のポケット陣地で長期抗戦態勢を固める決意だが、その場合はもはや言葉の本來の意味における「作戰」といふことが出来ない、ドイツがもしもベルリンを失つたならば、それは歐洲戦の事實上の終焉を意味するものだ、さればこそヒトラー總統はベルリンに踏み留まり、勞働者は拳銃で武装して防衛戦に参加、婦人もロシアの例にならつて「婦人大隊」を組織し男子と肩を並べて闘つてゐる、ドイツはベルリンを第二のスターリングラードと化し、屍で保壘をつくつて首都を死守しようと努めてゐるのだ、戦況はドイツにとつて全く不利だ、恐らくベルリンの陥落は時間の問題であらう、しかし悔なく戦つてきたしまた戦つてゐるドイツ國民の満足感こそ、なににましても貴重なものである



抗戦を繼續せざるを得ない、もとよりドイツ軍司令部は以上三個所のポケット陣地で長期抗戦態勢を固める決意だが、その場合はもはや言葉の本來の意味における「作戰」といふことが出来ない、ドイツがもしもベルリンを失つたならば、それは歐洲戦の事實上の終焉を意味するものだ、さればこそヒトラー總統はベルリンに踏み留まり、勞働者は拳銃で武装して防衛戦に参加、婦人もロシアの例にならつて「婦人大隊」を組織し男子と肩を並べて闘つてゐる、ドイツはベルリンを第二のスターリングラードと化し、屍で保壘をつくつて首都を死守しようと努めてゐるのだ、戦況はドイツにとつて全く不利だ、恐らくベルリンの陥落は時間の問題であらう、しかし悔なく戦つてきたしまた戦つてゐるドイツ國民の満足感こそ、なににましても貴重なものである

【目次】

總統伯林にあり……………一一二

總統と共に死守せよ……………〃

南北より包圍を企圖……………〃

コーネフ軍エルベ河に迫る……………〃

米英ソ三國外相會議開く……………〃

蘭はクリミヤ方式に反對……………〃

【米 洲】

海軍前進基地の重要性……………一一三

沖繩の敵將バックナー……………〃

大統領頻りに協議……………〃

タイヤ工場罷業……………〃

ハル桑港會議に缺席……………〃

生活制限はなほ續く……………一一四

【ソ 聯】

英國の歐洲政策を痛罵……………〃

【反樞軸陣營】

モロトフ氏米大統領と會談……………〃

佛軍、スツツトガルト占領……………〃

【軍事情報】

米一萬トン巡洋艦進水……………〃

【特 輯】

沖繩作戰の性格……………一一五

【資 料】

枯渴する兵器廠……………一一八

市民への朗報……………〃

總統伯林にあり

敢然陣頭指揮

(チューリッヒ二十三日發) ベルリン放送によればヒトラー總統は斷乎ベルリンに踏み留まり、親しく陣頭に立つて世紀防衛戰を指揮してゐるといはれる、またゲツベルス宣傳相も依然ベルリンにあり、ヒトラー總統を補佐して首都防衛に奮起した市民を鼓舞激勵してゐる

總統と共に死守せよ

(チューリッヒ二十三日發) ゲツベルス宣傳相は二十三日ベルリン・ラジオを通じて都市防衛に驟起した全市民にヒトラー總統とともに飽くまでベルリンを死守せよとつぎの通り呼び掛けたといはれる

余はドイツ國民並びに全世界に向つて發表する、ヒトラー總統はこの危急存亡の秋に當つて斷乎ベルリンに踏み留まることに決意した、總統は自らベルリン防衛の全指揮權を掌握、陣頭に立つてポリシエヴィキの攻撃を遂へ撃つ作戰を指揮してゐる、われわれドイツ國民が斷じてポリシエヴィキに渡し得ず全歐洲がわれわれとともに仆れるまで放棄し得ぬ二陣地がある、それはベルリンとプラークだ現在主戦線はベルリン市内を貫通し、ポリシエヴィキは大軍を繰り出して攻撃を加へてゐるが萬一ポリシエヴィキがベルリンを占領するに成功し、プラークを征服したならば、歐洲はもはや無きに等しい、今日この瞬間ドイツ國民は歐洲の指導者として立派な資格があることを身をもつて實證してゐるが、如何に戦線の眞近にあらうとも運命によつて課せられた任務を一瞬といへども忘れてはならない、その爲にこそヒトラー總統は戦鬭の荒れ狂ふベルリンに踏み留まつてゐるのであり、總統のこの行動は軍事的にも政治的にも量り知れぬ意義を有してゐるのだ

南北より完全包圍を企圖

(チューリッヒ二十三日發) 二十三日夜のベルリン放送によれば赤軍戰車隊はベルリン西南部テルトフ、リヒターフェルデ、マリエンドルフの各地

區に侵入したといはれる、一方ベルリン北方の操車場地區から進撃中の有力な赤軍戰車並びに歩兵部隊はオラニエンブルグで突如前進方向を南へ轉じ、ホーヘンツォルレン運河の兩側に沿つて前進中であり、目下ドイツ軍特別對戰車部隊はベルリン西北方十軒のハイリゲンゼー並びにヘニングスドルフ地區において敵の機甲部隊と激戰を交へてゐる、かくて現在までのところベルリン包圍環の間隙は三十軒程度と見られる

コーネフ軍エルベ河へ迫る

(チューリッヒ二十三日發) 前線報道によればベルリン、ドレスデン間を西進する赤軍は二十三日ドレスデン西北方のエルスターワルダに到達、エルベ河への距離は二十軒をあますのみといはれ、戦場上空の飛行機上からは接近する赤軍と米軍とを同時に俯瞰し得るといはれる

米英ソ三國外相會議開く

(リスボン二十三日發) ワシントン來電 米英ソ三國外相會議は二十二日夜國務省において開かれ米國務長官ステチニアス、英國外相イーデン、ソヴェト外務人民委員モロトフ氏他駐米ソ聯大使グロムイコ氏、駐ソ米國大使ハリマン、同英國大使クラーク・カー、英外務次官カドガンも出席、右會談終了後には何等公報は發表されなかつたが、桑港會議を二十五日に控へて、三國がクリミヤ會談後に發生した諸問題につき意見を交換し足並みを揃へんとしてゐることは明らかで就中ソ聯の要求たるポーランド假政權の桑港會議出席問題が會議の中心議題をなすものと見られる、會議は二十三日にも續行されるが、重慶代表が右外相會議に参加するか否かはいまだ不明である

蘭はクリミヤ方式に斷乎反對

(リスボン二十三日發) サンフランシスコ來電 〓オランダ政權外相クレフェンスは桑港會議出席のため二十三日サンフランシスコに到着したが、新聞記者團に對して左の聲明を發表した

クリミヤ會談で決定された安全保障理事會の投票手續は常任理事國たる大國のみに特權的地位を認め小國登場を完全にふみにじつたものであり、桑港會議ではオランダはかかる不合理極まる投票手續には斷乎反對するであらう

【米 洲】

海軍前進基地の重要性

(リスボン二十二日發) ワシントン來電 海軍省は二十二日海軍の太平洋作戦と關聯してこの前進基地の重要性につき次の通り發表した

米海軍は現在全世界の諸地域に三百以上の前進基地を有するが、これ等こそ米國艦隊の背骨であり、これ等基地の活動によつて海軍は兵員、資材を間斷なく第一線の戦闘艦隊に補給してゐる、太平洋作戦における補給が如何に困難であるかはこの戦域の補給に當つてゐる船舶は平均一年に三往復しか出来ないといふ一事だけでも容易に想像しえられようが、かかる長大な距離を克服して米國海軍が實に五百萬品目にもわたる兵器資材を前線に支障なく補給し得るのは實に太平洋戦域に前進基地が網の目の如く張りめぐらされてゐるおかげである、これら前進基地の活動に關して特に注目すべきは前線用の新型修理船及び浮船渠の發達で、これにより損傷をうけた艦艇も修理のため遙々米本國に歸還する必要はなく、また海上において補給船から軍艦への武器、彈藥の積み込み方法にも改良が加へられた結果、米國艦隊の活動に決定的な利益を與へることとなつた

沖繩の敵將バツクナー

(ストックホルム二十二日發) 沖繩島の敵地上部隊を指揮する陸軍中將サイモン・ポリヴァー・バツクナーとは何者か、米國の週刊「タイム」誌四月十六日號はその太平洋戦況欄において彼の横顔を次のやうに書いてゐる

活動的な生活の權化ともいふべき赫面白髪の將軍が沖繩に突入する新編米軍第十軍を指揮してゐる、命令は彼の口から普通の會話口調で流れ出る、彼の特殊な大きい笑ひ聲を聞くと參謀はバツクナーが三十七年間の軍人生活の後にやつと戦爭らしい戦爭にぶつかり満足してゐるのを知つて安心するといふことだ、今まで彼は運命に恵まれてゐた、第二次世界大戰の當初にはア

ラズカ防衛司令官として一見決定的な電撃作戦の舞臺とみえた戰略的要衝に位置してゐたわけだが、戦爭は何時の間にか彼を北方の靜かな日蔭に残したまま南に去つてしまつた、ニミッツ艦隊が中部太平洋を横切りタラワ、マキン、クエゼリン、エニウェトツク、サイパン、テニヤン、大宮島、ペリリュー、アンガウル、硫黃島と進撃してゐるのを他所に彼はまだアラスカにゐた、この進撃がまだ續いてゐた昨年六月頃つひにバツクナーはワシントンに招致され、次でハワイに赴いて本格的な一軍團を編成することになつた、この第十軍は太平洋における米國の軍團としては三番目で、他の二軍團とは陸軍中將ウォルター・クルーガー麾下第六軍と、中將ロバート・アイヒェルバーガー麾下第八軍、何れも比島に作戦中の部隊である

大統領頻りに協議

(リスボン二十一日發) ワシントン來電 トルーマン大統領は二十一日國務長官ステチニアスおよびバーナード・バルーチと時餘に亘り協議した後モスクワ駐米國大使ハリマンとも會談した

タイヤ工場罷業

(リスボン二十二日發) アクロン(オハイオ州)來電 B・F・グッドリツチ會社アクロン工場のチューブ工二百名は會社側の賃金引下げ案に反對し、二十日罷業を開始、二十一日には従業員一萬六千名が参加するに至つた、これに對し會社側は「軍需民需タイヤ製造用のチューブ不足のため工場は昨今全く閉鎖状態にあつたため賃金引下げを計畫したのだ」と陳辯してゐる

ハル桑港會議に缺席

(リスボン二十一日發) ワシントン來電 桑港會議米國代表ハルは二十一日國務長官ステチニアスに書翰を寄せ、病氣のため桑港會議に出席出来ぬが、健康の許す限り會議の後半には出席したいと通告したといはれる

生活制限はなほ続く

(リスボン二十二日發) 「ニューヨーク・ワールド・テレグラム」紙記者ストークスは太平洋作戦の補給を續けるためには米國民の生活に對する制限をなほ續けなければならぬと次の通り論じてゐる

歐洲戰の終了は當然平常生活に歸るため諸制限を緩和せよとの一般的要望を促すだらうが太平洋戰爭はいよいよ多くのものを要求してゐる、これからこそ過去に例を見ない程巨大なる輸送任務が生ずる、歐洲における補給計畫は太平洋の補給計畫に比べれば比較的簡單である、大西洋の補給基地からドイツの前線までは約三千哩に過ぎない、これに反し米國太平洋岸から比島までは六千哩ある、しかし歐洲の兵員資材を比島まで移動するとなればその距離は凡そ一萬三千哩に達する、この大事業には多數艦船を必要とし、莫大な燃料を使用しなければならぬ従つて市民に供給しうるやうなガソリンの餘剰は到底あるまい、食糧も依然問題だらう、靴の供給もますます窮屈になりつつある、われわれは今後大陸における對日作戰に努力する重慶軍に對して裝備を與へなければならぬが、それにはあらゆる種類の龐大な物量が必要である、とにかく米國は今後なほいよいよ大きな犠牲を要求する大事業に直面してゐる

【英 聯】

英國の歐洲政策を痛罵

(ストックホルム二十二日發) 英國言論界は過般來バルカンにおけるソ聯の政策を非民主主義的だと稱して盛んに攻撃してゐるが、「戰爭と勞働階級」の四月十五日號は次の通り反駁してゐる

英國はギリシヤ並びに植民地に對する自國の遣り口を再検討すべきである、全歐洲諸國において米英流民主主義の樹立を要求することは望めない、歐洲に民主主義の復活を希望する者は須らく世界の植民地にその熱意を向けるべきだ、

これら植民地には世界總人口の相當數が住んでゐるが、そこには民主主義の匂ひだにない、重慶を一例にとるならばその指導層中の有力分子は經濟的並びに政治的立ち遅れを維持する政策を強硬に遂行してゐる、しかしながら重慶の政治生活を民主化し且つ國家の統一を達成するため急速に手段を講じない限り、重慶はその資格を持ちながらも民主主義國家群に地歩を占めることは出来ない

【反樞軸陣營】

モロトフ氏米大統領と會談

(リスボン二十二日發) ワシントン來電「桑港會議ソヴェト代表モロトフ外務人民委員は二十二日空路ワシントンに到着した、飛行場には國務長官ステチニアス以下米國政府の高官連が出迎へたがモロトフ氏は直ちにトルーマンを訪問、この會談には英國外相イーデンも加はつて長時間にわたり協議した

赤軍との握手三國共同發表か

(チューリッヒ二十二日發) 前線報道によれば、コーネフ麾下の赤軍とバットン麾下の米第三軍は既にドレスデン附近で連絡を遂げた模様である、既にドレスタに米軍當局は何れもこれを確認してゐないが、パリからのロイター電報によれば反樞軸軍司令部は右兩軍の握手を米英ソ三國政府の「共同發表」の形で發表するだらうといはれる

【軍事情報】

米一萬トン巡洋艦進水

(リスボン二十一日發) フイラデルフィア來電「クリーヴランド級輕巡洋艦「ガルヴェストン」號(排水量約一萬トン)はフィラデルフィアのクラフ造船會社で建造中だつたがこの程完成、二十二日同造船所で進水式を舉行することとなつた



沖繩作戰の性格

武井 武夫

△作戰開始の背景

反樞軸軍の沖繩上陸開始は四月一日だった、嚴密にいへば三月二十六日とすべきかもしれない、即ち海軍少將I・N・カイランド麾下の小部隊は既に沖繩本島の作戰に先立つて、慶良間列島の諸島嶼に上陸してゐたからだ、また來襲の敵を米軍と呼ばずして反樞軸軍と稱する所以は、同方面の敵機動部隊にラレーザーの英國太平洋艦隊に屬する中將ローリング麾下機動部隊が加はつてゐるといふ事實にある

さしも激烈を極めた硫黃島作戰の終了したのが二月中旬、その後月余を経た三月下旬に至つては太平洋の風雲頓に急なるを感じたのは日米兩國の國民だけではなかつたらう

硫黃島作戰の終了は敵にB29の不時着、戦闘機並びに低空偵察機の發着等幾多の新任務を有する航空基地を與へたが、それによつて戰略戰術的變化が期待されるのは太平洋戰略航空隊であつて、本土包圍を戰略目標とする敵太平洋方面軍はこの任務から解放されると同時に當然新たな基地推進作戰に出ることが豫想された、その進撃方向は臺灣か、支那大陸か、或ひは南西諸島か、それが世界關心の的になつた、しかして敵が動員し得る兵力は、海軍においては米國第五艦隊並びに第五十八機動部隊、それに英國太平洋艦隊を加へて、しかも第三艦隊及び第七艦隊の一部が比島水域から隨時出撃し得る態勢にあつた、地上部隊は硫黃島の海兵隊四個師團こそ直ぐには使用出來ずとも、比島には作戰完了地域に相當な過剩兵力がある、航空兵力はマリアナ及びグワムの第七航空隊と比島の第五航空隊、支那の第十四航空隊等の陸軍航空機を艦載機勢力に加へれば、殆んどいかなる地點に作戰を起すにも事缺かないわけだ

中部太平洋から本土に迫るのがニミッツ軍でマ

ッカーサーは西南太平洋から攻め上ると考へればニミッツ機動部隊が突如沖繩に行動を起したのも意外といへよう、事實南西諸島に機動部隊が來襲してゐる際にも、世界のいはゆる軍事通は上陸作戰開始地點が香港なるか臺灣なるかに迷つてゐた、作戰の中心勢力はマッカーサー軍かと思つたのだ

しかしニミッツ軍が新作戦を行ふとすれば、本土直接侵攻が不可能なるかぎり、沖繩を選ぶのが當然だつたといはなければならぬ、前述のごとき太平洋現有兵力の中から、ニミッツは極く平凡に有力なる部隊を編成した、艦船總數實に千四百隻、敵はこれを世界最強の艦隊に守られる太平洋最大の水陸兩用作戦と稱した

△作戰開始後の戰況

沖繩侵攻軍の指揮官名をずらりと並べた四月一日のニミッツ公報は、當時新聞紙上に紹介されてゐる、ここには簡單にその編成を述べてから、戰況の概略を説明することにしよう

この方面の作戰指揮權は太平洋方面最高司令官チェスター・ニミッツからの第五艦隊司令長官レイモンド・スプルーアンスに委ねられてゐる、水陸兩用作戦の指揮官はリッチモンド・タナーだ水上部隊には例のマーク・ミッチャーの率ゐる第五十八機動部隊の他にサー・バーナード・ローリングを司令官とする英國太平洋艦隊空母機動部隊も加はり、先島列島邊りに來襲してゐる

地上部隊は最近までアラスカ防衛司令官だつたサイモン・ポリヴァー・バックナーを起用し、レイテ島及びブルソン島から第二十四兵團と海兵隊第三水陸兩用兵團をもつて來て新たに第十軍を編成した

この部隊が西海岸嘉手納附近から上陸して沖繩本島を南北に兩斷し、北部では海兵隊、南部には第二十四兵團が向つてゐる、地上戰團は現在まで急進展なく、中央平地を抑へ北及び中兩飛行場を手中に収めた敵は那覇北方牧瀨より東に延びる日本軍防衛陣地にハタと突きあたつてからは一歩も進めなくなり、既に十數日間彼我の間には砲撃戦のみが熾烈に續けられてゐた

この間わが航空特攻隊が敵艦船に連日猛攻を加へてゐることは、大本營發表にみるごとくであり從來特攻隊について沈黙を守つてゐた米國海軍省當局も、遂に「神風特別攻撃隊」の存在を正式に發表したくらゐだ、これに對し米軍は航空兵力の増強を圖り、本島の飛行場に少將マイケーを作戰指揮官とする海兵隊の第二航空隊を進出せしめ、ヴォートF4U「コルセア」を主力とする海軍機を多數陸上基地から作戦せしめてゐる、この海軍機はすべて小型護送空母に満載して西南太平洋の島嶼基地からもつて來たもので、發艦はカタパルトを利用したといはれる

だがその程度のことでは事足りず、しかも連日日本軍航空部隊の猛攻を蒙つて艦載機も本島飛行場も十分活用出来ないため、米軍は遂に十六日早朝、沖繩北部の西海岸沖にある伊江島に對し新上陸を行つた、これは航空基地設定が唯一の目的だ十七日米國海軍省當局が記者團に對して言明したところによれば、伊江島の敵は「海蜂部隊」及び陸軍工兵隊を揚陸して同島飛行場の擴張工事を急いでゐるといふ、戦闘機のみならず、中小型爆撃機から四發重爆まで發着し得るやうにするためである、四月二十五日に桑港會議を控へる米國としては、それまでに何とか沖繩作戰の見透しをつけたいにちがひない、地上の戦闘が進捗せず、海上では大機動部隊が特攻隊の連續攻撃に曝されてゐる現狀では動きがつかないのでかうした周邊島嶼群の制壓といふ戦法に出たのだらうが、新作戦の結果が沖繩全域の戰況にどう現れて來るかは今後の發展を俟たなければ分らない

△沖繩作戰の政治的意義

沖繩作戰が太平洋戰においていかなる意義を有するかはわが國の指導者が十分論じ盡くしてをり新聞紙上でも毎日のやうに強調されてゐるから事新らしくここで述べるまでもあるまい、ここで紹介したいのは敵がそれをどう論じてゐるかといふことである、政治的に見れば沖繩作戰は

一、日本々土の一部（四十三縣の一といふ意味において）に初めて米國軍が上陸したといふこと
一、従つて兵員や開拓民ばかりでなく、眞にその

土地を故郷とする日本人が米國の軍隊と最初に接觸するといふこと

一、しかして右の事實は世界に對する米國の宣傳において、戦局の有利及び戦争態度の表明といふ二つの面に大きな價值を有すること

等の新しい意味をもつてゐる、米國は早速猛烈な宣傳を開始したが、スイスの「ナチヨナル・ツァイツング」紙邊りもすつかり米國の宣傳に乗せられて社説をもつて

海軍戰略による日本々土包圍作戰は理論的に進められ、鈴木首相の演説も卒直に事態の重大を説いてゐる、もし日ソ中立條約の不延長通告が今後における日ソ關係の惡化を意味するとすれば事態は急速に危機に入るだらう

と論じてをり、英國紙などは勿論米國の喜びさうなことを書き立ててゐるが、中にも「デーリー・メール」紙は四月三日付紙上で

沖繩侵攻は、本土が攻撃された時日本國民はどう出るかとの問題に解答を與へるだらう、沖繩では集團自決もあらうし、狂人的抵抗もみられよう、だが一方には降伏するものもあるかもしれない、今度こそ初めて日本人の心が知れるのであり、太平洋戦争の長さもその反應如何によつて明らかになるわけだ

と氣を好くしてゐる、米軍が沖繩作戰の計畫を樹てたのは數ヶ月前からのことで、沖繩に關する知識を集めていろいろと研究してゐたらしく、新作戦を「日本占領はいかになさるべきか」の試験臺としてゐるといはれるが、米國兵に一冊づつ渡された「沖繩案内」の内容の一部が同じく「デーリー・メール」紙に掲載されてゐる、どうせ宣傳が目的だから體裁の好いことばかり並べてあるが、そこに彼らにとつて新作戦の政治的意義があるのだから少し紹介する

一、沖繩人は面子を失ひ名譽を傷けられることを嫌ふ、屈辱的な地位におかぬやう氣をつけよ

一、面倒な規則や禮儀を問題にするな、米國から六千哩隔たり全く異つた生活様式を有する異國

に他國人として踏みこんだことを忘れてはならない

一、土產物蒐集には特に注意せよ

一、護身の要ある時以外非戦闘員には構はず、婦人を大切に扱ひ、兒童には親切にせよ

一、沖縄縣民の家庭には必ずしも納骨堂があるがたとへ日本軍がそれを防禦に利用しても戦闘が終結したら納骨堂には立入らぬやうにせよ

こんなことが書いてあるのださうだ、しかし週刊「タイム」誌の特派員が報道してゐる所によれば日本軍は全然納骨堂を陣地には使はなかつたといふし、特派員自身は堂の内部に踏み込んで見物し靈所の神聖を汚してゐるのだから、米軍兵士が「沖縄案内」の指示を守つてゐないことは確實だそれはサイパンや比島における米軍兵士の行爲を考へれば當然だといへよう

△重大なる戰略的意義

戰略的意義については作戦開始の發表後數日を出でずして、ワシントンにおける新聞記者團會見で海軍當局者が長廣舌をふるつてゐるが、ここにはその骨子を述べるにとどめよう

曰く、沖縄作戦は陸海空基地の最後の推進である、本土を攻撃し支那大陸に上陸するためには、相當近いところに有力な海軍基地、航空基地、補給基地をもつことが必要だ、比島は遠すぎるし、硫黄島は小さすぎる、沖縄島は面積比較的大きく基地とするに十分な平野を有する、しかも距離は九州を眼と鼻の先に控へてゐる、歐洲戦終了後莫大な人員資材を廻送するとなれば、沖縄島は多大の價値を發揮することとなる

また曰く沖縄島に基地が出来れば臺灣以南の諸島嶼を完全に本土から切離し、前者を孤立化すると同時に後者を封鎖することが出来る、のみならず本土と支那大陸との交通も全く遮断される、かくて米國海軍は本土水域に完全な制海權を握ることになる

更に曰く航空基地としての沖縄は對日戰略爆撃の飛躍的強化に資するとともに、戰術爆撃をも可能ならしめる、B 24 級の重爆撃機が沖縄を基地として作戦することになれば、制空權下の東支那海

に縦横に活躍し、支那沿岸の航路を扼し、本土南部並びに支那沿岸地區の陸上交通網をも破壊することが出来る、また B 29 の基地が沖縄に移れば、從來地形的距離的關係から極めて小規模且つ非效果的だつた滿洲爆撃を大規模に行ひ得るやうになる支那基地は燃料彈藥の補給が困難で、しかも日本軍占領地の上空を飛ぶために危険も非常に大きかつたが、その點少なからぬ有利が期待される

以上米國海軍の皮算用は狸捕獲以前である所に可笑味を感じさせるが、萬一現實に沖縄を敵手にゆだねるやうなことになるれば、基地としての沖縄島の價値は現在考へられる以上のものになるかもしれない、渺たる硫黄島を取るために一ヶ月の時に二萬の兵員を費したことを想へば、沖縄本島の作戦には敵も相當の犠牲を覺悟してゐるだらう、だが島の面積が廣いといふことは逆に防禦側にとつても兵力の分散を意味することになり、それを避けて陣地戦を行へばわが有する面積は陣地内だけになり、残る面積は却つて敵の作戦を助ける場合もある、面積や兵員は時を測る尺度とはなり得ない、そして現實の戦はどうか、壯烈鬼神をなかしむる特別攻撃隊の猛攻により敵艦船の消耗著しく、地上部隊の健闘により敵の作戦は少しも進んでゐない、しかしながら以上述べ來つたごとく沖縄島の有する戰略的意義は極めて重大で、この島の攻防戦を單に時を稼ぐ戦闘と同一視することは許されない、伸び切つた敵の補給線、本土基地を十二分に活用し得るわれの有利——正に戦局轉回の神機は今において他には有り得ないのだ、戦ふのは今である

以上筆者は外電を基礎として沖縄作戦の性格を論じた、これを要約すれば、沖縄の戦は「日本の戦」の始まりであり、敵から見て「政治戦」の第一歩、戰略的には最後の準備作戦といへよう、沖縄戦の勝利は全局的勝機の把握であり、沖縄島の喪失は本土決戦を唯一の道として残すにすぎないことになる、その意味においては民族の運命を賭した最後の決戦が既に戦はれてゐるのである

資料

「枯渇する兵器廠」

「エコノミスト」誌

三月二十四日號

増大する物資不足に音を上げた米國戰時生産局長官クルーグは最近相當上品な言ひ廻して

米國は食糧その他諸物資を無盡藏に提供し得る兵器廠ではない、米國はすでにいくらかの資源において底を拂つてゐる

と述べた、事實米國では鐵礦、石炭、食糧、アルミニウムなど既に不足を告げてゐるが、最近では原油が足りない、原油の生産は、現在絶頂に達してゐるものの歐洲並びに太平洋で増大の一途を辿りつつある需要には到底應じ切れない有様だ、軍部の要求する五百萬バレルを充足するため現在日に約三十萬バレルが生産されてゐるが、この生産量を維持するためには、戰時石油管理局の推定では新たに二萬七千の油井が必要とみられる、さらに鋼鐵管の補給が思ふに委せぬといふ悩みもある以上に対する一解決案としてはカリブ海域、特に日産百萬バレルの潜在能力があるといはれるヴェネズエラから原油を米國に送り込むことだ、しかしこの潜在生産量は今年中には利用出来ない状態だ

他方百オクタン價航空用ガソリンに目を轉すれば、これの生産は依然上昇してゐる、米國が戰爭準備に本腰を入れた當座日産四萬六千バレルが目標とされたが、今では六十萬バレルを突破するに至つてゐる、この航空用燃料に對する需要は極めて大きく且つ急速に上昇しつつあるので軍部の遠い將來を見越した需要を充たすため、石油管理局承認のもとに更に五工場が建造されることになつた

クルーグにとつて今一つの頭痛の種は人造ゴムだ、一九四二年には米國で消費されるゴムの九六%は天然ゴムであつたが、一九四五年には天然ゴムは全消費量の僅か一五%を占めるに過ぎないだらう、ゴム保存會社の言によれば、軍部並びに必要不可欠の民需に應ずるため、一九四五—四六年度の生産計畫をグンと強化することが必要だと

いはれる、一九四五年の生産目標は百萬噸でありこれは一九四四年の生産量を上廻ること五八%だが、かかる目標も、石油、アルコール、化學藥品等が充分に補給され、また工場に對する或る種の改良が實現され、その上熟練労働者をふんだんに利用出来てはじめて達成され得るのだ

「市民への朗報」

「タイム」誌四月九日號掲載

米國戰時動員局長官バーンズは先週四月二日辭職した、彼は昨年夏歐洲戰爭が終了したら辭職するといつてゐたが、ルーズヴェルトに宛てた辭表のうちで「歐洲戰爭終了の日も遠くないことと思ふ」と述べてゐる、しかしバーンズには自身の辭職問題よりもつと興味あるニュースがあつた、即ち辭職の二日前彼は二度目の年次報告を發表したが、その中には一般市民に直接關係のある事項が含まれてゐたのである、バーンズはいはく

米國はドイツの崩壊を機にその老大な戰費を約三百億弗削減することが出来よう、現在の戰費は年額約九百億弗に上るが、これを六百億弗に大巾な切下げをすることが出来るわけだ、その結果米國民は次のことを期待することが出来る

一、非常警戒令、燈火管制、競馬禁止令の撤廢
一、乗用車、ならびにトラック用ガソリンの割當増加

一、今後九ヶ月またはそれ以前に民需品の生産を現在より三分の一近く増加するため一部工場を解放する、(この期間には自動車を始め米國民が長い間新調出来なかつた各種の製品の生産に十分な資材を融通する)

バーンズはしかし同時に次の三點を擧げて過度の樂觀を戒めてゐる

一、婦人達はナイロンの靴下はもう暫く待たなければならぬ

一、食糧については米國人は一九四四年に食べてゐたと同様のものを、一九四五年にも食べられると考へてはいけぬ

一、米國は今後もその高率の課税、物價及び賃金の統制、食糧割當制を續けるだらうし、續けなければならぬ

昭和二十年四月廿六日(木)
第三四〇三號

同盟通信

海外電報

(93)

桑港會議は愈々米國西部戰時々間二十五日午後

四時三十分をもつて開幕されることとなつた、U

P電によると「ロッキード山を越えて来るあらゆる

列車及び何臺となく飛來する飛行機がサンフラン

シスコに夥しい各國の代表を吐き出してゐる」と

いはれるが、會議開催を前にしてサンフランシス

コのホルデといふホテルはいづれも超満員、これ

でも足りずに公共機關或ひは一般の邸宅その他ま

でが各國代表の宿舎に動員されてゐるといふこと

だ、二十四日には既にステチニアス、モロトフ、

イーデン等も會議地に到着したことが傳へられる

反樞軸陣營は現在までに既に何回となく國際會議

を開いてゐるが、これ等の會議の重大目的の一つ

か(否寧ろ最大の目的といつてもいいかも知れない)

反樞軸の「勢威」を世界に誇示せんとする宣

傳におかれてゐることは極めて明らかである、さればこそ

現在までの反樞軸會議はいづれも例外なく出來るだけ多くの

代表者を會議に狩り出し、

出來るだけ大袈裟なお祭り騒

ぎをして、これをまた出來る

だけ大きく宣傳するのを常とした、しかも今度の

桑港會議は反樞軸陣營の開く會議のうちでは最も

重要なものである、會議が驚くべき大きな規模の

下に開かれ、最も華やかなお祭り騒ぎが演ぜられ、

これを全世界に宣傳するのは敢て異にするに足り

ない

會議に参加する四十六ヶ國の代表團は正式代表

に加へ顧問、隨員等を加へればその總數は一千二

百名に達するといはれる、一方この會議の模様を

報道するためにサンフランシスコに駆けつける各

國新聞記者の數も一千名を超えると推定される、

更に通信機關も準備おさおさ怠りなくウエスター

ン・ユニオン電信會社だけでも百五十名の技師を

この會議のために特派してゐるが、會議當局者は

會議中サンフランシスコから發せられる電信語數

は一時間平均七萬五千語に上らうと推定してゐる

といはれる



目次

四國外相會談開催……………一二〇

印度に信託統治案……………

米英ソ共同で獨に警告……………

戰費負擔加重の要旨……………

英歳出六十六億磅臺を突破……………

【米 洲】

太平洋島嶼を領有せよ……………一二二

波問題妥結に至らず……………

大統領三長官と協議……………

比偽政權「太平洋共同體」提唱……………

米ソ兩軍の張合を素破抜く……………

【反樞軸陣營】

國際勞働會議も開く……………

次期作戦はノールウエー……………一二三

亡命波政權再び聲明……………

【歐 洲】

スイス、ドイツとの國境を閉鎖……………

瑞、軍事援助要請を拒否……………

フランコ統領辭任か……………

【東 亞】

重慶軍に抗戦力無し……………

【資 料】

英國放送組織の前途(中)……………一二三

西亞の獨立統一運動……………一二六

四國外相會談開催

波問題は未解決のまま

(リスボン二十四日發) ワシントン來電 二十二
三の兩日にわたつた米英ソ三國外相會談は遂に懸
案のポーランド問題については意見の一致をみる
に至らず、この問題に關する協議は一應サンフラ
ンシスコに持込されることとなつたが、ステチニ
アス、イーデン、モロトフの三者は二十三日夜再
び國務省で會談、引續き重慶外交部長宋子文もこ
れに加はつて二時間にわたり協議した、四外相の
會談では専ら桑港會議に臨む最後の打合せが行は
れたと見られるが、ソ聯重慶政權の政府要路者が
米英兩國政府代表と共に正式の會議に同席したこ
とは今回が最初のことである、會談終了後宋子文
のみは直ちに夜行飛行機でサンフランシスコに向
ひ、モロトフ、イーデン、ステチニアス三者も二
十四日午前それぞれ空路サンフランシスコに急行
した

印度に信託統治案

(リスボン二十四日發) サンフランシスコ來電 戰後英國が印度に如何なる地位を與へるかは世界の注目の的となつてゐるが、二十四日米國記者團は桑港會議出席のためサンフランシスコに滞在中の英國副首相クレメント・アトリーと會見、劈頭印度が國際信託統治制度の下におかれる見込みありや

との辛辣な質問を發したのに對しアトリーはこれは印度自身が決定すべき問題だと逃げをうつた、次いでアトリーは桑港會議における印度代表の投票が單に英國のための投票に過ぎないといふ説を否定し次の通り言明した

過般ロンドンで開催された自治領會議は全く、「實驗的」なもので、自治領各國が英帝國國として幾つかの決定乃至結論に到達しようといふ目的をもつて行つたものではない、自治領各國は右會議においてそれぞれ自己の見解を表明したが、世界の到るところからロンドンに來た各國の代表は大體同じ様な結論に到達した、桑港會議に提出される信託統治制度案は主として戰

略的安全保障の問題としてではなく、隸屬地域における住民の生活水準を高めるといふ觀點において考慮されなければならない、英帝國においてはこれまで常に植民地は信託統治の原則に基いて處理されねばならないとの見解が保持されてきた

米英ソ共同で獨に警告

(リスボン二十三日發) ワシントン來電 米國ホワイト・ハウス當局は反樞軸軍が二十三日午後六時(西經標準時)を期して米國大統領トルーマン英國首相チャーチル、ソ聯スターリン議長三者の共同署名入りビラをドイツ軍治下の全ドイツ領上空で撒布、ドイツ軍に對し次の通り警告を發した旨二十三日發表した

「戰鬪地域たると交通線たるとを問はず、また收容所、病院、監禁所、その他一再の場所において反樞軸國の俘虜、抑留民乃至強制移住民を虐待するか虐待行爲を默認したドイツ人は誰彼の容謝なく徹底的にこれを追求し嚴罰に處す」右共同聲明は更に二十三日(ロンドン時間)ロンドン、ワシントン、モスクワ各地から一齊に放送されたのを始めとして、利用し得る一切の手段に訴へてドイツに傳へられる

戰費負擔加重の要なし

(ストツクホルム二十四日發) ロンドン來電 英國藏相サー・ジョン・アンダーソンは、二十四日下院で一時間半に亘り豫算演説を行つたが、特に東亞戰と財政に關する見透しについては

歐洲戰終了後出来るだけ早く日本を仆すためには英國民に現在以上財政上の犠牲を加重する必要はなからう

と述べて、長期に亘る莫大な戰費の負擔に疲労しきつた英國民を慰撫した

英歳出六十億磅臺を突破

(ストツクホルム二十四日發) ロンドン來電 英國藏相サー・ジョン・アンダーソンは二十四日、下院における豫算演説において一九四四會計年度における英國の歳出が六十億磅臺を突破した旨明かにしたが、これは英國の歴史初まつて以來の最高記録である

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

【米 洲】

太平洋島嶼を領有せよ

(リスボン二十三日發) 最近米國內では太平洋島嶼の領有論が頻りに主張されはじめた模様で、ニューヨーク來電によれば日米開戦前まで米國アジア艦隊司令長官で最近共和黨から上院議員となつたハートは、二十三日ラジオ放送で次の通り述べたといはれる

米國は太平洋の平和を維持するために戦後もマシーナル、カロリン、マリアナ諸島の支配權を維持すべきである、これらの島嶼は太平洋を横斷する交通、通信の中繼地として價值あるに過ぎず領有國にとつては經濟的に負擔となるが、必要と經濟的價值とは別問題である

波問題妥結に至らず

(リスボン二十三日發) ワシントン來電「國務省は米英ソ三國外相會談につき二十三日次の通り發表した

國務長官ステチニアスはソヴェト外務人民委員モロトフ氏及び英國外相イーデンとポーランド問題をはじめ桑港會議關係の諸問題につき協議した、しかし桑港會議の開催日が切迫し、且つモロトフ人民委員は本國政府の訓令を仰ぐ必要を認めるに至つたのでポーランド問題に關する協議はサンフランシスコで改めて協議されることに決定した

大統領三長官と協議

(リスボン二十三日發) ワシントン來電「大統領トルーマンは二十三日午後國務長官ステチニアス陸軍長官スチムソン、海軍長官フォレストアル及び陸海軍首脳部を白聖館に招致、協議したが、會談の内容は發表されてゐない

比偽政權「太平洋共同體」提唱

(リスボン二十三日發) サンフランシスコ來電「桑港會議出席のため桑港に到着したフィリピン偽政權代表カルロス・ロムロは二十三日「太平洋共

同體案」なるものを桑港會議に提案する意向なる旨言明したといはれる、この提案の背後には戦後の太平洋を支配せんとする米國政府の手が動いてゐることは明らかと見られるが、ロムロの提案は次の通り

太平洋共同體は地域的國際組織であり、南北兩大陸の統合機關なる汎米聯盟にも匹敵する、この共同體には太平洋に臨むあらゆる國家が参加すべく、桑港會議で協議される反樞軸國際安全保障機構の一部として太平洋地域の共同防衛、經濟政治協力にあたることとならう

米ソ兩軍の張合を素破抜く

(リスボン二十三日發) ワシントン來電によれば素破抜き記事で有名な記者ドルー・ピアソンは二十二日

米軍は一旦首都ベルリンの郊外都市ポツダムに入つたがベルリンは自己の「繩張り」であると主張する赤軍の要求により同市から撤收した事實がある

と書いて米國內に多大の衝動を與へ、このためパリのアイゼンハワー司令部も同日夜右記事を否定し次の如く聲明したといはれる

米第九軍並びに第一軍の一部はポツダムを去る僅々七十軒のエルベ河西岸にあり、若干部隊は同河を渡河したが、米軍が首都西方の關門ポツダムまで進出した事實はない

【反樞軸陣營】

國際勞働會議も開く

(リスボン二十三日發) オークランド來電「二十五日の桑港會議と同時に開催される國際勞働會議に出席のため米國代表勞働總同盟會長ウイリアムグリーン、英國代表英國勞働會議議長サー・ウォルター・シトライン等を初めフランス、ソ聯、ベルギー、中南米諸國代表は二十三日オークランドに乗り込んだ、また米國代表の特別顧問として列席する産業別組織會議のシドニー・ヒルマンも同日夕刻オークランドに到着した

次期作戦はノールウエー

(ストツクホルム二十三日發) 反樞軸軍司令部はドイツ本國における戦闘が一應終了するや、直ちにノールウエー作戦に乗り出さうと決意してゐる模様で、ロンドンからのインターニース電報によれば、反樞軸軍司令部の高級將校は二十日歐洲大陸の戦争終了次第反樞軸軍はノールウエーからドイツ軍を駆逐するために全力を集中するであらうと言明したといはれる、しかしロンドンの各紙はいづれも攻めるに難いノールウエーの峽灣に據るドイツ軍の熾烈な抵抗を豫想し「デリー・テレグラフ」紙の如きも

われわれは来るべきノールウエー作戦に關して幻想を抱いてはならず、ノールウエーにおけるドイツ軍の抵抗が終らない限り勝利の日を迎へるわけにはいかないだらうと報じてゐる

亡命波政權再び聲明

(ストツクホルム二十三日發) ロンドン來電「亡命ポーランド政權は二十三日夜次の聲明を發表した

一、亡命ポーランド政權はソ聯との紛争の一切を解決し、ソ聯と條約を締結するに吝かでない
二、亡命ポーランド政權が桑港會議に出席し得ることは争ふべからざる權利である、もしも二十五日まで現在の困難が取り除かれなくとも本政權は依然ポーランドが國際安全保障機構の提唱者の一員として將來理事會に選出される權利を放棄せぬ積りである

【歐洲】

スイス、ドイツとの國境を閉鎖

(チューリッヒ二十三日發) スイス政府は二十三日スイス、ドイツ間の國境を閉鎖する旨發表した

瑞、軍事援助要請を拒否

(ストツクホルム二十三日發) 亡命ノールウエー政權はノールウエーからドイツ軍を駆逐するため

スウェーデンの軍事援助を要請したが、スウェーデン政府は中立嚴守の建前から二十三日拒絶した

フランコ統領辭任か

(チューリッヒ二十三日發) 歐洲の戦局の推移と共にスペイン國內の政情は微妙な動きを見せてゐるが、當地に達したUP情報によればフランコ將軍は「統領」(カウデイヨ)の地位を將軍の先輩で内亂當時オヴィエドの籠城戦で名をはせたアラング將軍に譲り自らは攝政となつてブルボン王朝復辟の下工作にかかるとではないかといはれる、目下アラング將軍の協力者としては元農民黨首ヒル・ロブレス、元藏相ガルニカ、元陸相ヒダルゴ等が挙げられてゐる

【東亞】

重慶軍に抗戦力無し

「戦争と勞働階級」論

(モスクワ二十三日發) 「戦争と勞働階級」誌は四月十五日號に極東通ヴァクトル・アヴァーリン氏の「重慶はどこへ行く」と題する論説を掲載次の通り重慶軍の腐敗を言葉極めて攻撃してゐる重慶政權の將來は深刻な憂慮の念を喚起せずには措かない、もしも重慶政權が猶豫なく民主化の第一歩を踏み出し、政治的統一を實現しない限り、民主々義諸國の間に地歩を占めることは絶対に不可能だ

第一に國民黨の多くの將領は日本軍に投じてをり、昨年日本軍の背後にとり残された五十萬の重慶軍は現在一兵も残つてゐない

第二に重慶から入手した情報によると、日本軍によつて遮斷された地域の軍閥は日本軍と積極的に協力し始めたといふことだ、第三に何應欽の軍隊の如きはただ中國民衆の「頸玉の重り」になるばかりの部隊を多數含んでゐるばかりか重慶軍の將領は給金や食糧、裝備や手當を着服するため多數の戦死者を生きてゐることにして居けてゐる、かかる軍隊が抗戦を繼續出来ぬことは言ふに及ばない



英國放送組織の前途(中)

「エコノミスト」誌

十月二十八日號

第二節(續)

英國のやうに中央集權化された國家では特にさうだが、二、三の大都市を別とすればロンドン以外の場所でも興味ある放送の種がさうたんとあると考へるのは誤つてゐる、だが、他方地方の放送局が聴取者の興味を惹くやうな種を出來るだけ澤山提供するといふことも誠に結構なことだから大いに奨励の要がある

更にもう一つ近く躍進を期待されるのはテレビジョンの發達である、戦争が終つてみれば、テレビジョンが戦時中にどれだけ長足の進歩を遂げたか判明するであらう、現在既にテレビジョン放送はトーカーが無聲映畫に代つたやうに近く聲ばかりの放送の王座を奪ふだらうと主張する者がある、しかし一方ではまたこれに反對し、視覚を使用しないで聴ける放送は、目と耳の兩方とも緊張させるテレビジョンに比較し殆んど半分位の注意しか集中する必要があるから、何時の世になつてもずっと聴取者が多いといふ人もある、いづれにしてもテレビジョンが放送編成の技術のみならずラジオが社會に及ぼす效果全體に多大の影響を齎らすだけは明かだ、だが、この論文では結局テレビジョンの影響はこれまで述べた他の技術的要素と同一の方向——聴取範圍のずつと狭い放送局を多數設置する方向——に向つて動くといふ立場を取つて議論を進める、聲だけの放送について豫想されることはテレビジョンが加はればさらに有力となるからだ

第三節

第二節では協道に逸れて技術上の問題を論じ、放送事業が今後長く現型のやうに比較的小數の放送局が中波を用ゐて全國的放送を行ふ状態を續けるとは信じられない理由を述べた、電波の輻輳は既に極めて重大化してゐるから、將來放送事業は

聴取範圍が限られた超短波を用ひる同波變調放送局を多數設置するか或ひは有線放送によつて多數の番組を同時に放送網に乗せ、聴取者にその中一つを選ばせるやうにするか二つの中一つになるだらうと言ふのである、これは勿論現在行はれてゐるやうな中波放送局による全面的仲繼放送と混同してはならない、兎に角孰れにしても現在のやうな全國的放送局の代りに地方放送局網のやうなものが生れるであらう、テレビジョンを全國に行き渡らせるとすれば聴取範圍の狭い放送局を多數必要とするから、以上の結論はテレビジョンの進歩によつて一層有力になるであらう

△競争は下劣化を意味せず

如何なる放送制度の組織經營に當つても以上の技術的制限の枠から出ることはい出來ない、また前々節では如何なる放送制度を採用するにしても獨占を許してはならぬことを述べた、競争放送制度を採用したいといへば、多くの人は廣告屋が「主催」する番組を盛る米國式方法のことだと思ふであらう、本論文で競争と變化の美點を強調するのは何も廣告屋の肩を持つつもりではないことをはつきりさせておきたい、廣告業者が主催するラジオ放送は恐らく英國々民の聲望するところとならう、もつともこれもはつきりはいへない、何故ならば米英兩國のラジオ放送を比較する機會に惠まれた人は大概英國人はいつものことながら、米國の放送にも極めて不當な批評を下してゐると感ずるであらう、つまり英國人で米國の放送を云々する人々の大部分は米國の放送をきいたこともないのだ、廣告放送が下卑てゐることについては誰も異論はないが、それだからといつて、米國の放送が英國のラジオよりもずっと品が悪いといふことにはならず、しかも面白い點では米國の方がずっと上なのである、米國の放送の方が漫才が多く、シンフォニー・オーケストラが少いかも知れぬが、英國放送に出るシンフォニー・オーケストラや漫才の方が品が良いといふわけでもない、公共の事柄に對する批判の點から言へば、米國放送の方がずっと高い水準に在る、と言ふのは英國の放送にはさういつたものが殆ど見當らないからだ、米國の放送には御説教らしいものが少く、その代り他愛もない無黙口が多いが、威嚴の損失は興味

だが、それはそれとしても、要するに廣告に、「時間を切賣りする」といふ方法は放送事業經營の手段としてあまり勸められない、米國では結果が悪くなかつたにしても、英國では悪くなるかも知れない、偉大な力を持つ放送事業だ、たとへ潜在的且つ消極的にせよ、商業會社の願使の下に置かれるのは正當でない、従つて廣告なしで放送に競争を起させることが出来れば、その方がよいに極つてゐる、しかし、戦後英國は歐洲大陸乃至エール——エールには米國が商社が地歩を確立したと信ぜられてゐる——から廣告放送による攻撃を受けるのは必至だから、英國放送も「自衛上」廣告を許さねばならぬと、或る一派の人はいつてゐる、だが、この議論にはどうも首肯し得ない、これまでの經驗によれば、普通の聴取者は自分の地域の放送が面白くない場合でなければわざわざ遠方の放送局にスキッチを入れたりしないものだ、戦前ルクセンブルグの放送が成功を収めたのは、大概日曜丈であつた、自己の地域の番組さへ面白ければ、外國放送を聞くものは大してないのだ、またよしんば外國の放送をきく者が多いにしても、それだからといつて外國放送の眞似をする必要は毫もない、英國の廣告等にしても保護を要するほど幼稚ではないのだ、従つてせいぜい讓歩しても、他に財源が得られない場合に限つて、小額の補助的財源として、時間の切賣りを許しても良いといふに止る、主要財源として廣告をとり入れるのは許されない

△競争放送制度の財源

問題は時間の切賣り以外に競争的放送制度の財源を得る方法を探ることだ、時間の切賣り以外の方法といつても一般豫算に計上される直接の國家補助によるか——之は更に一層危険である——或ひは現在通り聴取税による他ない、聴取税を競争制度の必要に調和せしめるのはさう困難ではない筈だ、例へばここに相競争する放送會社ABC、BBC、CBCがあるとする、これに對し各聴取税の中四分の一を各放送會社に支拂ひ、残りの四分の一は各聴取者が聴取税を納める際それを何の會社に支拂つて貰ひたいかを指定する規定にしたらどうであらうか、さうすれば各放送會社は一定

の最低額の收入を保證される一方、もし競争會社よりも多くの満足を聴取者に與へれば收入を倍にすることが出来るわけだ、この比率は勿論動かせないものではなく、六分の一づつを自動的に三つの放送會社支拂ひ、残りの二分の一を競争の對象としてもよい、自動的支拂ひの率が少なければ少ない程、競争の要素が多くなるからである、とにかく如何なる比率を定めるにしても、ここに聴取税と競争制度を合致させる方法が一つあるわけだ、各放送會社は一定の收入を保證される代りに、その社會的義務——聴取者に最大の満足を與へることとは別に——を遂行しなくてはならぬ、設立許可の條件としては一定數、一定種類、一定の長さの番組の放送に關する一般的規定の遵守を必要としよう、だが、一方では各會社は自作の番組を本當に興味あるものとするための最大の刺戟を與へられてゐることになる、更に各會社はおせつかいな人々や關係權益からの干渉に對して鐵壁の防衛を備へることが出来る

△番組の種類の変化

かくして競争と變化の双方が確保されよう、しかし、百尺竿頭一步を進めて第二の種類の変化——いくつかの異つた番組に止らず、いくつかの異つた種類の番組を要求する第二の種類の変化の導入を試みたい、これについては三つの大まかな區別を立てることが出来る、(一)唯慰安だけを求めて放送を聴取する大衆を狙つた一般娛樂放送、これには漫才、寄席、ダンス・バンド、輕音樂、簡單な大衆向き講演等を入れる必要がある(二)もつと眞面目な音樂、劇、オペラ、講演等を盛つた文化放送、(三)兒童、生徒のみならず年齢の如何を問はず精神的向上を望んでゐる人々に教養を與へんとする教養放送、以上三つの範疇は互に相容れぬものではないし、相容れぬものとなる理由は一つもない、ニュースなどは以上の三種類の番組のすべてに組込まれるであらうし、宗教も恐らくさうならう、しかし大掴みの區別は可成りはつきりしてゐる、三種の番組を常に同時に放送せよと要求するのは不合理であらうし、また例へば晝飯前からシンフォニー・オーケストラや眞面目な講演をやつてくれといふ人もたんとはあるまい

實際のところ問題解決の實行可能な方法としては一般放送番組一本建で行き、最も聴取の多い時間だけ番組を三つに分けることであらう

かくて競争放送制度とは、ABC、BBC、CBCの三放送局があつて、各放送局とも設立許可の條件によつて、一日約十八時間の一般放送一つと、八時間の特別放送二つを行ふといふやうな状態とならう、これらの放送番組の内容に關する規定は勢ひ若干漠然たるものにならざるを得ぬ、例へば教養放送においては、教養向きと指定される放送項目表を作り、全番組の時間中少くとも三分二はこれらの項目で占められねばならぬと規定し得よう、しかし、それ以上のことについては、番組編成者に最大の自由裁量の餘地を與ふべきだ、

西亞の獨立統一運動

——桑港放送三月廿日論評——

近東並びに中亞のアラブ諸國は最近數ヶ月間における報道界において重要な位置を占めてゐた、これら諸國の間には獨立運動及び何等かの種類のアラブ聯合を求める運動として大きな政治的氣運が動いてゐる、即ちアラブ諸國は相互間の關係を修正せんと努めてゐるのみならず世界諸強國との關係をも調整せんとしてゐるのだ、フランス、英國、ソ聯、米國等はこれらアラブ諸國に對してそれぞれ政治的、經濟的關心を有する、例へばレバノンとシリアとはフランスの高等辯務官が支配するフランス委任統治領であつたし、イラクとトランスヨルダニアとパレスチナとは英國の委任統治領だつた、一方ソ聯邦もアラブ諸國の幾つかと先頃外交關係を樹立した、さらに最近になつてソ聯は北イランにおける石油利權を要求したが、これは拒絶された、米國となるとサウヂ・アラビアにおいて米國の石油會社が採取した石油を輸送するための石油管建設問題が長い間の懸案になつてゐる

以上簡單に各國の利害關係を列舉しただけでは諸大國とアラブ諸國の間に横はる經濟的、政治的關係の複雑な網目を悉く理解するといふわけには行かない、しかしながら近東並びに中東が世界の

最も重要な產油地帯の一つであり、同時に近い將來航空路の重要な接續地點となるべきことは十分に知られてゐるのである

これら諸地域における勢力關係は從來は壓倒的な政治的、經濟的利害を有する英國とフランスとの間に分けられてゐた、しかるにソ聯邦が勃興しソ聯が地中海における強國として大きく浮び上つて來さうな形勢は、ソ聯の影響力をもこの勢力關係に加へるに至つた、更に同地方に利權を有する米國石油會社を別にすると、米國としても、米國の軍隊が駐屯してゐること、米國が同地方に重要な補給基地を建設したこと、この地方の經濟的發展に米國の専門家が指導的な役割を演じてゐること等の諸事實があるのを忘れるわけには行かない

今次大戦中アラブ諸國は反樞軸諸強國との經濟關係が有利に行はれた結果、反英の一端を辿つた同時にアラブ諸國は特に必要な資源及び補給によつて反樞軸側の戰爭努力に多大の寄與をなした、諸外國の技師、技術者、近代的生产方法などは經濟的發展の機會を齎すものとして歓迎された、ただいかなる種類のものにせよ、政治的な支配だけは受け入れられなかつたのである

アラブ諸國は諸大國からの協力により與へられる文化的、産業的利益には反對しない、彼等が援助に反對するのはそれが委任統治或ひは政治的支配の足場工作として齎される場合である、さうした理由からアラブ諸國における政治的不安は今なほ委任統治制度の下にある諸國における政治的獨立の運動であつた、同時にアラブ諸國は弱少諸國に獨立を保障し、約束するに十分な勢力を有する地方的組織を樹立するために聯邦の方向に動いて行つた、以下においては時間の許す限り簡單にこれらの運動を論じ度いと思ふ

△シリアとレバノン

シリアとレバノンを例にとらう、地中海東岸にあるこの二國は國際聯盟によつてフランスに統治を委任されてゐた、委任統治規定によれば自治政府も認められる筈であつたが、特にその期限は定められてゐなかつた

以後シリアとレバノンに獨立のために戦ひつづけて來たのである、一九三六年に至つてフランスは憲法並びに人民選舉の大統領を有する共和國樹立を約束した、この共和國は三年以内、即ち一九三九年には建設される筈だつた、一九三九年にはヒトラーがフランスに戰爭を宣言した、この間レバノンの人民は自由共和國の憲法起草し、それをフランスの辨務官に提出したが、草案は拒否されレバノンの閣僚並びに大統領は逮捕された

かくてレバノンには革命運動が勃發した、英國政府代表並びに米國政府代表はレバノン國民の側に道理があると信じ、兩者が干渉した結果フランス國民解放委員會はレバノン國民の闘争を彈壓せよとの命令を撤回した、「サターデー・イヴニング・ポスト」紙の論者はこの事件の概要を叙して次の通り述べてゐる

かくてレバノンは英米兩國並びに不精々々ながらフランスによつて無條件で容認されたる自由共和國となつた

ソ聯邦も後から承認した、レバノン共和國は一九四一年九月建設され、それから二ヶ月後にはシリアも獨立を宣言して米英ソ三國の承認を得た英國のチャーチルは議會における最近の演説でレバノン並びにシリアの獨立問題に對する諸強國現在の態度を説明し

英國政府は兩國の獨立に好意を寄せると同時にフランスがこれら二國において特權を維持し得るやうに援助する、この二つは兩立し得ないことではない、しかしながら英國のみがあまりにも多くの負擔を擔ふやうなことがあつてはならない、われわれは英ソ兩國がシリア並びにレバノンの獨立を承認、同情しながら外國に對しては一切特殊的地位を認めまいとしてゐる事實を計算に入れておく必要があらう

△アラブ國家聯盟へ

アラブ諸國の間における全般的な聯邦運動に關しても一言しなければならぬ、一九一七年以前には有名な英國の冒險家「アラビアのローレンス」がアラビア半島を單一君主制の下に統一せんと努力した、これをはじめ、アラブ統一の諸計畫はす

べてヴェルサイユ條約によつて水泡に歸した、フランスと英國は自己の東方諸領土への通路を保護することにのみ心を用ひてアラブ地域の大部分を分割して委任統治領とすることに同意した、爾後この制度はアラブ諸民族の間に生じた幾多の意見の相違と相俟つて聯邦乃至統一を阻んでゐたのである

大西洋憲章の旗の下にアラブ諸國は再び獨立と協力に向つて進みはじめた、米國は完全獨立の獲得と、諸國間の大合同を求めるアラブ諸國の希望に常に同情的な立場をとつて來た、英國も最近ではアラブ民族の聯盟結成を獎勵してゐる

一九四五年二月十四日にはアラブ地方獨立七ヶ國の外相達がカイロに會同し、アラブ國家聯盟の規約を起草した、これは各國同等の資格を有する理事會を規定してゐる、國家聯盟は外部からの侵略に對しアラブ諸國の主權を守るといふ意味において諸國の政策を調整する、加盟國間の紛争は理事會において解決されるが、實力の行使は禁止されてゐる、貿易、爲替、稅率通貨等の問題についても緊密に協力するとともに通信、運輸、航空等においても協働する、公共衛生、社會福祉等の文化的問題についても同様である

さらにアラブ諸國はクリミア會談における提案についても考慮してゐる、クリミア會談においてはサンフランシスコに反樞軸國會議を開催することが決定され、樞軸國に對し戰爭を宣言した國家のみが出席を認められることになつた、最近數週間の間に今まで對樞軸國宣戰を行つてゐなかつたアラブ諸國の多くが宣戰の決定をなし、シリア、レバノン、サウヂ・アラビアその他が宣戰を布告した、さらに數日前にはアラブ國家聯盟が再び會同したが、今度は桑港會議において提案すべき問題に關する共同協定の締結が目的だつたのである

伯林からの最後の旅客機

(ストツクホルム二十四日發) ドイツのルフトハンザ商業機は二十四日定刻にベルリンから三名の來客をのせてストツクホルムに飛來したが、歸途は北部ドイツバルト海岸のワルネミュンデに向つた、同機はベルリン西北部のドイツ軍飛行場から出發したもので、ベルリンからの最後の旅客機とみられてゐる

昭和二十年 四月廿七日(金)
第三四〇四號

同盟通信

海外電報

(84)

反軸樞四十六ヶ國の代表を乗せて鳴り物入りで出帆した「桑港會議」丸は早くもスターリン議長の説文で吹き出した嵐に遭遇、無事に目的の港に着けるかどうか怪しくなつてきた、大體目的を異にする米英ソ三國が同じ船に乗ること自體危険なことであり、特に三國を結ぶ唯一の契機が既に消滅しかかつてゐる現在、吳越同舟は水盃ものだ、ポーランド問題に關する米英とソ聯の態度は明瞭だ、米英兩國は飽くまでもクリミヤ協定を楯にとりポーランド民衆の意思を代表する新統合政府が樹立されぬ限りいかなる政權も桑港會議に出席する資格がないと主張してゐるのだが、ソ聯はソ聯でクリミヤ協定による新統合政府が會議までに出來上らぬのは米英の責任であり、現在本國で直接行政の任に當つてゐるのはワルシャワ政權だから



當然同政權を桑港會議に参加させてしかるべきだといふのだ、然し問題は單にワルシャワ政權の參加問題だけでないこれだけならば何も米英ソ三國が青筋たてて力む必要がない、問題は米英ソ三國の協調

關係を大いに宣傳する必要のある桑港會議を狙つて、ソ聯が一氣にワルシャワ政權をソ聯に都合のよい新統合政府に轉身させようといふにあり、米英兩國はまたここでソ聯の増長した鼻を叩き挫いて、桑港會議を自己に有利に進ませようと努めてゐる點にある、米英側の宣傳によると將來の世界の平和も安全保障も一に大國間の協調融和如何にあり、桑港會議も要するに大國が共同戦線を張つて中小國の犠牲において大國の世界支配を實現しようといふのが開催の動機だが、この共同戦線がまづ崩れてしまつては桑港會議もなにもあるものではない、近思錄に曰く

正しからずして合ふはいまだ久しくして離れざる者あらず、合ふに正道を以てせば、自ら終に睽くの理なし、故に賢者は理に順つて安じ行ふ智者は幾を知りて固く守る

目次

桑港會議開幕……………	一二八
各國代表續々參集……………	〃
波問題桑港會議を左右せん……………	〃
桑港會議代表團顔觸れ……………	一二九
開會前に早くも危機……………	一三〇
ソ聯第十一回最高會議……………	〃
米上院徴兵法修正……………	〃
ペタン元帥スイス入り……………	〃

資料

英國放送組織の前途(下)……………	一三一
支那工業化の四大困難……………	一三三
ソ聯と中南米諸國……………	一三四

桑港で再び四國外相會談

(リスボン二十五日發) サンフランシスコ來電 英國外相イーデンは二十五日午前一時十五分大國代表の殿りとしてサンフランシスコに到着したがイーデンの到着を待つてステチニアス、モロトフ宋子文の米ソ重慶三國外相はワシントンでの會談に引續き再び四國外相會談を開催した、宋子文が同席したところから見てポーランド問題には觸れず桑港會議招請國として會議開催に先立ち最後の打合せを行つたと見られる

桑港會議開幕

(リスボン二十五日發) サンフランシスコ來電「國際機構審議反樞軸會議」は二十五日午後四時半(米國西部戰時時間) サンフランシスコの大戦記念オペラ劇場で開會された、参加國四十六ヶ國各國代表的百九十名、これに顧問、隨員等を加へれば會議参加者の總數は實に千二百餘名に上る、米國務長官ステチニアスが臨時議長として第一回全體會議を司會したが、開會にあたり米國大統領トルーマンは特にワシントンからラジオを通じて各國代表歓迎の挨拶を放送した

各國代表續々參集

(リスボン二十四日發) サンフランシスコ來電「桑港會議の開催を二十五日に控へサンフランシスコにはここ數日來反樞軸參加各國代表が續々として參集しつつあり二十四日にはソヴェト外務人民委員モロトフ氏、米國務長官ステチニアスもそれぞれワシントンから空路到着した、桑港會議に出席する各國代表團は代表の他に顧問、隨員等を含めれば總數一千二百名を超えるといはれ、また各國の新聞、報道關係者も一千餘名が乗込んでゐるのでサンフランシスコのホテルその他の宿舎は正に超滿員の形である

波問題桑港會議を左右せん

(リスボン二十五日發) 三國外相會談で最大の難關たるポーランド問題に關し一時凌ぎの解決案にすら到達せず、米英ソ三國代表は物分れの儘空しく桑港會議に乗り込むこととなつたが、ロンドン來電によれば英國外務當局は二十五日非公式に次の見解を洩したといはれる

「ポーランド問題に關する米英對ソ聯の抜き差しならぬ意見の對立は桑港會議の根本任務に對する「傍系的な事件」ではなく、會議の運命を決する核心的問題だ、三國外相會議は米英兩國とソ聯がポーランド統合政府樹立に關するクリミヤ協定を全然別個に解釋してゐる事實を明みに曝け出したが、イーデンとステチニアスは米英兩國が一切の點で完全に意見の一致をみてゐること、及び米英兩國のクリミヤ決定に關する解釋をモロトフ氏に囁み込ませるのに大骨を折つたやうだ、モロトフ氏が理解に苦しんでゐるにも拘らず米英兩國の態

度は簡單明瞭だ

一、米英兩國はポーランドの民意を眞に代表し得ぬ如何なる政權をも認めることが出来ないこと従つてワルシャワ政權を承認出来ぬことは言ふに及ばない

一、米英兩國は三國がポーランドの民意を代表する一段と基礎の廣い統合政府を樹立するため本國以外の指導者をも含めてポーランド各派代表間の會談を開催することを公約したものとクリミヤ協定を解釋してゐる、従つて一國の單獨行動によるかかる會談の開催はクリミヤ協定に背馳するものであり、且つそれ以外に正しい解釋の方法はない

一、米英兩國は以上の會談開催が遅延したことを遺憾とする

一、米英兩國はクリミヤ協定に基き當然會談に参加する資格があるにも拘らず、ワルシャワ政權がかかる海外のポーランド指導者の會談参加に一口出しし、参加を拒否する權利は絶対にないと思考する

一、米英兩國は民衆の代表としてワルシャワ政權を會議に参加させる意向は毛頭ない

以上の米英兩國の態度は三國外相會談で逐一モロトフ氏に説明したところであり、米英兩國はこの態度を變へることは出来ない、いづれにしてもスターリン議長が一讀歴然たるクリミヤ協定を全然別個に解釋してゐることは明瞭だが、問題はクリミヤ會談において三國首脳間にポーランド問題解決に關する明確な協定が成立してゐたのかどうかつかないことだ、もしも協定が出来てゐたとするならばクリミヤ會談後僅かに三ヶ月も経たぬ中にクリミヤ協定そのものの表現のみならず精神に關し正面切つての對立が生じたことは何といつても悲しむべき現象だ、國際安全保障體制の將來が一に大國間の協力如何に懸つてゐることは言を俟たぬが、その意味でポーランド問題こそ將來の試金石といふべく目下の所モスクワとワシントンの兆候は決して良いとはいへないが唯一の頼みの綱はスターリン議長からの回答を俟つてサンフランシスコで開催される三國外相談であり一切はこの會談に懸つてゐるといつても過言ではない」

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

桑港會議代表團顔觸

(リスボン二十四日發) サンフランシスコ來電
桑港會議はいよいよ二十五日をもつて開催されることとなり、各國の代表團が續々サンフランシスコに乗り込んでゐるが、參加國四十六ヶ國はそれぞれ多勢の代表團を派遣、正式代表だけでも約百九十名、その他顧問隨員等を加へればその總勢千二百餘名に達するといはれる、桑港會議出席の主要各國代表團顔觸次の通り

△米國

首席代表 國務長官エドワード・ステチニアス
上院議員アーサー・ヴァンデンバーグ(共和黨)
下院議員チャールス・イートン(共和黨) 上院
院外交委員長トム・コナリー(民主黨) 下院
外交委員長ソル・ブルーム(民主黨) コロン
ビア大學バーナード・カレッツチ學長ヴァージニア・ギルダースリーヴ女史 共和黨代表ハロルド・スタツセン

△英國

首席代表 アントニー・イーデン
副首相クレメント・アトリイ 自治領相ロバート・克蘭ボーン 駐米大使ハリファツクス
勞働次官ジョージ・トムリンソン 内務次官エレン・ウイルキンソン女史 保健次官フローレンス・ホースバラ女史 食糧次官ウィリアムマベーン 經濟戰爭省次官デイングル・フツド

△ソ聯

首席代表 外務人民委員V・M・モロトフ
駐米大使 A・グロムイコ 駐加公使ノヴィコフ 外務人民委員部米洲局長ツアラブキン
ソヴォレフ ヴァシリエフ陸軍中將 ロディオノフ海軍中將 ゴルンスキー教授 クリロフ教授
△フランス

首席代表 外相ジョルジュ・ピドー
財務相ルネ・ブレヴァン 保健相フランソワ・ビルー 國民諮問會議外交委員長ジョセフ・ポールボンクール

△重慶

首席代表 外交部長宋子文
延慶代表董必武 駐英大使顧維鈞 駐米大使魏

道明

△ベルギー

首席代表 外相ポール・アンリ・スパーク
國務相兼商工會議所會頭フランシス・ファン・コ
ーウエラート 前教首相ヴィクトル・ド・ラヴ
エレエ 前無任所相シヤルル・ド・ヴィツエル
上院議員アンリ・ローラン 外務省事務局長
フェルナンド・ファン・ランジエンソヴ 元内
閣書記長ウオルター・ローディアン

△オランダ

首席代表 外相ヴァン・クレフエンス
オランダ極東派遣軍總司令官海軍中將ヘルフリ
ツヒ 蘭領東印度總督中將ヴァン・モツク

△カナダ

首席代表 首相マッケンジー・キング

法相ルイ・サンローラン 上院議員J・H・キ
ング(自由黨)、ルシアン・モロー(進歩自由黨)
下院議員ゴードン・グレイドン(進歩自由黨)
ミシユース・カツセルマン(自由黨) M・J・コ
ールドウエル(協同聯邦黨)

△濠洲

首席代表 副首相兼陸相フランシス・フォード
外相ハーバート・エヴァアツト

△新西蘭

首席代表 首相ピーター・フレージャー
駐米公使ベレントセン

△南阿

首席代表 首相ヤン・スマツク
外相フォーシス

△印度

英領印度代表 フイロツ・カーン・ヌーン、ラマ
スワム・ムダリア

王侯國代表 クリシユ・ナマチャリアー
△ユーゴスラヴィア

首席代表 外相イヴァン・スバシツチ
△メキシコ

首席代表 外相エセキエラ・パディヤ
△トルコ

首席代表 外相、サン・サカ

駐米大使フサイン・ライチス・バイダツク 外
務事務局長フェダリン・ラキン

△シリヤ

首席代表 首相フアイエス・エル・コーリー

△サウヂ・アラビア

首席代表 エミール・フアイサル

△比島偽政權

首席代表 米國駐劄比島辨務官 代將カルロス・

ロムロ

宣傳情報相 マキシモ・カロー 上院議員カルロス・ガルシア 下院議員ペドロ・コペス 元米國駐劄比島辨務官 フランシス・デルガド 大統領經濟顧問 ウルバノ・サフラ 大統領軍事兼技術顧問 アレハンドロ・メルコル フイリビン法科大學教授 ヴインセンテ・シンコ

開會前に早くも危機

(リスボン二十四日發) 二十二、三の兩日にわたリワシントンで開かれた米英ソ三國外相會談では遂にポーランド假政權の桑港會議出席問題につき意見の一致をみるに至らなかつたが、米英兩國政府がこの問題を桑港會議開催前になんとか解決せんと懸命の努力を試みたにも拘らず、先づモスクワの三國委員會の失敗に引續き三國外相會談が再びこの解決に失敗したことは、同問題をめぐる米英對ソ聯の對立が極めて深刻なことを示唆するとされ、桑港會議の前途が早も暗雲に蔽はれた形だ、二十四日のUPニューヨーク電の如きは「ワシントンにおける豫備會談がポーランド問題の解決に失敗したことに國際安全保障機關設立工作に對する忌むべき前奏曲であり、桑港會議は開會に先立ち早くも危機に陥るに至つた」とさへ報道してゐるが、APサンフランシスコ電も同じく「ポーランド問題をめぐる三國間の意見對立は既に重大な段階に到達した形であり、サンフランシスコに參集してゐる各國代表の多くは新國際機構が成立するか否かはこの問題が三國間で無事解決されるか否かにかかるとして、會議の前途を深憂してゐる」と報じてゐる、二十四日サンフランシスコに到着したステチニアスも「ポーランド問題をめぐる三國間の紛争が桑港會議といふ林檎車をひつくり返すやうなことは先づあるまい」と述べ、ポーランド問題に對する彼の内心の憂慮を言外に仄

めかしたが、二十三日外相會議の失敗を發表した白聖館の公報が「モロトフ委員は本國政府の訓令を仰ぐ必要を生じた」と述べてゐる通り、ポーランド問題解決の鍵は今やスターリン首相の掌中に握られてゐるとの觀測が支配的である

ソ聯第十一回最高會議開催

(モスクワ二十四日發) 第十一回ソヴェト聯邦最高會議は桑港會議の前日たる二十四日、クレムリン宮において開催された、今回は獨ソ開戦以來三度目に當る

米上院徴兵法修正

(リスボン二十四日發) ワシントン來電 米上院は二十四日、来る五月十五日で満期となる現行の選擇徴兵法の一ヶ年間延長法案を五十票對二十五票をもつて可決したが、陸海軍當局の反對にも拘らず十八歳の壯丁全部に戰闘參加前少くも六ヶ月の訓練を受けさせる旨の修正案を付加して下院に回付した、右修正案に對しては政府當局が「かかる案は戰爭努力の妨害となり、數千名の米國民の生命を危くするかも知れない」と反對し、參謀總長マーシャル及び海軍長官フォレストアルも「陸海軍の訓練計畫に重大な障礙とならう」と極力反對したにも拘らず上院は遂にこれを無視して採擇したものである

ベタン元帥スイス入り

(ベルリン二十四日發) フランス國家主席ベタン元帥は亡命先ジグマリンゲンが反樞軸軍に占領されて以來行方不明であつたが、二十四日スイス政府は同元帥が二十四日オーストリアよりスイス領内に入國したことを發表した、ベタン元帥はパリ政府の指示を待つて進んで公判に付せられるためフランスに歸國する意向といはれる、なほラヴァル元首相はリヒテンシュタインに、デア元内相はスイスに夫々入國せんとしたが拒絶された



英國放送組織の前途(下)

「エコノミスト」誌

十月二十八日號

第三節(續)

以上の企劃が實現すれば、聴取者は——少くとも都市近傍の聴取者は——常に三つの番組の中の一つを選び得るし、放送の書入れ時に際しては、それぞれ三つの異つた種類からなる三つの群の番組、つまり合計九つの番組の中の一つを選び得るであらう、田舎では選擇範圍が狭くなるのも已を得ない、各放送局は有線放送或ひは短波放送で以上九つの番組を放送される他に、人口稠密でない地方の便宜を計つて、それぞれ一般放送番組を現在通り中波或ひは長波で放送してもよいのだ、以上の計畫は現在の乏しい放送内容に較べれば驚嘆に値するほど變化に富んでゐるやうにみえるであらう、だが、公衆が現在持つてゐる他のあらゆる形の娛樂乃至教養、例へば書物、新聞、雜誌、芝居、映畫、音樂會に較べれば、まだまだ選擇範圍が狭い方であらう、しかもラジオが自己の隠された力量を完全に發揮する自由と刺激を得るには、この競争による變化の制度しかないのである

第四節

以上三節においてわれわれは將來の英國の放送制度組織に關する提案の素描を試みたが、それは米英兩國の放送制度の美點、つまり競争による變化と生彩並びに廣告の後援を受けぬ自由とを一つに併せようとするものであつた、手短かに言へば次のやうな提案である、ABC、BBC、CBCの三放送局をこしらへる、各放送局は聴取者の納める聴取税の三分の一以下——假りに四分の一から六分の一までとして——の一定率を自動的に與へられるが、各聴取者は聴取税納入に際して各放送局に一定額を拂つた残りの部分——假りに四分の一から二分の一として——をどの放送局にやつて欲しいかを指定する、かくして各放送局は一定額の最低收入を保證されるが、その代りに番組の數

種類、長さについて若干の一般的規定を守らされる、しかし、各放送局は自己の番組が聴取者にとつて本當に面白いやうにするための刺激を與へられる、規定の一つは各放送局はそれぞれ三つの番組、一般娛樂放送、高等文化放送、教養放送を放送の一番よく聞かれる時間に行ふべしといふことである、従つてこの時間には聴取者は九つの番組の一つを選ぶことが出来る

△現實の放送施設

次に現實の放送施設——すなはち放送局或ひは有線放送網——について一言したい、色々考へて見たところではこれらの施設は政府の所有とし、公平な條件で各放送局——ABC、BBC、CBC——に利用させ、各放送局は放送を行ふ責任だけを持つやうにしたら良さうである、だがこれは現在提唱してゐる計畫のうちの重要な點ではない、もしも放送が依然として無線で行はれるやうならば、各放送局は放送會社の所有としても良いただし、その場合政府が許可を下す際いくつの放送局を何處におくかを規定する必要があるであらう、もしまた若干の技術専門家が豫想するやうに放送が有線で行はれるやうならば、三放送會社の放送全部を一つの線に乗せられるから、放送網は三社の共同所有物としても良いし、あるひはそれだけを扱ふ別個の機關を設置するのも結構だ、更に地方放送局は放送番組の大半を中央放送局から仲繼するに過ぎないであらうが、それにしても地方放送局はその地方の者に所有させるべきであらう

三放送局すなはちABC、BBC、CBCはどんな種類の會社で、どんな方法で設立されるであらうか、ここでもまた、大體のところ三放送會社の放送施設は公共の所有にした方が良いやうに思はれる、さうすれば國家は聴取範圍の分布についても公平を期し得るし、國防の必要を充す上からもそれが便利だ、さらに又これは海外放送發信上の必要——實驗や競争の際——とも合致するわけだ、次に三會社の構成を故意に異らしめ、次の二十年間にどの組織が一番優秀かをみたらよからう三會社のうちのの一つに現在の英國放送協會と同様の組織を持たせるべきは明かだ、といふのはそれを公共組織とし、總裁、副總裁は政府が任命し

社員はこれら幹部自身が採用することである

英國放送協會の社員はよく同協會が放送の實務を知らず放送に關する技術的問題、政治的問題から離れた技術的問題——は理解のない幹部によつて餘り嚴格に統制され過ぎてゐると苦情を言ふ、從つて第二の放送會社は試験的に協同組織、即ち從業員の投票により幹部を選出する制度にしたい

最後に第三の放送會社は興業、宣傳、新聞の各事業に携つてゐる人々が公衆に満足と與へる點では官僚或ひは未發達の放送事業は殺到した素人よりも優れてゐるかどうかを見る試験臺にしたい、それ故第三の放送局は商業會社とし、多くの聴取者を獲得することによつて得られる収入と經費の差額から生ずる利益を最大限まで高めようとする經營方法を執らせたい

△放送組織の經濟的基礎

かくて三放送會社の一つは公共組織、一つは協同企業、一つは商業會社とならう、三會社とも——後述の條件に従つて——聴取税中から彼等に與へられる収入によつて經營を行つて行かねばならない、しかし、開業當初は經營資金が要るから特別の取極めを要しよう、第一、第二の會社——公共組織と協同企業——に對しては公共の資金から經營資金を出す代りに、二會社の内いづれも利益金を個人に與へることは禁じられる、豫備金に繰入れて餘つた部分は政府に返還しそれをもつて自己の資本とする代りに一定率までの配當を許される

この計畫全體に要する資金はどの位であらうか相當經費の嵩むのは勿論である、番組編成に要する費用は現在といふよりも寧ろ戦前に比し、三倍から五倍にならう、經費の正確な額の算出は不可能だが、可成り巨額に上ることは確かだ

英國の人口は増減のない状態に達してゐるから將來の聴取者の數は約九百五十萬位と推定される戦前一年十志の聴取税によつて得られた収入の最高額は四百五十萬磅であつた、一部は政府の収入となつたから、英國放送會社が全部を取つてゐたわけではない、英國放送會社の収入となつた部分から更に海外放送——これについては國內聴取者は何等の恩恵に預らないが——の費用も賄はねばならなかつた、從つて十志の聴取税全部を納付し

の利益のために使へば、戦前英國放送協會が行つてゐたよりも遙かに費用の嵩む國內放送を經營出來るであらう、しかし、それにしても本論文に述べたやうな計畫の實現には物價高を考慮すると一年千五百萬磅位を要するから、十志の受信許可税によつて計畫の全部を賄へるかどうかは頗る疑しい、從つて新しい財源を探さねばならない

△聴取税の引上げ

誰でも一番先に考へ付くのは聴取税の引上げであらう、十志といふ額が動かせないと考へる理由は毛頭ない、特にこの税は受信機一臺毎に課税されてゐるのではなく、家庭毎に徴收されてゐることを思ひ合せればなほ更だ、よしんばこれを三倍にして一年三十志にしたにしても——さうすれば大體必要な金額が得られるのだが——それでも一日一片にしか當らず、それによつて與へられるものに比較して法外とはいへない、もしまた三十志を一度に拂ふのが大變だといふならば、一年四回にして納めるやうにするのも不可能ではない、だがかかる急激な引上げは政治的にみて得策でなからう、さうとすると他の手段を講じなくてはならない、ラジオ・セットの賣買に對しては最も低廉なものを除き消費税を課することが出来る、また補助的財源としては一定の限度内で廣告を許しても良からう、しかし、その際には放送の量を限り時間も番組外の時間に行はせねばならぬ、さらに廣告を許す時には、商業放送會社に對しても他の二つの放送會社以上の廣告時間を與へてはならぬのはいふまでもない、だがこれらの方法が實行出來ない事情があるか、或ひは必要な収入額を賚らさぬ場合には、補助金を出すよりほか手がない、經費がないからといつて計畫を縮小するよりも補助金の方がまだましであらう、その上補助金を出すのは不可ないといふはつきりした理由はない

國家も結局十分能率を擧げるやうな放送制度の出現を望んでゐるのだし、納税者と聴取者は殆んど同一なのであるから、計畫の一部を賄ふために補助金を出しても不公平とはなるまい

△要約

本論文に述べたところを重ねて要約すると次のやうになる、第一に放送制度成功の秘訣は變化に

ある、番組編成に當つて行はれる競争は變化を保障するのみならず、放送の獨占から生ずる可能性のある忌むべき危険に對し社會を守る、第二に廣告業者に時間を賣るのは放送經營の満足すべき方法ではない、だが、聴取税によつても競争制度の經費を捻出し得る、放送番組を編成する會社を三つ設け、各會社に受信許可税の上りの四分の一以下を與へる、聴取者は聴取税を支拂ふ際、残りの部分を何の會社に與へたいかを指定する、第三は三會社は夫々政府との契約によつて、全放送時間を通じて行はれる一般放送一つと、一定の時間に行はれる「文化」放送と「教養」放送とを放送する義務を負ふ、かくして各聴取者は放送の最も盛んな時間には九種の番組の中一つを選び得る

第四に、三會社の中一つは英國放送協會のやうな公共組織とし、幹部は政府の任命とする、第二の會社は協同企業とし、重役は従業員の内から選出せしめる、第三の會社は商業會社で、自己の資本で利益を目的とした經營を行はしめる、本計畫は型破りであり、一讀したところ途轍もないやうに考へられるかも知れない、だが、これは眞面目で實行出来る提案だ、二十年前には人は政府が電波を通じて報道と娯樂を提供出来るなどといふことは途轍もない考へのやうに思つたのだが、それに較べればこの提案などは始めからずつと實行の可能性が多いと言へよう

△放送組織を再認識せよ

しかし、本論文の主な目的は、本論の細部に亘つて賛成を得るよりは、寧ろこの問題について一般に行はれてゐる討議の範圍を擴げるに在る、社會の形成に最も重大な影響を及ぼす力の一つに對し永續的な形態を與へる前に、社會自身が深く考へ多くの實驗を行ふのは極めて當然な話だ、ラジオは最新の技術であり、最新の社會現象である未だ年若いこの技術が退嬰的になる必要が何處にあらうか、何が爲にわれわれは十分な經驗もなく、實驗も行はず、否殆どよく考へもせずに、最初行きあたりばつたりに行つたことを完全な制度として續けて行かねばならぬのであらうか、現在行はれてゐる兩制度——稅收入に基く獨占と廣告收入に基く競争——は完璧どころか重大な缺陷を有つ

てゐる、本論文で骨子を説明した提案は、これまでの乏しい經驗から出来るだけ多くの教訓を引出し、兩制度の重要な缺陷を除くと同時に長所を併せようとしたものに過ぎない、もし同一の効果を擧げるよりよい方法が発見されたならば、それを採用しようではないか、何よりも大切なのは、英國放送協會の免許が來年末満期となる前に自由にして廣般に亘る討論を行ふことだ、この討論を行ふに際し現在の制度に極く僅かな修正を加へれば完全なものになるといふ前提にたつのは、ラジオを若年寄にし、情勢乃至討論の如何なる機關においても政府の獨占は危険であるといふ明白な原則を無視し政府の智囊の涸渇を告白するに等しい

今後良かれ悪しかれわれわれの社會的手段の中最も有力となる可能性のあるものを如何に組織するかについて、最善の方法が発見されるまで大膽に實驗を續けようではないか(完)

支那工業化の四大困難

ホワード・クーンレー講演

前米國戰時生産局保存部長ホワード・クーンレーは前戰時生産局長ドナルド・ネルソンに隨行、重慶の戰時生産局設置に參畫し、今月初旬歸國したが十七日米支商工業評議會年次總會で重慶の工業化の困難性を指摘し次の通り述べた

「支那が工業化されない限り極東における將來の安全は危殆に瀕するであらう、しかしこれには四つの大きな困難が伴ふ、先づ第一は輸送問題だが一ヶ月前支那には使用可能なトラックは六千臺にも足りない程しかなく、重慶政權治下の領土には鐵道交通は全然存在しないにも等しかつた、河川による交通は相當良好だが他の交通機關と組織的に連繫されるに至つてゐない

以上の如き交通の貧困は延いては他の重大な不利を誘致する、即ちこれが第二の問題で支那の工業が質の悪い石炭、鑛石その他の物資に依存しなければならぬといふことだ、支那は良質の自然資源を擁してゐるとはいへ、これらは現在利用し得ない状態にある、これらの資源を開發し適當な經費で獲得し得ることになれば將來の工業化に對する基礎は十分とならう

第三は電力問題でこれについては目下工業中心地に利用可能な電力を提供し且つ配電を統制する爲重慶戦時生産局は着々計畫を進めてゐるが更に小規模の發電所が近く多數増設される事とならう支那の急速な生産擴充を阻む第四の問題は熟練工をどの程度利用出来るかといふことだ、人的資源の問題は事實極めて深刻で、例へば若干工場が二交代操業を開始したところ、必要な勞働力を狩り集めるのに非常な困難を感じ、従つて技術者を更に訓練を受けるため解放することさへ困難な状態であつた、支那を工業化するには長期間を必要としらうが、これは世界の福祉のため是非とも實現されねばならぬ」

ソ聯と中南米諸國

「エコノミスト」誌四月十七日號

メキシコ市で開催された米洲外相會議では、ソ聯と中南米諸國との關係は議題としては取上げられなかつたが、桑港會議への序曲としての意義を持つ同會議の結果、中南米數ヶ國がソ聯と外交關係に入らうとしてゐるのは注目に價する動向だ、今のところさうした動きを見せてゐるのはブラジル、ヴェネズエラの二國である、一九四三年キューバがソ聯との間に大使を交換する以前に、中南米二十ヶ國のうちでソ聯と外交關係を維持してゐたのはメキシコだけであつたが、現在關係を結んでゐるのは、昨年十二月外交關係を確立したチリを最も最近の例として、キューバ、コロンビア、ウルグアイ、コスタリカ、の六ヶ國である、かかる變動は、ソ聯が今次大戰中に驚くべき魔力をもつて勢力を擴張した事實を現はしてゐる、中南米諸國が大いに主張してソ聯を國際聯盟から追ひ出したのは僅か六年前の話でソ聯としてはその際蒙つた屈辱を簡單に忘れ去ることは出来ないのだ、傳へ聞くところによれば、ソ聯は共產主義活動の活潑化によつて、中南米に對する影響力の擴大を計つてゐるといはれるが、中南米諸國の大半は共產黨に合法性を附與してゐない、共產黨を正式に承認してゐるのはメキシコ、チリ、コスタリカ、キューバの四ヶ國に過ぎず、これ等諸國でさへも

共產黨の歴史は波瀾に富んでゐる、チリでは反共產主義者ファレ・ソオス大統領の下にありながら共產黨はつひに、國內人民諸黨の統一戦線を築き上げた、メキシコにおける共產黨勢力は一層根強く、現在政府にこそ共產黨は参加してゐないが、勞働組合内では相當の勢力を持つてゐる、メキシコとソ聯との間の利害關係の一致は兩國の政情の相似よりも寧ろ兩國間の交易關係に立脚する、ブラジルとソ聯との間の貿易は最近活潑となつてゐるので、ヴァルガス大統領はメキシコと同様の動機から、ソ聯との外交關係を開設するものとみられてゐる、彼はさらに來るべき大統領選挙を行ふにても、延期するにしても、左翼分子にソ聯承認の好餌を與へておけば損はないとみてゐるのだ

收容所におけるスターリン令息

(ストツクホルム十八日發) ポーランド通信社從軍記者フロリアン・ソコロフはドイツ軍の捕虜となつたスターリン議長の子息の消息について十八日次の通り報じてゐる

「デツセルから解放されたポーランド軍捕虜が記者に語つたところによると、彼はルベツク第十號捕虜收容所でスターリン議長の子息と同じ監房に收容されてゐたといふことである、一九四二年四月のある日一名の赤軍の高級將校が八名のポーランド將校の收容されてゐた監房に連れ込まれたがみるとスターリン議長の子息ヤコフ・デユガシヴィリ氏であつた、尤も捕虜收容所當局は彼をデミドフ大佐と呼んでゐたが、彼は本當の名前を呼ばれぬ限り返事もしなかつた、その爲一度などはデミドフ大佐と呼ばれた時に彼は立ち上りもしなかつたので收容所のドイツ軍司令官は拳銃で嚇した位だつた、ポーランド軍捕虜の世話役をやつてゐた一將官は彼にも酒や赤十字の食糧小包が手に入るやう斡旋してやつた、彼とポーランド軍捕虜とは直ちに仲良くなり、一緒に雑談したり、讀書したり將棋をやつたりした、英軍がエル・アラメインを占領したときなどは、彼の喜びは大變なものだつた、一九四三年に彼は出し抜けに連れ出され何處としなく送られて行つた、恐らく人質にされたものと思はれる」

昭和二十年 四月廿八日(土)
第三四〇五號

同盟通信

海外電報

(95)

桑港會議は劈頭からポーランド政權招請問題で一波瀾の形勢だ、タス通信社の主張によれば、ヤルタ公報を正確に文字通り解釋すればワルシャワ政權が會議に招請されるのが當然だといふし、ロイテル通信社が英國外務省の意向を反映して反駁するところによれば「タス通信社の主張は最も字義的な意義においては正確かも知れないが、極めて明瞭なヤルタ公報の趣旨を否定しようとするにほかならない」といふ、さらにロイター電報は「問題の核心は、果してヤルタ會談において、三巨頭間にソ波兩國の紛争解決策について判つきりした取極めが出来てゐたかどうかだ 果して出来てゐたとすれば、會談後三ヶ月を出でずして、ヤルタ公報の字義並びに精神についてかく全面的な意見の不一致を見るのは憂鬱な限りだ」と泣き言を並べてゐる、ストーリーリン議長は同訓が到着して、ワシントンではグルー國務次官とトルーマン大統領とが協議するし、桑港では外相會談が連日重ねられてゐるが、英國政府筋でも問題は



「桑港會議の主要課題に對する傍系的な争點ではない」と強腰だし、APのワシントン電報によれば、米國代表はトルーマン大統領の同意のもとにこれ以上一步も譲らぬつもりだ、といふから、「一杯の土いまだ乾かずしてルーズヴェルトの協調政策安にかゝる」だ、「タイム」誌は四月十六日の誌上に「Nothing but Force」と題する記事を掲げ次の通り報道してゐる

「會つて英國はワシントンよりも、ずつとモスクワに頼らうとする傾向であつたが、爾來新歐洲におけるソヴェト聯邦の勢力は愈々増大し、多年英ソ兩國の協調に力めたイーデン外相でさへ「世界何れの國と雖も他の諸國が合併して、自國の安全を脅やかすのを阻止しよう」と力めぬ國はない、英國が終始一貫歐洲大陸が一強國の支配下に歸するのを阻止しよう」と力めて來た所以だ」と述べるに至つた」

【目次】

ストーリーリンの回答到着	一一三六
モロトフ重大言明	〃
三票問題正式に上程	〃
ステヂニアス開會の辭	〃
目的は平和維持の基礎固め	一一三七
桑港會議機構	〃
米代表の對ソ態度強硬	〃
集るジャーナリスト約二千名	〃
重慶の修正案を支持	一一三八
霸道政治を排撃せん	〃
濠洲も投票手續に反對	〃
獨白國境線の變更を要求	〃
米の日本領土領有を支持	〃
【米 洲】	
大統領、軍首脳と會談	一一三九
大統領情報秘書任命	〃
フイリツプス國務長官補佐官就任	〃
國際免疫計畫	〃
對日本人暴行者に無罪を申告	〃
米聯銀準備引下げ法案可決	〃
キューバ政府要人暗殺さる	〃
炭礦夫新賃銀契約成立	一一四〇
依然勞働罷業頻發	〃
桑港造船所も罷業	〃
【東 亞】	
太平洋に英海軍「艦隊列車」出動	〃
【歐 洲】	
マドリード伊武官室閉鎖	〃
【軍事情報】	
高壓噴水器で地雷豫防	〃
【特 輯】	
フランスと桑港會議	一一四一
奧太利の運命	一一四三
【資 料】	
平和への道	一一四五

スターリンの回答到着

嵐か妥協か

(リスボン二十六日發)サンフランシスコ來電 Ⅱ
ポーランド問題に關するソ聯側の最後の態度を決する
スターリン議長の回訓は二十六日モロトフ外務
人民委員の手許に到着、愈々モロトフ氏はイーデ
ン、ステチニアスの兩者と會見してスターリン議
長の回答を詳細に説明することとなつた、回訓の
内容は全然わからぬが、たとへどんな性質のもの
であらうとも米英兩國がもはや一步も譲り得ぬこ
とは明瞭で桑港會議が成るかならぬかは一に二十
六日の三國外相會談に懸り、サンフランシスコは
今や異常に緊迫した空氣に包まれるに至つた、U
P記者ウイルソンは以上の雰圍氣を敏感に反映し
て次の通り報じてゐる

三大國間の關係がポーランド問題をめぐつて刻
刻に爆發點に動き行くにつれ、桑港會議の全代
表は極度に張り詰めた空氣に支配され、ホテル
のロビーはスターリン議長の回答をあれこれ臆
測して大變な騒ぎだ、いづれにしても問題の運
命は三國外相會談で決せられるわけだが、モロ
トフ氏は桑港會議における演說でもソ聯側の最
後の態度を仄めかすものとみられ、會議代表は
モロトフ氏の演說を固唾をのんで待ち兼ねてゐ
るが、問題が酷く際どいものであるだけに、ソ
聯が公開の席上で態度を明かにすることはまづ
あり得ないとみてゐる

モロトフ重大言明

(リスボン二十六日發)サンフランシスコ來電 Ⅱ
モロトフ外務人民委員は二十六日桑港會議に關聯
して次の通り正式に言明した

△ポーランド問題

桑港會議々長はワルシャワ政權について一言も
言及しなかつたが、余はワルシャワ政權を桑港
會議に参加せしめることを切望する、米英ソ三
國政府はポーランド問題を解決するため萬策を
つくしてゐるが、もとより容易ならぬ問題であ

る、ポーランド問題の核心はポーランド人相互
間の紛争にあるのではなく、米英ソ三國委員會
とポーランド側との意見の齟齬にある、しかし
ながら以上の困難はいづれは克服されるものと
確信する

△三票問題

ソヴェト聯邦十六共和国中ウクライナと白ロシ
アの兩共和国は今次戦争において大きな役割を
果してきた、従つて桑港會議において發言權を
得るのは當然のことである、過般のクリミヤ會
談において故ルーズヴェルト大統領及びチャー
チル首相は以上の點につき諒解したが、余は米
英兩國政府の態度が今日も變らぬことを信じて
疑はない

三票問題正式に上程

(リスボン二十六日發)サンフランシスコ來電 Ⅱ
ソ聯のウクライナ、白ロシア兩共和国を含めての
三票要求問題はポーランド假政權の參加問題と共
に桑港會議の直面する二大難問題だが、ソヴェト
代表モロトフ外務人民委員は二十六日の議事委員
會にソ聯の三票要求を正式に上程する旨發表した
一方會議は二十六日午前十時半から議事委員會を
開き會議の構成手續を進めると共に午後は全體會
議を開き、この席上では第一日の米國代表ステチ
ニアスの開會の辭に續きモロトフ、イーデン、宋
子文のソ、英、重慶三國代表が夫々演說した

ステチニアス開會の辭

(リスボン二十五日發)サンフランシスコ來電 Ⅱ
桑港會議は二十五日午後開會されたが、臨時議長
米國務長官ステチニアスは大統領トルーマンの挨拶
に引續き要旨左の開會の辭を述べた

今次大戰によつて多くの世界民衆が破壊と苦痛
とに悩んだがこれは世界各國民が戦争の勃發す
る前に團結しなかつたためである、反樞軸諸國
の總べてが協力して平和と自由との確保に努力
してこそ各國の重要な國家的利益が保障されよ
う、この會議が開催されることとなつたのもか
かる共同の利害關係が存在したからである

目的は平和維持の基礎固め

トールマンの挨拶放送

(リスボン二十五日發) ワシントン來電 米國大統領トルーマンは二十五日桑港會議の開催に當り午後四時三十五分からラジオを通じて各國代表に挨拶、空疎な言辭を連ねて會議の使命を謳歌した

▲要旨

二回に亘る世界戦争の苦惱と悲劇を詳さに體驗した我々は問題の重要性を明確に把握しなければならぬ、近代戦は恐るべき破壊力をもつて全文明を絶滅してしまふであらう、本會議の目的は古い意味の講和條約を草するになく領土、國境、賠償等の特種問題を解決することではない、會議の任務は平和を維持する基礎を固めるにある、しかもこれは地圖の上に境界線を畫し公正な賠償額を定め、軍備を制限するよりも遙かに難事である、この難事を成就するためには各國の水も洩さぬ協調が必要である、もとより個人間、民族間の意見の相違は將來も發生するであらう、事實一切の進歩は意見の對立によつて促進される、しかしながらわれわれの任務は國家間の紛争を解決する有効な機構を作り上げるにある

桑港會議機構

(リスボン二十五日發) サンフランシスコ來電 桑港會議の第一回全體會議は二十五日午後から開始されたが會議當局者は同日會議第一週の日程を次の通り發表した

第一回全體會議は二十五日午後開かれ、次で二十六日朝から第二回全體會議が開催され、會議進行の段取りを決定する筈である

會議を構成する四つの委員會は二十七日會合し各々委員長及び書記を選任し日程を決定する、以上により會議は準備的段階を終り三十日からいよいよ本格的審議に入る筈だが米國代表から提案される會議機構の骨子は次の四つの主要委員會から成つてゐる

一、一般規約委員會

會議の規約前文、目的並びに原則を起草する

ための委員會

加盟國決定委員會

一、總會委員會

機構並びに手續委員會

政治安全保障委員會

經濟上、社會上の協力に關する委員會

信託統治制度委員會

一、安全保障理事會委員會

機構並びに手續委員會

國際紛争平和的處理委員會

強制調停委員會

地域別處理委員會

一、國際司法委員會

國際司法裁判所委員會

法律問題委員會

米代表の對ソ態度強硬

(リスボン二十五日發) 波問題の紛糾に關聯して米國政府はまだ公式にも非公式にも見解を表明してゐないが、サンフランシスコからのAP電報によれば、米國代表はこれ以上ソ聯に一步も譲らぬといふ強硬な態度をとるに決定した様子で、某代表はトルーマン大統領の支持を得て

米國は從來ソ聯の意を迎へるのに汲々として行き過ぎをやつたと公言したといはれ、上院外交委員コナリーも記者團に對して

桑港會議の參加國が根本目的をしつかと掴み、個人的な考慮で盲目にされぬ限り會議は成功しよう

と言明暗に會議が失敗すればソ聯の責任だと非難したといはれる

集るジャーナリスト約二千名

(リスボン二十五日發) サンフランシスコ來電 桑港會議の各國代表團はそれぞれ老大な人員に上り、參加四十六ヶ國を合計すれば代表百九十名、顧問、隨員等を加へれば千二百名を越えるといはれるが、會議目指して集る各新聞社、放送局、雜誌社等の特派員は代表團の六倍にも達する見込みで既にその合計は千八百五十六名を越えてゐる

重慶の修正案を支持

米首席代表言明

(リスボン二十五日發) サンフランシスコ來電
米國務長官ステチニアスは二十四日サンフランシスコに到着すると共に最初の記者團會見で左の通り述べた

「會議提唱國たる米英ソ三國政府は重慶政權が提案したダンバートン・オークス案の修正案を支持するに一致した、修正案は左の三ヶ條である
一、國際機構規約中で正義と國際法とを十分尊重して國際的紛争を調整または解決すべきことを特に明言する
二、新國際機構における總會は率先國際法の研究を行ふ責任をとり、國際法規並びに原則の改善改訂に關して勸告すること
三、經濟、社會問題理事會は特に教育事業その他各種文化的協同事業を促進するに努めること

覇道政治を排撃せん

(リスボン二十四日發) サンフランシスコ來電
メキシコ外相エセキエル・パデイヤは桑港會議に出席のためサンフランシスコに到着したが、二十三日記者團との會見で左の通り述べた
桑港會議の米洲諸國代表は全員一致して覇道政治を正義に立脚する國際組織で置き換へるやう努力する積りだ、米洲諸國は會議において一團となつて行動しようといふのではないが、米洲諸國は結束することによつて疑ふ餘地のない重要性を持つ道義的な影響力を發揮し得よう

メキシコ代表は衷心から協調精神に燃えて二十五日開會の會議に臨む、メキシコは世界平和を永久に確立しようとする共同の努力に貢獻するため會議に参加する、この努力には戦争の遂行におとらぬ精力と決斷とが必要だ

濠洲も投票手續に反對

(リスボン二十五日發) サンフランシスコ來電
クリミヤ會談で決定した國際安全保障機構理事會の投票手續に對しては、小國の犠牲において大國が不當な權限を獲得するものとして反樞軸中小國

は猛烈に反對してゐるが、桑港會議出席の濠洲外相エヴァットも投票手續案に眞向から反對、二十五日次の通り述べた

濠洲は國際安全保障理事會の常任理事國五ヶ國に侵略國に對する制裁措置の實施を不可能ならしめるが如き拒否權を賦與する提案には斷乎反對する、かかる拒否權を與へれば各地區別の安全保障取極めに參加してゐる諸國は侵略防止のための一致した行動は不可能とならう

獨白國境線の變更を要求

(リスボン二十五日發) サンフランシスコ來電
桑港會議のベルギー代表、外相スパークは二十五日UP記者に左の通り語つた

ベルギーは現在のドイツ、ベルギー國境線を変更し、英國、オランダ、フランス三國とともに強力な集團防衛計畫を樹立しようと望んでゐる右の國境線變更によつて現在ドイツ領となつてゐる一部森林地帯並びにダムがベルギー領となるが、ベルギーはドイツの領土に對しては何ら大なる要求を持たず、その代りにドイツが物資現金または努力によつて損害賠償をすることを要求する

米の日本領土頒布を支持

(リスボン二十四日發) デンヴァー(コロラド州)來電
ニュージランド首相ビーター・フレージャーは桑港會議に赴く途中二十三日デンヴァーに立寄り次の通り述べた

戦後米國が日本の委任統治下にある太平洋諸島嶼を恒久的に領有することに對し、ニュージランドは全面的にこれを支持する、かつて日本の治下にあつた領土内に秩序を維持する上で米國はニュージランドの援助を期待して差支へない、ニュージランド將兵は米軍と共に戦ひつつあり、死傷者もニュージランドの人口四十五人につき一人の割合で出てゐる、一方武器逆貸與に關し現在ニュージランドには七十萬の米軍に十分提供し得るだけの食肉がニュージランド軍の分とは別に用意してある

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

【米 洲】

大統領軍首脳と會談

(リスボン二十五日發) ワシントン來電 大統領トルーマンは二十五日突然陸軍省に陸軍長官スチムソンを訪問して會談した、右會談には大統領附參謀長リーイ、參謀總長マーシャル、海軍作戰部長キングも參加した

大統領情報秘書任命

(リスボン二十三日發) ワシントン來電 米國大統領トルーマンは、二十日の記者團會見で次の通り發表した

余は「セントルイス・ポスト」紙ワシントン特派員チャールス・ロスを五月十五日附をもつて大統領附情報秘書官に任命した、なほさきに任命した新聞、ラジオ關係の大統領附秘書官レオナルド・レインシュは辭職して民間事業に歸ることとなつた

フィリッパス國務長官補佐官就任

(リスボン二十三日發) ワシントン來電 故ルーズヴェルトの印度特使をつとめたウイリアム・フィリッパスは二十二日、國務長官ステチニアスの特別補佐官に任命された

國際免疫計畫

(リスボン二十四日發) サンフランシスコ來電 サンフランシスコ市保健長官J・C・ジャイガー博士は九日戦後傳染病が一國から他國へ蔓延するのを防ぐためサンフランシスコに本部を置き、國際管理下に傳染病豫防計畫を實施すべきであると主張して次の通り述べた

「病菌は國境を無視して蔓延する上、飛行機を利用すれば國家間の旅行は時間の問題に過ぎないから、國民保健の國際管理が極めて重大となつて来る、すなはち余は次の五項目を含む國際保健管理を提唱する

一、世界の交通諸要衝を結節とし全世界に張られる保健情報網を確立し、この組織を通じて世界各地で流行してゐる疫病に關する情報を蒐集

記録する

二、傳染病流行地を飛立つた飛行機にはすべて消毒を施すといふ國際保健法を規定する
三、世界の全船舶に對し、出航前必ず捕鼠作業を行はしめると共に目的地における疫病發生状況を豫め通報する

四、國際免疫計畫の必要な理由とその方法を廣く一般民衆に認識させる

五、旅行者に對しては、旅行先でどんな病氣が流行してゐるかを知らせて、その豫防法を教へる、出來れば豫防接種を施す」

對日本人暴行者に無罪を申告

(リスボン二十四日發) オーバーン(カリフォルニア州)來電によれば米陸軍現役兵士も交る三名の米人が日系米人牧場主ドイ・スミオ所有の納屋にダイナマイトを投げつけこれを炎上せしめた暴行事件に對し同地の裁判所は過般來これの審議に當つてゐたが、陪審官は二十四日右三名はあらゆる點からみて無罪なる旨の不法極まる答申を行つたといはれる、右三名の他の一名はダイナマイトを非合法的に使用した廉で起訴されてゐたが、この者に對する裁判は六月五日に行はれる豫定である

米聯銀準備引下げ法案可決

(リスボン二十四日發) ワシントン來電 米下院銀行委員會は二十四日聯邦準備銀行の準備金額引下げに關する法案を可決した、同案によれば通貨發行並びに預金額に對する準備金額の割合が從來の四〇%及び三五%から共に最低二五%に引下げられることとなる

キューバ政府要人暗殺さる

(リスボン二十四日發) ハヴァナ來電 キューバ大統領官邸警護隊長エンリケ・エンリケスは二十四日朝ハヴァナ市の中心街を自動車で通行中他の一自動車から機關銃で射撃され、重傷を負つて病院に擔ぎ込まれたが、後刻死亡した、犯人はその場から逃亡し犯行の動機、背後關係その他の詳細は未だ一切不明である

炭礦夫新賃銀契約成立

(リスボン二十五日發) ワシントン來電「米國有煙炭礦夫組合及び炭礦主兩者間の賃銀契約更改を繞り一時は炭礦夫總罷業の危機まではらんだが、今回漸く兩者間に新契約が成立し、戦時勞働局も二十五日これを承認した

新契約によれば炭礦勞働者三十一萬名は一日平均一弗二仙の増額賃銀を得ることとなつてゐるが戦時勞働局當局は新契約承認に當り右による賃銀の増額は物價安定法に抵觸しないと言明した

物價安定局長官デーヴィスも多分新契約を承認すべく同時にこれに伴ひ炭價の若干引上げをも認めることとならう

依然勞働罷業頻發

(リスボン二十四日發) デトロイト來電「ケルセー・ヘイス車輛會社の二工場では勞働者の解雇問題を繞り先週罷業が勃發したが、二十四日再燃し勞働者四千名は操業を停止した、またバツカード會社では發動機検査技師百十名が會社側と意見折合はず二十四日罷業を開始、ロルス・ロイス航空發動機最終組立工場勞働者三千名が操業不能に陥つた

桑港造船所も罷業

(リスボン二十五日發) ワシントン來電「ユナイテッド・エンジニアリング」會社サンフランシスコ工場において二十五日ボイラー製造工と金屬工とが衝突し罷業が勃發した、大統領トルーマンは直ちに海軍に同工場の接收を命じたが、同工場では目下陸軍輸送船並びに貨物船及び戦時海運局發注の船舶二隻が建造中で、これ等は罷業のため全部停止となつた

【東 亞】

太平洋に英海軍「艦隊列車」出動

(ストックホルム二十五日發) 四月十三日附「デリー・テレグラフ」紙は英國太平洋艦隊に従軍する特派員からの電報を掲載、太平洋における海軍の補給作戰を次の通り説明してゐる

「英國海軍は艦隊列車として知られる大浮游海軍基地を太平洋にも繰り出した、濠洲基地から五千哩をへだたる英國太平洋艦隊の作戰といふ大問題に對する英國海軍の回答は實にこの艦隊列車だつたのである、艦隊列車計畫には百隻以上の艦船が含まれてゐるが、その多くは既に作戰に従事してゐる、修理船はどんな種類の損害も破壊をも修理する能力がある、必要とあれば驅逐艦一隻を建造することさへ可能だ、小型修理船は精密機械が専門である

海戰における一大進歩といふべきは航空機修理船であらう、これはめちやくちやに破壊された航空機をも修復する、空母艦隊は破損せる航空機を修理船にひき渡し補充機をもらふ、一艦隊數千人の兵員を養ふためには濠洲から艦隊まで貨物船の流れが続く、前進基地ではこれが百貨店のやうになつた船に積み込まれる、彈藥とか火砲や發動機の無數の豫備部品とかも皆同じやうにして供給される、艦隊列車の最もめざましい任務は海上における燃料補給であらう、油槽船は艦隊とのランデヴーに出かけるが、一度燃料補給の仕事が初まるや、たとへ潜水艦襲撃の危険があらうとも、作業はめつたに中断することが出来ないのである」

【歐 洲】

マドリッド伊武官室閉鎖

(リスボン二十五日發) マドリッド來電によればスペイン警察當局は二十四日、マドリッドにあつたファシストイタリア共和國の陸、海、空軍武官室を閉鎖したといはれる

【軍事情報】

高壓噴水器で地雷豫防

(チューリッヒ二十五日發) 西部戰線の反樞軸軍は從來地雷の發見に電磁探知器を使用し、或ひは鎖鎌式戰車により地面を叩いて爆發させる等の方法を採用して來たが、前線報道によれば、英國陸軍は最近一分間九千立の水を噴射する特殊高壓噴水器を利用して埋没地雷を爆發せしめてゐるといはれる



フランスと桑港會談

井上 勇

△疑問の修正案内容

フランスは桑港會議に臨むに當り、特別委員會を諮問會議内に設けて、ダンバートン・オークス案を検討し、これに對する修正案を作製し、覺書を付して關係政府に移牒したが、その正確な内容は遺憾ながら判つてゐない、委員會はフランス切つての聯盟屋ジョゼフ・ポール・ボンクールを長とし、配するケー・ドルセーの技術屋、學者、政治家十七名を以て相當深刻な討議をしたらしく、その成果が諮問會議で全面的な支持を得たといふからには、内容も相當なものに相違ないと考へ得るポール・ボンクールは舊國際聯盟が失敗したのはその機構または理念に缺陷があつたからといふよりも寧ろ、會員國の決意に缺けたところがあつたからだといふ癖にいつてゐる男で、この男の指導した委員會の潮流の方向はほぼ推定出來ぬこともない、委員の中にはブルーム内閣の藏相ヴァンサン・オリオール、行政裁判所々長のカツサン教授などの理想家肌の人間、米・ソ通をもつて任じてゐる同じくブルーム内閣の空相ビエール・コットもゐた、ビエール・コットは諮問會議席上で

フランスが抱懷する國際平和機構案は、まづ世界の政治的成熟、國際的良心、相互の信頼が、現在果してどの程度に達してゐるかを十分見定めた上で、その基礎の上に立案されたものである、世界は現在なほ遺憾ながら政治的に十分成熟せず、國際的良心には缺除があり、相互の信頼も十分といふに遙かに淺い、戦後の一定期間は平和維持の主たる支柱は大國間の相互の現解に求めねばならぬ、フランスはこの相互理解を危殆ならしめるが如き何事も提議しないやう留意しなくてはならぬ、フランス側の見解を披瀝するのはよろしい、しかし、主義の主張に忠實であるよりも先づ聯合國の協定に順應すること

が肝心である

と演説してその現實家たることを立證してゐるが彼の言からもフランス案の思想は想像されよう

元來フランス人は前の大戦以來、自力で侵略に抗するに無力であることを次第に痛感して、國際的な權力にすがらる氣持が濃化してゐることは事實であるが、同時にまた集團的な安全保障に對して多くの期待をかけてゐないことも事實だ、國際聯盟はフランスを保護し得なかつたばかりでなく却つて、誤つた安全保障理念を傳播して、侵略國の尻押しをしたといふのが今のフランスの考へ方である、不完全な集團的安全保障に最大の危惧を抱くものはフランスの軍部であり、彼らが中心になつて叫んでゐるのが地域的安全保障制度の效能なのだ、ド・ゴールも軍人であるからにはこの範疇に屬する人間である、かうした諸傾向がフランスのダンバートン・オークス案修正案に盛込まれてゐることはいふまでもあるまい

△代表顔觸れの判斷

これを代表團の顔觸れの方面からみよう、首席代表の外相ジョルジ・ドーはカトリック新聞「ロドル」の長い間の主筆で、基督教社會主義者である、長い間の集團保障制度の支持者で、聯盟論者である、藏相ルネ・ブレヴァンは英佛協調論者で、英國がフランスとの協力の眞の價値を理解しようとし、ともすれば反佛的政策をとるのを口を極めて攻撃して來た人物だ、保健相のフランソア・ビルーは共產黨員である事實が、その凡てを語るであらう、彼もまた集團保障論者である、これに聯盟病が骨の髄まで浸みこんだポール・ボンクールを加へた代表團が持出す土産物は、決して米英をびつくりさせるやうなものでは有り得ないそこでフランス代表團の玉手箱の内容は、そも如何なるものか、「ロンドン・タイムズ」の眼見當を紹介しよう

△想像する案の内容

フランスの修正要求の内容は二つに分けることが出來よう、その第一類は

國際平和機構に一層の權威を持たせること、即

ち總會の權限の擴充強化、法と正義の觀念の一層の強調、現在案に據れば擴大無邊の權力を持つことになる大國が、その權力を濫用しないやうにするためには條約尊重の強調、國際法廷の地位を向上し、個人の自由の保障を強化し、新平和機構の目的と兩立しない國民的理想または政府形態を有する新會員國の加入を阻止するための有効な措置を講じ、經濟、社會理事會の權限を増大することもフランスの要求に包含されるだらう、フランスは殊に、以上の最後の項については重要視してゐる

以上が第一類で、第二類の要求條項は直接戰爭防止手段に關連してゐる、例へば戰爭勃發の場合會員國は中立國たり得ず、國際軍は凡ゆる兵種を包聯し、特に選定された地點に常時駐屯すべしといふが如きものだらう、地域的協定はフランスの考へによれば、世界機構の煉瓦そのものたるべきもので、この地域協定によつて始めて、聯盟時代は制限された利害しか持たぬ國、と呼ばれた小國が十分にその役割を演じ得る、小國の經濟力、軍事力は、隣りする大國のそれと合體して地域的國際軍を組織し、ひと度、平和が危殆に類した場合、各國の動員を待つ間應急的に直ちに行動を開始し出來るといふのがフランスの見解のやうだ

△大國病のフランス

「タイムズ」の觀測が當つてゐるか否かはいかにもなく判明するわけで、別にここで周章てて詮議するまでもないが、フランスの輿論は桑港會議が近付くにつれて次第に焦慮を深め、果してフランスは大國扱ひされるかどうかについての苦慮が昂つてゐるやうである、重慶が大國として扱はれてゐるのに、フランスはさうでないといふのがフランス人にはひどく屈辱的に感じられるのである、重慶が大國扱ひされるのは間違ひだといふのではないが、重慶が亞細亞で荷つてゐる責任にくらべて、フランスが國際的に有してゐる義務は少くとも一層重要だといふのだ、フランスに大國としての全面的な權利を與へない場合歐洲で唯一の支配國はソ聯となり、それは米英のおために必ず

しもならないだらうとフランス人はうそぶき度いのである、西歐洲に勢力のバランスを保たうとすればフランスを大國として認めるほかはないではないかと反問したのである、「スヴェンスカ・ダグブラデット」の四月十四日パリ電はこのフランスの「大國政策」を紹介して「ド・ゴールの大國政策を百%支持してゐる官邊の意向を綜合すれば、米英が一日だけ早くフランスを大國にすれば一日だけ得になる、大國にするといふのは軍事力と經濟力との復舊を極力援助するといふことである、その援助も小出しでは駄目で無制限、寛大なものでなくてはならないと主張してゐる」とのべてゐるが、フランスの大國病を物質的に見ればさういふことにならうが、精神病的なインフエリオリテ・コムプレックスも、十分病根の中にあるのだ、貧しく且つ弱いといふことが觀念的には判つても、感情的には承服出來ないのである、それが外交政策に現れては屈辱の哀願となつたり、途方もない空元氣を出したりして相手を面喰らはせるのだ、米國とのレンド・リース交渉は前者である、アルジェ行き拒絶は後者の例だ、桑港會議に發起人となるを斷つてもそのままで額を昂然とあげつづけて行くことが出來ず、右顧左眄するのがフランスである、ビエール・コットが「現實主義者」を氣取つて、大勢順應の辯をなすのも、已れの弱さを知るが故で、それなら始めから騒がねばいいものを、それが病氣のせいならまた止むをえないだらう、

フランスの桑港會議に有する疑惑として植民地信託制度案があつたが、これは果して米國側が會議に提出するかどうか判らなくなつてひと安心のかたちである、いくら大勢順應でもダカールやカサブランカ、サイゴン、ハノイを捲上げられては立つ瀬はない、採決方式の問題はソ聯に楯付く元氣はないだらうし、結局、フランスの修正案なるものは用語の磨き上げ程度のものに墮して、鼠一匹も飛び出さないといふのが落ちではないかと、われわれは想像するのである、それで大國病の頓服藥になるなら、結構な次第だ

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

奥太利の運命

原子林二郎

△ソ聯の宣言

第二次歐洲動亂の發火點となつたオーストリアは再び歐洲政治の舞臺面に登場した、一九三八年三月十三日ヒトラー總統の獨逸合邦宣言によつて主權を喪失したドナウの巴里は、一九四五年四月八日再び獨立問題の對象となつた

オーストリアは地理的には中歐に位するが、その歴史はバルカンと切り離して考へることが出来ない、ルーマニア、ブルガリア、ユーゴスラヴィア、ハンガリーとともにオーストリアもドナウ國家だ、そのためオーストリアの獨立を云々する聲が最初に發せられたのはソ聯からであつた、ソヴェト政府は四月八日オーストリア國民に對しソ聯は、オーストリアの領土を要求せず、その社會制度を變更する意圖はない、ソヴェト政府はオーストリアの主權を尊重し、獨立を許容する

と聲明して、モスクワ三國外相會談におけるオーストリア宣言を再び確認した、同時にオーストリア戰線の第三ウクライナ戰線軍司令官トルブーヒン元帥も同日

オーストリアにおけるナチ黨員といへども、赤軍に對して忠誠を誓ふ限り、生命財産は完全に保障される

といふ趣旨の聲明を發した

以上のソヴェト政府と赤軍の宣言は、オーストリアにおける軍事作戦を圓滑に進捗させるため國と解する限り敢て奇とするに足らぬが、米英兩特に英國に多大の反響を捲き起した、何故か？

△羅の二の舞か

昨年春ソヴェト外務人民委員モロトフはルーマニアに對する軍事作戦の開始に龔立ち、ルーマニア國民にたいして單獨に「ソ聯はルーマニアの領土を要求せず、社會制度を變更する意圖がなく、その主權を尊重する」と宣言した、しかるに今日

のルーマニアはソ聯の單なる衛星國と化し、グロイザ政權は共產黨を中心とするソ聯の傀儡に過ぎない、ルーマニア國民はこの事實を決して忘れてゐないが、米英兩國もソ聯の約束が何を意味するかを忘れることが出来ぬだらう、ギリシヤの哲學者が喝破した「歴史は繰り返す、日の下に新たなものは何もなし」といふ言葉は、依然米英兩國輿論の耳朶に鈎してゐるのだ

ソヴェト政府は以上の宣言に續いてオーストリアの獨立を促進するためウィーンに米英ソ三國の委員會を設置する意圖を明らかにした、これに對しド・ゴール政權はオーストリアの聯合國委員會にフランスも當然参加すべきであると主張し、チエコスロヴァキアのベネシュ政權と、ユーゴスラヴィアのチトー政權はそれぞれオーストリア領土の一片を要求したが、ソ聯は全然無視する態度をとつてゐる、またソ聯の約束した聯合國委員會もオーストリアが「解放」された現在まだ設置されてゐない、以上がオーストリアを繞る動きの概略である

△如何なる獨立

ドイツ本土に對する米英ソ三國の占領地域分擔がクリミヤ會談で最終的決定をみたことは疑問の餘地がないが、オーストリアに對しては全然決定をみてゐない、従つてオーストリアにおいて單獨で軍事行動を展開してゐる赤軍が、その占領權を主張しても、それをとにかく言ふ餘地がない、ここに米英兩國の不安があり、ルーマニアの二の舞を危惧する感情が萌してくる筈だ、ソ聯のオーストリアに對する宣言に最初に反響したのは、英紙「マンチエスター・ガーディアン」紙だ、同紙の外交記者は四月十日次の通り論じてゐる

ソ聯がオーストリアの獨立を保障すると宣言したことは、オーストリア國民のみならず、米英兩國でも好感をもつて迎へられてゐる、蓋しモスクワ宣言以來オーストリアの將來に關しては殆んど何等の見解も表明されてゐなかつたからだ、恐らくオーストリアにおいても、ドイツと同様の方式で諸大國がそれぞれ占領地域を分擔して共同占領を行ふことにならうし、軍事占領

と行政の再編成を調整するため、ウィーンに中央管理委員會が設置されることにならう、但しフランスもまた委員會に参加するとする要求はまだ回答を與へられてゐないし、ユーゴスラヴィアとチエコスロヴァキアも占領に一役買ふべきだといふ意見は無視されてゐるやうだ、もつとも大國が自分の占領地域の一部を割いて小國に委ねるといふ便法もあるが、實現が可能かどうかは保證の限りでない、しかしながら米英ソ三國の共同占領に關する協定が成立したとしても、それでオーストリアの將來は解決されたことにはならない、オーストリアの獨立がソ聯の常套手段たる東歐安全保障體制の枠内において實現されるものか、乃至はバヴァリアとオーストリアの當座凌ぎの聯邦によつて實現されるかの問題は依然として残つてゐるわけだ

△英國の希望の見解

「マンチエスター・ガーディアン」紙の論説を一步突込んで解釋すれば、オーストリアの占領はルーマニア、ブルガリア、ハンガリー、チエコスロヴァキア等の東歐諸國と異つて、ソ聯が獨占すべきでなく、オーストリアの獨立も米英ソ三國の共同保障で實現されるべきだといふことだ、恐らく同紙の外交記者がこの論説を草するとき、常にルーマニアの事態を念頭に浮べ、三國間に新たな紛争が生起する危惧に憑かれてゐたことであらう英國内にソ聯のオーストリア獨占を危惧する念が強いとすれば、當然ソ聯が同國に自己の自由になる假政府を樹立しはしないかといふ心配が隨伴してゐる筈だ、事實「ノイエ・チューリッツヒアー・ツァイツング」紙のロンドン電報（四月十一日附）によれば、英國の消息筋は米英ソ三國管理委員會がウィーンに設置されるならば、恐らくルーマニア、ハンガリー、フィンランド、ブルガリアよりも苛酷な條件を課することにならうがその機に乗じてソ聯が傀儡政權を樹立して、米英兩國の干渉を押しつけようとするのではないかと觀測してゐるといふことだ

この點について「バーズラー・ナハリヒテン」紙のロンドン特派員は四月十日次の通り報じてゐる

る

ここ數日來ロンドンではスターリンが米英兩國にクリミヤ決定の修正を要求し、オーストリアの單獨占領を主張したといふ噂が執拗に流布されてゐる、もつとも英國政府筋は噂を否定して適當な時期に米英兩國の軍隊がイタリアからウィーンに空輸されて、共同占領に参加する手筈になつてゐると稱してゐるが、これが果して技術的に可能かどうかは大いに疑問だ、他方ロンドンでは多數のオーストリア亡命政客が寄り集つて將來の政體に關して盛んに議論してゐるがオーストリアの解放を獨力で達成した赤軍が、ソ聯にとつて好ましくない政權の樹立を黙つてみてゐる筈はない、もつともロンドンの消息筋はオーストリアにおける共產勢力は微々たるものだから、ソ聯はオーストリアの赤化に乗り出すまいと考へてゐる、英國の見解では自由選舉によつてオーストリア國民に好む政權を樹立させたらよいといふので、ロンドンにゐるいろいろな亡命團體がオーストリアの解放と反ナチ闘争に積極的に参加したものだけが聯合國の支持を受けるべきだといふ主張に對しては、全然言質を與へてゐない

△情勢はソ聯に不利

事實オーストリアの國內情勢はバルカン諸國とは著しく相違してゐる、アンシュルツス以前においてオーストリアの民主主義勢力を代表してゐたのはカトリック黨、社會民主黨、社會黨、共產黨の四政派だが、共產黨の勢力はとるに足らず、最も羽振りを利かしてゐたカトリック黨は右翼に近く、社會民主黨はダラ幹の巢窟であつた、従つてまづいはゆる民主主義政權を樹立して、その後には共產勢力をしてフラクシオン活動を展開させて政權を乗取らせるといふソ聯の方程式がうまくゆくかどうかは疑問だ、この間の消息をフランス通信社のモスクワ特派員は四月九日つぎの通り傳へてゐる

「プラウダ」紙はオーストリアは獨塊の不分離を主張する偽瞞の見解を粉碎し得る強力な民主主義政權を樹立しなければならぬと主張してゐる

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

が、ソ聯の宣言以來シユタイアノマルク、ケルンテン等で積極的な動きがみられるにも拘らず、國內戦線の形成は他の歐洲諸國ほど圓滑に行くとはいへない、といふのはヴァチカンの尻押しでオーストリアのカトリック教徒の政策を代表する愛國戦線が樹立されてゐるが、この指導者の樞機官イニツツアーは「全教會の僕達に大ドイツとその指導者ヒトラーに對する全幅の支持」を要請してゐる有様だ、またオーストリアの社會黨もアンシュルツス政策を支持して「ブラウダ」紙の攻撃を浴びてゐる

屋上屋を架す類かも知れぬが、スイス通信社のロンドン特派員も四月九日次の通り報じてゐる

「ブラウダ」紙はロンドンに巢喰ふ王制主義者や反動的な社會民主黨員を攻撃してゐるが、「オヴザーヴァ」紙はバルカン諸國では反ナチ運動の核心をなしてゐたのは共產黨であつたから、共產勢力が政權を掌握するのは別に不思議ではないが、オーストリアでは共產黨の勢力は問題とならぬ程だから、情勢は全然異つた形をとるであらうとみてゐる、事實オーストリアで最大の勢力を有してゐたのは社會民主黨だから、ソ聯が從來の政策を、オーストリアでも踏襲しようとするならば、社會黨に訴へねばなるまい

△政治情勢は生きて動く

「ソイエ・チュリツヒアー・ツアイツング」紙のロンドン特派員は四月十六日

オーストリアの政治情勢はソ聯にとつて極めて不利だが、さらに一般國民の胸中に強く根を張つてゐる大ドイツといふ觀念が大きな障害とならう

と論じてゐるが、ソ聯がバルカン諸國のやうに共產勢力の擴大伸張に急ぐならば、思はぬ覺を招くかも知れない、「ニューヨーク・タイムズ」紙のチュリツヒ特電が四月十二日報するところによれば、カトリック黨二名、社會民主黨二名、社會黨一名からなる「零五委員會」と稱する組織がオーストリアの獨立を目指して地下活動を展開してゐるといはれるが、この「零五委員會」の目標

はアンシュルツス以前に還ること、即ちドルフス政權下のオーストリア資本主義に復歸することだ更に所謂今回のオーストリア國民とドイツ國民の區別を明確にすることは困難だ、現在のオーストリア國民はドイツ國民であり、それがナチ黨を支持する与否とを問はず、ドイツ國民と同一視して取扱はねばなるまい、従つてオーストリアの情勢はソ聯が獨立を保障したことは論外として、ドイツ全體の情勢の一環として觀察すべきであらう、しかしながらこのことはソ聯が自己に都合のよい政權を樹立する餘地を奪ひ去るものではないソ聯の今日までのオーストリア政策をみれば、オーストリアを獨占し、單獨で處理しようと思圖してゐることは明瞭である、またオーストリア共產黨の勢力が弱いとしても、戦後の混亂に乗じてソ聯が積極的に宣傳活動を展開すれば、事態は一變しないとも限らない、フィンランドがさうであつた、フィンランドにおける共產勢力は非常に弱かつた、しかも今日のフィンランドの情勢は専らソ聯の希望する方向に動いてゐるではないが

政治は生きものである、昨日の政治情勢をもつて明日のそれを律することは出来ない、英國がオーストリアの政治情勢の現象面だけに満足して、本質的な動きを忘却するならば、將來ソ聯に寝首をかかれる惧れはなしとしない

平和への道

「タイム」誌四月十六日號

歐洲戦終了後の米國工業再轉換計畫が先週政府當局から正式に發表された、前戦時動員局長官バーンズは二週間前その職をフレッド・ヴィンソンに譲つた當時すでに實業家達には再轉換計畫に關する相當はつきりした見透しを與へてゐたのだが一切の發表は戦時生産局長官クルーグに一任した、これを引受けたクルーグはドイツの敗退後一年で米國は一九三九年における同數の電氣冷蔵庫ストーヴ、そして恐らくは自動車までも、またその他一切の消費材をも生産出来るだらうとの樂觀的豫言を行つたものだ、戦時生産局の再轉換に關する青寫眞は次の諸措置を提唱してゐる

一、歐洲戰終了後の第一四半期において軍需生産を一二%方削減する

二、第二四半期において更に八%の削減を行ふ

三、第三、第四兩四半期において更に一五%を削減する

四、かくて歐洲戦後最初の一ヶ年の終りには、たとへ對日戰繼續中と雖も最少限度三五%の軍需生産削減が實施される

五、生産の急速化を計るため戰時生産局は軍需生産に伸縮性を持たせ、行く行くは更にこれを切り詰め對日戰に必要な物資のみを統制する簡單な優先制當制だけを殘置する

六、結局戰時生産局は工業界がふんだんに持ち合せてゐる資材には統制を加へず、工業界に生産したいものを生産させ、ただゴム、錫、織物、ゴム等不足勝ちの資材だけは確保しておく方針である

以上軍需生産の各種削減は戰時生産局が一ヶ月前試験的に發表したものと大差なく、一見老大には相違ないが、最初は民需物資は極めて徐々にしか生産されないだらう、即ち戰時生産局は國民經濟が、主として鐵道車輛、農具等の不足により若干部門において危険といつて差支へない程弱體なのに鑑み、先づこれの打開に乗り出すとみられるからだ、歐洲戦後最初に民需物資用に廻される百五十萬噸の炭素鋼はこれら車輛、農具の生産に殆んど費消し盡されるだらうが、殘餘があれば、これを主として病院で使用する血漿保存用冷蔵庫のやうな民需物資並びに全面的な再轉換に必要な機械工具等に充當されよう、戰時生産局は先づ市民が最も必要とするものを入手出来るかどうか確めるため、再轉換實施に當り相當手綱を引締るだらうが、歐洲戦後六ヶ月以内には、各種工業が全般的に意のままに再轉換し得るやうな資材、勞働力を充分に獲得出来ると希望的觀測を下してをり、かくて需給關係と睨み合せて生産を決定しようとしてゐる

クルーグは生産局の計畫發表後二日して急遽デトロイトに赴き、最大の仕事である自動車工業再轉換計畫に關し自動車業者と懇談を遂げたが、さらに事務速進のためクルーグは戰時生産局航空機

部長ヘンリー・ネルソンを特別「機甲部隊」長に任命した、この「機甲部隊」は

一、諸工場から政府所有の備品を全部取外すことに助力し

二、再轉換に際しすべての者が同一出發點に立つやう從來の契約をとり消し

三、自動車を從來以上に急速に生産し得るやう必要とあらば契約を自動車關係以外の業者にも移す

ため戰時生産局に對し各種の措置を提案することとならう

自動車生産の再開時期に關してはクルーグは沈黙を守つてゐるが、今年第四四半期には二十五萬臺の自動車を生産するため工業界がすでにその指示を受けてゐるとの報道を全面的に否定した、事實自動車製造業者はクルーグと同様、歐洲戰に勝利を得るまで自動車生産に關する指令が與へられないことを承知してゐる、たとへそれが近い將來與へられやうが與へられまいか、今年中には必ず新しい自動車が生産されるだらうといふことは殆んど疑問の餘地がない、戰時生産局當局の推定では最初の自動車が完成されるのはドイツの敗北後約四ヶ月を経てからだらうといはれるがデトロイトは少くとも八ヶ月間は大量生産を行はぬだらう先週發表された再轉換計畫を急速に實施するにしてもその底には軍需生産削減は現在の計畫以上に大副かも知れぬとの有力な見解がある、多くの實業家達は太平洋戰爭に必要とされる物量が實際老大とはいへ、軍部がこれを過大評價してゐると信じてをり、もしこれが事實とすれば再轉換は遙かに早く實現しよう、クルーグもさうだと信じ込んでゐるやうだ、彼は慎重に次の通り述べてゐる「再轉換は推定より若干大規模であらう、結局發表した處より一〇%方大きくなるかも知れない」

米新空母近く進水

(リスボン二十三日發) ニューヨーク來電ニ米海軍の大型空母「コラル・シー」(四萬五千噸)はきたる二十九日ニューヨーク海軍工廠で進水することとなつた、「コラル・シー」はさきに進水した「ミッドウェー」の姉妹艦である

昭和二十年四月三十日(月)
第三四〇七號

同人盟通信

海外電報

(96)

「桑港會議が戦勝といふ假定の上に築き上げられた茶番劇であることは別として、そしてルブリン政權の参加問題、票決權の問題、植民信託制度の問題等々、前途の暗礁の乗越えることの困難、大國專制、小國壓制の喜悲劇は別として、各國各代表がひとかどの權威面をしながら愚にもつかぬ論議をしてゐる圖は實に面白い、これから一幕毎に山が出来、谷が出来て筋も相當興味横溢といふところは、流石、猿芝居にかけては専門家揃ひのこととて、眞面目一點張りで、何のけれどもない大東亞大使會議などとは一緒にはないが、相當な代ものといふに憚らない、劈頭第一に重慶の修正案と稱するものが、米英ソ三國の特別の支持をうけて提出されてゐるが、その内容の空疎なると、トルーマン大統領の開會演説、ステチニアス國務長官の演説と兄たりが



多く、弟たり難いものである點、實に、會議の實質に相應しいものだ、國際紛争の解決に正義觀を強調しろの、總會に國際法規の修正發議權を持たせるの、教育文化協力を促進したいのと、毒にも藥にもならぬ個條を並べて重慶政權の修正案でござるとは身分相當ともいへるが、わが血につながる東洋民族の兄弟の案としては、こちらが恥かしくなる態の代ものである、もつとも實がありすぎると到底、米英ソ三國の特別な「支持」など與へられなかつたではあらうけれど、われ等の見解をいへば、どうせ無駄とは判つてをりながら、猿芝居なら猿芝居としてもつと大向ふをうならせる大芝居がなぜ打てないのかと思ふ、例へば人種平等の原則確立だ、また汎亞細亞主義の承認要求だ、また假へば全世界の軍備撤廢の提唱だ、正義觀を高唱してみたところでそれは空念佛にすぎず、國際法の修正權が總會にあらうとなからうと、問題は守るか守らないかにある、同じ空念佛なら景氣のいい方がよい

目次

モロトフ外相の爆彈提議	一一四八
ソ聯態度を明確化	一一四九
ソ代理大使グルーと會見	〃
理事國非公式に決定	〃
埃及修正案提出	〃
【東 亞】	
「ソ聯と支那」	〃
【ソ 聯】	
最高會議豫算報告	一一五〇
【歐 洲】	
ベタン元帥フランスに歸る	一一五一
【英 帝 國】	
V二號攻撃終了か	〃
藏相財政演説要旨	一一五二
【米 洲】	
軍需生産削減計畫	〃
ハーモンの後任正式決定	〃
【特 輯】	
フランス版「罪と罰」	一一五三
伯林陷落後の歐洲戰況	一一五六
【資 料】	
第二インターナショナル	一一五八
西亞における米英ソの角逐	〃
ワルシャワ政權を招請せず	
(リスボン二十七日發)サンフランシスコ來電	
桑港會議は二十七日午前の指導委員會秘密會においてワルシャワ政權招請に關するソヴェト代表の提案を否決した	

桑港會議劈頭の波瀾

モロトフ外相の爆彈提議

(リスボン二十七日發) サンフランシスコ來電
桑港會議は二十五日午後四時半開會、二十六日午後の全體會議では招請國を代表し、ステチニアス國務長官、外交部長宋子文、モロトフ外務人民委員、並びにイーデン外相が交々起つて平和機構確立の必要を力説した、各代表とも演説は英語であつたが、モロトフ外務人民委員だけはロシア語で先づ英語に次いでフランス語に通譯された、二十六日午後モロトフ外務人民委員は突如記者團を引見してポーランド問題その他につき約五百名の新聞人の質疑に應答した、右會見ではモロトフ委員は政治上の諸懸案に關し深入りするのを避け「ウオッカ」の發言はどうかなどといふ米人特派員の質問に應酬した程度であつたが、次いで開催された指導委員會秘密會でモロトフ外務人民委員は俄然會議議長の輪番制を提案、一大波瀾を捲き起した、同委員はステチニアス國務長官が會議における唯一の議長として振舞ふことに異議を挟み、招請國たる米英ソ三國並びに重慶政權の四代表が順番に議長の任に當ることを主張、右要求が容れられぬ場合、ソヴェト政府は桑港會議の招請國たる地位を辭し、ド・ゴール政權同様なる被招請國として會議に参加するに止める旨を申出でた、以上突然の提案にイーデン英國代表らは和協案を提示、第一案として

ステチニアス國務長官が主人國の代表として總會の議長を勧めること

を示唆したが、モロトフ外務人民委員は斷乎輪番制を固執して譲らず、更に第二案として

總會の議長は輪番とするが指導委員會並びに執行委員會の議長はステチニアス長官に花を持たせては如何

と示唆したが、議論百出、會議は四時間餘の後物分れに終つた、二十六日夜の空氣は極めて悲觀的で、ある米國代表の如きUP特派員に對し、「議長問題は全く目茶苦茶だ」と歎聲を洩らし、更に

ロイター電報によれば、或る代表は、「全くの口論だ」と洩らしたといはれる、外相會議後ステチニアス國務長官は二時間に亘つて米國代表團と鳩首協議を遂げ、次いでソヴェト代表團と深更まで交渉を重ねた、一方英國代表團はイーデン外相を中心に各自治領代表の協力をもつて百万和協工作に狂奔した結果、米英兩國代表並びに重慶代表は和協第二案をもつてモロトフ外務人民委員を説得するに意見一致した、二十七日は午前十時半から指導委員會が開かれる豫定であつたが、午前十時頃から四國外相會議が開催され、議長問題を揉み合つてゐるため、議場には所々に各國代表が着席してゐるだけで、議場は寥然たる情景だ、結局四外相會議でモロトフ委員が譲歩し

一、指導委員會並びに執行委員會の議長はステチニアス國務長官專任とし

一、全體會議の議長は四國代表の輪番とする
ことに決定した、指導委員會は定刻に遅れ午前十一時近く開會されたが、席上モロトフ委員は國際協調の見地から要求を撤回する

旨言明、會議の危機は一應解消した、但し議長問題を繞る波瀾で明かな通り、會議の前途は依然多難で、AP特派員ジョン・ハイタワーは次の通り報道してゐる

ソヴェト政府が世界平和機構の結成に決定的恐らく支配的勢力を揮はうとする決意を抱いてゐるため、桑港會議は一聯の「大國危機」によつて脅威されるに至つた、議長問題が片付いても各國代表は會議の前途を悲觀してゐる、モロトフ委員の要求でポーランド問題を繞つて惹起された米英ソ三國間の不一致は新たに實證されるに至つた、今後會議が取扱はねばならぬ一層危機的な争點について同じ事態が持ち上るのではないかとの懸念が濃厚だ

更にロイテル電報も

議長問題が實際どう落付くかよりも、モロトフ委員が提案の容れられぬ場合會議招請國たるの地位を辭退すると述べたことが更に一層重大だと報道してゐる

ソ聯態度を明確化

(ストックホルム二十六日發) ボーランド問題に關する米英對ソ聯の對立はクリミヤ協定の解釋の喰ひ違ひとみられてゐるが、ソヴェト政府は去る二十四日タス通信社を通じて次の聲明を發表してゐる

英紙「サンデー・タイムズ」その他一部の外國新聞は改組されたボーランド政府の代表だけを桑港會議に出席せしめることにクリミヤ會談で決定をみたとの噂を擴めてゐるが、かかる報道は事實無根だ、この問題はクリミヤ會談で討議されなかつたばかりでなく、如何なる決定も行はれてゐない、従つてクリミヤ會談の決定はワルソーのボーランド假政府代表を桑港會議に招待することを斷じて妨げないものである

ソ代理大使グルーと會見

(リスボン二十六日發) ワシントン來電「ワシントン駐劄代理大使ニコライ・ノヴィコフ氏は二十六日國務省を訪問、次官グルーと短時間會談したが、グルーは直ちに大統領トルーマンと協議した恐らくスターリン議長がトルーマンにボーランド問題に關する親書を送つたものとみられてゐる

理事國非公式に決定

(リスボン二十六日發) サンフランシスコ來電「米英ソ重慶四國代表は二十六日桑港會議の中核をなす執行委員會の十一委員國選定につき意見の一致を見た、右委員國はその儘新機構における安全保障理事會の理事國に選定される見込みである、四國間に意見の一致を見た委員國次の通り

米國、英國、ソ聯、フランス、重慶政權(以上理事會における常任理事國)イラン、ベルギー、ユーゴスラヴィア、カナダ、ブラジル、メキシコ

埃及修正案提出

(リスボン二十六日發) サンフランシスコ來電「

桑港會議參加の各國はそれぞれの立場から國際機構案の修正を要求してゐるが、エジプト代表外相ナクラシ・パシヤも二十五日安全保障理事會の修正を要求次の通り述べた

ダンバートン・オークス案によれば理事會の構成は常任理事國五國、非常任理事國六國計十一ヶ國であるが、小國に一層多くの發言權を認めるため理事國數を十四ヶ國に増加することを提議する、しかしして小國代表たる非常任理事國選定には地域代表制を尊重すべきである

【東 亞】

「ソ聯と支那」

(リスボン二十六日發) 「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙は二十六日「ソ聯と支那」と題する社説を掲げ、桑港會議ソヴェト代表が重慶の提案を支持したことについて希望の觀測を大要左の通り述べてゐる

「北支國境に横はる複雑困難な諸問題に鑑み、ソ聯、重慶兩國關係の新たな動きはどんなものにせよ注目し値ひする、經濟權益、領土要求、移住問題といった難問題は、餘程の人物が好條件の下に處理するとしても一つとして容易な解決は望めないが、以上の問題を解決することは極めて重要だソ聯、重慶兩國間に諒解と友誼が成立しないならば、第三次大戰の禍根となる恐れは大いにある、この意味で桑港會議のソ聯代表が、「國際紛争の解決は正義人道に基くべし」との重慶の提案を支持する態度を明かにしたことは注目に値ひする、ソ聯がどんな意圖をもつてゐるにしても、少くとも重慶に對する好意のジェスチュアであり、兩國間の緊迫した空氣を緩和するものに他ならない、現在ソ聯重慶兩國ともに國運を賭した戰爭中なればこそ兩國間關係のこれ以上の惡化が阻止されてゐるのだが、それだからといつてソ聯重慶兩國間に將來紛争が必ず勃發するといふことはあり得ない、民主主義國家に向つて發達しつつある重慶は統一と繁榮を達成して東亞におけるソ聯の善隣國となり、他の諸國と誠實に協力するソ聯もまた重慶の脅威とならずその庇護國となるべきだ」

最高會議豫算報告

(モスクワ二十五日發) ソヴェト聯邦財務人民委員ズヴェリョフ氏は第十一回最高會議の第一日たる二十四日要旨次の豫算報告演説を行つた

一、一九四三年度における國家豫算の歳入歳出實績は二千億留であつた、第十回最高會議は一九四四年度豫算を二千四百九十六億留と決定したが、暫定資料によれば一九四四年度の歳入總額は二千六百八十億留、歳出は二千六百三十億留であつた、一九四四年を含めて開戦以來三年半の間に國防、海軍兩人民委員部の支出總額は四千二百億留を突破した

△一九四四年度歳出

一九四四年度の戦費は一九四三年度より百三十億留増加、豫算決定額は千二百八十四億留であつたが、實總額は千三百七十九億留であつた、その他は次の通り

イ、資本建設

二百九十億留

ロ、社會文化事業

五百十一億留

△一九四四年度歳入

一九四四年度の歳入は一九四三年度より五百八十億留(二七・六%)増加した、主な内譯次の通り

イ、取引税

千百六十億留

(一九四三年度九百十一億留)

ロ、國民租稅收入

三百七十二億留

(一九四三年度二百八十七億留)

ハ、國債收入

發行額

二百五十億留

應募額

二百九十億留

ニ、富籤收入

五十二億留

一、一九四五年度の國家豫算

歳入歳出額は三千五十三億留と定められた、一九四四年度に比し歳入において一三・九%(三百七十三億留)増、歳出において一六・一%(四百二十三億留)の増加である

△歳入内譯

取引稅收入、國營企業並びに機關の收入額及び

蓄積額は歳入總額半ばを占め、一九四四年度より二百十七億留の増加を示してゐる(決定額)イ、國營企業及び機關の收益 二百七十六億留(一九四四年度は二百四十四億留)

ロ、國民租稅收入四百五十三億留(一九四四年度より八十一億留増)

一、軍事稅、農民稅、所得稅その他 二百四十四億留

ハ、第四次國債收入 二百三十億留

△歳出内譯

イ、戰費 千三百七十九億留(歳出總額の四五・一%)

ロ、國民經濟費 八百四十六億留(一九四四年度は四百九十億留三一・八%増)

内譯(括弧内は一九四四年度數)工業 三百五十九億留(二百七十三億留)

農業 九十二億留(七十億留)運輸通信 九十七億留(七十七億留)

國營商業並びに商業調達機關 十七億留(十二億留)

公共事業及び住宅 二十九億留(十八億留)

ハ、資本建設費四百一億留半ばは復興工作に充當される

一、社會文化施設費 六百六十一億留内譯(括弧内は一九四四年度數字)教育 二百八十五億九千九百萬留(二百四億四千萬留)

保健體育 百三十一億九千四百萬留(百二億一千萬留)

國家社會保險 五十二億二百萬留(四十三億二千六百萬留)

ホ、國家行政機關維持費 九十五億留(一九四四年度より二十二億留増)

配分内譯聯邦豫算 三十一億留共和國豫算 六十四億留

△共和國地方豫算總額は五百二十二億留と決められたが、一九四四年度より百四十五億留の増加である

内譯 ロシア 二百八十五億八千八百萬留ウクライナ 九十一億二千四百萬留

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

白ロシア	六三億七千七百萬留
アゼルバイジャン	十七億八千三百萬留
グルジア	十四億三千六百萬留
アルメニア	六億三千萬留
トルクメン	三億千六百萬留
ウズベク	二十一億六千萬留
タジーク	六億五千萬萬留
カザーク	十八億八千五百萬留
キルギース	五億六千三百萬留
カレロフィン	二億八千八百萬留
モルダヴィヤ	五億四千萬留
リトワニヤ	七億二千八百萬留
ラトヴィヤ	七億九千二百萬留
エストニア	六億九千八百萬留

【歐洲】

ベタン元帥フランスに歸る

(チユーリツヒ二十六日發) ベタン元帥は二十一日朝スイス領ウエーセンを出發、ローザンヌ等を経て自動車によりラ・フェリエールでフランス領に入つた、國境でバリ軍管區司令官中將ケーニツヒが、元帥逮捕令狀を手交、一行は列車でパリに連行されたが、元帥握手の手もケーニツヒは相手にしなかつた「ヴェルダンの英雄」、も全く無一文でスイス滞在中の経費はスイス政府が全部負擔した、裁判は五月十七日開廷豫定が少くも十週間は延期される見込みで、それまではバリ郊外モン・ヴァレリアン要塞に監禁されるといはれる

【英帝國】

V二號攻撃終了か

(ストックホルム二十六日發) ロンドンからのロイター電報によれば英國首相チャーチルは二十一日下院において

現在事實に基き余のみるところでは空中に關し
てかなり樂觀してもよからう

と言明したといはれる、現在首都ベルリンが赤軍の包圍下にあり、オランダ方面からはカナダ第二

軍及び英第二軍が殺到する形勢からみればV二號攻撃は事實上終了したともみるべく、ロイター通信記者はドイツ軍のV二號攻撃を總決算して次の通り報告してゐる

ロンドンは解放された、最後のロケット弾數百發をもつて閉幕した爆彈と流星彈の五ヶ年の後に、ロンドン市民は今や死の恐怖もなく空からの警告もきかぬやうになつた、ヒトラー總統の最後の努力はV二號ロケット弾による總攻撃の形をとり、その最悪の場合には一秒間百六十七人が殺された、改良型の流星彈は殆んど時速千四百五十科で飛來したといはれるし、最後には操縦士のゐる飛行機をもつてするロンドン空襲さへ試みられた、英本國に到達したV二號の總數は千五十發でこれによる死者は二千七百五十四人、重傷者は六千五百人を超えた、而してその被害は時としてドイツ軍のいかなる兵器による場合をも凌駕してゐる、十一月一日にはロンドン西部労働者街のニュークロスに落下、恰度晝食時で雜踏するウルウィス・ビルディングは直撃彈で百六十七人の死者を生じ、四月には既に空襲當時から災禍のひどかつたロンドン東部ステツプニーの住宅地に落下して百三十三人を殺した例もある、ドイツ軍が最初に使用したロケット彈は落下し始める瞬間まで無電で操縦されるやうになつてゐたが、最新型には所定位置まで飛ぶと燃料補給を遮斷するやうな自動裝置がついてゐた、攻撃が最高潮に達したのは二月頃で、當時一週間に七十一發落下したこともある、しかもその大部分がロンドンに命中したのだ、一、二、三月は週間合計四十發乃至六十發が普通となつて、その殆んどがロンドンとエセックスに落下した、そしてロンドンとV二號發射基地の中間のエセックス、ハートフォードシア、ケント等の廣汎な地域に甚大な損害を與へた、ロンドンはこの試煉を平靜なる忍耐をもつて受け、V一號流星彈の時ほどの大規模疎開もなければ、公共防空壕に殺到する人の數も激減してゐた

藏相財政演說要旨

(ストツタホルム二十四日發) ロンドン來電 英國藏相アングーソンの財政演說の要旨次の通り

△歐洲戰終了後日本を出来るだけ早く仆すためには、現在既に世界最高の戦費負擔に耐へてゐる英國民に更に財政上の犠牲を加重する必要はない、戦争六年目に至つて英國の歳出は歳入より五三%超過した、現在一磅につき十志の税が課せられてゐるが、當分の税率が軽減される見込はない、勿論戦争が最終的に終了すれば租税負擔は大幅に軽減されやうが對日戦がどうなるか判らないから戦局が一段と明確になるまでは「變化なし」といふほかはない

△一九四四會計年度における英國の歳出は初めて六十億磅臺を突破したが、これは英國の歴史初まつて以來の最高記録である、正確な數字は六十億六千三百萬磅で、定額より一億二千六百萬磅超過した、但し歳入も豫定額の三十億磅を二千九百萬磅超過した、たとへば所得總額は十三億一千七百萬磅で豫定額を千七百萬磅超過し、超過利得税と國防釀金は五億一千萬磅で豫定額を一千萬磅超過、相續税は一億一千萬磅で豫定額を一〇%方超過した

△英國は開戦以來本年三月までの五ヶ年半の間に英國武裝兵力のために二百七十四億磅を支出した、政府はまたインフレーション抑制に努め、一年前の生計費指數は戦前の一・二九であつたが現在は一・三〇を少し上廻つた程度に止めることが出來た、但し問題は海外における英國の財政的地歩である、英帝國內の諸國は對外地歩を大いに改善してゐるが、英國のそれは愈々重大化するばかりである、たとへば昨年武器貸與法によらぬ品目の購入で米國に十億弗の負債を負つた、また昨年末英國が海外から供與されたクレジット總額は三十億磅に上つたが、現在では四十億磅に近い數字に達してゐる

△戦後少くとも三年間食糧及び工業原料の輸入を續けるために大いに輸出を強化する必要があるが、英國が世界貿易における地歩を再び確保するためには戦争直後國民の生活水準は犠牲に供

されねばなるまい、また戦後における英國の内債總額はナポレオン戦争後の二十五倍、第一次大戦後の三倍以上とならう

△一九四五—四六會計年度歳出總額は五十五億六千五百萬磅は一九四四—四五會計年度の歳出總額より五億磅少い、歳入部門においては所得税收入は十億五千萬磅超過利潤税五億磅と見積られた、後者は昨年度実績より五千萬磅少い、アジアおよびアフリカにおける英國の海外支出額は一九四二年度に五億八千四百萬磅、一九四三年度六億八千九百萬磅、一九四四年度に七億一千六百萬磅であつた、これは主として戦債、海外資産の喪失に起因する

【米 洲】

軍需生産削減計畫

(リスボン二十六日發) ワシントン來電 米國戰時生産局長官クルーグは二十六日、下院で米國軍需生産の削減計畫に關し次の通り言明した

米國の軍需生産は今後三、四ヶ月以内に十五%今年中には四〇%方削減される豫定である、また統制物資は現在數百種に及んでゐるが、ここ數ヶ月以内にその四分の一乃至三分の一程度が統制を解除されよう、米國の軍需工場を最大限に平和産業に切り換へるためには二億三千萬弗の建設費と何百萬弗といふ機械工具が必要とみられる

ハーモンの後任正式決定

(リスボン二十四日發) 米國太平洋戰略航空隊司令官兼米國太平洋方面陸軍航空隊司令官兼第二十航空隊副司令官中將ミラー・D・ハーモンの戦死後その職務は副司令官少將ヘイルが代行してゐたが、ワシントンからのAP電報によれば、米國陸軍省は二十四日ハーモンの後任として米國陸軍航空本部次長陸軍中將バーニー・M・ジャイルズを太平洋方面陸軍航空隊司令官に任命すると共に地中海方面反樞軸空軍司令官陸軍中將アイラ・C・イーカーを米國陸軍航空本部次長に、地中海戰略航空隊(イタリア基地)司令官陸軍中將ジョン・K・カノンを地中海方面反樞軸空軍司令官に任命した旨發表したといはれる



フランス版「罪と罰」

井上 勇

△ダンツに死刑

アンリ・フェルナン・ダンツ將軍は四月二十日
到頭豫期された通り死刑を宣告された、勿論軍籍
から除名され位階勳等は剝奪されてしまった、一
九四一年英國が、ドイツ軍のシリア進駐といふ虚
妄を理由に、ルヴァンの地に兵を進めたとき當時
シリア總督だつた將軍がこれを阻止したのは祖國
への反逆であるといふ、判つたやうな判らない理
由に基いて起訴されたわけだつた、ダンツ將軍は
約五時間に涉つて、死と戦ふ自己辯護を試みたが
到頭その甲斐がなかつた、彼の主張は次の如きも
のである

自分がシリアで抗戦した唯一の目的は、ドイツ
に進駐の口實を與へまいがためだつた、イラク
の問題が生じたとき、自分は英國の領事に對し
て、シリアの飛行場は斷じてドイツ軍の使用を
許さない旨を確約し、領事からは英國政府の名
で感謝の辭さへ受けた、英國の進駐を拒絶した
のは事實であるが、目的は英軍と同じであり、
ドイツ軍を阻止せんがためである、もし彼の地
に戦火が起つた場合は聯合軍の立場は極めて不
利となるといふのが自分の見解で、その點、英
領事も全く同意見だつた、シリアにおける自分
の地位は全く悲劇的であり、ヴァイシー政府から
の命令には、自分が知らぬあまたの含意があつ
て諒解に苦しむこと屢々だつた、あの際自分は
辭職すべきだつたかも知れないが、ともかく、
自分としてはフランスの權益擁護のために能ふ
最善をつくし、軍の名譽に反する何事もなさな
かつたことを確信する、諸君は自分に如何なる
犠牲を要求するのか知らないが、それがフラン
スの結合と偉大とに寄與するといふことが確か
でさへあれば、自分は何事をも甘受する決心で
ある

裁判の進行中、辯護士團からシリア問題について
は一九四〇年九月調印されたベタン元帥とチャー

チル英首相間に密約があつた筈だと指摘し、當時
の外相ビエール・エチエンヌ・フランダン(注)の證人
喚問が要求されたが、檢事はフランダンの病氣を
理由に喚問を拒絶し、かかる密約があつたことを
頭から否定した、またダンツ側の證人として呼ば
れた總督時代の部下は、ダンツがヴァイシーに特使
を派遣して英佛休戦を提議したに拘らず、當時の
首相ダルランはこれに反對し、援軍急派を約束し
て抗戦持續を命令したと述べてゐる、陪審官の一
人は「君が抗戦を命令した結果は千五百名のフラ
ンス人と多數の英國人の人命が失はれてゐる、君
の云つてゐることは全く喜劇ぢやないか」と突込
みダンツはこれに對して「喜劇どころではない、
自分はあの時代ほど煩悶したことはなかつた」と
答へた、判事が「では何故フランスに歸國後、狂
激な言葉を弄してド・ゴール將軍一派及び英國を
公々然と罵倒したのだ」と質ねたに對しては「ド
イツ側の疑惑を避けるためである、自分はドイツ
をダブルクロスしようと思つたのだ」と答へて
ゐる何しろ外電によると往生際はあまり立派でな
く、この女好きで有名な將軍は、女に持てたほ
ど、民衆には持てず、この結果になつてしまつた
わけである、自分はシリア總督をやめたのちは、
チュニジア總督になる筈でベタン元帥、ラヴァル
首相から口がかかつたが斷つたといふので、その
證據にヴァイシー政府からの通告文を提出して「こ
れは他の裁判の場合に必要なだから」と手もなく取
上げられたり、あまりにも惨めだつたやうである

△トレーズの健忘症

この裁判で引合ひに出された元首相、外相のフ
ランダン(注)は故杉村陽太郎大使とは學生時代からの
友人で、二人はよくテニスをしたり、水泳をやつ
たり、馬に乗つたり仲よしだつたが、それは別
として彼もまた對獨協力罪で捕つてゐたが、四月
十八日病氣保釋となり病院入りをした、このスポ
ーツ大臣も寄る年波に加へる有爲轉變の世の荒波
には勝てないものと見える、同じ日共産黨の書記
長トレーズはマルセイユの民衆大會に臨み四百の
聴衆を前にフランスの官界から對獨協力者を徹底
的に驅逐しろと吼えてゐるがドイツ軍の前から尻

△ペタン元帥歸る

に帆かけて逃亡した彼の経歴はけろりと忘れてゐるところ、流石に一黨の親分にふさはしい健忘性である、いま一つ、トレーズの要求は三月一杯で官吏の肅清は終つたつもりである政府にとつては、思ひがけない春雷で、二月、國內の結合が黨の前に来るべきだと演説してド・ゴールを悦ばしたトレーズが、わづか二ヶ月も経たぬ内に、猫眼變化を遂げるに至つては交際ひにくい相手かなの嘆きあらたなるものがあらう、「モンド」紙が四月十二日報じてゐるところに従へば三月中旬にフランスの裁判所が審理した被告数は二、七〇一名で判決は死刑三一七、終身苦役八七、苦役四五九、禁錮一一六、普通懲役一、二五三、残りが無罪放免といふことになつてゐる、肅清裁判開始以來の審理済被告は一萬六千八百三十一名、死刑合計は九百九十六名で、千人斬りの記録にいま一と息といふところだ

△老人國フランス

肅清と縁があるかないか知らないが、フランスの人口も、戦争と病氣で大巾に洗ひ流されてゐるやうである、「ルベラシオン」紙が家庭人口局長アルフレッド・ソウヴィーの談として報じてゐるところでは、十八世紀末フランス人口の八パーセントが六十歳以上、四十五パーセントが二十歳以下だつたのが、現在は六十歳以上十六パーセント、二十歳以下二十九パーセントとひどく老人國になつてしまつた、これを選挙資格者についてみると十九世紀、五十五パーセントが二十歳から四十歳の間の人間で、六十歳以上は十四パーセントにすぎなかつたのが現在では六十歳以上が二十五パーセントと増加し、二十歳と四十歳の間の人間は三十八パーセントに減少してゐる、選挙を行へば老人萬能となるわけで、進歩主義の運命が危ぶまれると、この左翼紙は心配してゐる、肺結核はバリだけで一九三九年に比較すると四十八パーセント増、チフス、デフテリアも二倍、三倍になつてゐる、三千から四千のカロリーを必要とする十六歳前後の少年の現在受けてゐる熱量は千五百カロリーの過ぎず、これでは肺病も増加するはずだ、とはソヴィーの言葉だ

話を元にかへして肅清であるが、何といつてもその歴巻たるべき元「フランス國家」主席アンリ・フィリップ・ペタン元帥の裁判は、元帥自ら出頭して五月十七日前後にパリで開廷されることになるらしい、検事長は大物裁判の獨占をしてゐるアンドレ・モルネと定つた、ペタン元帥はその亡命地ジグマリンゲンがフランス軍に占領されるに先立つてオーストリア方面に難を避けてゐたが、四月二十四日その八十九歳の誕辰の日スイス政府の許可を得て、ボーデン・ゼーの南端サン・マルガレッツテンの國境町からスイスに入國した、フランス政府の指示があり次第本國に歸つて法廷に立つ決意であるといはれる、一行は九臺の自動車に分乗、夫人、令嬢、令婿も同伴してゐた、ドイツ政府は國境まで警護の兵を付して、この老將軍を見送らしめたいらしい、元帥は國境通過の手續き中途に車から一步も出ず、假りの落着場所サン・フアリーレンに向ふ途中沿道に見送る町の人々、村の人々に一々手を振つて會釋したが、その顔色はひどく疲れてゐたといはれる、一行中に前大戦中、佛第一軍指揮官で、昨秋フランス・ゲリラの爲め乗用車に爆彈を投じられ十一日遂に死亡したと傳へられたマリー・ウーゼーヌ・ドベネー大將がゐたのは、世間をあつといはせた、ドベネー將軍は元帥に影の形に沿ふが如く常に扈從して來た側近の親友である、ペタン元帥のスイス入りについては反樞軸軍司令部で、豫めこの事あるを察知してスイス政府に諒解を與へてゐたといはれる、元帥と時を同じくして元ヴァイシー政府首相ビエール・ラヴァルはリヒテンシュタインに、元労働相マルセル・デアはスイスにそれぞれ入國許可方を求めたが拒絶された、ラヴァルは既に昨秋マルセイユ裁判所で、缺席のまま死刑を宣告されてゐるが、この裁判が合法的か否かについてはパリ政府側から何等の發表もされてゐない、ペタン元帥はサン・フアリーレンに落着くと共に記者團と會見してゐるが、主として旅程について語り、心境については多くを語らなかつた、ロイター通信はペタン元帥の言葉として次の如く報じてゐる